

# 著作権とライセンス

## 著作権

Copyright © 2012 Corel Corporation. All rights reserved.

本マニュアルの一部または全部について、文書によるCorel Corporationの許可を得ない限り、写真複製、録音、検索システムへの保存、または他の言語への翻訳を含む電気的手段、機械的手段、およびその他のいかなる方法によっても、複製または転用することを禁じます。

## ソフトウェアライセンス

本マニュアルに説明するソフトウェアは、本製品に添付されているライセンス契約に基づいて提供されています。このライセンス契約は、本製品に関して許可される使用および禁止される使用について規定しています。

## ライセンスおよび商標

Copyright © 2012 Corel Corporation. All rights reserved. Corel、Corelロゴ、Corelバルーンロゴ、VideoStudioは、カナダ、米国および/またはその他の国々におけるCorel Corporationの商標または登録商標です。

## サンプルファイル

プログラムおよびコンテンツCD-ROMに格納されているファイルは、個人的な展示、制作、および発表に使用することができます。これらのサンプルファイルを商業的に複製または再配布する権利は付与されません。

# テクニカルサポート情報

VideoStudio X5についてのお問い合わせは、下記へご連絡ください。

## ●インターネット

<http://www.corel.jp/support>

コーレルのホームページの「サポート」タブにFAQ、トラブルシューティング、アップデートダウンロードなどをご用意しております。こちらをご覧くださいいただくことで解決できることも多々ありますので、ご一読ください。

## ●ユーザーサポートをお受けいただくには

※ユーザー登録が必要となります (Corel Member 登録)。

※ユーザーサポートへのお問い合わせ方法は、Corel Memberログイン後の「ユーザーサポートへのお問い合わせ」にてご案内しております。

※本製品に関するユーザーサポートの有効期間は、本製品の発売日より2年間です。電話によるサポートは、有効期間中の初回お問い合わせ日から起算して90日間です。また、Eメールによるサポートは無償にて期間中ご利用いただけます。なお、ユーザーサポートをお受けいただくためには、インターネットでのユーザー登録が必要となります。詳しくは弊社ホームページにてご確認ください。

# はじめに

このたびは、「Corel VideoStudio X5」をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。

Corel VideoStudio X5は、ステップ・バイ・ステップでビデオ作品ができあがるビデオ編集ソフトです。映像の取り込みからビデオクリップの編集、タイトルやBGM、トランジションの挿入など、各ステップに従って操作するだけで、どなたでもプロ並みのビデオ編集が行えます。できあがったビデオ作品はDVDやBlu-rayディスクに書き込んで保存できます。

ビデオ編集にあたっての豊富な機能を揃えておりますが、ビデオ編集がまったくはじめての方でも本マニュアルを読みながら作業を進めていただければ、今日からでも戸惑うことなくビデオ編集が行える、わかりやすいインターフェースになっています。

今回のバージョンアップでは新機能の「HTML5プロジェクト」で作成したメニュー付のビデオをHTML5ファイルとして出力でき、Webサイトの作成にそのまま利用できます。これにより、Webサイトでメニューからビデオを選択して再生できるリッチコンテンツが作成できます。

また、デスクトップの動作を動画にする「画面の録画」機能を追加し、Windowsの操作やアプリケーションの操作方法などをタイトルやキャプション、ナレーション付きのビデオにすることができます。さらに、60P記録に対応したビデオカメラの映像を60Pのまま編集できるように、最新のビデオカメラ事情にすばやく対応しました。

VideoStudioは最新の機能を取り入れてバージョンアップを重ねているだけではありません。「よりたくさんトラックを使いたい」というユーザーのみなさまの声を反映して、オーバーレイトラックを20本まで追加可能にしたり、「ビデオトラックの有効/無効」機能を追加し、トラックの確認時などに各トラックの表示・非表示を切り替えられるようにしました。インスタントプロジェクトも専用のウィンドウから作業していましたが、より効率よく作業が行えるように、インスタントプロジェクトのテンプレートはライブラリから使えるように変更されました。

このようにVideoStudioは最新の技術とユーザーのみなさまの声をできるかぎり反映して、よりよいビデオ編集ソフトとして日々向上させておりますので、未永くVideoStudioでのビデオ編集をお楽しみいただければ幸いです。

## 注意

本マニュアルはPro版、Ultimate版共通のマニュアルとなっております。Ultimate版にのみ付属しているボーナスソフトウェアについては、本マニュアル204ページをご参照ください。

※本マニュアルで使用している画面写真は開発中のものです。実際の製品の画面写真とは、一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

# CONTENTS

## 準備編

<b>VideoStudio X5を使ってみよう</b>	<b>7</b>
VideoStudioの特徴	8
VideoStudio X5の新機能	9
ビデオ編集の流れ	10
インストールの準備	12
ハードウェアのチェック	13
インストール前の注意点	14
インストール	14
アンインストール	16
起動と終了	18

## VideoStudio編

### STEP1 VideoStudioでビデオ編集 19

「VideoStudio」でビデオ編集	20
インターフェースのカスタマイズ	21
ライブラリパネル	22
「ファイル」メニュー	23
プロジェクトの新規作成	23
プロジェクトを開く	24
「ファイル」メニューのその他の項目	25
「ツール」メニューの各種項目	27
「設定」メニューの各種項目	28
ヘルプおよび製品情報	30

### STEP2 取り込み 31

映像や静止画を取り込む	32
DVテープをスキャン	33
ビデオの取り込み	36
静止画の取り込み	38
DVDやAVCHDからビデオを取り込む	39
ストップモーションアニメーション	42
デスクトップの動画を録画する	44

### STEP3 編集 45

ストーリーボードとタイムライン	46
ストーリーボード	47
タイムライン	50
ビデオクリップの移動と削除	53
ビデオクリップのトリミング	54
スマートプロキシ機能	56
ビデオクリップの分割	57
クリップのコピー	58
クリップの属性をコピー	58
クリップの置き換え	59
CMや不要なシーンを一度にカット	60
ビデオを逆再生する	62
ビデオの再生速度を変える	63
タイムラプス	63
ビデオの色味を調整	64
ビデオクリップの1コマを静止画にする	64
オーディオを分離	65
シーンごとに分割	66
オプションパネル	67
DVDやAVCHDからの取り込み	68

フィルター	70
モザイク	72
Boris Graffiti <small>Ultimate版のみ</small>	74
手振れ補正	74
クリップの変形	75
静止画を取り込む	76
パン&ズーム	78
カラークリップ	79
プレビュー	80
リップル編集	81
インスタントプロジェクト	82
チャプターポイント	86
その他のメニュー	86

## STEP4 トランジション 87

トランジションを選ぶ	88
トランジションの確認	89
トランジションをかける	90
トランジションのオプション設定	91

## STEP5 オーバーレイ 93

ビデオとビデオの合成	94
クロマキー合成	98
ペインティング クリエーター	100
静止画やFlashアニメーションとビデオを合成する	104
タイトルをオーバーレイトラックに配置	106

## STEP6 タイトル 107

タイトルの挿入	108
文字を飾る	112
境界線とシャドウ、透明度	112
タイトルのレイアウト	114
タイトルの確定と確認	115
タイトルの追加	116
タイトルの修正	116
タイトルのアニメーション	117
サンプルタイトルの使用	121
ロール効果の例	122
バックドロップテキスト	124

## STEP7 オーディオ 125

ボイストラックとミュージックトラック	126
オーディオファイルを取り込む	126
音楽CDから曲を取り込む	128
ナレーションを取り込む	130
オーディオライブラリ	133
オーディオクリップのトリミング	134
再生速度の変更	134
Dolby Digital 5.1ch サラウンド	136
オーディオクリップのオプション表示	136
オーディオフィルター	137
オーディオクリップの調節	138
オートミュージック	140

## STEP8 完了 141

「完了」ステップ	142
----------	-----

## VideoStudio 編

ビデオファイルの作成	142
ディスクの作成	146
プロジェクトの再生	147
HTML5 ファイルの作成	148
DV 録画	150
HDV 録画	153
YouTube にアップロード	154
モバイル機器に出力	158
サウンドファイルの作成	158

DVD / Blu-ray  
作成編**STEP1** ビデオの入力とメニューの作成 159

ディスクを作成	160
メニューとチャプターについて	162
チャプターを追加 / 編集	164
オリジナルメニューの作成	166

**STEP2** ディスクに書き込もう 183

ディスク容量の確認	184
環境設定	184
ディスクテンプレートマネージャー	185
書き込むビデオの形式やクオリティの設定	187
プレビュー	188
出力の設定	189

クイックDVD  
ウィザード編**クイックDVDウィザードでビデオをDVDに書き込もう** 195

2ステップで簡単ビデオ編集	196
「クイックDVDウィザード」の起動	196
DVテープのスキャン	197
DVDに書き込む	199

[付録 1] わからないことがあったら?	203
[付録 2] Ultimate 版ソフトの使い方	204
[付録 3] ショートカットキー	208

**注意**

本マニュアルはPro版、Ultimate版共通のマニュアルとなっております。Ultimate版にのみ付属しているボーナスソフトウェアについては、本マニュアル204ページをご参照ください。

# VideoStudio X5を 使ってみよう

ここではVideoStudioの概要やインストール方法、お使いいただくにあたっての準備についてご説明します。



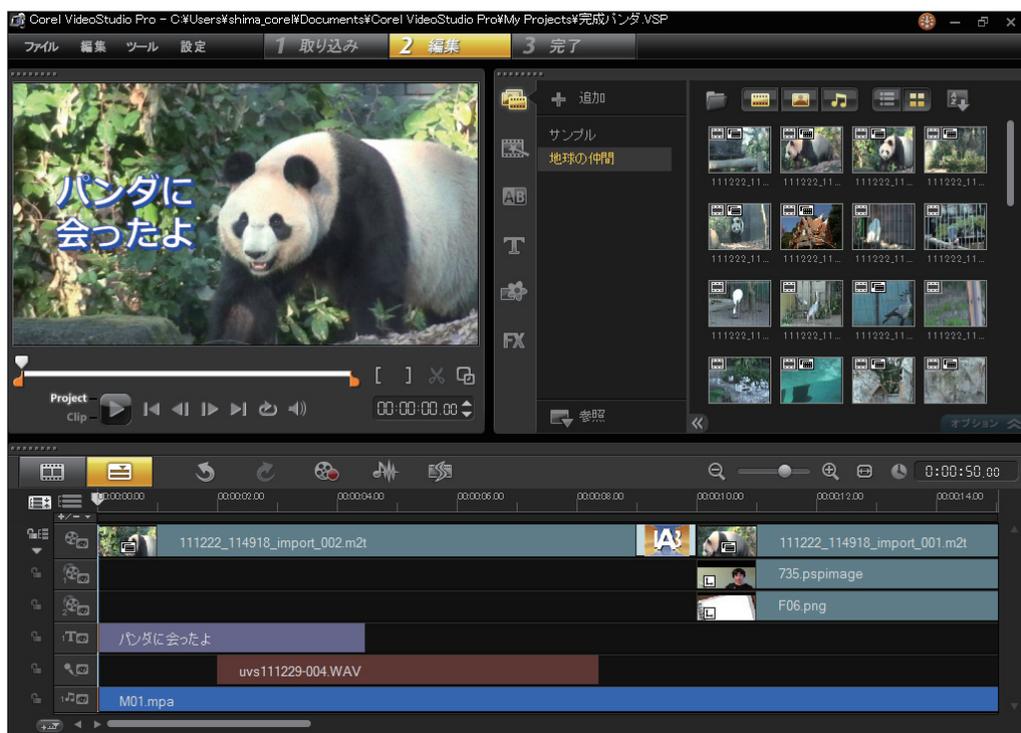
# VideoStudioの特徴

## 豊富なビデオ編集機能をステップで操作

「VideoStudio」は、ステップ・バイ・ステップでビデオ作品を作成するビデオ編集ソフトです。AVCHDやDVカメラ、ビデオテープ、DVDビデオなどから映像を取り込み、ドラッグ&ドロップで取り込んだ映像(ビデオクリップ)をタイムラインに並べて編集します。ビデオクリップには、タイトルやBGM、ナレーションをつけたり、映像効果をつけたりすることができます。

できあがったビデオ作品はDVDやBlu-rayディスクに書き込んだり、Web配信やDVテープへの書き戻し、YouTubeなどの動画投稿・共有サイトへのアップロードなどにも対応しています。

また、アニメーションタイトルや100種類以上のエフェクト効果、音声の微調整、ビデオファイル形式のカスタマイズなど本格的なビデオ編集が行える機能が豊富に揃っており、プロ並みのビデオ作品に上げることができます。



# VideoStudio X5の新機能

VideoStudio X5には、ビデオ作品を作成するにあたって、さらに使いやすくするための新機能と幅広いビデオ作品のジャンルに手軽に挑戦できる新機能をプラスしました。

## [HTML5] → P.23、P.148

X5の大きな特徴として「HTML5対応プロジェクトの作成」があります。新機能の「HTML5プロジェクト」で作成したメニュー付のビデオは、HTML5ファイルとして出力でき、Webサイトの作成にそのまま利用できます。これにより、Webサイトでメニューからビデオを選択して再生できるリッチコンテンツが作成できます。

## [画面キャプチャ機能] → P.44

「画面の録画」は、デスクトップの動作を動画にする機能です。Windowsの操作やアプリケーションの操作方法などをビデオにすることができます。キャプチャしたビデオはVideoStudioで編集でき、タイトルやキャプション、ナレーション付きのビデオにすることができます。

## [PaintShop Proとの強力な連携] → P.77

PaintShop Proのレイヤーつきイメージファイル(拡張子は、pspimage)のインポートができるようになりました。PaintShop Proでレイヤーに分けて作成した画像をVideoStudioに取り込むと、各レイヤーの画像が別々のトラックに配置されます。

## [インスタントプロジェクトをさらに使いやすく] → P.82

X4まではインスタントプロジェクト専用のウィンドウから作業していましたが、より効率よく作業が行えるように、インスタントプロジェクトのテンプレートはライブラリから使えるように変更されました。

## [トラックの使い勝手を向上] → P.94、P.97

オーバーレイトラックを20本まで追加可能にしました。これによりビデオトラックと合わせて21本のトラックを同時に使用できるようになりました。また、「ビデオトラックの有効/無効」機能を追加し、トラックの確認時などに各トラックの表示・非表示を切り替えられます。

## [60P/50P編集] → P.29

60P記録に対応したビデオカメラの映像を60Pのまま編集できるようになりました。これにより、60P対応ビデオカメラの高画質の映像を劣化することなく編集できます。

## [読み込み機能の強化]

読み込み機能を強化し、3DファイルのインポートやディスクイメージのISOファイルをそのまま読み込めるようにしました。

## ビデオ編集の流れ

VideoStudioは、「1 取り込み」、「2 編集」、「3 完了」の3つの機能でビデオを作成します。ビデオカメラから映像を取り込んでビデオクリップにして、ビデオクリップを並べてビデオ作品をつくります。タイトルやシーンとシーンの切替効果を付けたり、特殊効果を加えます。また、BGMやナレーションを追加して仕上げます。できあがったビデオはDVDやBlu-rayディスクなどに書き込んで保存したり、YouTubeなどの動画投稿サイトにアップロードしたりできます。

### STEP1 取り込み

AVCHD/HDV/DVカメラやデジタルカメラの写真などの素材を取り込みます。



### STEP2 編集

取り込んだビデオの並べ替えや不要な映像部分をカットしたり、フィルターを使ってビデオに特殊効果を加えます。



### STEP3 トランジション

ビデオクリップとビデオクリップの間にトランジションを挿入して、映像の切り替えに劇的な効果を加えます。



**STEP4 オーバーレイ**

人物を切り抜いてほかの映像と合成したり、「ピクチャ・イン・ピクチャ」などのビデオクリップを重ねて再生する効果を加えます。

**STEP5 タイトル**

ビデオのタイトルやテロップを作成します。映画の終わりに制作者の名前が流れる「エンドロール」もつくれます。

**STEP6 オーディオ**

ビデオにBGMやナレーションを挿入します。指定したビデオの再生時間に合わせて曲を自動調節してくれる「オートミュージック機能」もあります。

**STEP7 出力**

できあがったビデオ作品を保存します。ビデオファイルやDVD、Blu-rayディスクへの書き込みはもちろん、DVテープやWeb配信用のデータに変換したり、YouTubeなどの動画投稿サイトにアップロードすることができます。



# インストールの準備

VideoStudioをパソコンにインストールします。

## 必要システム

VideoStudioをインストールするには、お使いのパソコンに以下のシステムが必要です。

### 【パソコン本体】

Intel Core Duo 1.83GHzAMD Dual Core  
2.0GHz以上

ポートのため)

4GB以上のメモリ  
16XPCI Express ディスプレイアダプタ

### 【メモリ】

2GB以上(4GB以上を推奨)

### 【その他の条件】

- ・Blu-rayディスクを作成する場合は、書き込み可能なBlu-rayドライブ
- ・HDV/DV/D8ビデオカメラを使用する場合は、OHCI規格に準拠したIEEE1394(FireWire)インターフェース
- ・アナログキャプチャの場合は、PCI、TVチューナー、USBキャプチャ装置(WDMサポート)
- ・Windows対応のDVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD-RAMドライブ
- ・インターネット接続環境(オンライン機能やユーザーサポートをお受けいただくため)

### 【日本語オペレーティングシステム】

Windows 7 SP1(32ビットまたは64ビットエディション)、Windows Vista SP2(32ビットまたは64ビットエディション)、Windows XP SP3

### 【ハードディスク】

ハードディスク上に3GB以上の空き容量

- ※2時間のDVDビデオオーサリングおよび書き込みの場合は、ハードディスク上に10GB以上の空き領域が必要。
- ※2時間のハイビジョン画質オーサリングおよび書き込みの場合は、ハードディスク上に30GB以上の空き領域が必要。

### 【必要ソフトと周辺機器】

- ・DirectX 9.0、Windows Media Format 9、Adobe Flash Player 7以上
- ・Windows対応サウンドカード(5.1chの編集にはマルチチャンネル対応サウンドカード推奨)
- ・解像度1024×768以上のWindows対応ディスプレイ
- ・Windows対応AGPまたはPCIグラフィックカード

※本製品はAdministrator(管理者権限)のみのサポートとなります。インストール・起動時には、Administrator(管理者権限)でのログインが必要となります。

※本製品にはWindows 7、Windows Vista、Windows XPなどのオペレーティングシステムは含まれていません。

※必要メモリおよび必要ハードディスク容量は、お使いのシステムによって異なる場合があります。

※3D映像の見え方は、映像コンテンツや視聴環境により異なります。感じ方についても個人差があります。

※3D映像を長時間見続けると目が疲れることがありますのでご注意ください。

注：ハードウェアMPEGエンコーダーを持つキャプチャ機器からのキャプチャはできません。それらの機器に付属するソフトウェアでキャプチャしたファイルを読み込んでご利用いただくこととなります。

### 【ハイビジョン編集推奨環境】

Intel Core i5/i7、またはAMD Phenom II X4/X6  
のCPU

Microsoft Windows XP SP3(HDVカメラサ

# ハードウェアのチェック

DVカメラのキャプチャ機能を利用するには、以下のドライバが設定されていることをご確認ください。

**1** 実行中のすべてのアプリケーションを終了します。DVカメラをパソコンに接続して、DVカメラの電源を入れます。

**2** 「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択して、Windows 7では「システムとセキュリティ」をクリックし、「デバイスマネージャー」をクリックします。

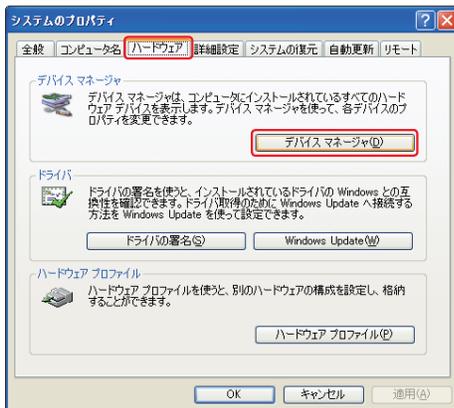
Windows Vistaでは、「システムとメンテナンス」→「システム」→「デバイスマネージャー」をクリックします。

Windows XPでは、「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」をダブルクリックします。「システムのプロパティ」ダイアログボックスの「ハードウェア」タブをクリックして、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

Windows 7



Windows XP



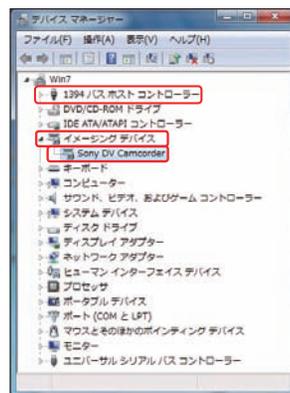
**3** 「デバイスマネージャー」画面の各デバイスの項目名をダブルクリックすると、ドライバ名が表示されます。

## Windows 7とVistaの場合

- 1394バス-hostコントローラ
- イメージングデバイス：「(メーカー名)DVカメラ」または「(メーカー名) AVデバイス」と表示されています。

## Windows XPの場合

- IEEE1394バスコントローラ
- 61883デバイスクラス
- AVCデバイスクラス
- イメージングデバイス：「(メーカー名)DVカメラ」または「(メーカー名) AVデバイス」と表示されています。



Windows 7の「デバイスマネージャー」

# インストール前の注意点

VideoStudioをインストールする前に、以下のことを確認してください。

- 起動しているアプリケーションは終了してください。
- 各種ウイルスチェックプログラムをご使用の場合は、必ず終了してください。
- スクリーンセーバーを設定している場合は、必ず起動しないようにしてください。スクリーンセーバーを切るには、Windows 7やVistaではデスクトップを右クリック→「個人設定」→「スクリーンセーバー」をクリックします。Windows XPではデスクトップを右クリック→「プロパティ」をクリックします。各画面の「スクリーンセーバー」の「▼」をクリックし、プルダウンメニューの一番上にある「(なし)」を選びます。
- ディスプレイやハードディスクの「省電力機能」を使用している場合は、電源が切れない設定にしてください。

※各アプリケーションの終了方法は、それぞれのソフトウェアのマニュアル等をご確認ください。

## インストール

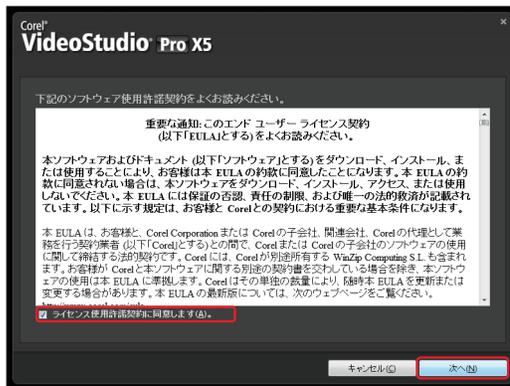
※パソコンの環境によってはインストール画面が表示されない場合もあります。その場合は、「スタート」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「コンピューター（XPではマイコンピュータ）」をクリックし、DVDドライブのアイコンをダブルクリックします。

- 1 VideoStudioのDVDディスクをDVDドライブに挿入します。自動的にインストール画面が表示されます。「VideoStudio X5のインストール」をクリックします。



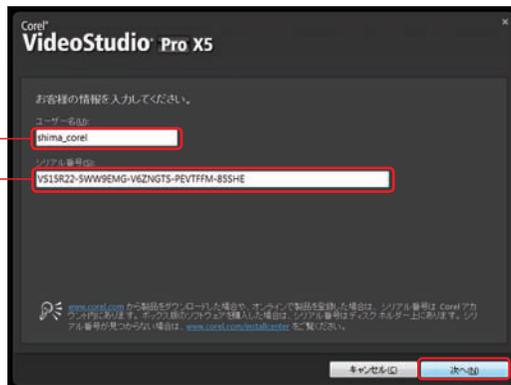
- 2 「使用許諾契約」が表示されます。使用許諾契約の条項を読み、「ライセンス使用許諾契約に同意します」にチェックを入れて、「次へ」をクリックします。使用許諾契約契約の下の部分を読むには、「Page Down」キーを押します。

**注意** 「ライセンス使用許諾契約に同意します」にチェックを入れないと、VideoStudioはインストールされません。



**3** ユーザー情報を入力します。「ユーザー名」と「シリアル番号」を入力して、「次へ」ボタンをクリックします。

名前を入力  
ディスクの袋に貼付されているシリアル番号を半角英数字で入力



**4** 「国／地域を選択」がチェックされていること、「日本」が選択されていることを確認します。

また、Video Studioのインストール先を変更するには、「Corel Video Studio X5を次の場所にインストール」の「変更」ボタンをクリックして、表示されるダイアログボックスで変更先を指定します。

つぎに「オプション」タブをクリックします。



**5** 「オプション」タブの内容が表示されます。ここでは VideoStudioと一緒にインストールするソフトウェアを選択します。お使いのパソコンにインストールされていないソフトウェアにチェックを入れて、「インストール」ボタンをクリックします。VideoStudioのインストールが開始されます。



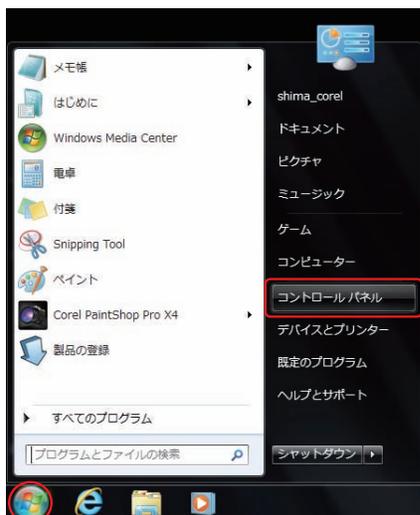
**6** インストールが終了すると、完了の画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックします。これでVideoStudioがインストールされました。



# アンインストール

VideoStudioを使わなくなったときやインストールしたときの初期状態に戻したい場合は、VideoStudioをパソコンからアンインストール(削除)します。

- 1** 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックします。



Windows 7およびVista



Windows XP

- 2** Windows 7とVistaでは、「コントロールパネルホーム」から「プログラムのアンインストール」をクリックします。Windows XPでは、「コントロールパネル」ウィンドウから「プログラムの追加と削除」をクリックします。

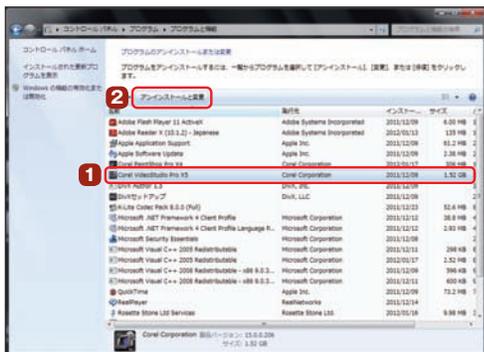


Windows 7およびVista



Windows XP

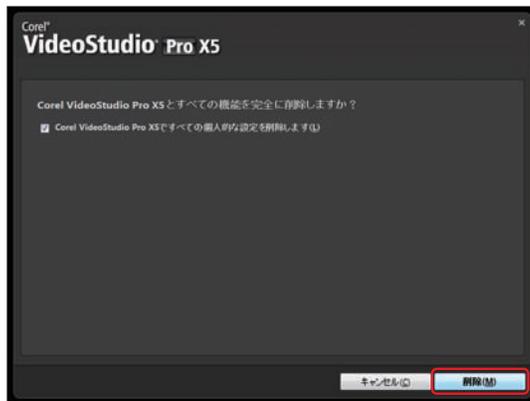
**3** Windows 7やVistaではプログラムの一覧から「Corel VideoStudio X5」を選択して、「アンインストールと変更」ボタンをクリックします。XPでは「プログラムの追加と削除」画面の「プログラムの変更と削除」をクリックします。表示される「現在インストールされているプログラム」の一覧から「Corel Video Studio X5」を選択して、「変更と削除」ボタンをクリックします。



Windows 7およびVista



**4** 「ファイル削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。「削除」ボタンをクリックすると、VideoStudioがアンインストールされます。



**5** VideoStudioのインストール時に、「SmartSound」がインストールされています。同様の方法でSmartSoundもアンインストールしてください。

# 起動と終了

VideoStudioの起動方法と終了の仕方を解説します。

## VideoStudioの起動

**1** 「VideoStudio」を起動するには、デスクトップに表示されている「Corel Video Studio X5」のアイコンをダブルクリックします。または、「スタート」ボタンをクリックして、「すべてのプログラム」→「Corel VideoStudio X5」→「Corel VideoStudio X5」を選択しても起動します。



**2** はじめてVideoStudioを起動したときは、「Corel Guide」画面が表示されます。「今すぐ登録」ボタンをクリックすると、製品登録画面が表示されます。ここでユーザー登録を行ってください。製品を行うとテクニカルサポートやテンプレートパックを無料で入手できるなど、数々の特典が受けられます。「Corel Guide」を閉じるには、右上の「×」ボタンをクリックします。



## VideoStudioの終了

VideoStudioを終了するには、画面右上の「×」ボタンをクリックするか、「ファイル」メニューから「終了」をクリックします。

「×」ボタンをクリックして終了



# VideoStudio で ビデオ編集

「VideoStudio」は、ビデオ素材を取り込み、それらのビデオクリップを並べ替えたり、タイトルやBGMをつけてひとつのビデオ作品をつくりあげます。



# 「VideoStudio」でビデオ編集

「VideoStudio」は、ビデオ素材を取り込み、それらのビデオクリップを並べ替えたり、タイトルやBGMをつけてひとつのビデオ作品をつくるビデオ編集ソフトです。ビデオクリップとビデオクリップの切り替わりに効果をつけたり、ビデオ画面のなかに別のビデオを再生したりと、本格的ビデオ編集が行えます。

**1** 「VideoStudio」でビデオを編集するには、まず VideoStudio X5 を起動します。初回起動時には、「Corel Guide」が表示されます。右上の「×」ボタンをクリックして閉じます。「Corel Guide」は、30 ページで詳しく説明しています。



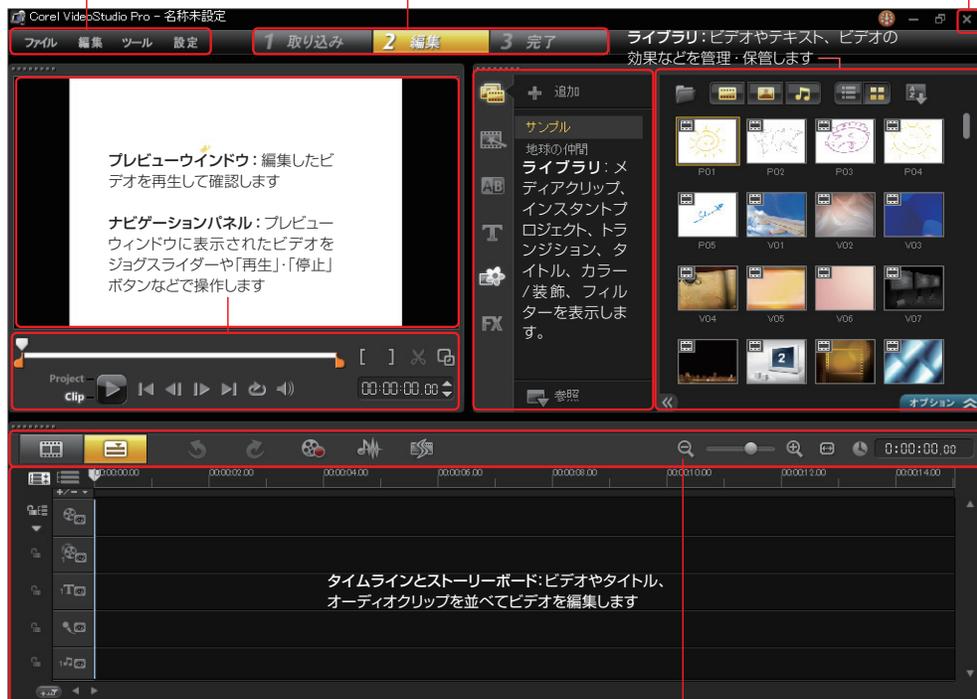
次回以降、「Corel Guide」を表示しないようにするには、ここにチェックを入れます。

**2** VideoStudio の編集画面が表示されます。VideoStudio はステップパネルに表示される3つのステップでビデオを編集します。X5 ではインスタントプロジェクトもライブラリから選択できます。

**メニューバー**：VideoStudio の基本メニューが並んでいます

**ステップパネル**：ビデオ編集を3つのステップで行います

**「閉じる」ボタン**：VideoStudio を終了します



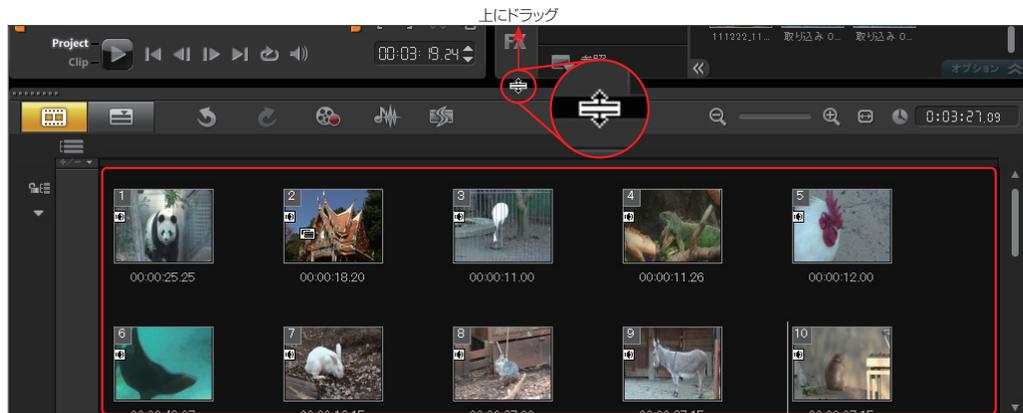
**タイムラインとストーリーボード**：ビデオやタイトル、オーディオクリップを並べてビデオを編集します

ツールバー

# インターフェースのカスタマイズ

VideoStudioのインターフェースは、ユーザーが使いやすいようにカスタマイズすることができます。

**1** VideoStudioのインターフェースは、大きく分けて、「プレビューウィンドウとナビゲーションパネル」と「ライブラリパネル」、「タイムラインパネル」があります。これらのパネルの境にマウスカーソルを移動すると、図のような両矢印のアイコンに変わります。アイコンをドラッグすると、各パネルのサイズを調整することができます。



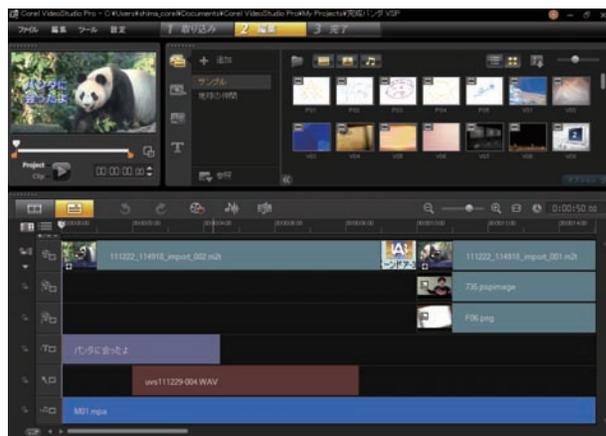
**2** また、各パネルの左上にある「.....」をドラッグすると、パネルを移動でき、自由にレイアウトすることができます。

各パネルのこの部分をドラッグして移動



**ヒント** 編集作業用にカスタマイズしたインターフェースとビデオのプレビュー用にカスタマイズしたインターフェースを「カスタム#1」と「カスタム#2」に登録して、ショートカットキーで瞬時に切り替えることができます。

プレビューパネルを小さくしてタイムラインパネルを大きくし、編集がしやすいようにカスタマイズした例。



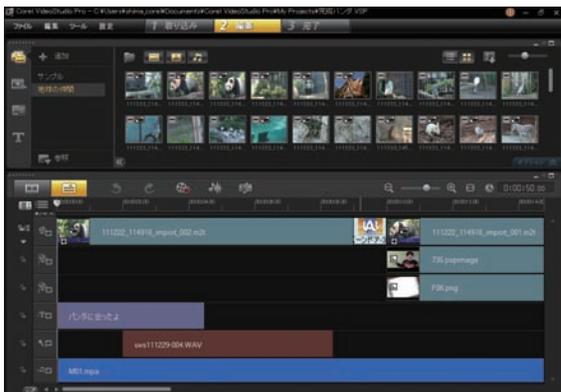
**3** モニタが複数台あれば、メインモニタに「タイムラインパネル」と「ライブラリパネル」を配置し、サブモニタに「プレビューウィンドウ」を割り当てることも可能です。

■サブモニタ



プレビューウィンドウをサブモニタに分離して表示した例。

■メインモニタ



**4** カスタマイズしたインターフェースを保存するには「設定」メニューから「レイアウトの設定」→「保存先」を選択して、「カスタム#1～#3」をクリックします。

**5** カスタマイズしたインターフェースを呼び出すには「設定」メニューから「レイアウトの設定」→「切り替え先」を選択して、「カスタム#1～#3」をクリックします。



※カスタマイズしたインターフェースを元に戻すには、「設定」メニューから「レイアウトの設定」→「切り替え先」→「既定」を選択します。

## ライブラリパネル

ライブラリは、ビデオを編集するときに使用するビデオやミュージック、写真ファイルを管理する場所です。前バージョンまでをお使いの方は操作が異なりますのでご注意ください。

「追加」ボタンをクリックすると、フォルダーが作成されます。フォルダーにわかりやすい名前を付けて各素材を管理します。

「メディア」や「インスタントプロジェクト」、「トラックション」、「タイトル」、「フィルター」などのライブラリを切り替えるときに各ライブラリボタンをクリックします。

「参照」ボタンをクリックすると、「エクスプローラ」ウィンドウが表示されます。ここから必要なファイルを選択してライブラリやタイムラインにドラッグすることができます。

ライブラリにファイルを追加するときをクリックします。

ライブラリの表示方法を切り替えます。左をクリックすると「リスト表示」、右をクリックすると「サムネイル表示」になります。



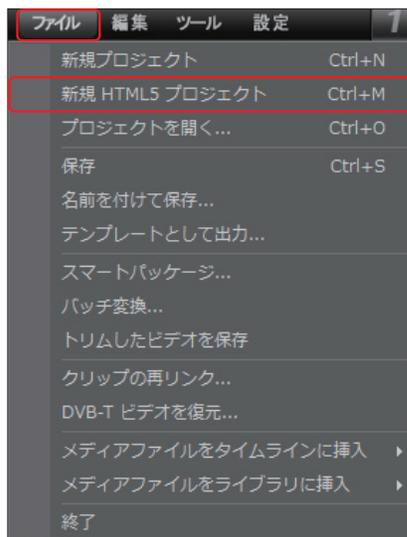
各ボタンをクリックすると左からビデオファイルの非表示、写真ファイルの非表示、音楽ファイルの非表示になります。各ファイルを探すときに他のファイルを非表示にすると、探しやすいです。

## 「ファイル」メニュー

メニューバーの「ファイル」メニューには、VideoStudioを使う上で必要な設定やファイルの保存などの項目が配置されています。ここでは、「ファイル」メニューの各項目について説明します。「ファイル」メニューは、画面の左上にあります。

### ヒント

VideoStudio X5では、新機能の「新規HTML5プロジェクト」が追加されました。これはHTML5で作成するWebサイトにリッチな動画をレイアウトすることができます。インスタントプロジェクトなどを使用してビデオを編集すると、Webサイトでメニューやボタンでビデオの選択や再生ができます。



### 注意

HTML5プロジェクトは通常のビデオ編集とは使える機能が異なるためにライブラリの共通性がなく、それぞれ独立したライブラリ情報を持っています。そのため、通常のプロジェクト編集でライブラリに追加している素材をHTML5プロジェクトで使用する場合は、再読み込みをする必要があります。

## プロジェクトの新規作成

VideoStudioでビデオ編集をはじめするには、プロジェクトファイルを作成します。プロジェクトファイルは、これからつくるビデオの種類やサイズ、クオリティなどの情報を記録しておくファイルです。ビデオクリップをつなげたり、効果やテキスト、オーディオを追加した設定もプロジェクトファイルに記録されます。また、プロジェクトファイルを読み込むと編集したところまでが記録されているので、いつでも続きから編集を加えたり、変更できます。

### 1

VideoStudioを起動すると、自動で新規のプロジェクトが作成されます。そのままビデオ編集作業に入ります。

新しいビデオ編集をはじめたり、別のビデオ編集を行うには、「ファイル」メニューから「新規プロジェクト」をクリックします。



# プロジェクトを開く

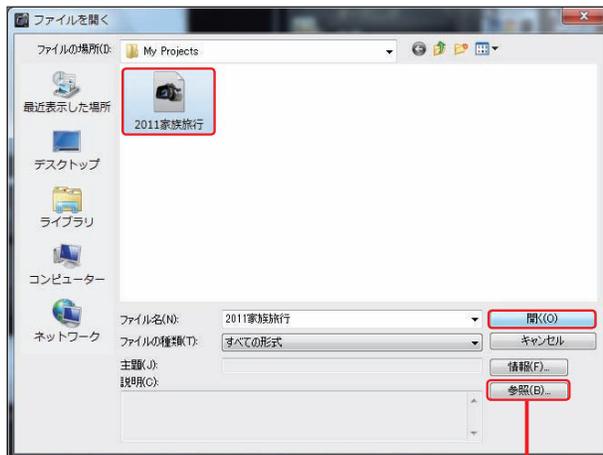
「プロジェクトを開く」は、すでに作成してあるプロジェクトファイルをVideoStudioに読み込んで、編集を加えたり変更することができます。

**1** 保存してあるプロジェクトファイルを開くには、「ファイル」メニューから「プロジェクトを開く」をクリックします。

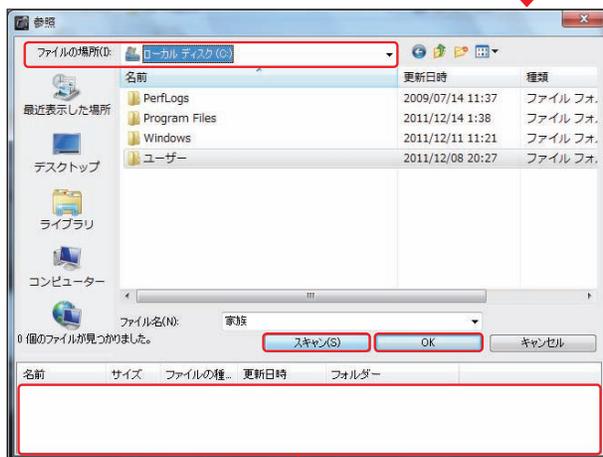


VideoStudioのプロジェクトファイルの拡張子は、「.vsp」です。X5以前のバージョンのプロジェクトファイルも読み込むことができます。

**2** 「ファイルを開く」ダイアログボックスから、使用するプロジェクトファイルを選びます。「開く」ボタンをクリックするとVideoStudioに読み込まれ、保存したときのステップが表示されます。



**3** 作成したプロジェクトファイルをハードディスクのどこに保存したかを忘れた場合は、「参照」ボタンをクリックします。表示される「参照」ダイアログボックスの「ファイルの場所」に、探すドライブやフォルダを選択して「スキャン」ボタンをクリックします。指定したフォルダやドライブに含まれるVideoStudioのプロジェクトファイルが検索されます。必要なファイルを選択して、「OK」ボタンをクリックします。



検索されたVideoStudioのプロジェクトファイルが一覧表示されます

## 「ファイル」メニューのその他の項目

そのほかにも、「ファイル」メニューにはプロジェクトを作成するために必要な項目が用意されています。



### 1 「保存」と「名前を付けて保存」

「保存」は、プロジェクトファイルを保存します。進行中のプロジェクトで「保存」をクリックすると、上書き保存します。

別のプロジェクトファイルとして保存するには「名前を付けて保存」をクリックし、「名前を付けて保存」ダイアログボックスの「ファイル名」に新たなプロジェクト名を入力して、「保存」ボタンをクリックします。

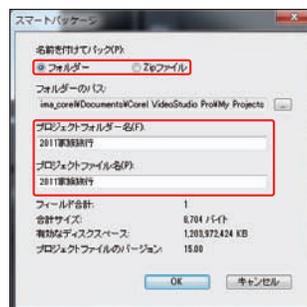
### 2 テンプレートとして出力

作成したプロジェクトをテンプレートとして保存します。これにより同じ構成のビデオを素早く作成することができます。表示される「プロジェクトをテンプレートとして出力」ダイアログボックスで、保存場所やテンプレート名を入力して「OK」ボタンをクリックします。保存したプロジェクトのテンプレートは、「インスタントプロジェクト」ライブラリに表示されます。

### 3 「スマートパッケージ」

制作したプロジェクトファイルは、ビデオ・音楽・写真などの素材一式とともに丸ごとZipファイルに圧縮して保存できます。ビデオ素材や画像がパソコンのいろいろな場所に保存されている場合に一括管理できます。OSのアップグレードやパソコンのリカバリ時などに便利だけでなく、仲間と共同で作品を作成する場合や、会社と自宅の両方で作業したい場合などにも便利です。

表示される「スマートパッケージ」ダイアログボックスでプロジェクトの保管方法を選択して、保管するフォルダー名やファイル名を付けて、「OK」ボタンをクリックします。



※圧縮時に「圧縮を最適化」を使用できますが、これはWinZipの独自機能のため、展開時にはWinZipが必要となります。WinZipがない環境では、展開ができませんのでご注意ください。万一展開ができなくなってしまった場合は、弊社WebページよりWinZipの体験版をインストールすることで、45日間は展開ができるようになります。

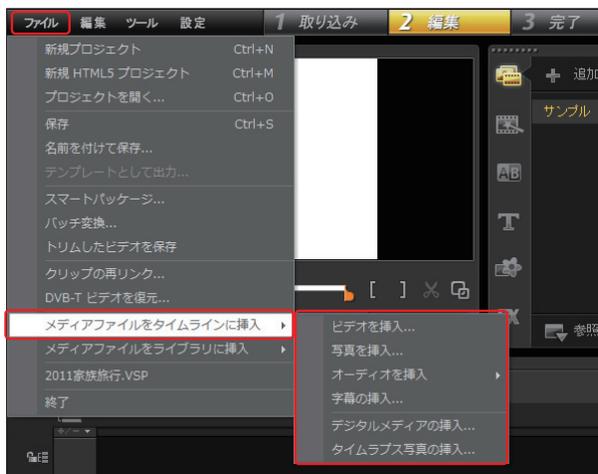
## 4 「クリップの再リンク」

リンクの外れたクリップを再びリンクするときに使用します。

## 5 「メディアファイルをタイムラインに挿入」

タイムラインに既存のビデオファイルや静止画、オーディオファイルを取り込みます。サブメニューから取り込むファイルの種類を選び、表示される各ダイアログボックスからファイルを選んで、「OK」ボタンをクリックします。静止画を取り込むには、「写真を挿入」を選択してください。

また、オーディオファイルは「オーディオを挿入」をクリックして「ボイストラック」、または「ミュージックトラック」のどちらのトラックに取り込むかを選択してから取り込みます。

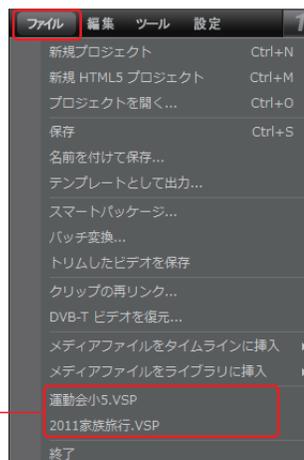


## 6 「メディアファイルをライブラリに挿入」

既存のビデオファイルや静止画、オーディオファイルをメディアライブラリに取り込みます。取り込むファイルの種類をサブメニューから選び、表示されるダイアログボックスからファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックして取り込みます。

## 7 「最近使用したファイル」

保存したプロジェクトファイルは、「ファイル」メニューに表示されます。プロジェクトファイルをクリックするとVideoStudioに読み込まれて、ビデオ編集ができるようになります。



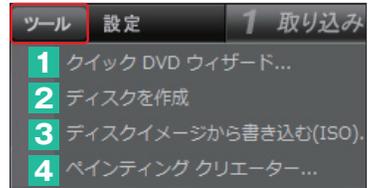
この位置に最近使用したプロジェクトファイルが表示されます

## 8 「終了」

VideoStudioを終了します。保存されていないプロジェクトは、「プロジェクトの変更を保存しますか?」というダイアログが表示されます。そのまま書き出す場合は「はい」を、変更しない場合は「いいえ」を、終了を取り止める場合は「キャンセル」をクリックします。

## 「ツール」メニューの各種項目

「ツール」メニューには、各種ツールを呼び出す項目が用意されています。



### 1 「クイックDVDウィザード」

DVテープの映像を直接DVDに書き込んだり、取り込んだ映像にメニューなどの効果を加えて、手早くDVD作品に仕上げる「クイックDVDウィザード」を起動します。詳しくは、198ページをお読みください。

### 2 「ディスクを作成」

できあがったビデオをDVDやBlu-rayディスクに書き込むときに選択します。「ディスクを作成」画面が表示されるので、そこからメニューなどを作成して、各ディスクに書き込みます。詳しくは、162ページをお読みください。

### 3 「ディスクイメージから書き込む(ISO)」

VideoStudio X5からの新機能です。ISO形式で書き込んだディスクからディスクへ直接コピーします。表示される「ディスクイメージから書き込み」ダイアログボックスで、ソースディスクイメージファイルとコピー先のディスクを選択して、「コピー開始」ボタンをクリックします。

### 4 「ペインティング クリエーター」

ビデオに手書きの文字やイラストを描いたりできる「ペインティング クリエーター」を起動します。文字やイラストをアニメーションにすることもできます。詳しくは、100ページをお読みください。



# 「設定」メニューの各種項目

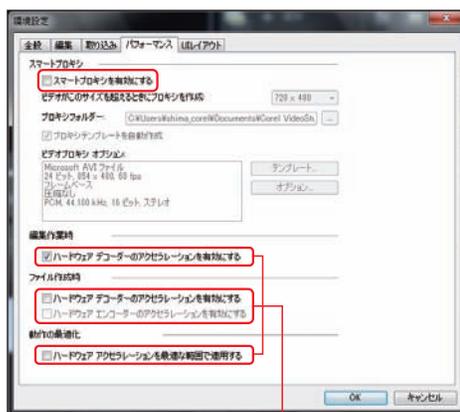
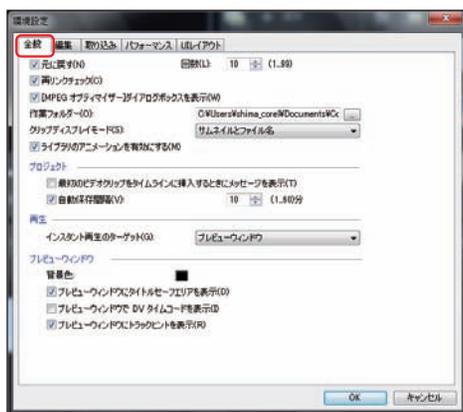
「設定」メニューには、VideoStudioを使う環境を整えたり、使いやすい項目が並んでいます。



## 1 環境設定

環境設定では、VideoStudio全般にわたっての設定を行ないます。

「全般」タブではファイルの管理などについて、「編集」タブではビデオクリップの画質やフェードイン/アウトの時間調整、「取り込み」タブでは音楽CDや静止画のキャプチャ設定、「パフォーマンス」タブではスマートプロキシの設定などが行えます。また、「UIレイアウト」タブでは、カスタマイズしたインターフェースの環境に変更することができます。



「パフォーマンス」タブで、これらにチェックを入れると、ハードウェアデコーダ/エンコーダアクセラレーション機能に対応しているビデオカードを搭載している場合、ビデオの再生がなめらかに行われたり、編集したビデオファイルの作成時間が大幅に向上します。また、「ハードウェアアクセラレーションを最適な範囲で適用する」にチェックを入れると、プログラムが自動的にシステムで使用されているハードウェア支援を検出し、複数のハードウェア支援が搭載されている、最適な設定を行うことができます。

デュアルモニター環境でプレビューウィンドウをサブモニターに配置したり、48ページの2のようにインターフェースをカスタマイズした場合、「設定」メニューから「レイアウトの設定」→「保存先」をクリックし、「カスタム」を選択してカスタマイズした構成を登録します。登録したインターフェースの構成に切り替えるには、「UIレイアウト」タブから変更するカスタム番号にチェックを入れます。

## 2 「プロジェクトのプロパティ」

作成中のプロジェクトについての情報が「プロジェクトのプロパティ」ダイアログボックスに表示されます。プロジェクトファイルの属性やプロジェクトテンプレートの属性などについて詳しく調べられます。

## 3 「60P/50P 編集を有効にする」

VideoStudio X5の新機能です。毎秒60フレームを記録する60Pに対応したビデオカメラで撮影した映像を、そのまま60Pで編集することができます。「60P/50P 編集を有効にする」を選択すると、タイムコードが59カウントの次に1秒になります。

## 4 「ライブラリマネージャー」

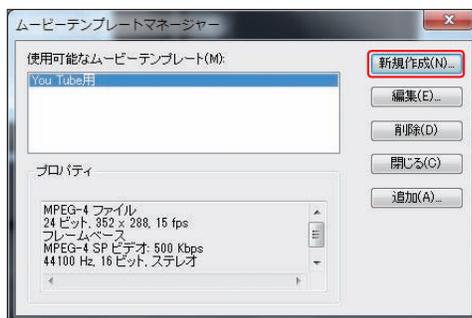
「ライブラリマネージャー」は、メディアライブラリに追加したライブラリを保管・管理する場合に使用します。メディアライブラリで追加したライブラリを選択して、「設定」メニューから「ライブラリマネージャー」→「ライブラリの出力」をクリックすると、ライブラリを保存できます。

保存したライブラリをメディアライブラリに登録するには、「ライブラリマネージャー」→「ライブラリの取り込み」をクリックします。



## 5 「ムービーテンプレートの作成マネージャー」

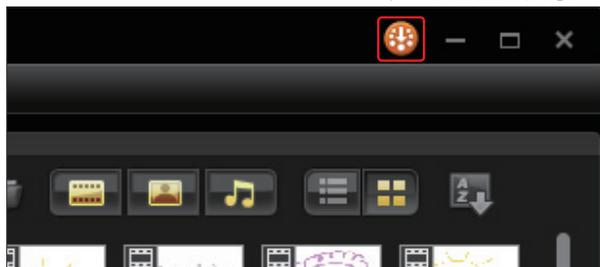
プロジェクトからビデオファイルを作成するのに必要なすべての情報が含まれたテンプレートを作成して、管理します。「新規作成」で新しいカスタムムービーテンプレートを作成したり、「編集」で選択したムービーテンプレートを編集できます。



## ヘルプおよび製品情報

「ヘルプおよび製品情報」ボタン

画面の右上から4番目にある「ヘルプ  
および製品情報」ボタンをクリックする  
と、「Corel Guide」の画面が表示され  
ます。ここでは、VideoStudioの使  
い方やヘルプ、製品登録をはじめ、追  
加機能や製品をマスターするヒントな  
どが用意されています。



はじめにサインインの画面が表示され  
ます。「今すぐ登録」ボタンをクリックし  
て、表示される登録画面でメールアドレス  
と国を選択して「登録」ボタンをク  
リックします。これで「Corel Guide」  
が使用可能になります。



**1 [ホーム]** Corel Guideのホーム画  
面が表示されます。ここから各機能に  
移動できます。



**2 [学習]** VideoStudioの機能や使  
い方をムービーで紹介します。

**3 [追加機能]** VideoStudioに標準  
で搭載されている機能に加え、テンプ  
レートやフィルター、タイトルなどをダ  
ウンロードして追加できます。

**4 [メッセージ]** Corelからのお知ら  
せを表示します。

**5 [製品情報と環境設定]** VideoStudioのバージョン情報の確認やユーザー登録、更新のチェックを行  
う項目が用意されています。

**6 [ヘルプの起動]** Webブラウザが起動して、VideoStudioのヘルプページが表示されます。

**注意** ここで紹介しているオンライン機能を使用する場合には、インターネット接続環境が必要になります。

# 取り込み

このステップではAVCHDカメラやビデオデッキで録画した映像や作成したディスクからの映像をVideoStudioに取り込みます。



## 映像や静止画を取り込む

VideoStudioではビデオ編集に使用する素材をHDVカメラやDVカメラ、ビデオデッキからの映像、DVDディスクなどから取り込みます。

**1** 映像を取り込むには「取り込み」ステップをクリックします。



**2** 「取り込み」画面が表示されます。オプションパネルから取り込む素材に合わせて各取り込みボタンをクリックします。



**a** 「**ビデオの取り込み**」DVカメラの映像やビデオテープ、テレビ番組を取り込むときに選択します(→P.36へ)。

**b** 「**DVテープをスキャン**」DVテープをスキャンして映像を確認し、必要な映像を取り込みます(→P.33へ)。

**c** 「**デジタルメディアの取り込み**」DVDディスクやハードディスク内にあるDVD-VideoやDVD-VRファイルを取り込んだり、AVCHD対応カメラから取り込むときに選択します(→P.39へ)。

**d** 「**ストップモーション**」デジタルカメラで撮影した静止画などを連続して再生するストップモーションアニメ(コマ撮り)を作成するときに選択します(→P.42へ)。

**e** 「**画面の録画**」パソコンのモニタに表示されている画面を録画します。(→P.44へ)。

# DVテープをスキャン

## DVテープからの取り込み設定

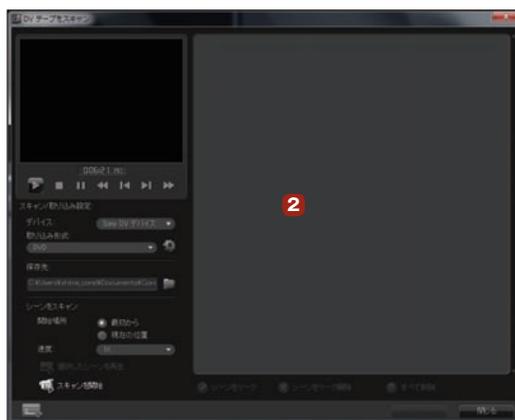
「DVテープをスキャン」は、取り込むDVテープの内容を一度スキャンして、インデックスを作成します。そこから必要な映像をピックアップして、VideoStudioに取り込みます。

※「DVテープをスキャン」ではDV規格の映像のみ取り込み、HDV規格の映像は取り込みません。

**1** DVカメラとパソコンをDVケーブルやUSBケーブルで接続して、DVカメラを「再生」モードにします。「DVテープをスキャン」ボタンをクリックします。



**2** 「DVテープをスキャン」画面が表示されます。ここでDVテープのスキャンと取り込み設定を行います。



**3** 「デバイス」には、接続したDVカメラのドライバが表示されます。変更する場合は「▼」ボタンをクリックします。

**4** 「取り込み形式」ではDVテープからの映像をどのビデオ形式のファイルで取り組むかを設定します。「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューからビデオ形式を選びます。

**5** 「シーンをスキャン」では、DVテープのどの位置からテープをスキャンするかを設定します。DVテープの先頭からスキャンするには「最初から」を、DVテープの途中からスキャンするには、ナビゲーションパネルでDVカメラを制御してスキャンする位置に移動し、「現在の位置」にチェックを入れます。

**6** DVテープは倍速でスキャンできます。「速度」の「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューからスキャン速度を選択します。



**TIPS** スキャン速度を上げると短時間でDVテープをスキャンできますが、インデックスを作成する精度は落ちます。

**7** キャプチャ形式を調整する場合は、「取り込みオプションを表示」ボタンをクリックします。表示される「ビデオのプロパティ」ダイアログボックスで「現在のプロファイル」の「▼」ボタンをクリックし、表示されるメニューから取り込み設定を選択して「OK」ボタンをクリックします。各プロファイルの詳細は、下のボックスに表示されます。



## DVテープから必要なシーンを選ぶ

**1** 「スキャンを開始」ボタンをクリックします。「最初から」にチェックを入れた場合は、自動でDVテープが巻き戻されてからスキャンがはじまります。「現在の位置」にチェックを入れた場合は、そこからスキャンがはじまります。「最初から」にチェックを入れた場合は、テープの最後までスキャンすると自動で停止します。「現在の位置」にチェックを入れた場合は、スキャンを終了する位置で「スキャンを停止」ボタンをクリックします。



**2** スキャンされた内容はシーンごとに分かれてリストに表示されます。不要な映像を取り込まないようにするには、いらないシーンをクリックして、「シーンをマーク解除」ボタンをクリックします。再び取り込みたい場合はそのシーンをクリックして「シーンをマーク」ボタンをクリックします。すべて取り込まない場合は、「すべて削除」ボタンをクリックします。「次へ」ボタンをクリックします。

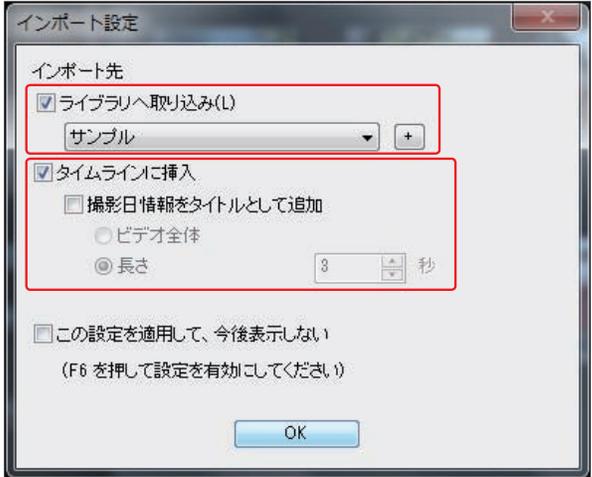


**3** DVカメラが制御され、ビデオが取り込まれます。



**4** 「インポート設定」ダイアログボックスが表示されます。「ライブラリへ取り込み」にチェックを入れてると、メディアライブラリに登録されます。「タイムラインに挿入」にチェックを入れると、取り込んだビデオはタイムラインにも配置されます。

「撮影日情報をタイトルとして追加」にチェックを入れると、ビデオに撮影日時を表示することができます。「ビデオ全体」にチェックを入れるとビデオの全編に、「長さ」にチェックを入れると設定した秒数だけ日付と時間が表示されます。設定ができたなら、「OK」ボタンをクリックします。



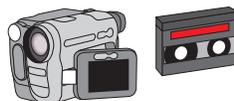
**5** 取り込んだビデオはビデオクリップとして、メディアライブラリに表示されます。「インポート設定」ダイアログボックスで「タイムラインに挿入」にチェックを入れた場合は、タイムラインにも配置されます。



## ビデオの取り込み

DVテープ型やハードディスク型ビデオカメラの映像、ハードディスクレコーダー、ビデオテープから映像を取り込むには、「ビデオの取り込み」ボタンをクリックします。

DVカメラは、DVケーブルでパソコンのIEEE1394 (DV) 端子に接続します。USBケーブルでビデオカメラとパソコンを接続する機種もあります。Hi-8などのアナログビデオカメラやハードディスクレコーダー、ビデオデッキは、AVケーブルでパソコンのAV入力端子に接続します。



「DVテープ」型ビデオカメラ



「ハードディスク」型ビデオカメラ

### アナログビデオ機器からの取り込み設定

**1** 「ビデオの取り込み」ボタンをクリックします。



**2** 「取り込み」オプションパネルが表示されます。「長さ」では、ビデオ機器やテレビからキャプチャする時間を設定できます。時間の単位の数字をクリックして直接数字を入力するか、「▲」「▼」ボタンをクリックして時間を合わせます。指定した時間になるとビデオの取り込みが停止します。

**3** 「ソース」には、パソコンに搭載(または接続)されたキャプチャ機器のドライバが表示されます。



**4** 「形式」では、キャプチャするビデオを保存するファイル形式を「▼」をクリックして選びます。アナログキャプチャの場合、「DV」以外が選択可能です。ただし、キャプチャボードの仕様によっては選択できない場合があります。

**5** 「シーンごとに分割」にチェックを入れると、映像の異なる場所を自動で判断して別のビデオクリップとして取り込まれます。

**6** 「オプション」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「取り込みオプション」をクリックします。表示される「取り込みオプション」ダイアログボックスで取り込みの設定ができます。設定内容は35ページの**4**をお読みください。

## ビデオの取り込みの開始

**1** アナログビデオ機器からビデオを取り込む場合は、ビデオ機器を操作して録画を開始するところで停止します。「ビデオの取り込み」ボタンをクリックして、ビデオ機器の「再生」ボタンを押します。ビデオの取り込みが開始されます。



**2** 取り込みを停止するには、「取り込みを停止」ボタンをクリックするか、キーボードの「ESC」キーを押します。ビデオ機器の「停止」ボタンを押します。



**3** ビデオ機器の映像がビデオクリップとして取り込まれ、メディアライブラリに登録されます。「情報欄」には、取り込んだビデオファイル名やビデオ形式、あとどのくらいの時間を取り込めるかなどが表示されます。



**4** DVカメラやDVDディスクからビデオを取り込む場合は、「閉じる」ボタンをクリックして、「取り込み」オプションパネルを閉じます。



# 静止画の取り込み

## 静止画を取り込む

ビデオテープやテレビ番組、DVテープの映像から1カットだけをイメージファイルとして取り込むことができます。取り込んだファイルは、印刷してDVDケースの表紙などに利用できます。

**1** ビデオ機器やDVカメラを操作して、静止画として保存したいフレームを表示し、「一時停止」ボタンをクリックします。プレビューウィンドウで映像を確認します。

**2** 「取り込み」オプションパネルで「静止画として保存」ボタンをクリックします。



**3** 静止画が取り込まれ、メディアライブラリに登録されます。静止画はデフォルトでは、BMP形式のファイルになります。



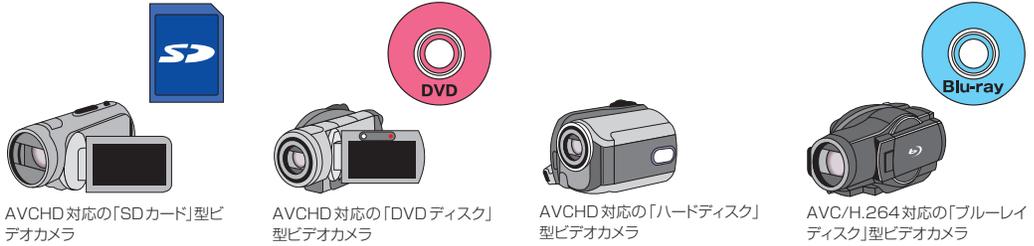
**TIPS**

取り込む静止画のファイル形式は標準ではBMPですが、「設定」メニューの「環境設定」→「取り込み」タブの「静止画形式」で、「JPEG」を選ぶこともできます。

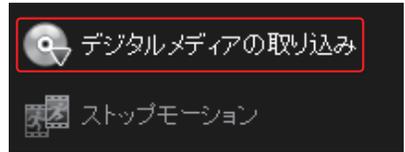


# DVDやAVCHDからビデオを取り込む

録画したDVDディスクの映像を取り込みます。また、AVCHD規格に対応したDVDディスクタイプやSDカードタイプ、ハードディスクタイプのデジタルビデオカメラから映像を取り込むことができます。ハイビジョン映像を編集してDVDに書き込むことができます。



**1** ビデオカメラをパソコンに接続したり、DVD / Blu-rayディスクやSDカードをパソコンにセットして、「デジタルメディアの取り込み」ボタンをクリックします。



**2** 「フォルダーの参照」ダイアログボックスから「VIDEO\_TS」や「DVD\_RTAV」、「AVCHD」、「BDMV」フォルダーを選択して、「OK」ボタンをクリックします。



**TIPS**

DVDディスクから映像を取り込むには、「ファイル」メニューから「メディアファイルをライブラリに挿入」→「デジタルメディアの挿入」を選択することもできます。また、取り込むビデオを直接タイムラインに配置するには、「ファイル」メニューから「メディアファイルをタイムラインに挿入」→「デジタルメディアの挿入」を選択します。



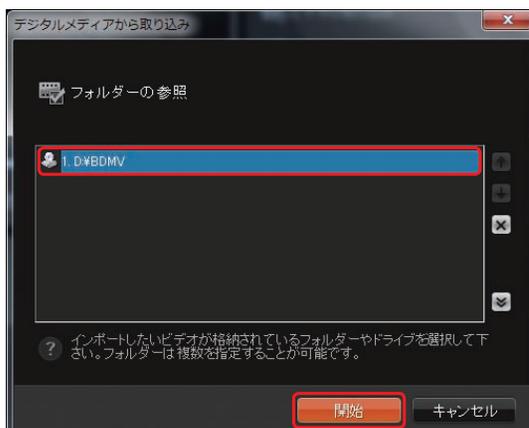
**注意**

ビデオカメラの機種によっては、パソコンに接続したときに「リムーバブルディスク」や「DVDドライブ」として認識される場合があります。

## ▶ VideoStudio 編 STEP2 取り込み

**3** 「デジタルメディアから取り込み」ダイアログボックスが表示されます。

映像が保存されているフォルダーを選択して、「開始」ボタンをクリックします。

**4** 映像がビデオクリップとして表示されます。すべてのビデオクリップを取り込むには「すべてのクリップを選択」ボタンをクリックします。一部のビデオクリップだけ取り込むには、取り込むビデオクリップをクリックしてチェックを入れます。

「すべてのクリップを選択」ボタン

**注意**

市販の著作権が保護されているDVDビデオやCPRM映像のディスクなどからは、映像を追加することはできません。

**5** 選択したビデオクリップには左上にチェックマークが付きます。ビデオクリップの内容を確認するにはビデオクリップを選択して「クリップのプレビュー」ボタンをクリックします。プレビューウィンドウが表示され、ビデオが再生されます。取り込む映像が決まったら「取り込み開始」ボタンをクリックします。



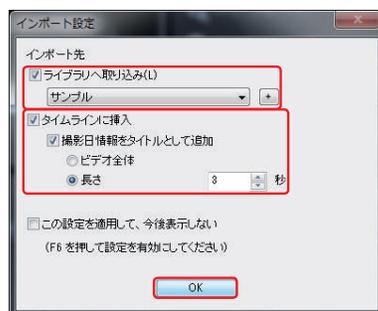
**6** ビデオが取り込まれるので、しばらく待ちます。

**注意**

DVD-VR形式のDVD-RWディスクの場合は、読み込みに時間がかかる場合があります。



**7** 「インポート設定」ダイアログボックスが表示されます。「ライブラリへ取り込み」にチェックを入れると、メディアライブラリに表示されます。「タイムラインに挿入」にチェックを入れると、取り込んだビデオはタイムラインに配置されます。「撮影日情報をタイトルとして追加」にチェックを入れると、対応したカメラの場合は、ビデオに撮影日時を表示することができます。「ビデオ全体」にチェックを入れるとビデオの全編に、「長さ」にチェックを入れると設定した秒数だけ日付と時間が表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、映像が取り込まれます。



# ストップモーションアニメーション

「ストップモーションアニメーション」は、ビデオカメラやデジタルカメラを使ってコマ撮りした映像を並べてアニメーションに仕上げます。1コマを何フレーム分にするかなどの設定もでき、楽しいアニメーションが作成できます。

**1** 「ストップモーションアニメーション」を作成するには、「取り込み」ステップをクリックします。ビデオカメラかデジタルカメラをパソコンに接続して、オプションパネルの「取り込み」タブにある「ストップモーション」ボタンをクリックします。



**2** 「ストップモーション」ウィンドウが表示されます。アニメーションの名前を「プロジェクト名」に入力して、「保存先」を確認します。メディアライブラリに新たなフォルダーを作成して保存するには、「新規フォルダーを作成」ボタンをクリックして、表示されるダイアログボックスでフォルダー名を入力します。「イメージの長さ」には1コマを何フレーム分にするかを設定します。ビデオでは1秒間に30フレーム再生します。「取り込み解像度」では、映像の画質を設定します。



**3** ビデオカメラやデジタルカメラでアニメーションにするオブジェを映し、「イメージを取り込み」ボタンをクリックします。

## TIPS

デジタルカメラでコマ撮りした連続写真を使ってアニメーションを作成するには、「取り込み」ボタンをクリックします。表示される「静止画を挿入」ダイアログボックスで、使用する写真を「Ctrl」キーを押しながら選択し、「開く」ボタンをクリックします。取り込まれた写真は「ストップモーションタイムライン」に配置されます。



※「イメージを取り込み」が使えるのは、ビデオカメラではIEEE1394で接続できるDVまたはHDVカメラ、およびWebカメラです。また、Canonのデジタル一眼レフカメラではUSB接続するとDVカメラと同様に撮影することができます。

**4** 1コマ目が取り込まれて、ストップモーションタイムラインに表示されます。2コマ目を撮影するためにオブジェを少し動かします。プレビューウィンドウには1コマ目の映像が実像として表示されて、今の映像が薄く表示されるので、どのくらい動かしたかを確認しながらオブジェを動かせます。



**TIPS** 「オニオンスキン」のスライダーをドラッグすると、ひとつ前に撮影した映像と今の映像の透過具合を調整することができます。

**5** 同様にしてオブジェを少しずつ動かしながら「イメージを取り込み」ボタンをクリックして撮影します。できあがったら「保存」ボタンをクリックしてアニメーションを保存し、「終了」ボタンをクリックします。

**ヒント** インターバル撮影機能のないデジタルカメラやビデオカメラでも VideoStudio を使用すれば、一定の時間間隔で撮影することができます。「自動取り込み」の「自動取り込みを有効」ボタンをクリックして、「時間を設定」ボタンをクリックします。表示される「取り込み設定」ダイアログボックスで取り込み頻度を設定します。「自動取り込みを開始」ボタンをクリックして撮影をはじめます。



**6** 保存したアニメーションは、指定したフォルダーに登録されます。アニメーションクリップをタイムラインに配置して完成です。

**TIPS** 作成したストップモーションアニメーションは、再編集することができます。ライブラリやタイムラインに配置したアニメーションクリップを右クリックして、表示されるメニューから「ストップモーションの編集」をクリックします。すると、「ストップモーション」ウィンドウが表示されます。ここでフレームのコピーや削除、入れ替えなどの編集ができます。



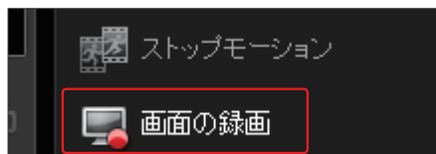
■ストップモーションアニメーションの作成例



## デスクトップの動作を録画する

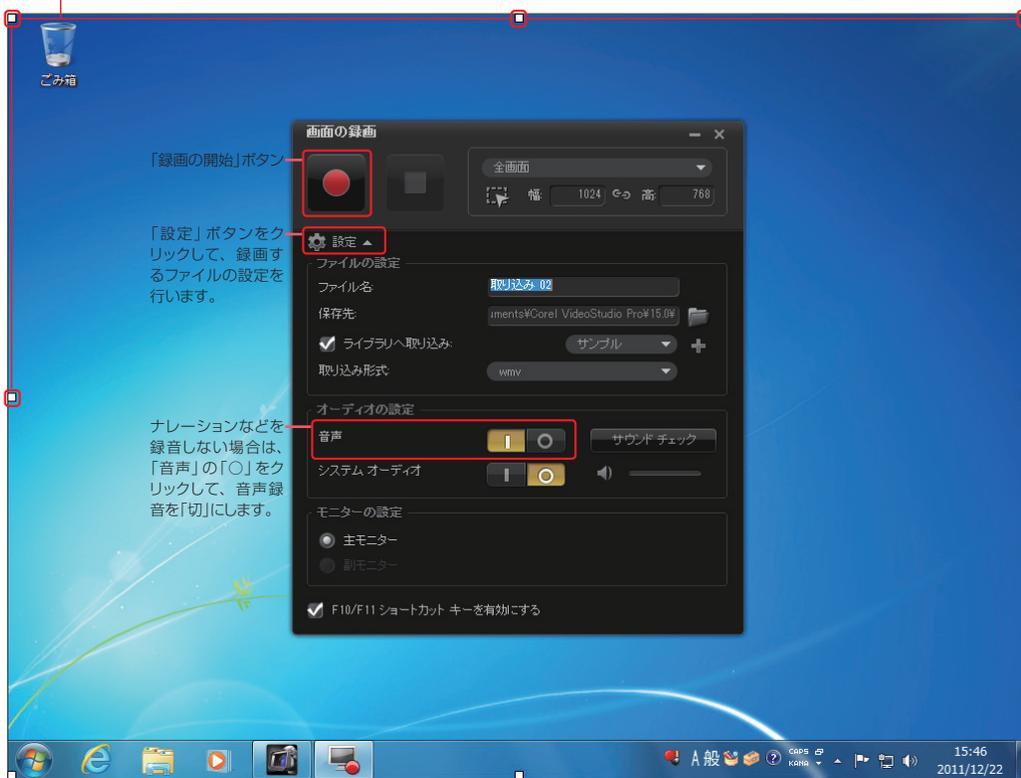
「画面の録画」は、デスクトップの動作を動画にする機能です。Windowsの操作やアプリケーションの操作方法などをナレーション付きの動画にすることができます。

**1** デスクトップ画面を録画するには、「取り込み」オプションパネルの「画面を録画」ボタンをクリックします。



**2** Video Studioが最小化され、「画面の録画」ウインドウが表示されます。デフォルトでは、デスクトップの全画面を録画します。アプリケーションのウインドウや画面の一部を録画するには、画面の端にある四角いポインタをドラッグして調整します。「録画の開始」ボタンをクリックします。

画面の隅にある四角いポインタをドラッグして、録画する範囲を調整します。



**3** 「F11」キーを押すか、タスクバーの「録画」アイコンをクリックして「画面の録画」ウインドウを表示して、「録画の停止」ボタンをクリックします。録画が終了して、ビデオが取り込まれます。取り込んだビデオファイルはメディアライブラリに表示され、プロジェクトを保存しているフォルダーに収録されます。

STEP 3

# 編集

このステップではビデオクリップの順番を入れ替えたりトリミングやカットをして、ビデオ作品を仕上げていきます。



# ストーリーボードとタイムライン

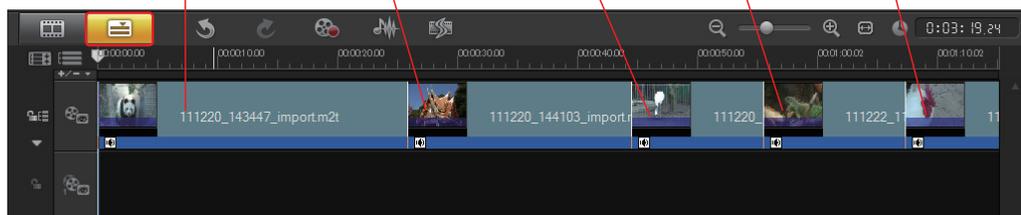
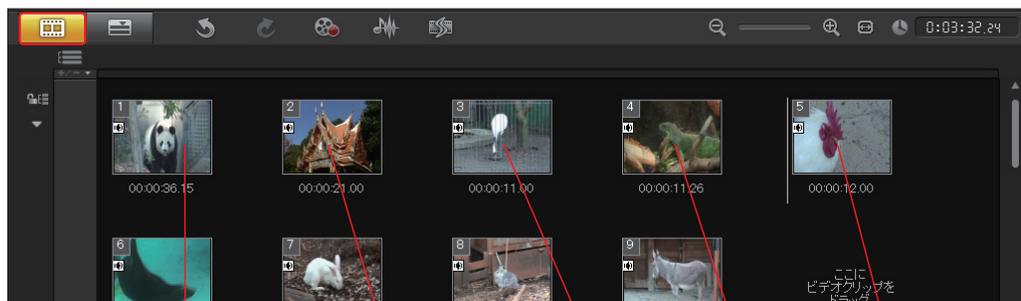
編集ステップでは、DVカメラやAVCHDカメラから取り込んだ映像や読み込んだビデオファイルをビデオトラックで編集します。ビデオクリップの順番を入れ替えたり、いらぬ映像をカットしたり、効果をつけて作品に仕上げていきます。

- 1** ビデオクリップを編集するには、「編集」ステップをクリックします。



- 2** VideoStudioのビデオクリップを編集する「ビデオトラック」には「ストーリーボード」と「タイムライン」があります。編集する内容に合わせて2つのモードを切り替えて使うと効果的です。

**ストーリーボード**: ビデオをひとつのサムネイルで表わします。



**タイムライン**: ビデオを時間の長さで表示します。

- 3** 「ストーリーボード」と「タイムライン」はいつでも切り替えが可能です。「ストーリーボードビュー」ボタンか「タイムラインビュー」ボタンをクリックして、モードを切り替えます。ボタンが黄色で表示されているモードが、現在使用中のビデオトラックです。



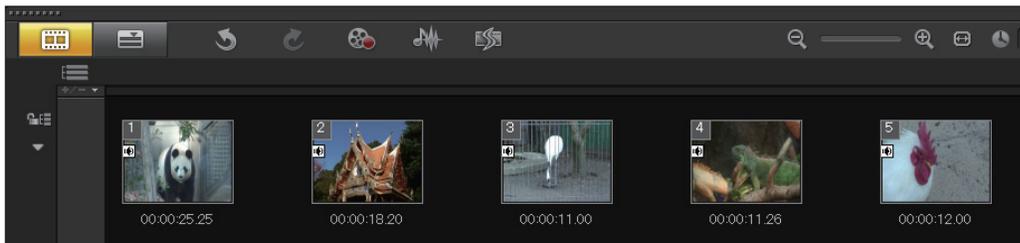
「ストーリーボードビュー」ボタン 「タイムラインビュー」ボタン

# ストーリーボード

ストーリーボードはビデオクリップ単位で編集するタイプのビデオトラックです。ビデオクリップが再生順に並ぶのでプロジェクト全体が把握しやすく、作品の流れが一目でわかります。

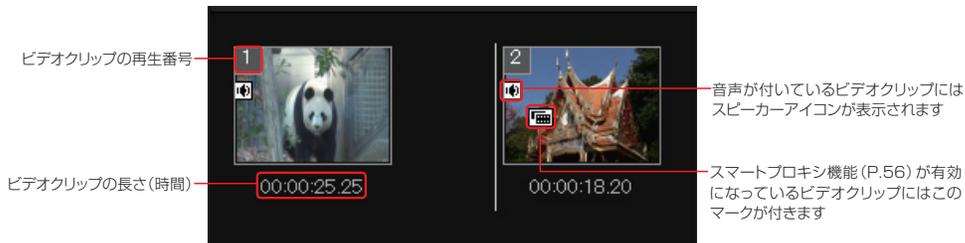
1

DVカメラやアナログビデオなどからキャプチャしたファイルおよび読み込んだファイルは、ビデオクリップとしてストーリーボードに配置されます。



2

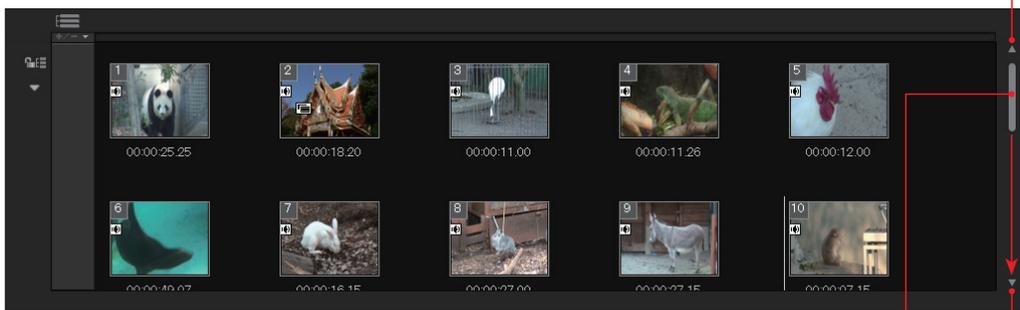
ビデオクリップには再生される順番に番号が振られ、音声が付いているビデオクリップにはスピーカーアイコンが表示されます。ビデオクリップの下には長さ(時間)が表示されます。



3

いくつかのビデオクリップをストーリーボードに並べると画面から見えなくなります。そんなときはスクロールバーか「スクロールアップ/ダウン」ボタンを使って、画面では見えないビデオクリップを表示します。

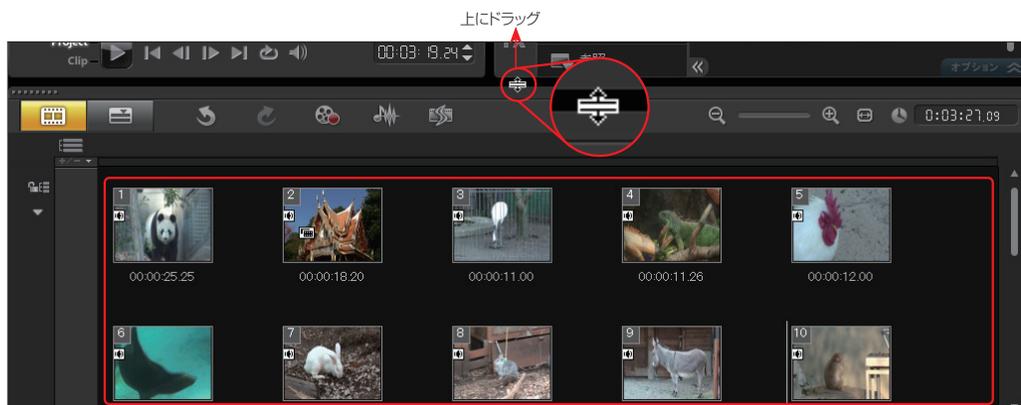
「スクロールアップ」ボタン



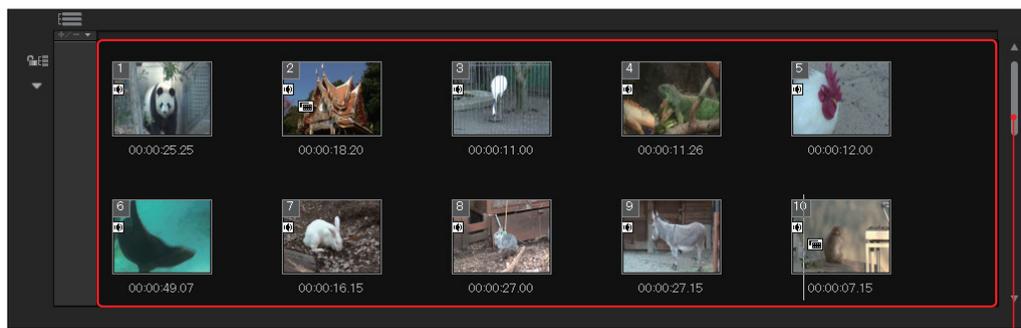
スクロールバー  
下に移動すると画面に表示されていないビデオクリップを表示できます

「スクロール」ダウンボタン

**4** たくさんのビデオクリップを一度に表示するには、ストーリーボードパネルの境界線にマウスカーソルを移動します。マウスカーソルの形が変わるので、境界線を上にドラッグします。



**5** ストーリーボードパネルのスペースが広がり、2列目のストーリーボードが表示されます。右端のスライダーをドラッグすると、隠れているストーリーボードが表示されます。



ここを下にドラッグして、隠れているストーリーボードを表示

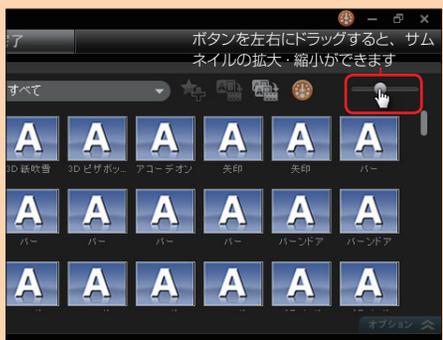
**ヒント**

ライブラリのスペースを広げるには、ライブラリパネルの左端にマウスカーソルを移動して左にドラッグします。また、ライブラリナビゲーションパネルを非表示にすることもできます。

「トランジション」ライブラリや「FX」ライブラリでは、サムネイルを拡大・縮小表示することができます。一度にたくさんのサムネイルを見るには縮小、効果を詳しく見るには拡大表示にします。



ここをクリックすると、ライブラリナビゲーションパネルを非表示にできます



## ビデオファイルの追加

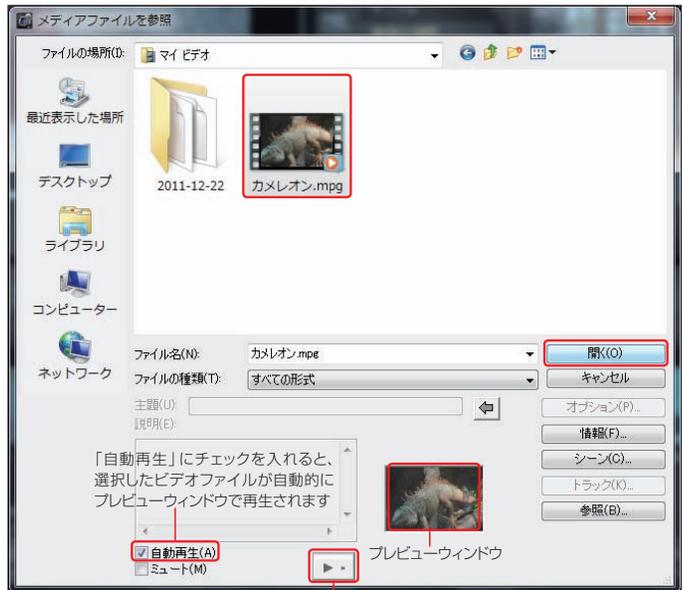
**1** ハードディスクに保存されているビデオファイルを追加するには、「メディアファイルを取り込み」ボタンをクリックします。



**2** 表示される「メディアファイルを参照」ダイアログボックスでビデオファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

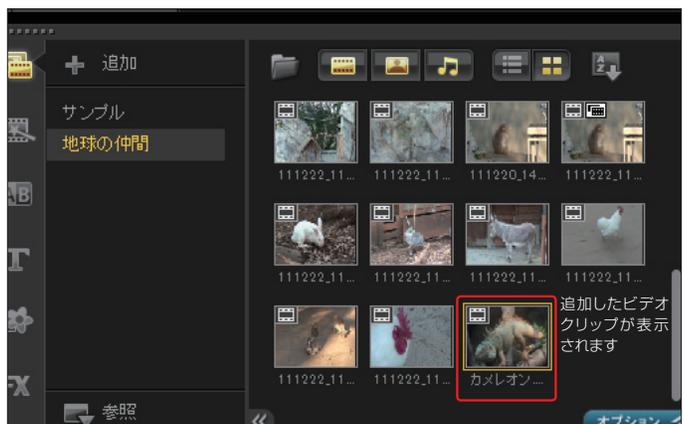
### TIPS

VideoStudio X5では、3Dファイルを読み込むことができます。読み込んだ3Dファイルは他のビデオクリップと同様に編集できます。



「再生」ボタン  
選択したビデオファイルを再生します

**3** メディアライブラリにビデオクリップが追加されます。



追加したビデオクリップが表示されます

## ストーリーボードからビデオファイルを追加

ビデオファイルは、ストーリーボード上からも追加できます。

**1** ストーリーボード上で右クリックし、表示されるメニューから「ビデオを挿入」をクリックします。

**2** 「ビデオファイルを開く」ダイアログボックスでビデオファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。ストーリーボードにビデオクリップが追加されます。



## ライブラリからビデオクリップを追加

メディアライブラリに追加したビデオクリップをストーリーボードに追加します。

メディアライブラリのビデオクリップをストーリーボードの挿入したい位置にドラッグします。すると、ストーリーボードにビデオクリップが追加されます。



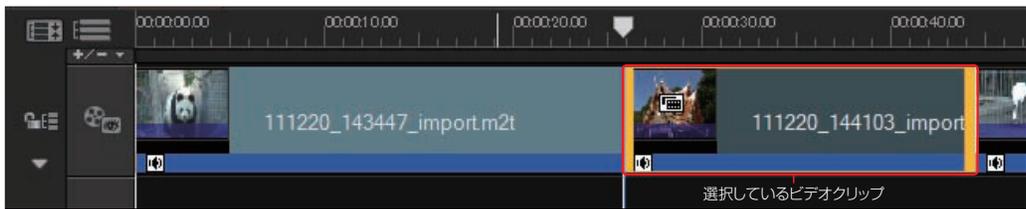
## タイムライン

タイムラインは、ビデオクリップをタイムコードで表示して編集するタイプのビデオトラックです。タイムコードで表示するので1コマ単位で編集でき、正確なビデオ編集が可能です。

**1** 「タイムラインビュー」ボタンをクリックすると、タイムラインが表示されます。ビデオクリップが時間の長さで表示されます。



**2** 現在選択しているビデオクリップは黄色の枠で囲まれます。ビデオクリップはプレビューウィンドウに表示され、「再生」ボタンなどで内容を確認できます。



**3** オーバーレイトラック(→P.93)を追加した場合などは、ミュージックトラックやボイストラックが画面から隠れてしまいます。そんなときは「すべての可視トラックを表示」ボタンをクリックして、タイムラインのスペースを広げます。また、「すべての可視トラックを表示」ボタンをクリックすると、元のサイズに戻ります。



**4** ルーラパネルには、タイムコードが表示されます。「ズーム倍率」ボタンや「プロジェクトをタイムラインに合わせる」ボタンなどを使って、ビデオクリップを表示する間隔を設定します。



## タイムラインにビデオクリップを追加

タイムラインにビデオクリップを追加するには、ストーリーボードと同じようにします。

**1** 新しくビデオクリップを追加するには、「メディアファイルを取り込み」ボタンをクリックします。表示される「メディアファイルを参照」ダイアログボックスでビデオファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。するとメディアライブラリにビデオクリップが追加されます。

**2** タイムライン上からもビデオファイルを追加できます。タイムラインを右クリックして、表示されるメニューから「ビデオを挿入」をクリックします。「ビデオファイルを開く」ダイアログボックスでビデオファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。すると、タイムラインに配置されたビデオクリップの最後にビデオファイルが追加されます。

**3** メディアライブラリに登録してあるビデオクリップをタイムラインに追加できます。メディアライブラリのビデオクリップをタイムラインの挿入したい位置にドラッグします。タイムラインにビデオクリップが追加されます。

### ヒント

VideoStudio X5では、オーバーレイトラックを20本まで追加できるようになりました。これによりビデオトラックとあわせて最大21本のトラックを使用でき、多彩な映像効果が表現可能になりました。オーバーレイトラックの追加方法につきましては、97ページをお読みください。



### TIPS

タイムラインでのビデオクリップの表示方法は3種類あります。「設定」メニューの「環境設定」から「環境設定」ダイアログボックスを開き、「全般」タブの「クリップディスプレイモード」で表示方法を変更できます。

### TIPS

大型モニターを使用している場合は、ビデオクリップをドラッグするのがたいへんです。そんなときは、ライブラリのビデオクリップを右クリックして、表示されるメニューから「挿入先」→「ビデオトラック」を選択すると、ビデオトラックにクリップが配置されます。



# ビデオクリップの移動と削除

## ビデオクリップの移動

ビデオクリップの再生順序を入れ替えます。

- 1 移動したいビデオクリップを選択します。移動したい位置のビデオクリップとビデオクリップの間にドラッグします。

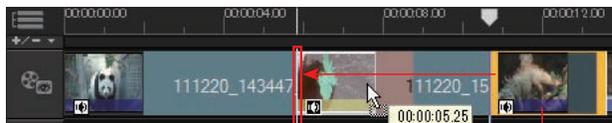
ストーリーボード



移動位置に白線が表示されます

移動したいビデオクリップをドラッグ

タイムライン

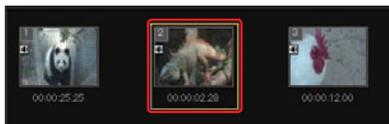


移動位置に白線が表示されます

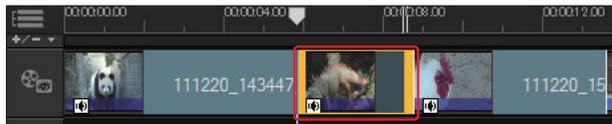
移動したいビデオクリップをドラッグ

- 2 ビデオクリップの並び順が変わります。

ストーリーボード



タイムライン



## ビデオクリップの削除

使用しないビデオクリップを削除します。削除したいビデオクリップを右クリックして、表示されるメニューから「削除」をクリックします。また、「Delete」キーを押しても削除できます。



ストーリーボード



タイムライン

**TIPS** ビデオクリップを間違えて消したり、やり直したいときは「Ctrl」+「Z」キーで元に戻します。

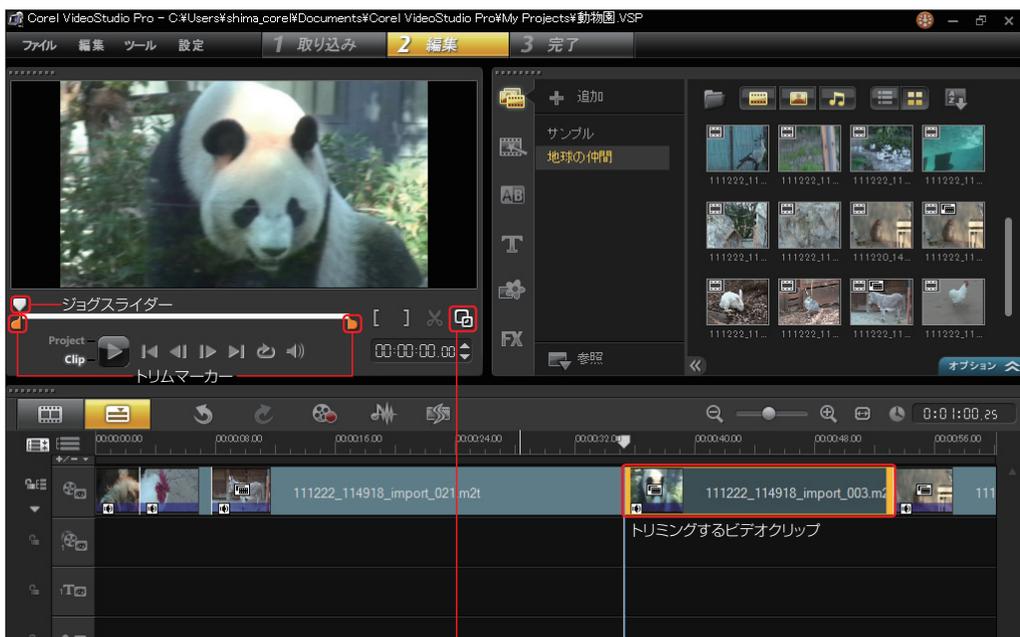
# ビデオクリップのトリミング

DVカメラから取り込んだ映像やビデオファイルのいらぬ部分を取り除きます。ビデオクリップの必要な部分だけにすることを「トリミング」といいます。



1

タイムラインかストーリーボードからトリミングするビデオクリップをクリックします。ビデオクリップがプレビューウィンドウに表示されます。



「拡大」ボタンをクリックすると、プレビューパネルが全画面表示に切り替わり、トリミングがしやすくなります。

「縮小」ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。

ヒント

メディアライブラリにあるビデオクリップをダブルクリックすると、「ビデオクリップのトリム」ウィンドウが表示されます。ここでトリミングしてから、タイムラインやストーリーボードにドラッグして配置することができます。トリミングはプレビューウィンドウでのトリミングと同じように行います。



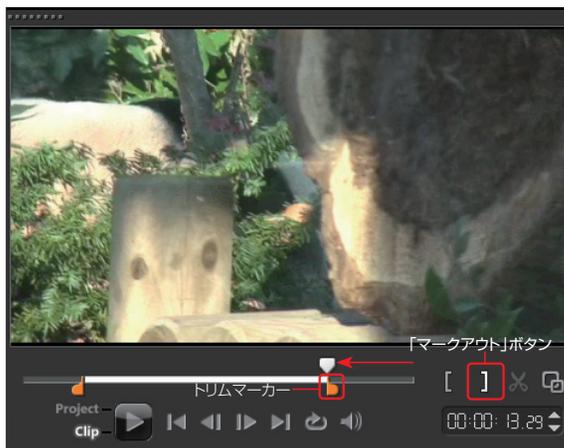
**2** プレビューウィンドウでビデオクリップを確認しながら、必要なビデオクリップの位置までトリムマーカーをドラッグします。

または、ジョグスライダーを移動して、「マークイン」ボタンをクリックします。



**3** 同じようにビデオクリップの必要な部分の終わりまでもうひとつのトリムマーカーをドラッグします。

または、ジョグスライダーを移動して、「マークアウト」ボタンをクリックします。



**4** トリミングされたビデオクリップを再生して確認します。「再生」ボタンをクリックします。



**5** トリミング位置を調整するには、もう一度トリムマーカをドラッグします。

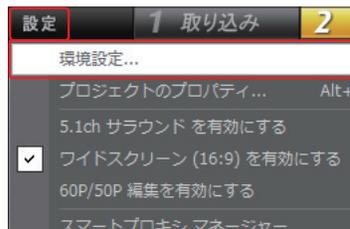
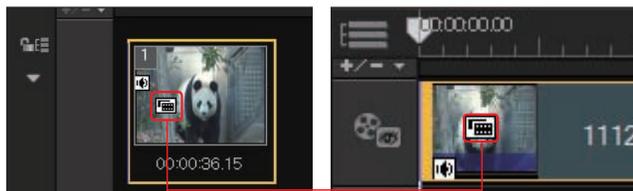
**TIPS**

タイムライン上でもビデオクリップのトリミングができます。ビデオクリップの両端に表示されている黄色の境界線をドラッグしてトリミングします。マウスポインタが両矢印の状態でのトリミングができます。

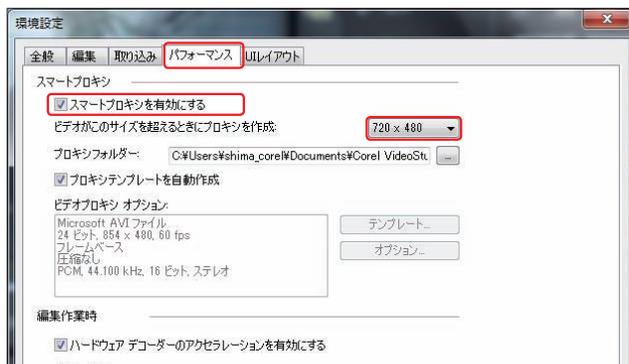


## スマートプロキシ機能

スマートプロキシは、AVCHDカメラなどからフルサイズで取り込んだ大容量のビデオクリップを、容量の小さい編集用のビデオクリップに変換してスムーズにビデオ編集を行なえるようにする機能です。



**1** 「設定」メニューの「環境設定」をクリックします。表示される「環境設定」ダイアログボックスの「パフォーマンス」タブをクリックします。標準で「スマートプロキシを有効にする」にチェックが入っています。デフォルトでは「720×480」ピクセル以上のビデオクリップを320×240ピクセルの簡易ビデオクリップに変換する設定になっています。



**2** AVCHDカメラから取り込んだビデオクリップをタイムライン上に配置すると、指定したフレームサイズを超えているクリップは自動的にプロキシファイルが作成されます。このプロキシファイルを使うと、リアルタイムでビデオ編集を行うことができます。出力時には、オリジナルのフル解像度の映像がディスクなどに書き込まれます。

# ビデオクリップの分割

ビデオクリップは、2つに分割することができます。

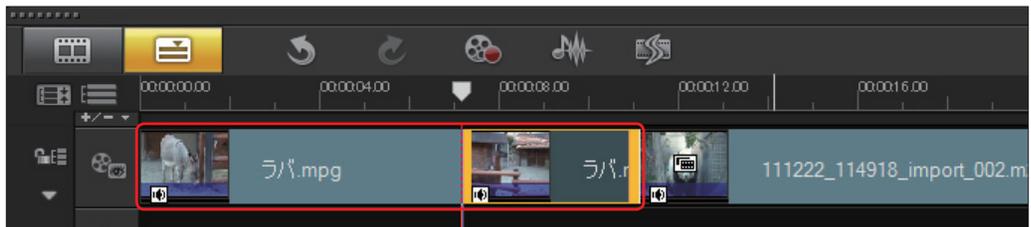
**1** タイムラインから分割するビデオクリップを選択します。

**2** 分割したい位置にジョグスライダーを移動します。

**3** 「クリップを分割」ボタンをクリックします。



**4** ビデオクリップが2つに分割されます。分割したビデオクリップの間に別のビデオクリップを挿入することができます。

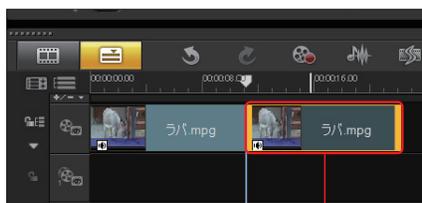
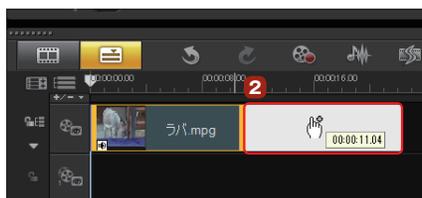
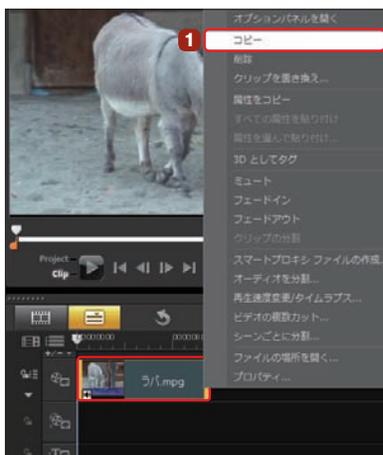


分割されたビデオクリップ

## クリップのコピー

ビデオクリップや写真クリップ、オーディオクリップは、タイムラインでコピーして配置することができます。同じクリップを繰り返し再生したり、違う効果をかけて再生するときなどに便利です。

- 1 タイムラインでコピーするクリップを右クリックして、表示されるメニューから「コピー」をクリックします。
- 2 白いクリップが表示されるので、配置したい位置に移動してクリックします。その場所にクリップがコピーされます。



コピーされたビデオクリップ

## クリップの属性をコピー

クリップに適用したファイルターや変形などの効果を他のクリップにコピーすることができます。これにより、同じ属性の設定を各クリップに設定する手間が省けます。

- 1 クリップの属性をコピーするにはクリップを右クリックして、表示されるメニューから「属性をコピー」をクリックします。



**ヒント** コピーできる属性は、「色補正」、「フィルター」、「回転」、「サイズ/ゆがみ」、「方向/スタイル」です。

- 2** 属性をコピーしたいクリップを右クリックして、「すべての属性を貼り付け」をクリックします。コピー元のクリップに適用されている属性がすべて適用されます。一部の効果だけをコピーするには「属性を選んで貼り付け」をクリックして、表示されるダイアログボックスからコピーする属性を選択します。

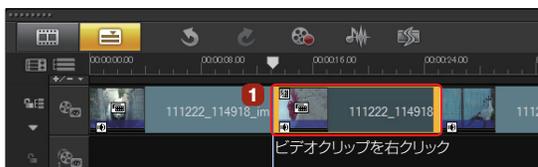


## クリップの置き換え

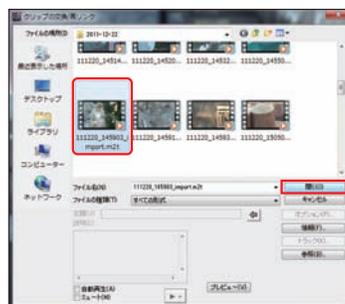
ビデオクリップや写真クリップを並べて編集したビデオで、クリップを他のクリップに変更したい場合、クリップの再生時間を調整したり、属性をもう一度適用するのは面倒です。そんなときは「クリップの置き換え」機能を使います。変更前のクリップに適用した属性や再生時間を変更後のクリップに引き継ぐことができます。

- 1** 変更するビデオクリップを右クリックして、表示されるメニューから「クリップを置き換え」をクリックして「ビデオ」か「写真」を選択します。

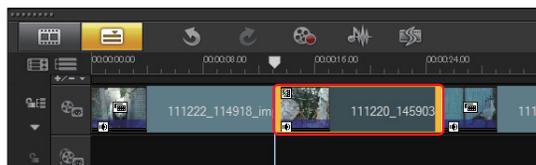
※変更するクリップの再生時間は、変更前のクリップの再生時間以上ないと置き換えられません。



- 2** 表示される「クリップの交換／再リンク」ダイアログボックスで、変更するビデオクリップを選択して「開く」ボタンをクリックします。



- 3** ビデオクリップが置き換えられます。



## CM や不要なシーンを一度にカット

ビデオクリップのなかで、いらぬシーンだけをカットすることができます。DVテープから不要なシーンだけをカットしたり、録画したテレビ番組から必要なシーンだけを一度に取り出すときなどに便利です。

- 1** 途中をカットしたいビデオクリップを選択して、「ビデオの複数カット」ボタンをクリックします。

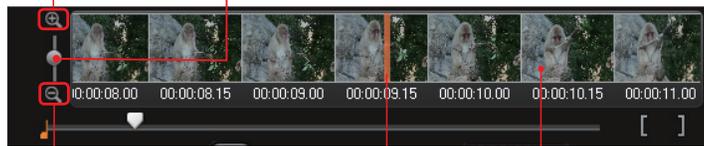


- 2** 「ビデオの複数カット」ウィンドウが表示されます。ジョグスライダーを移動して、映像の必要な部分の先頭で「マークイン」ボタンをクリックします。



- 3** 「マークイン」点や「マークアウト」点を正確に設定するには、「フレーム表示」ウィンドウで確認します。初期設定では15フレームごとに表示され、ジョグスライダーの位置がオレンジのラインで表示されます。表示するフレーム間隔を変更するには、ズームボタンをクリックします。フレーム間隔を大きくするには「ズームイン」ボタンを、間隔を狭くするには「ズームアウト」ボタンをクリックします。

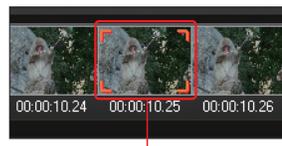
「ズームイン」ボタン このボタンを上下にドラッグして、フレーム間隔を変更することもできます。



「ズームアウト」ボタン

ジョグスライダーの表示位置

フレーム表示



拡大率を最大にすると、1フレーム単位で編集できます。ウィンドウには選択されたフレームがオレンジの枠で囲われます。

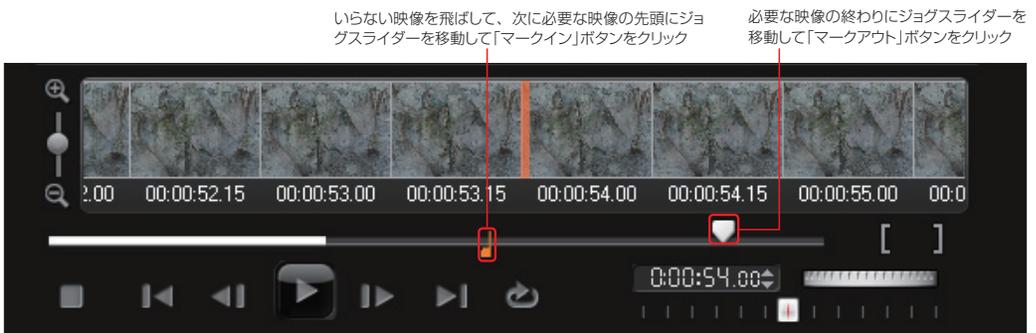
4

必要な映像の最後の位置で、「マークアウト」ボタンをクリックします。



5

不要な部分を飛ばして、次に必要な映像の先頭で「マークイン」ボタンをクリックし、必要な映像の終わりの部分で「マークアウト」ボタンをクリックします。



ヒント

「マークイン」、「マークアウト」はひとつのビデオクリップにいくつも設定できます。

TIPS

映像の頭出しには「ジョグホイール」や「早送り／巻戻し」を使うと素早く操作できます。「早送り／巻戻し」ボタンで頭出ししたい大まかな位置に移動して、「ジョグホイール」で目的のフレームに移動します。



**ジョグホイール:** マウスでドラッグして、ビデオの再生位置を移動します。右にドラッグすると次のフレームへ、左にドラッグすると巻き戻します。ジョグホイールは、マウスホイールと連動しています。マウスホイールを下に回すと次のフレームへ、上に回すと巻き戻します。

**「早送り／巻戻し」ボタン:** ダイヤルをドラッグして、再生速度を変更します。ボタンを右にドラッグすると早送り、左にドラッグすると巻き戻しができます。32倍速までの早送りと巻き戻しができます。

**6** 必要なビデオ部分だけが「ビデオリスト」に表示されます。この作業を何回か繰り返し、ビデオの必要な部分だけを抽出します。「OK」ボタンをクリックすると、必要な映像だけが複数のビデオクリップになって表示されます。



**7** 録画したテレビ番組からCMを切り取って番組本編だけを自動でつなげることができます。「CM自動検出」ボタンをクリックすると、番組とCMが分離されて「ビデオリスト」に表示されます。「CMをマージ」にチェックを入れると、1本ずつ表示されていたCMのビデオクリップがひとつに結合されます。CMのビデオクリップを削除します。これで本編だけのテレビ番組になります。

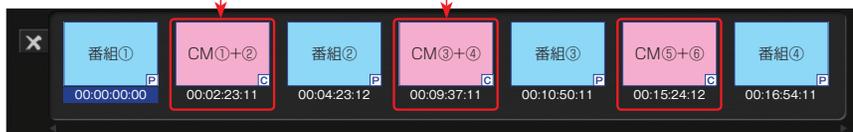


CMがうまくカットされていない場合は、「検出感度」のボタンを「高い」にドラッグして、再度「CM自動検出」ボタンをクリックしてください。

「CM自動検出」の結果。番組のビデオクリップには回が、CMのビデオクリップには回マークが付きます。



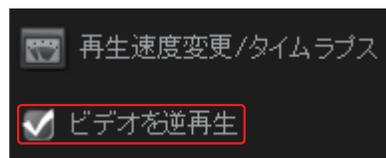
「CMをマージ」の結果。CMが結合されます。CMを削除して本編だけにします。



※録画したテレビ番組によっては、CMを正常に検出できない場合もあります。

## ビデオを逆再生する

ビデオクリップを選択して、「ビデオを逆再生」にチェックを入れると、ビデオを巻き戻して再生できます。歩いている人の映像が後ろ向きに進んだり、こぼしたジュースがコップの中に戻ったりと、ビデオクリップにおもしろい効果を追加できます。



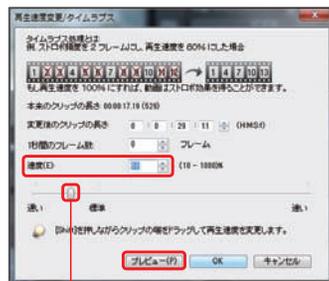
## ビデオの再生速度を変える

ビデオクリップは、再生速度を変えることができます。運動会で一生懸命走っている姿をスローモーションにしたり、街ゆく人々の慌ただしさを強調するために早回しにしたりと、ビデオの再生速度を変えてビデオに変化を付けます。

**1** ビデオの再生速度を変えるには、効果を加えたいビデオクリップを選択して、「オプションパネル」の「再生速度変更／タイムラプス」をクリックします。



**2** 「再生速度」ダイアログボックスが表示されます。スライダーを移動して好みの速度に調整します。「速度」の入力ボックスに直接数値を入力したり、「▲」「▼」ボタンで設定したりすることもできます（「100」が標準速度です）。値が高いほど再生速度は速くなります（値は10～1000%で設定します）。「プレビュー」ボタンをクリックして速度を確認します。よければ「OK」ボタンをクリックします。

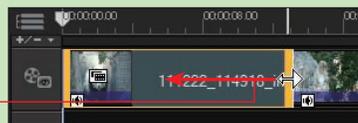


スライダーをドラッグして速度を調整します

### TIPS

タイムラインのビデオクリップは「Shift」キーを押しながらドラッグすると、短くした場合は速度アップ、長くした場合はスロー再生になります。

「Shift」キーを押しながらドラッグ



## タイムラプス

スクランブル交差点で人々が行き交う映像や花がつぼみから咲くまでをコマ落としにして倍速再生するような「タイムラプス」効果を作成することができます。デジタルカメラでの定点撮影では、撮影間隔が固定されますが、VideoStudioで映像にタイムラプス効果をかければ、撮影間隔を何度でも変更することができます。タイムラプス効果を適用するビデオクリップを選択して、「再生速度変更／タイムラプス」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスの「1秒間のフレーム数」で、間引くフレーム数を設定します。「変更後のクリップの長さ」で、再生時間を設定して「OK」ボタンをクリックします。



- 1秒間のフレーム数を[30]に設定した場合:30フレームをワンセットとして先頭のフレームだけ残り、残りの29フレームを間引きます。  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
- 1秒間のフレーム数を[15]に設定した場合:15フレームをワンセットとして先頭のフレームだけ残り、残りの14フレームを間引きます。  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
- 1秒間のフレーム数を[1800]に設定した場合:1分間に1枚の定点撮影したクリップになります。

## ビデオの色味を調整

DVカメラでの撮影時にホワイトバランスがくずれてビデオ映像が白く飛んでいたり、蛍光灯の下での撮影で青みがかったりして録画される場合があります。VideoStudioでは取り込んだビデオクリップの色味を調整する機能を備えています。

- 1 ビデオクリップの色を調整するには、ビデオクリップを選択して、「色補正」ボタンをクリックします。



- 2 「色補正」パネルが表示されます。プレビューウィンドウで色味を確認しながら各項目のスライダーを左右にドラッグして調整します。調整後は、「閉じる」ボタンをクリックします。

ホワイトバランスを調整するときにチェックを入れます。「自動」または「色を選択」をクリックします。

「蛍光灯」や「電球」、「曇り」などの撮影状況に合わせてクリックして調整します。

映像を明るくしたり暗くする場合にチェックを入れます。「▼」ボタンをクリックして表示されるメニューから選択します。

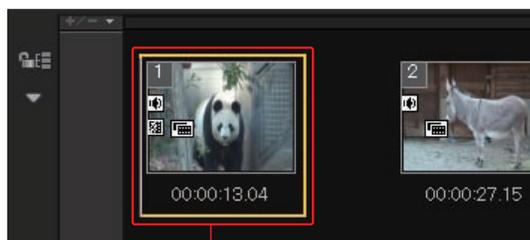


- 「閉じる」ボタン
- 赤や黄、緑、青、紫などの色合いの違いを調整
- 色の鮮やかさを調整
- 光の明るさを調整
- 明るい部分と暗い部分の明るさ比を調整
- 人が見る自然に近い色合いに調整
- すべての調整を元に戻す

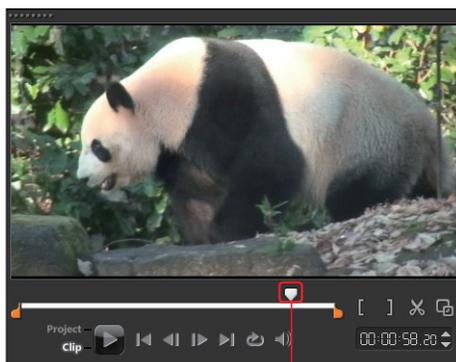
## ビデオクリップの1コマを静止画にする

ビデオクリップの1コマを静止画にできます。お気に入りのシーンを静止画として保存し、メニュー画面の背景に使ったり、書き込んだディスクのレーベルに使用したりすることができます。

- 1 ビデオクリップを選択して、静止画にしたいシーンをプレビューウィンドウに表示します。



ビデオクリップを選択



ジョグスライダーを静止画にしたいシーンに移動

- 2** オプションパネルの「静止画として保存」ボタンをクリックします。静止画ファイルとして保存されます。

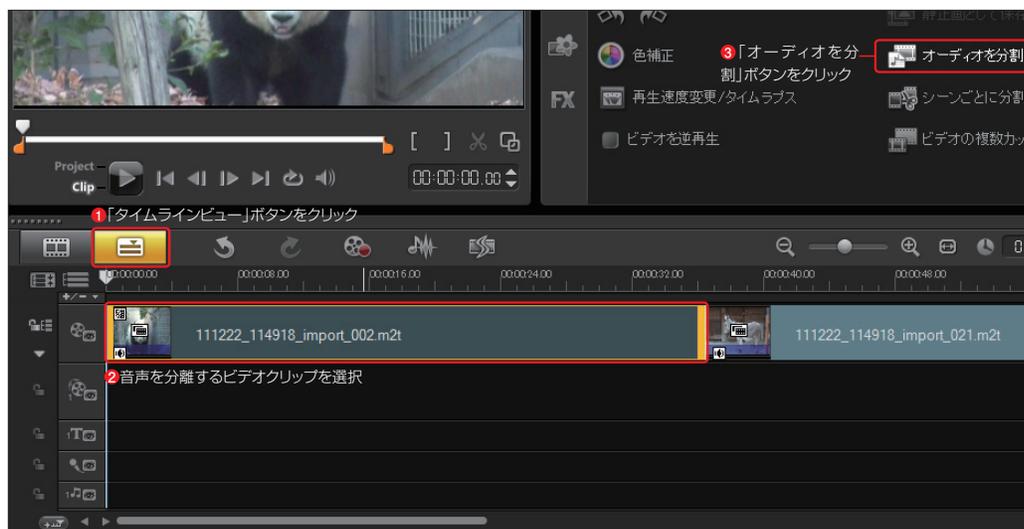


**ヒント** 静止画のファイル形式は、「設定」メニューの「環境設定」→「取り込み」タブの「静止画形式」から「BITMAP」か「JPEG」を選択できます。

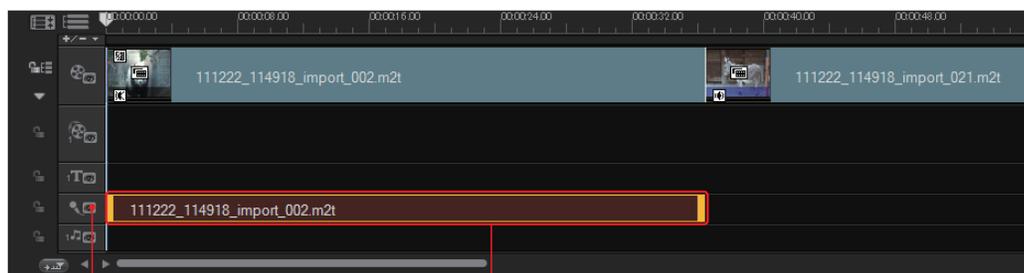
## オーディオを分離

ビデオ撮影時に同時録音した音声は、ビデオ映像と同期してVideoStudioに取り込まれます。同時録音された音声は、ビデオ映像と分離することができます。

- 1** タイムラインを表示します。オーディオを分離したいビデオクリップを選択して、「オーディオを分割」ボタンをクリックします。



- 2** 音声部分がオーディオクリップとして「ボイス」トラックに表示されます。このオーディオクリップは独立したクリップで、削除することや移動などができます。



「ボイス」トラック

ビデオクリップから分離したオーディオクリップ

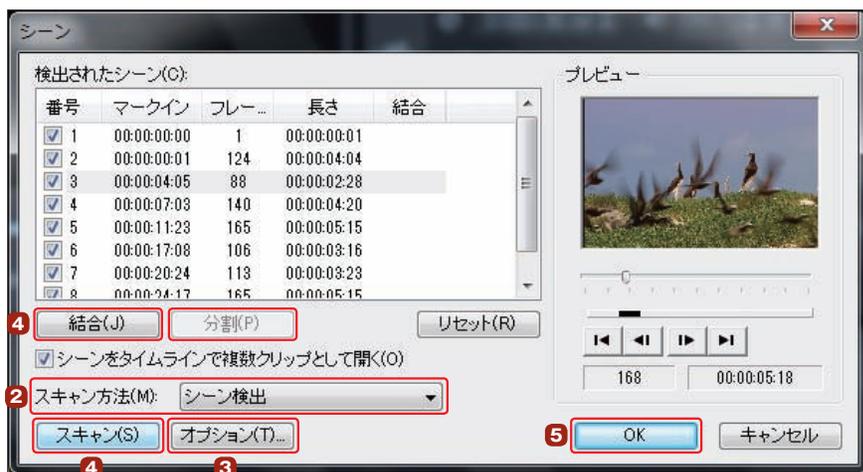
## シーンごとに分割

キャプチャした DV AVI ファイルを録画日時やビデオコンテンツの変化（モーション変化、カメラシフト、明るさの変化など）に基づいて分割します。MPEG ファイルは、ビデオ内容に基づいてビデオを分割します。

- 1** シーンで分割するビデオクリップを選択します。オプションパネルから「シーンごとに分割」をクリックします。



- 2** 「シーン」ダイアログボックスが表示されます。「スキャン方法」で DV カメラの録画スイッチのオン・オフや日付を検索する「DV 撮影時間の検出」か、映像の変化を感知する「シーン検出」かを選びます。



- 3** 「オプション」ボタンをクリックすると、「シーンスキャンの感度」ダイアログボックスが表示されます。ここで検索する感度を調整します。感度が高いほど多くのシーンが検出されます。



- 4** 「スキャン」ボタンをクリックすると、検索されたシーンが一覧表示されます。分割したくない場合はビデオクリップをクリックして、「結合」ボタンをクリックすると、その前のビデオクリップとひとつのクリップになります。「分離」ボタンをクリックすると、結合を元に戻すことができます。

- 5** 「OK」ボタンをクリックするとビデオが分割されます。

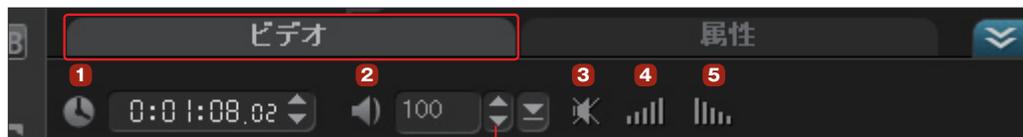
# オプションパネル

オプションパネルの「ビデオ」タブには、ビデオ編集のいろいろな情報を表示したり設定する項目が配置されています。

※これらの項目は、ビデオクリップを選択しているときに表示されます。

## 1 ビデオの長さ

選択しているビデオクリップの時間の長さが表示されます。ここでビデオクリップのアウト点を変更できます。数字をクリックして直接入力するか、「▲」「▼」ボタンをクリックして時間を変更します。



## 2 クリップのボリューム

ビデオクリップのボリュームを調節します。「0」が無音、「100」が標準で、「200」に設定すると2倍の音量になります。数字をクリックして直接入力するか、「▲」「▼」ボタンをクリックして調節します。

また、右の「▼」ボタンをクリックして、スライダーで音量を調節することもできます。



## 3 ミュート

ビデオクリップの音量を消します。別のBGMを用意するときなどに利用します。

## 4 フェードイン

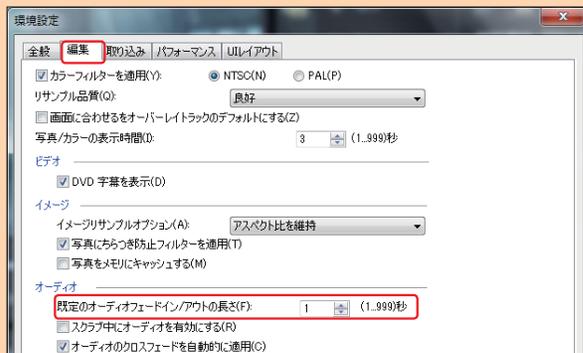
ビデオクリップのボリュームを徐々に大きくします。

## 5 フェードアウト

ビデオクリップのボリュームを徐々に小さくします。

### ヒント

「設定」メニューの「環境設定」→「編集」タブで、フェードインやフェードアウトする時間(長さ)を調整できます。「既定のオーディオフェードイン/アウトの長さ」の数値入力ボックスに秒数を入力します。

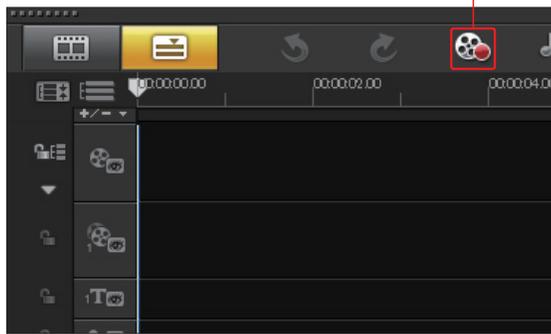


## DVD や AVCHD からの取り込み

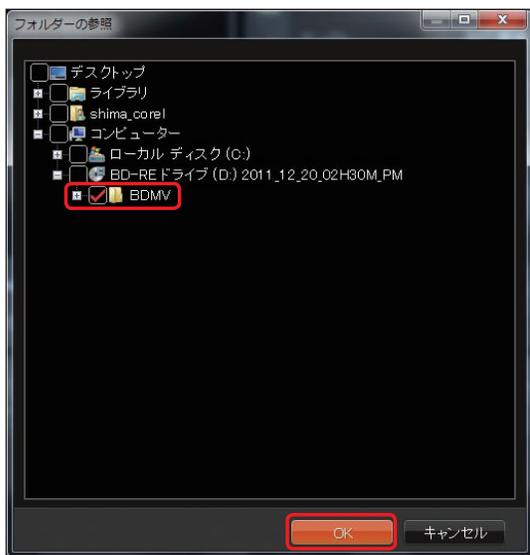
VideoStudioにDVDディスクの映像 (DVD-VR、DVD-Video) を取り込みます。また、AVCHD 規格に対応したDVDディスクタイプやSDカードタイプ、ハードディスクタイプのデジタルビデオカメラから映像を取り込むことができます。

**1** 「記録／取り込みオプション」ボタンをクリックして、表示される「記録／取り込みオプション」ダイアログボックスから「デジタルメディア」を選択します。

「記録／取り込みオプション」ボタン



**2** 「フォルダーの参照」ダイアログボックスから「VIDEO\_TS」や「DVD\_RTAV」、 「AVCHD」、 「BDMV」フォルダーを選択して、 「OK」ボタンをクリックします。



### 注意

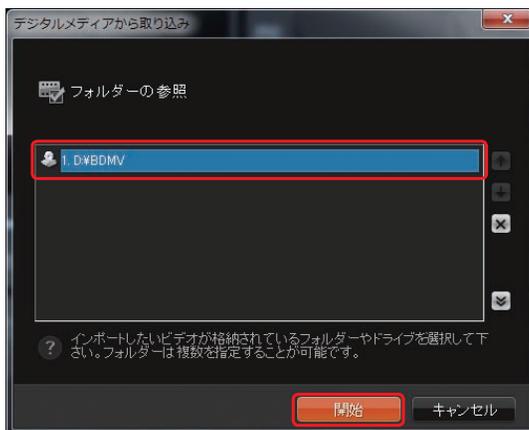
ビデオカメラの機種によっては、パソコンに接続したときに「リムーバブルディスク」や「DVDドライブ」として認識される場合があります。

### TIPS

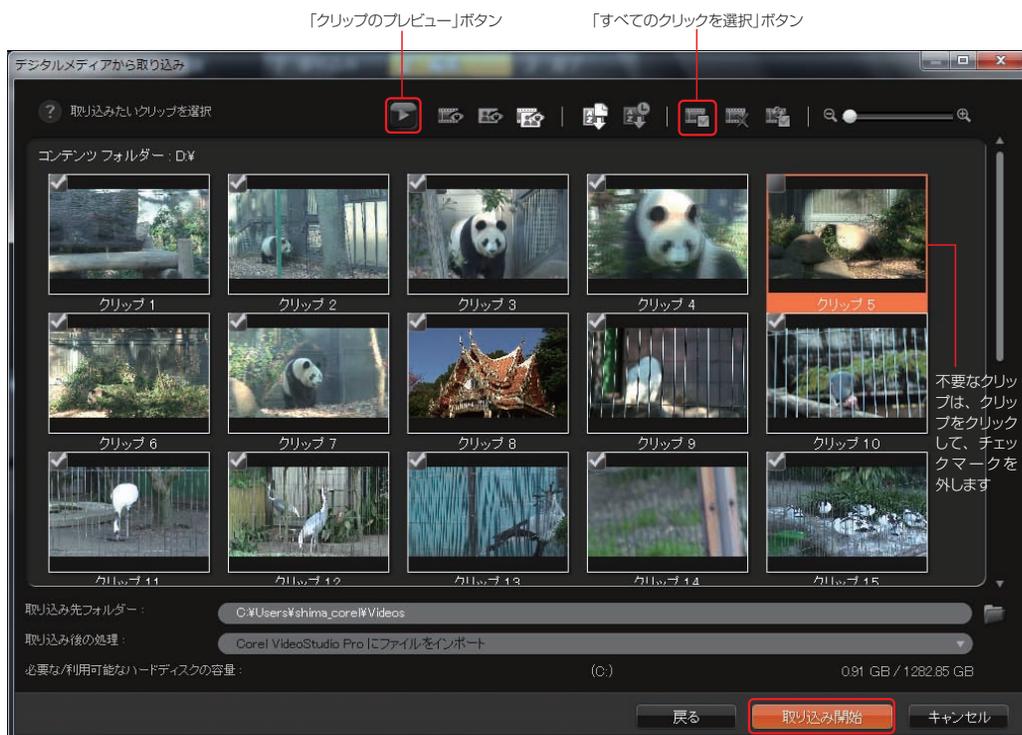
DVDディスクから取り込むには、「ファイル」メニューから「メディアファイルをタイムラインに挿入」→「デジタルメディアの挿入」を選択することもできます。

### 3 「デジタルメディアから取り込み」ダイアログボックスが表示されます。

映像が保存されているフォルダーを選択して、「開始」ボタンをクリックします。



### 4 映像がビデオクリップとして表示されます。すべてのビデオクリップを取り込むには「すべてのクリップを選択」ボタンをクリックします。一部のビデオクリップだけ取り込むには、取り込むビデオクリップをクリックしてチェックを入れます。取り込む映像が決まったら「取り込み開始」ボタンをクリックします。



### 5 ビデオが取り込まれます。この後の詳しい操作については41ページの7をご覧ください。

#### 注意

DVD-VR形式のDVD-RWディスクの場合は、読み込みに時間がかかる場合があります。また、市販の著作権が保護されているDVDビデオなどからは、映像を追加することはできません。

# フィルター

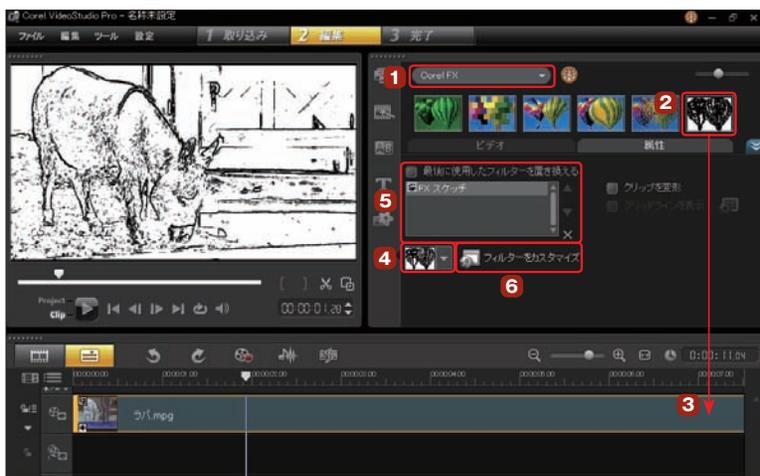
ビデオフィルターはビデオクリップにフィルターをかけたような効果を追加できます。VideoStudioには、「ビデオパン&ズーム」や「ゴースト」、「ストロボ」、「雨」、「雲」など、ビデオクリップの色や明るさを変えたり変化に富んだ効果がすぐにできあがるビデオフィルターがいくつも用意されています。

**1** ビデオフィルターを使用するには、ライブラリの「FX」をクリックしています。サブメニューの「▼」をクリックして、フィルターのジャンルを選択します。ライブラリにすべてのフィルタを表示するには「すべて」を選択します。



**TIPS** このページで紹介しているフィルターやこのあとで紹介する「変形」などの「属性」タブにある効果を適用したクリップは、それらの効果を他のクリップにも同様に適用することができます。クリップを右クリックして「属性をコピー」を選択し、他のクリップを右クリックして「属性を貼り付け」を選択します。

**2** ライブラリから使用するフィルターを選びます。



**3** フィルター効果をかけたいビデオクリップにドラッグします。

**4** 「属性」タブのプリセットで、効果かける位置や方向、変化のしかたを設定できるフィルターもあります。「▼」ボタンをクリックして、表示されるプリセットから選択します。



**TIPS** フィルターはひとつのビデオクリップに5つまで重ねて適用することができます。

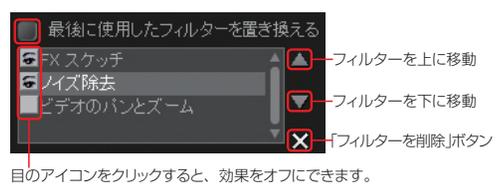
ヒント

フィルターにはビデオに劇的な変化や効果を加えるものと、映像を美しくするものがあります。「補正／調整」には取り込んだビデオに発生したブロックノイズを消す「ブロックノイズ除去」フィルターやビデオに表示された白い点々を消す「スノーノイズ除去」フィルターがあります。これらのフィルターを適用すると、ノイズのないきれいな映像に仕上げられます。



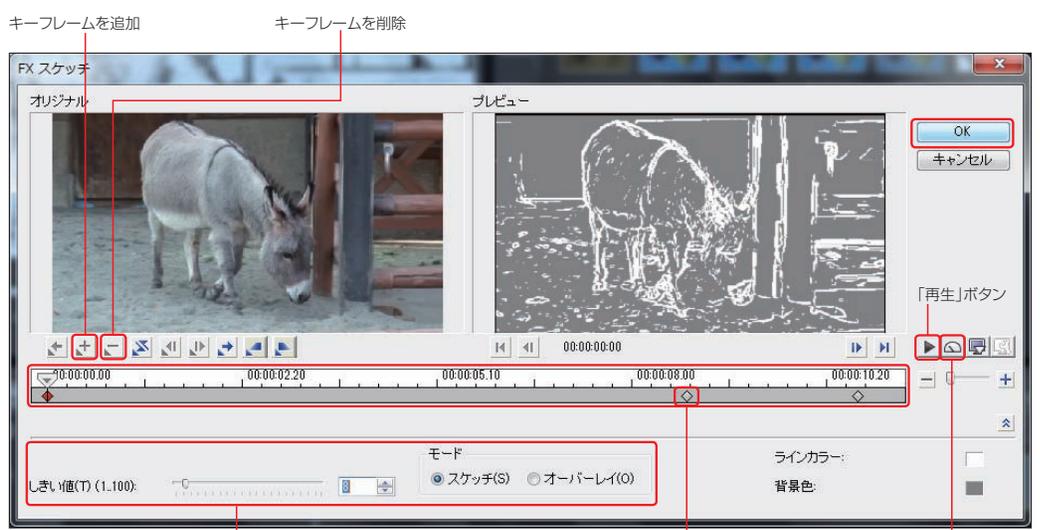
5

フィルターを取り消すには、「適用したフィルター」のリストから削除したいフィルターを選び、「フィルターを削除」ボタンをクリックします。複数のフィルターを適用する場合は、「最後に使用したフィルターを置き換える」のチェックをはずします。



6

「フィルターをカスタマイズ」ボタンをクリックすると、各フィルターのダイアログボックスが表示されます。ここで、フィルターの効果をどのように設定するかを細かく調整できます。フィルターによって設定できる項目は変わります。設定が終われば、「OK」ボタンをクリックします。ビデオクリップにフィルター効果が加えられます。



各フィルターの効果を設定します。「FX スケッチ」フィルターでは、「しきい値」や「ラインカラー」、「背景色」の設定ができます。

ビデオにキーフレームを設定して、その位置の効果に変化をつけることができます。

「再生」ボタン  
プレビューの速度を設定

ヒント

キーフレームとは、クリップのなかでビデオフィルターの属性や動きを指定することができるフレームのことです。キーフレームを設定すると、ひとつのクリップのなかでフィルターの効果の度合いを調整できます。

TIPS

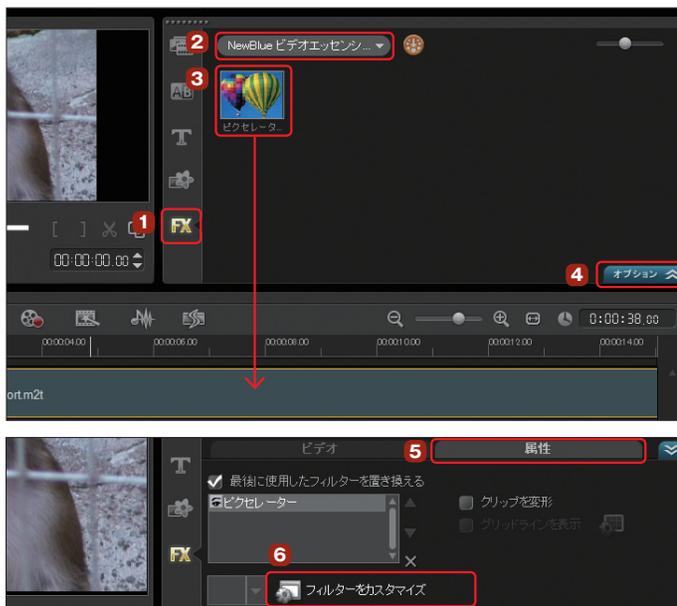
フィルターによっては、オプションの設定タブがいくつも用意されています。

# モザイク

フィルター効果を使うと、ビデオにモザイクをかけることができます。映像に映り込んだ人物の顔や車のナンバープレート、街で撮影した看板の電話番号や表札などをモザイクでぼかすことができます。

**1** ビデオにモザイクをかけるには、70ページのフィルターと同様に、ビデオクリップを選択して「FXライブラリ」ボタンをクリックします。プルダウンメニューから「New Blueビデオエッセンシャル」を選択して、「ピクセレーター」アイコンをビデオクリップにドラッグします。

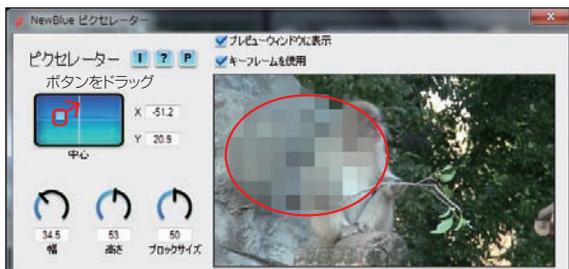
ビデオクリップを選択して、「オプション」ボタンをクリックし、「属性」タブをクリックします。「フィルターをカスタマイズ」ボタンをクリックします。



**2** 「NewBlueピクセレーター」ウィンドウが表示されます。ビデオクリップの先頭からモザイクを適用するには、「クリップの先頭にカーソルを置く」ボタンをクリックします。



**3** 水色のボタンをドラッグしてモザイクをかける位置に移動します。



**4** モザイクが目的の位置に適用されます。モザイクのサイズは、3つのつまみをドラッグして調整します。数値ボックスに直接サイズを入力することもできます。



【幅】モザイクをかけるサイズの横幅を設定します。

【高さ】モザイクをかけるサイズの高さを設定します。

【ブロックサイズ】ビデオモザイクのひとつのブロックのサイズを設定します。

**5** モザイクは、ビデオの再生中に位置が移動しても自動で判断してモザイクも追従します。適用したモザイクをスライダーをドラッグして確認します。モザイクがずれている場所があれば、その位置で水色のボタンをドラッグして位置を調整します。

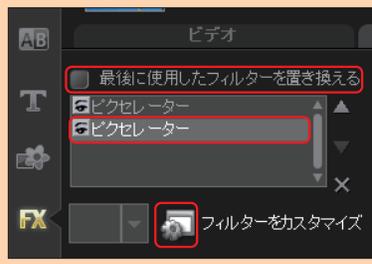


**6** キーフレームが設定され、スムーズにモザイクがかかるようになります。「OK」ボタンをクリックしてモザイクを適用し、VideoStudioの画面に戻ります。



#### ヒント

映像に2カ所以上のモザイクをかける場合は、「最後に使用したフィルターを置き換える」のチェックを外し、ビデオクリップに「ピクセレーター」をドラッグします。「属性」タブで追加した「ピクセレーター」を選択して「フィルターをカスタマイズ」ボタンをクリックし、同様にモザイクをかけます。



#### ヒント

ビデオのはじまりで「ブロックサイズ」を大きくして、ビデオの真ん中あたりにキーフレームを設定して「ブロックサイズ」を小さくし、ビデオの終わりにキーフレームを設定してブロックサイズを「0」にすると、モザイクから徐々にはっきりした映像が現れる効果をかけられます。

# Boris Graffiti

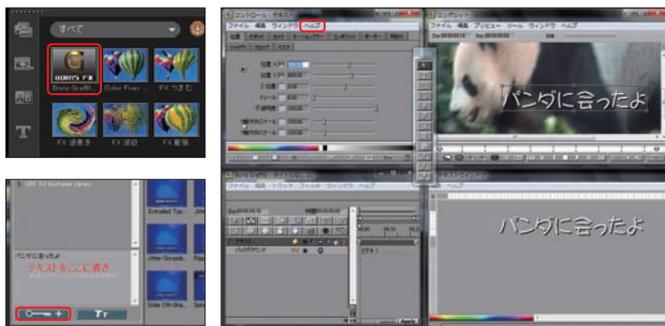
Ultimate 版のみ

**1** Ultimate 版には多機能なタイトル作成ソフト「Boris Graffiti」が用意されています。「Boris Graffiti」をインストールするには、ボーナスCDから「Boris Graffitiのインストール」をクリックします。表示されるインストール画面の指示に従ってインストールします。

※ユーザ情報で「会社名」の欄を空欄にすると次に進めませんので、「個人」などと入力してください。



**2** 「Boris Graffiti」は、ライブラリに登録されます。「Boris Graffiti」を選択して、ビデオクリップにドラッグします。フィルターを調整するには、「フィルターをカスタマイズ」ボタンをクリックします。詳しい使い方は、「ライブラリブラウザ」の「+」ボタンをクリックし、表示されるウィンドウの「ヘルプ」をクリックして表示される「Boris Graffitiユーザーガイド」をお読みください。



※ Ultimate 版には、動画を自動的に解析して手ぶれを補正するモーションスタビライズフィルタ「ProDAD Mercalli」、ほかしや色調整を行う「ProDAD Vitascene」、モーション効果や背景画像に動きを追加する「NewBlueFX」、出発点から到着点までをアニメーションで表示する「ProDAD RotoPen」が付属しています。それぞれのインストールと使い方については「付録2 Ultimate版ソフトの使い方」(204ページ)をお読みください。

## 手振れ補正

**1** DVカメラの撮影で、手撮りやズームしたときに映像がブレることがあります。「手振れ補正」機能は、ブレた映像の揺れを小さくします。

手振れ補正を行うにはFXライブラリから「補整／調整」を選択して「手振れ補正」を選び、ビデオクリップにドラッグします。



**2** オプションパネルの「属性」タブをクリックして、「フィルターをカスタマイズ」ボタンをクリックします。表示される「手振れ補正」ダイアログボックスで、補正する強度や補正範囲を設定します。

ビデオの途中からブレが激しい場合などは、その位置にキーフレームを作成して、補正のレベルを強くすることができます。



# クリップの変形

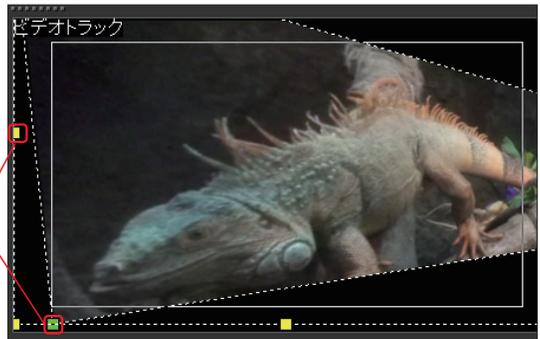
ビデオクリップやイメージクリップは、変形して表示することができます。

- 1 変形するビデオクリップを選択してオプションパネルの「属性」タブをクリックし、「クリップを変形」にチェックを入れます。



- 2 プレビューウィンドウに表示されたポイントをドラッグして、クリップを変形します。黄色のポイントは拡大・縮小が、緑のポイントは変形ができます。

黄色のポイントをドラッグして、クリップを拡大・縮小  
緑色のポイントをドラッグして、クリップを変形

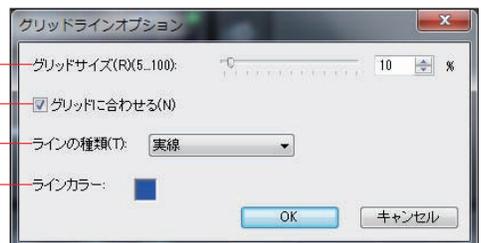


- 3 「グリッドラインを表示」にチェックを入れると、プレビューウィンドウにグリッド線が表示されます。



- 4 グリッド線を設定するには、「グリッドラインオプション」ボタンをクリックします。「グリッドラインオプション」ダイアログボックスが表示されます。「グリッドに合わせる」にチェックを入れると、黄色や緑色のポイントを移動する場合、グリッドに揃えられるので、変形がしやすくなります。

方眼のサイズを調整  
ポイントがグリッドに揃う  
グリッド線の種類を設定  
グリッド線の色を設定



## 静止画を取り込む

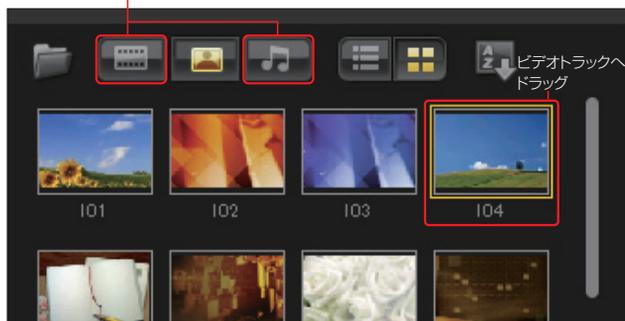
デジタルカメラや携帯電話で撮影した写真や静止画を写真クリップとしてストーリーボードやタイムラインに挿入して編集できます。

- 1 ライブラリに登録してある画像を取り込むには、「メディア」ライブラリをクリックします。

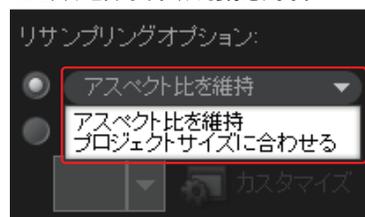


- 2 「メディア」ライブラリから写真クリップを選び、ビデオトラックにドラッグします。画像のサイズが合わない場合は、オプションパネルの「写真」タブの「リサンプリングオプション」で調整します。

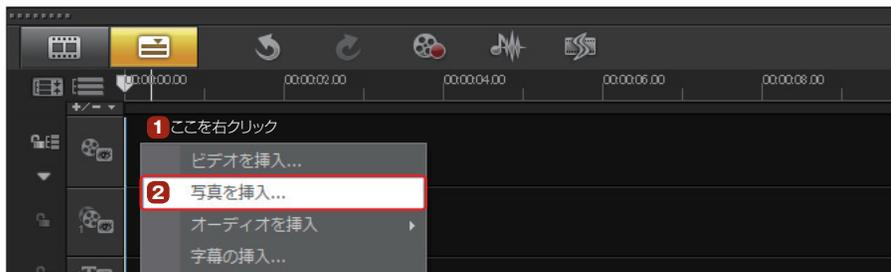
「ビデオ」と「オーディオファイル」ボタンをクリックして非表示にすると、写真のみ表示されます。



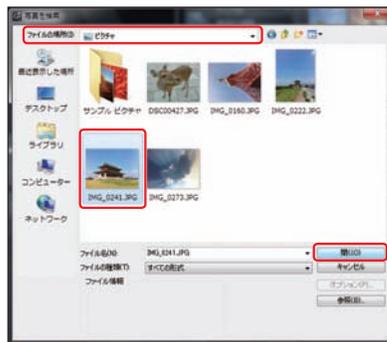
「リサンプリングオプション」の「▼」をクリックして「アスペクト比を維持」を選択すると、画像の縦横比を固定したまま表示されます。「プロジェクトサイズに合わせる」を選択すると、画像の縦や横のサイズが変更されてプロジェクトにピッタリのサイズで表示されます。



- 3 デジタルカメラや携帯電話から写真を取り込むには、一度写真画像をパソコンに取り込んでおくと、デジタルカメラや携帯電話の記録メディアをパソコンに接続します。タイムラインやストーリーボードを右クリックして、表示されるメニューから「写真を挿入」を選択します。



**4** 「写真を検索」ダイアログボックスの「ファイルの場所」で写真や画像が保存されているフォルダーを選択し、写真や画像を選びます。複数の写真や画像を選ぶには、「Ctrl」キーを押しながら選択します。「開く」ボタンをクリックすると、ストーリーボードやタイムラインに写真が配置されます。



**5** タイムラインビューに挿入された写真クリップの再生時間は3秒に設定されています。トリムハンドルをドラッグして再生時間を変更します。



**6** ストーリーボードで写真クリップの再生時間を調整するには、「写真」タブの「写真の表示時間」で設定します。また、横向きの写真クリップは、「回転」ボタンをクリックして向きを整えます。



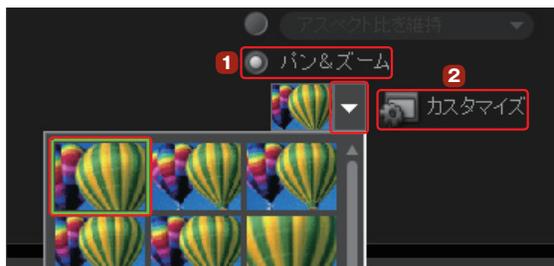
**TIPS** Paintshop Proでレイヤーを使って作成した画像 (pspimage形式で保存) をVideoStudio X5に取り込むと、レイヤー機能を維持したまま各レイヤーに分けて画像を配置できます。



# パン&ズーム

「パン&ズーム」機能は、1枚の静止画をパンやズームすることで動きのある写真にすることができます。パンは写真を水平移動し、ズームは写真の一部をアップにします。パンを使えば人物やものが画面を移動しているように見え、ズームを使えば人物やものが大きく表示されます。

**1** 写真クリップに「パン&ズーム」効果を加えるには、ビデオトラックから写真クリップを選択して、オプションパネルの「写真」タブにある「パン&ズーム」にチェックを入れます。「▼」ボタンをクリックして、パン&ズームの種類を選びます。



**2** 「カスタマイズ」ボタンをクリックすると、「パンとズーム」ダイアログボックスが表示されます。ここで、パンやズームを細かく調整することができます。



- 1 スライダーをドラッグして、パンやズームをかける位置に移動します。
- 2 「キーフレームを追加」ボタンをクリックすると、その位置にキーフレームが設定されます。
- 3 十字アイコンをドラッグして、パンやズーム効果をかけたときに表示したい部分の中心に移動します。
- 4 黄色のポインタで囲まれた部分が再生表示されます。黄色のポインタをドラッグして表示サイズを調整します。サイズを小さくするとズームします。
- 5 スライダーを再生の終了位置に移動し、パンやズームの設定をして「OK」ボタンをクリックします。

**ヒント** キーフレームを2つ打ち、最初のキーフレームを右クリックしてコピーし、次のキーフレームに貼り付けると、2つのキーフレームの間を一時停止させることができます。



パン&ズームの例：「開始位置」で写真全体を表示。「終了位置」で第一次大極殿の鴟尾がアップになるように表示サイズを縮小して、鴟尾に十字アイコンを移動。これで、第一次大極殿の全景から屋根の頂上にある鴟尾にズームするビデオになります。

ヒント

写真クリップには、自動で「パン&ズーム」効果を付けることができます。写真クリップを右クリックして、表示されるメニューから「スマートパン&ズーム」を選択します。



## カラークリップ

カラークリップは単色の画像で、ビデオのタイトルを表示するときに使ったり、ビデオクリップのフェードイン/フェードアウトに背景として使用できます。

**1** ライブラリの「カラー／装飾」をクリックして「カラークリップ」を選択します。カラークリップライブラリが表示されます。

**2** カラークリップを選んで、ストーリーボードやタイムラインにドラッグします。

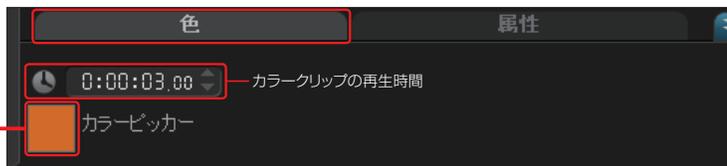
**3** ライブラリに登録されていない色を使用するには、「追加」ボタンをクリックします。



**4** 「カラークリップを作成」ダイアログボックスが表示されます。R、G、Bの数値を調整してあたらしい色をつくります。「OK」ボタンをクリックすると、ライブラリに登録されます。



**5** カラークリップを選択して、オプションパネルの「色」タブをクリックします。「カラーピッカー」をクリックして、表示されるカラーピッカーから色を選択することもできます。



**6** カラークリップの表示時間はデフォルトで3秒です。写真クリップと同じように再生時間の長さを変更できます。

# プレビュー

編集したビデオクリップを確認するには、ナビゲーションパネルを使用します。

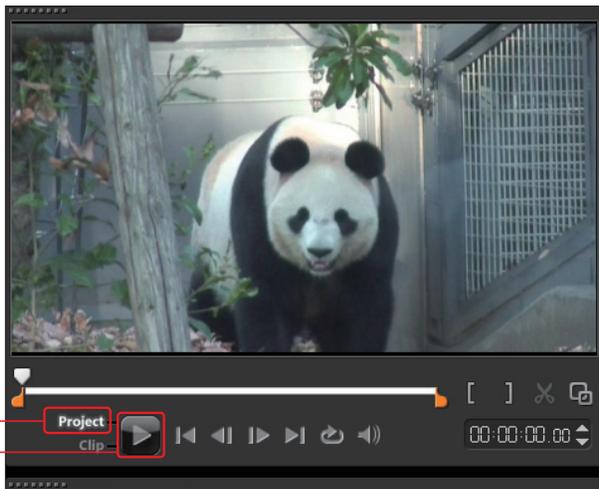
## プロジェクトの再生

編集したビデオの全体を見るには、「Project」ボタンをクリックして、「再生」ボタンをクリックします。プロジェクト全体が再生されます。

### 注意

スマートプロキシを使用している場合は、編集やプレビュー再生時の Project 編集の状態でのみ有効となります。

「プロジェクト」ボタン  
「再生」ボタン



## クリップを再生

選択したビデオクリップだけを再生するには、タイムラインからビデオクリップをクリックします。すると、ナビゲーションパネルが「Clip」に切り換わるので、「再生」ボタンをクリックします。選択エリアだけを再生する場合は「Shift」キーを押しながら「再生」ボタンをクリックします。

### ナビゲーションパネル



- 1 【再生モード】** プロジェクト全体を再生するか、選択したビデオクリップだけを再生するかを切り換えます。
- 2 【再生】** ビデオを再生します。
- 3 【最初のフレームへ】** 選択しているビデオクリップの開始位置にジャンプします。
- 4 【前のフレームへ】** ビデオクリップを1フレームずつ巻き戻します。
- 5 【次のフレームへ】** ビデオクリップを1フレームずつ進めます。
- 6 【最後のフレームへ】** 選択しているビデオクリップの終了位置にジャンプします。
- 7 【繰り返し】** 選択したビデオクリップを連続して再生します。解除するには、もう一度「繰り返し」ボタンをクリックします。
- 8 【ボリューム】** ビデオの音量を調整します。

# リップル編集

リップル編集では、作成したプロジェクトのビデオやタイトル、オーディオトラックに配置したクリップを連動して編集できます。これにより、プロジェクトの途中にクリップを追加したり削除したりしても、各トラックに配置したクリップは連動して移動するので、編集したビデオがずれることはありません。

リップル編集を行うには、「リップル編集」ボタンをクリックします。白色のロックされたアイコンに変わります。「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューからリップル編集を有効にするトラックを選択します。

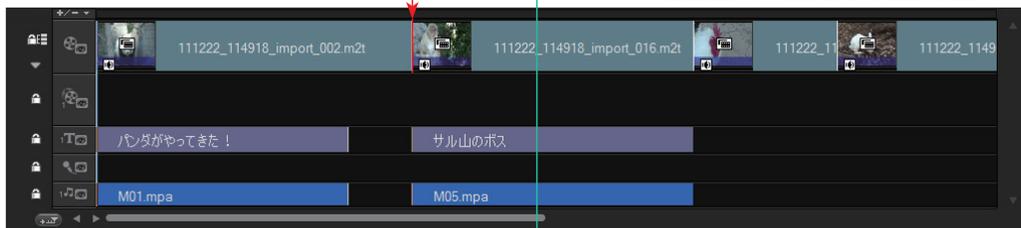
「リップル編集」ボタン



「パンダ」と「去る」のビデオクリップの間に「ラバ」のビデオクリップを追加

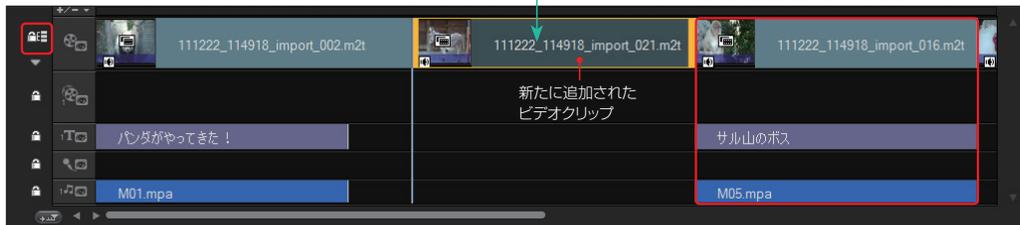


ビデオやテキスト、オーディオトラックにクリップを配置したところにラバのビデオクリップを追加すると……



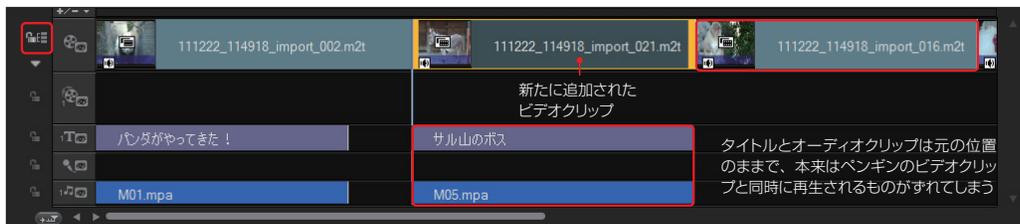
## 「リップル編集」が有効の場合

「サル」のビデオクリップと連動して、タイトルやオーディオクリップも一緒に移動



## 「リップル編集」が無効の場合

あらたにビデオクリップが追加されたことにより、ビデオクリップと他のクリップがバラバラになる。ここではタイトルとオーディオがずれてしまう。



## TIPS

画面の左下にある「タイムラインを自動的にスクロール」をクリックすると、プロジェクト再生中のビデオトラックには、現在再生中のクリップが表示され、ビデオトラックのどの位置が再生されているかがわかります。



# インスタントプロジェクト

「インスタントプロジェクト」は、ビデオ編集をするうえで手助けとなるサンプルのテンプレートです。ビデオのオープニングにふさわしい映像の演出が施されたテンプレートやエンディングにふさわしいテンプレート、ビデオの本編に効果を加えるテンプレートなどが用意されています。

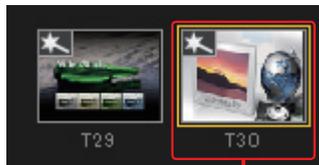
これらを作成中のビデオに挿入すると、見栄えのいいビデオに仕上がります。

テンプレートには、結婚式や子どもの成長記録、旅行などの各種イベントに最適なものも用意されています。

また、オープニングや本編、エンディングなどのテンプレートがすべてセットになった「フルバージョン」のテンプレートも用意されています。「フルバージョン」のテンプレートを使用すると、簡単にビデオ編集が行えたり、写真を集めてスライドショーを作成することができます。



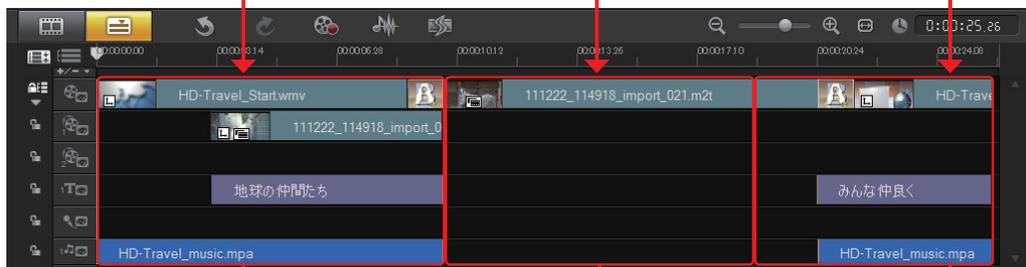
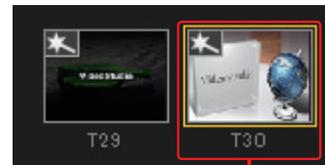
■「オープニング」テンプレート  
タイトルが付いたオープニングムービーのテンプレートを選択します。



■「本編」テンプレート  
BGMや「フラッシュバック」など、ビデオとビデオが切り替わる時に効果がかかります。



■「エンディング」テンプレート  
タイトル付きのエンディングムービーのテンプレートを選択します。



ビデオのオープニングに相応しい映像が流れます。タイトルは、変更することができます。



ビデオが再生されます。ビデオに背景がつき、そのなかでビデオが再生される効果もあります。



ビデオの終わりに相応しい映像が流れます。エンドムービーのタイトルは、変更できます。

**1** インスタントプロジェクトを使用するには、ライブラリの「インスタントプロジェクト」ボタンをクリックします。ここではわかりやすいように、パンダのビデオオクリップに「オープニング」テンプレートと「エンディング」テンプレートを適用したビデオの作成を例に説明します。



**2** 「インスタントプロジェクト」ライブラリが表示されます。使用するテンプレートのジャンルを選択します。ここではオープニングムービーを挿入するために、「オープニング」を選択します。



**TIPS**

前バージョンまでは、ツールバーに配置されていた「インスタントプロジェクト」ボタンが、X5からはライブラリに移動しました。これにより、テンプレートをライブラリの一覧から選択できるようになり、より見やすく選びやすくなっています。

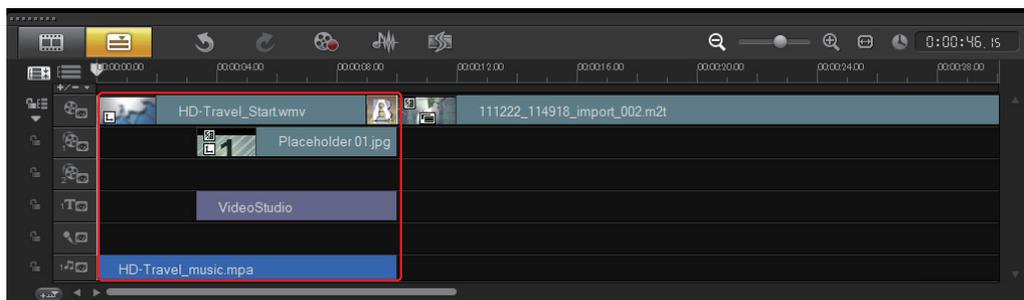
**3** テンプレートの一覧が表示されます。テンプレートには、「誕生日」や「結婚式」、「旅行」などのイベント用のものも用意されています。作成するビデオに合ったテンプレートを選びます。テンプレートを選択すると、プレビューウィンドウにテンプレートの映像が表示されます。テンプレートを確認するには、「再生」ボタンをクリックします。



**4** テンプレートをタイムラインにドラッグします。ここではオープニングムービーに使用するので、テンプレートを右クリックして、表示されるメニューから「先頭に追加」をクリックします。エンディングムービーの場合は、「最後に追加」をクリックすると、編集したビデオの最後に配置されます。

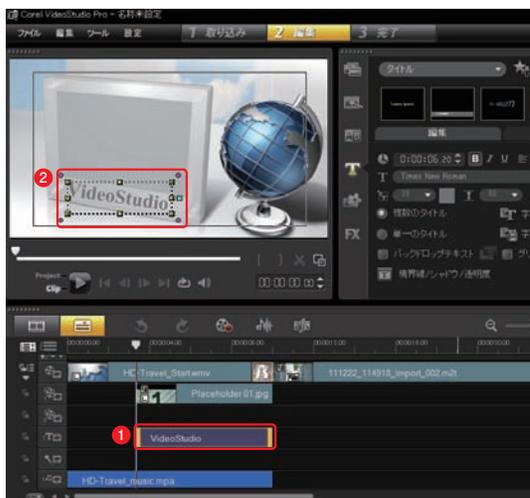


**5** タイムラインにテンプレートのムービーが挿入されます。テンプレートによって、トランジション効果やタイトル、BGMが挿入されます。テンプレートのムービーは、作成しているビデオと同じようにカスタマイズすることができます。



挿入されたオープニングのテンプレートムービー。この例では、オープニングのビデオやフォトフレームの中で再生されるビデオがオーバーレイトラックに配置されています。本編のビデオに続くようにエフェクトも配置されています。

**6** テンプレートのタイトルを変更するには、テンプレートのサンプルタイトルクリップをダブルクリックします。プレビューウィンドウで、黄色のポインタで囲まれたタイトルの文字をダブルクリックします。タイトルの文字の編集は、「タイトル」(107ページ)を参考にしてください。



**ヒント**

タイトルは、追加することができます。プレビューウィンドウをダブルクリックすると、文字入力カーソルが表示されるので、そこからタイトルを入力します。

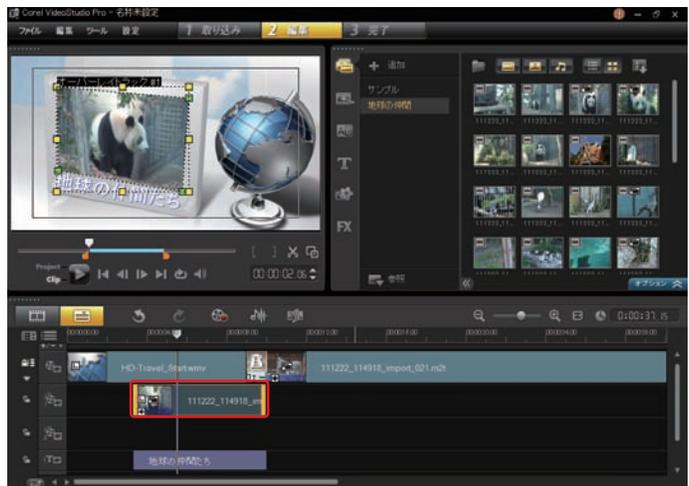
**7** テンプレートムービーのサンプルビデオ(「1」や「2」などの番号が表示されているビデオクリップ)や静止画のクリップを変更するには、ライブラリからビデオクリップや静止画を「Ctrl」キーを押しながらサンプルビデオの位置にドラッグします。



**ヒント** サンプルビデオを変更するには、以下の方法でも変更できます。まず、サンプルビデオを右クリックして、表示されるメニューから「クリップの置き換え」を選択し、挿入する素材に合わせて「ビデオ」か「写真」を選択します。つぎに表示される「クリップの交換/再リンク」ダイアログボックスで、目的のビデオを選択して「開く」ボタンをクリックします。

**8** ビデオクリップが置き換わります。

ここではオープニングのテンプレートムービーを挿入しましたが、本編のテンプレートやエンディングのテンプレートも同様にして挿入できます。



■ オープニングテンプレートの例：回転する地球儀のアップからフォトフレームが表示され、タイトルとビデオが流れて、徐々に暗くなってゆきます。



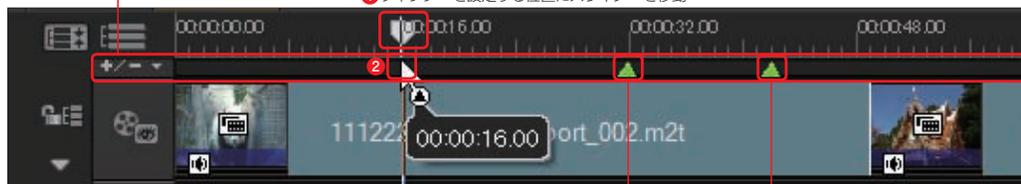
## チャプターポイント

チャプターとは、DVDビデオを飛ばして見るときのジャンプ先のことです。タイムラインではビデオにチャプターを設定できます。ここでチャプターを設定しておく、DVDの作成時に有効になります(→164ページ)。

チャプターを設定する位置にスライダーを移動します。その位置の「チャプターポイントバー」をクリックすると、黄緑色の「△」マークが表示されます。そこがチャプターポイントになります。チャプターポイントはひとつのビデオクリップにいくつも設定できます。

チャプターポイントバー

① チャプターを設定する位置にスライダーを移動



チャプターを設定した位置には、黄緑色の「△」マークが表示されます。

## その他のメニュー

その他にもビデオクリップを編集するとき使用する項目が用意されています。

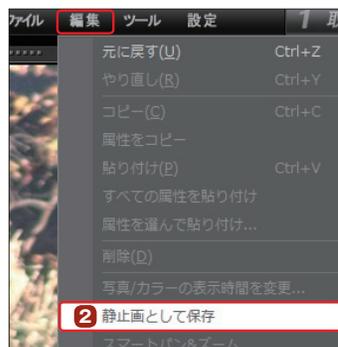
### 1 トリムしたビデオを保存

トリミングしたビデオクリップを新しいビデオファイルとして保存します。保存したビデオクリップはライブラリに登録されます。



### 2 静止画として保存

ビデオクリップの1コマを静止画にできます。プレビューウィンドウに静止画にする映像を表示し、「編集」メニューから「静止画として保存」を選択すると、「メディア」ライブラリに登録されます。

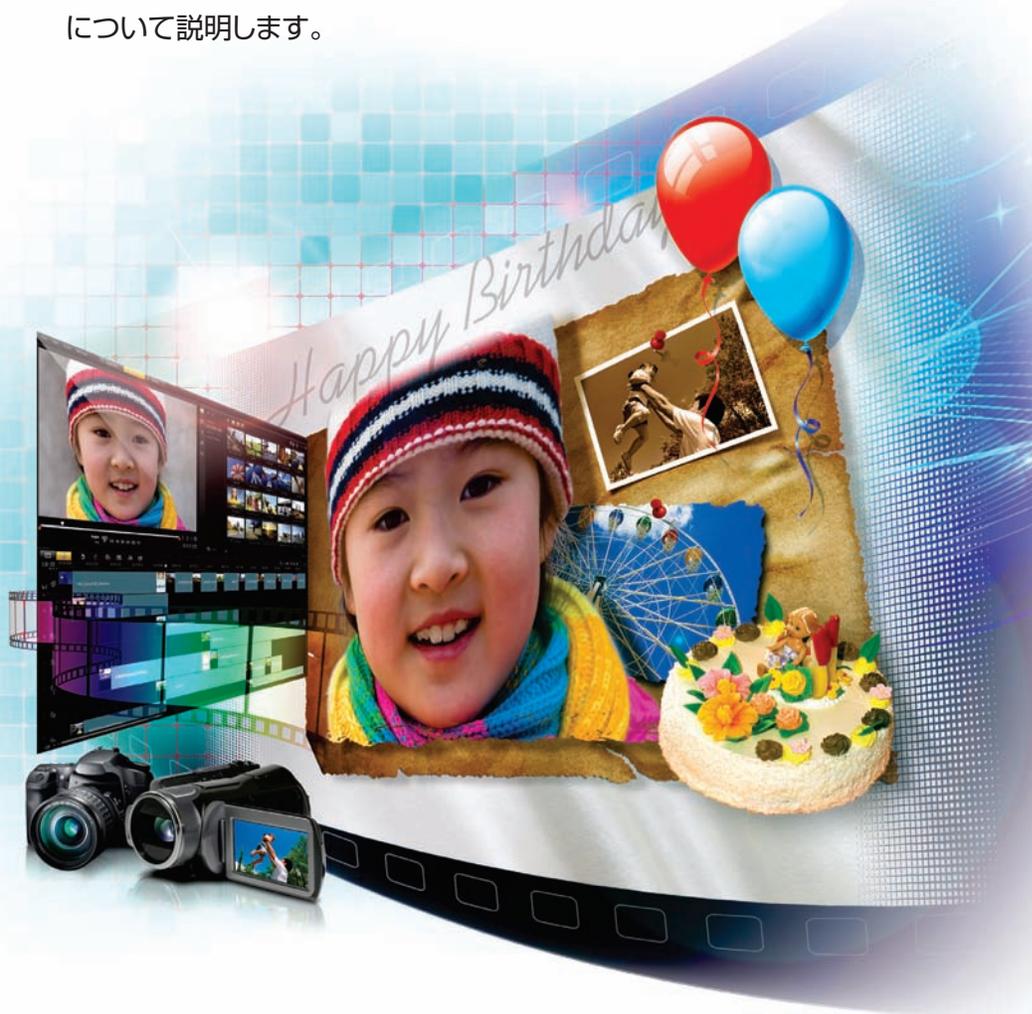


### 3 プロパティ

選択しているビデオクリップの情報を表示します。ビデオクリップを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択すると、「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

# トランジション

このステップではビデオクリップとビデオクリップが切り替わるときの効果について説明します。



## トランジションを選ぶ

VideoStudioにはたくさんのトランジションが用意されています。トランジションをビデオクリップの間に挿入して、クリップとクリップの切り替わりをスムーズにしたり、時間の経過を表したり、劇的な効果を加えることができます。

**1** トランジションを使うにはライブラリから「トランジション」をクリックします。



**2** トランジションライブラリの「▼」ボタンをクリックして、表示されるトランジションのカテゴリからジャンルをクリックします。

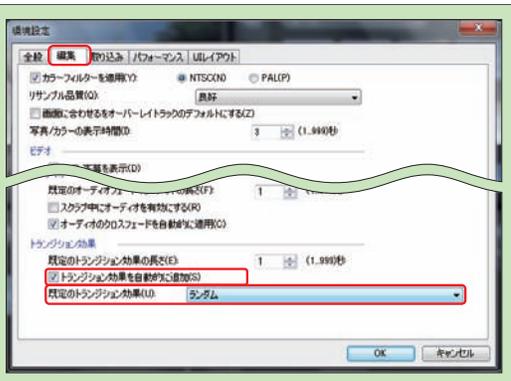


**3** ライブラリにトランジションが一覧表示されます。画面に表示しきれないときはライブラリスクロールバーが表示されます。スクロールバーを下にドラッグして画面に表示されていないトランジションを表示します。また、スライダーをドラッグすると、トランジションのサムネイルを拡大・縮小表示できます。



### TIPS

ビデオクリップをタイムラインに配置すると、自動でトランジションを設定することができます。[設定]メニューから[環境設定]をクリックして、[環境設定]ダイアログボックスを表示します。[編集]タブの[トランジション効果を自動的に追加]にチェックを入れます。標準では[規定のトランジション効果]は[ランダム]になっていて、ビデオクリップを追加すると、いろいろなトランジションが配置されます。「▼」ボタンをクリックして表示されるメニューからトランジションを選び、ビデオクリップを追加すると、いつも選択したトランジションが配置されます。



# トランジションの確認

- 1 トランジションをクリックするとプレビューウィンドウにそのトランジションの効果が再生されます。「A」と「B」のアルファベットでビデオの切り替わりが表示されます。



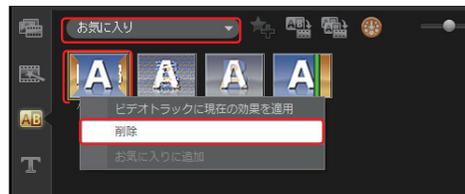
- 2 「再生」ボタンをクリックするとAからBにアルファベットが変わります。ここで画面の切り替わり方を確認します。また、ジョグスライダーをスライドしてもトランジションを確認できます。



- 3 「ビデオトラックに現在の効果を適用」ボタンをクリックすると、選択したトランジションがすべてのビデオとビデオの切り替わり効果になります。



- 4 「お気に入りに追加」ボタンをクリックすると、ライブラリの「お気に入り」に登録されます。「お気に入り」から登録を解除するには「お気に入り」に登録したトランジションを右クリックして、表示されるメニューから「削除」をクリックします。



# トランジションをかける

- 1** 使用するトランジションが決まったら、そのトランジションのサムネイルをクリップとクリップの間にドラッグします。「再生」ボタンをクリックすると、実際のクリップにトランジションがかかった映像を確認できます。



「再生」ボタン

- 2** 各ビデオクリップ間に異なるトランジションを一括して適用することもできます。「ビデオトラックにランダムな効果を適用」ボタンをクリックすると、プロジェクトのすべてのビデオクリップとビデオクリップの間に自動でトランジションを挿入します。各トランジションはランダムに選ばれます。

ビデオトラックにランダムな効果を適用」ボタン



## TIPS

トランジションを取り止めるにはトランジションを右クリックして、表示されるメニューから「削除」をクリックします。また、トランジションをクリックして選択し、「Delete」キーを押しても削除できます。



## TIPS

適用したトランジションが気に入らなければ、他のトランジションを重ねてドラッグします。前に選んだトランジションはなくなり、新しいトランジションの効果が適用されます。

## TIPS

「タイムラインビュー」では、タイムラインにビデオクリップを配置する際、前のビデオクリップにかかるとようにドラッグすると、自動でトランジションが設定されます。



前のビデオクリップの終わりに、ビデオクリップを重ねて配置

## トランジションのオプション設定

選択したトランジションの詳細を設定します。オプションパネルでトランジションをかける長さ（時間）や方向、ビデオとビデオの境をはっきりさせるためのラインを引くことができます。

ここでは「3D」カテゴリの「バードア」効果で説明します。



### 1 長さ

トランジションをかける時間を設定します。短く設定すれば瞬時にクリップが切り替わり、長く設定すればゆっくりと変化しながら切り替わります。デフォルトは1秒です。



## 2 境界線

クリップとクリップの境目がはっきりするようにクリップにフチをつけます。「▲」や「▼」をクリックして数値を設定します。「0」は境界線なしで「1～10」まで選べ、数字が大きくなると境界線が太くなります。クリップとクリップが似たような映像のときに使うと効果があります。



## 3 色

境界線の色を設定できます。色ボックスをクリックするとカラーパレットが表示されるので、そこから色を選びます。カラーパレット以外の色にしたい場合はCorelカラーピッカーかWindowsカラーピッカーをクリックして、表示される「色の設定」ダイアログボックスから色を選びます。



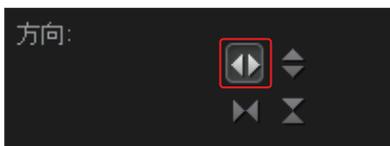
## 4 ソフトエッジ

クリップとクリップの変わり目をぼかします。右のボタンになるほど強くボケます。境界線を設定している場合は境界線がボケます。



## 5 方向

トランジションがかかる方向を設定します。上から下にかかっていくトランジションや下から上、右から左、左から右にかけることができます。



**注意** トランジションの種類によっては、方向が変えられない効果もあります。

### ヒント

トランジションによってはオプションパネルに「カスタマイズ」ボタンが表示される効果もあります。この場合は、「カスタマイズ」ボタンをクリックして、表示されるダイアログボックスで設定を行います。



STEP 5

# オーバーレイ

このステップでは、映像にイメージファイルや映像を重ねて、編集した映像をさらに凝った作品にします。



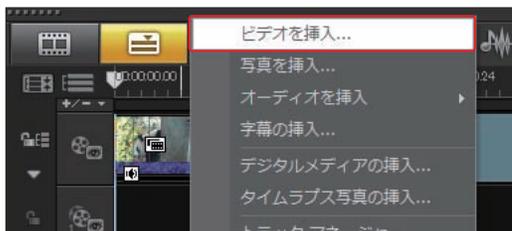
## ビデオとビデオの合成

オーバーレイトラックにビデオクリップを取り込むと、ビデオトラックのビデオクリップと合成できます。映像が流れている画面の中にもうひとつの小さな画面で映像を流す「ピクチャ・イン・ピクチャ」や、人物だけを切り抜いた「クロマキー合成」などができます。ビデオとビデオの合成は「タイムライン」で行います。



**1** 重ね合わせるビデオの背景になるビデオクリップをビデオトラックに挿入します。

**2** 前景になるビデオクリップをオーバーレイトラックに挿入します。オーバーレイトラックを右クリックして、表示されるメニューから「ビデオを挿入」を選択します。

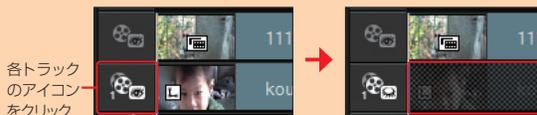


### TIPS

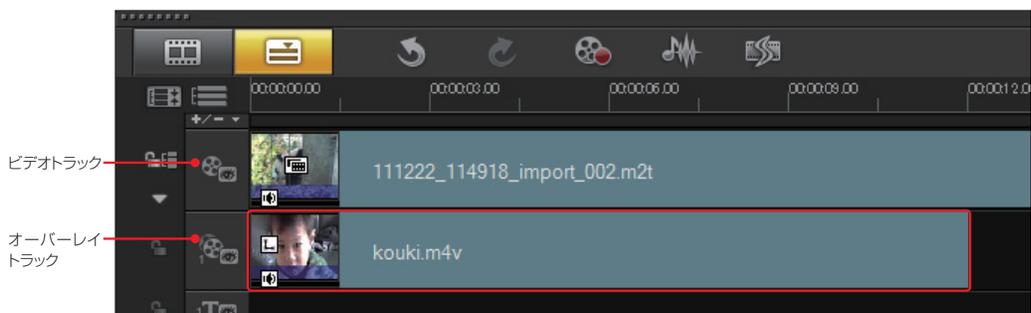
オーバーレイトラックに配置したビデオクリップとビデオクリップの間に、トランジション効果を付けることもできます。なお、アルバムや3Dなどの画面全体の形状を変化させるトランジション効果についてはオーバーレイ単独でのトランジション効果ではなく、映像全体のトランジション効果となります。

### ヒント

X5の新機能に「トラックの有効/無効」機能があります。各トラックのアイコンをクリックすると、そのトラックを非表示にします。元に戻すには、もう一度アイコンをクリックします。



- 3** 「ビデオファイルを開く」ダイアログボックスでビデオファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。読み込まれたビデオクリップが「オーバーレイ」トラックに挿入されます。



- 4** または、メディアライブラリの「メディアファイルを取り込み」ボタンをクリックして、表示される「メディアファイルを参照」ダイアログボックスでビデオファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックしてメディアライブラリに登録します。

**TIPS** ライブラリパネルの左下にある「参照」ボタンをクリックすると、エクスプローラが起動してウィンドウが表示されます。ここからビデオファイルを選択して、そのままVideoStudioのオーバーレイトラックにドラッグすることもできます。



- 5** 登録したビデオクリップをオーバーレイトラックにドラッグします。

- 6** ビデオファイルの長さを映像に合わせて調整します。ビデオクリップをクリックして、開始位置や終了位置をドラッグして決定します。



- 7** オプションパネルの「編集」タブでオーバーレイトラックに配置したビデオクリップの長さや音声の調整ができます。また、「再生速度変更/タイムラプス」ボタンで、ビデオクリップの再生速度を調整できます。



**8** 「属性」タブをクリックしてビデオクリップを表示する位置や大きさ、動きなどを調整します。オーバーレイトラックのビデオクリップをプレビューウィンドウでドラッグして、表示したい位置に移動します。黄色のポインタをドラッグすると、ビデオクリップを拡大・縮小できます。緑のポインタをドラッグすると、ビデオクリップを変形できます。



### A [方向/スタイル]

ビデオクリップの動きを調整します。画面上を右左、上下に移動できます。



### B [配置オプション]

オーバーレイ表示するビデオを配置する場所を設定します。表示する位置を固定する場合に便利です。



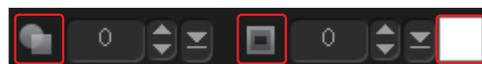
### C [フェードイン/フェードアウトと回転]

オーバーレイ表示するビデオのフェードインやフェードアウト、回転の設定ができます。



### D [マスク&クロマキー]

「マスク&クロマキー」ボタンをクリックして、表示されるパネルで、オーバーレイトラックに配置したビデオの透明度や境界線の設定を行います。



**[透明度]** ビデオクリップの透明度を設定します。「0」から「99」まで設定でき、「0」がフル表示で、数字を大きくするとより透ける設定になります。

**[境界線]** オーバーレイトラックのビデオクリップに枠をつけます。「0」は境界線なしで、数字を大きくすると太い境界線になります。カラーボックスをクリックして境界線の色を選択します。

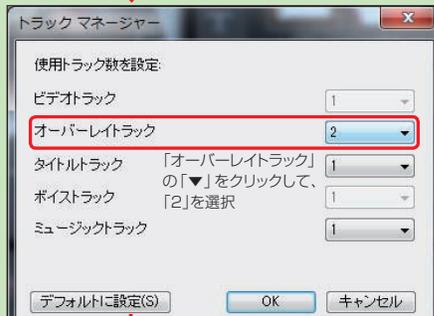
## オーバーレイトラックを使った映像例

ビデオトラックにパンダが歩いている映像を、オーバーレイトラックに子どもの映像を配置して合成したビデオです。パンダが画面の左に歩く映像に笑っている子どもの映像が画面右下から現れ、時間とともに画面の右上に回転しながら移動して消えるように設定してあります。

### TIPS

VideoStudioでは、オーバーレイトラックを複数使用することができます。オーバーレイトラックを追加するには、「トラックマネージャー」ボタンをクリックします。表示される「トラックマネージャー」ダイアログボックスで、「オーバーレイ」の「▼」をクリックし、使用する本数を選択します。オーバーレイトラックは合計で20本使用できます。

「トラックマネージャー」ボタン



オーバーレイトラックを2本使用した例

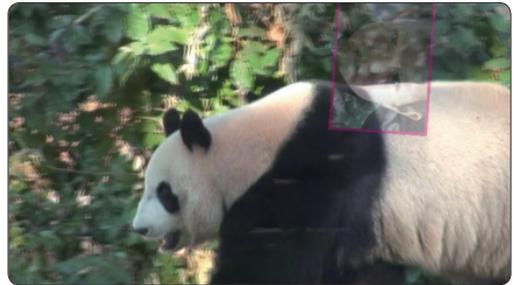
新たにオーバーレイトラックが追加されます。



① 「方向/スタイル」の「イン」を「右下から入る」、「一時停止の前に回転」に設定したので、オーバーレイトラックの映像が回転しながら右下から徐々に表示されます。



② 画面の右下に子どもの映像が再生されます。「境界線」を「2」に、「境界線の色」は「赤色」に設定しています。



③ 「方向/スタイル」の「アウト」を「右上へ消える」、「一時停止の後に回転」に設定したので、オーバーレイトラックの映像は回転しながら画面の右上方向に移動します。

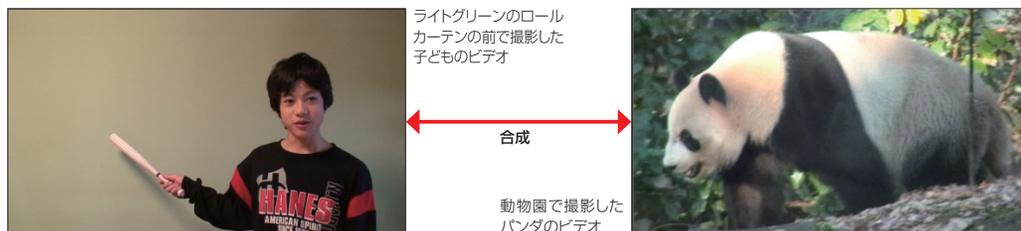


④ 最後にオーバーレイトラックの映像が右上に消えます。

# クロマキー合成

クロマキー合成とは、人やものを青か緑の背景の前で撮影し、あとから背景色を取り除いて、その部分に別の映像が流れるようにする手法です。人物などを切り抜いて別の映像に合成できます。

ここでは子どもの映像を、動物園で撮影したビデオに合成します。

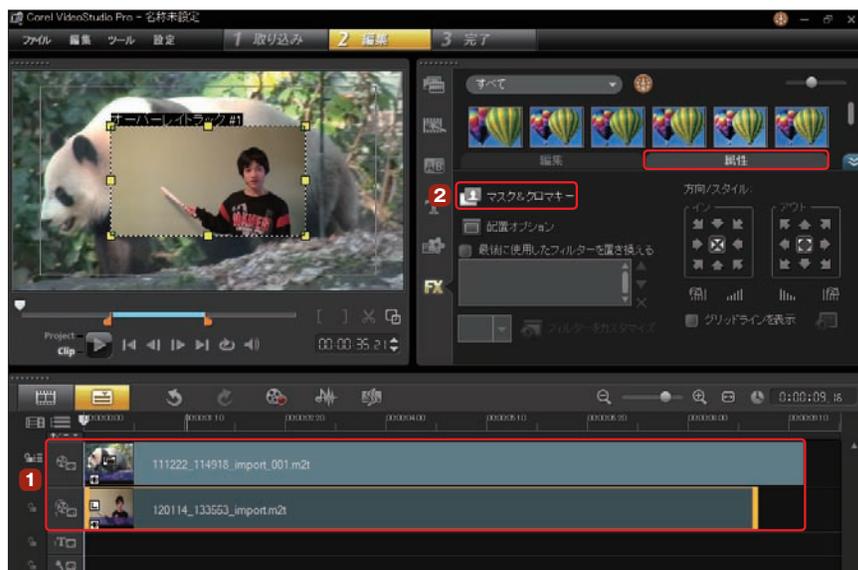


## TIPS

ブルーバックやグリーンバックを使うのは、人間の身体や髪の毛、肌、目、唇などに緑や青色がないので、この色を抜いても合成に影響しないからです。

**1** ビデオクリップをビデオトラックに配置して、合成するビデオクリップをオーバーレイトラックに配置します。プレビューウィンドウには2つのビデオクリップが重なって表示されます。

**2** 「属性」タブをクリックして、「マスク&クロマキー」ボタンをクリックします。



**3** 表示される「オーバーレイ」オプションパネルの「オーバーレイオプションを適用」にチェックを入れます。



- 4** 「タイプ」の「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「クロマキー」を選択します。
- 5** 自動で背景の色が抜けます。きれいに背景色が抜けていない場合は抜きたい背景色を選びます。「近似」の「マスクの色を選択」アイコンをクリックします。
- 6** マウスカーソルがスポイトになるので、プレビューウィンドウに表示されたオーバーレイトラックのビデオクリップから抜きたい色の部分をクリックします。
- 7** 背景の色が抜けて、被写体だけの映像になります。もう一度「マスクの色を選択」をクリックして解除します。
- 8** オーバーレイのビデオクリップは、黄色のポイントをドラッグして拡大・縮小、緑色のポイントをドラッグして変形することができます。

**TIPS** クロマキー合成を家庭や職場で行うには、ブルーのシートや緑のカーテンの前で撮影すると、簡単に合成映像ができます。

**TIPS** ブルー／グリーンバックよりも大きな範囲で撮影して他の色が映り込んだ場合は、「近似」の「幅」と「高さ」の数値を変更して映像をトリミングすると、他の色が映り込むのを防げます。このとき、人物の映像では動きがあるので、姿が切り取られないように映像を一通り確認して、一番大きな動きに合わせて切り抜きます。

幅: 36  
高さ: 10

# ペインティング クリエーター

VideoStudioには、ビデオや静止画にイラストや文字を描く「ペインティング クリエーター」機能が搭載されています。いろいろな筆のタッチでイラストや文字を描いたり、アニメーションを作成したりして、ビデオの内容をよりわかりやすく、より楽しく飾ることができます。

- 1 「ペインティング クリエーター」を使うには、イラストなどを挿入する位置にジグスライダーを移動して、「ツール」メニューから「ペインティング クリエーター」をクリックします。「ペインティング クリエーター」画面が表示されます。



The screenshot shows the 'ペインティング クリエーター' window. A toolbar at the top contains various drawing tools. A red box highlights the brush size slider and a button. A red box also highlights the '記録開始' button. Below the main preview window, a mode selection menu is shown with 'アニメーションモード' checked and 'スチルモード' selected. Red arrows point from the text annotations to these specific UI elements.

筆のサイズ

筆のサイズを変更するにはスライダーをドラッグします。鍵をクリックすると、縦横比を固定できます。

ビデオカメラのアイコンをクリックして表示されるメニューから「スチルモード」を選択すると、イラストや文字を描いた静止画を作成することができます。

- 2 イラストを描くツールを選択します。ペイントブラシやエアブラシ、クレヨン、鉛筆などいろいろなタッチを表現できるツールが揃っています。

- 3 ペイントする色は「スポイトツール」ボタンをクリックして、表示されるスポイトツールでカラーバーをクリックして選びます。選択された色はカラーピッカーに表示されます。



4 「記録開始」ボタンをクリックします。



5 プレビューウィンドウにペイントします。描き終わったら、「記録停止」ボタンをクリックします。

描いたイラストを取りやめるには「クリア」ボタンをクリックします。

レコーディング中に「消しゴムモード」ボタンをクリックして描いたものを消すと、書き上がったイラストが消えてゆくアニメーション効果になります。



6 できあがったアニメーションはギャラリーに保存されます。

7 アニメーションを確認するには、「再生」ボタンをクリックします。プレビューウィンドウにアニメーションが再生されます。

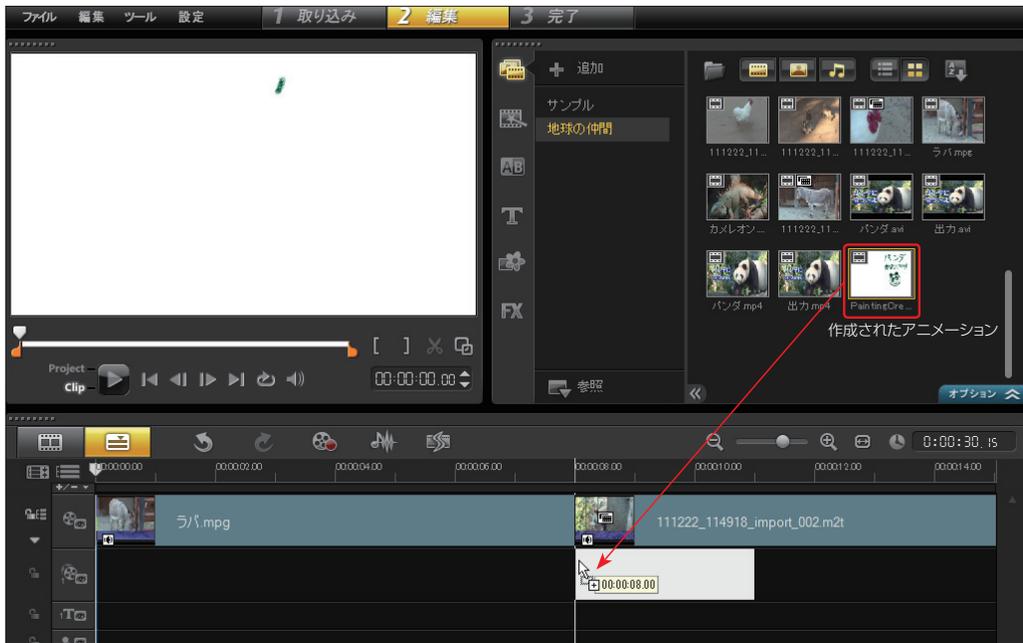
8 アニメーションを削除するには、ギャラリーからアニメーションを選択して、「削除」ボタンをクリックします。

9 アニメーションの再生時間は、調整することができます。「長さを変更」ボタンをクリックして、表示される「長さ」ダイアログボックスで再生時間を設定します。

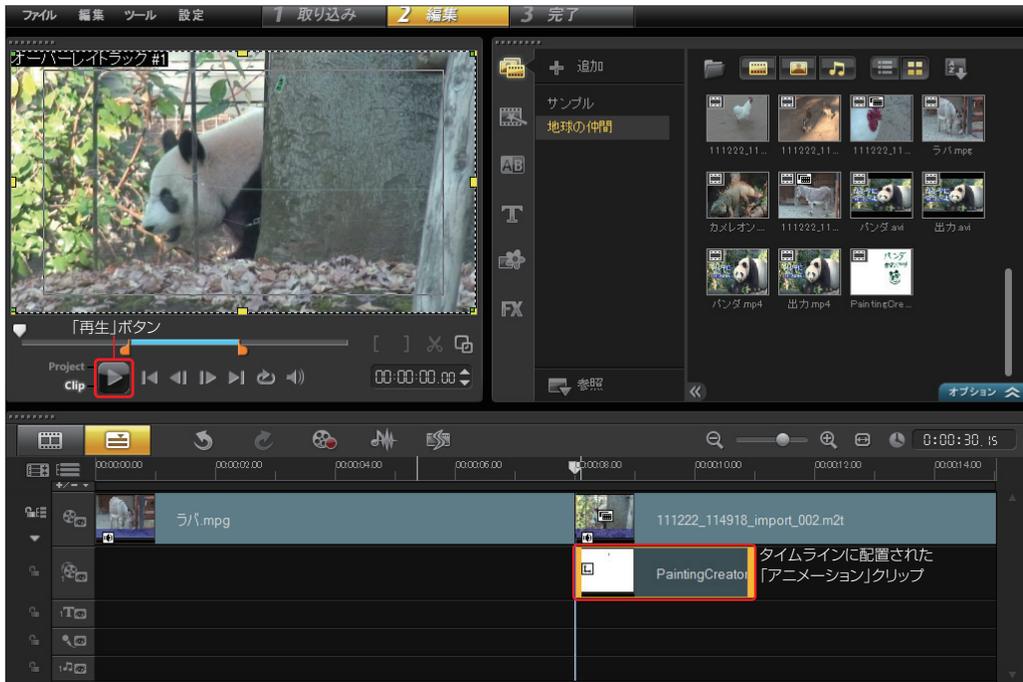
10 「OK」ボタンをクリックします。



**11** VideoStudioの画面に戻ります。作成したアニメーションは、メディアライブラリに登録されます。アニメーションを配置するタイムラインの位置にドラッグします。



**12** 「アニメーション」クリップがタイムラインに配置されます。「再生」ボタンをクリックしてアニメーションを確認します。



ビデオの上にペイントしたイラストなどのアニメーションが表示されます。



ヒント

作成した「アニメーション」クリップは、単独でビデオトラックに配置することができます。

ヒント

「ペインティング クリエーター」を使って、ビデオのタイトルを手書き風のアニメーションで作成することができます。

TIPS

「ペインティング クリエーター」は、ペイントの際に、静止画やビデオをトレースすることができます。編集中のビデオや静止画の場合はトレースする位置にジョグスライダーを移動して、左下にある「アニメーションまたはスチルモード」ボタンで「スチルモード」を選択します。背景のビデオや静止画に沿ってトレースします。「静止画」ボタンをクリックして保存します。

「ズームイン」や「ズームアウト」ボタンをクリックして背景を拡大・縮小します。

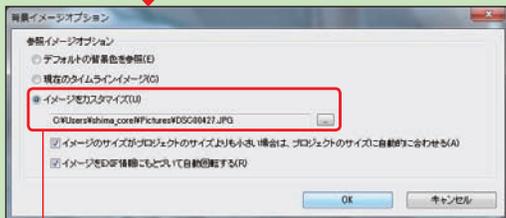
スライダーをドラッグしてトレースしやすいように背景の透明度を設定します。



また、「背景イメージオプション」ボタンをクリックして、表示される「背景イメージオプション」ダイアログボックスで、編集で使用しない静止画を指定して読み込み、その静止画をトレースすることもできます。



「背景イメージオプション」ボタン



「イメージをカスタマイズ」にチェックを入れ、読み込む静止画を指定します。

# 静止画やFlashアニメーションとビデオを合成する

オーバーレイトラックに背景色を透明に設定した画像を配置すると、ビデオトラックの映像と合成できます。画像はPNG、PSD、TIF、TGA形式が使用できます。また、Flashアニメーションを使用することができます。VideoStudioに搭載されているフレームファイルやFlashアニメーションも使用できます。

- 1** ビデオトラックにビデオクリップを挿入します。

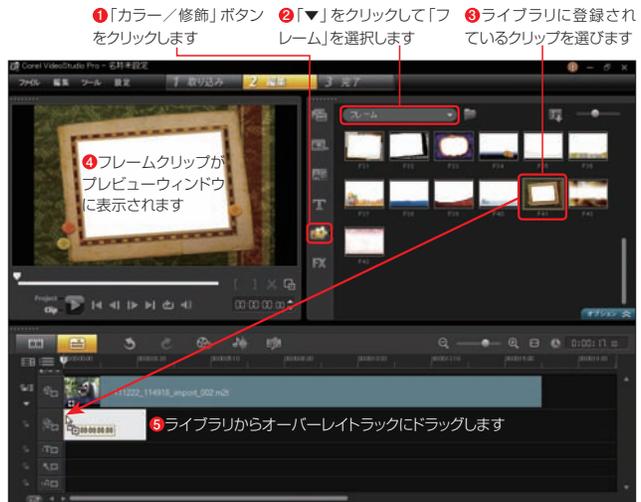


- 2** お手持ちの写真やFlashファイルを使用するには、オーバーレイトラックを右クリックして、表示されるメニューから「写真を挿入」を選択します。表示される「写真を検索」ダイアログボックスで静止画やFlashアニメーションファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。オーバーレイトラックにファイルが取り込まれます。



- 3** VideoStudioに用意されたクリップを利用するには、「カラー／修飾」ボタンをクリックして、ドロップダウンリストから「フレーム」や「フラッシュアニメーション」を選択します。

- 4** フレームクリップやFlashアニメーションをオーバーレイトラックにドラッグします。ここでは、ライブラリに登録してある「F41」フレームを使って説明します。

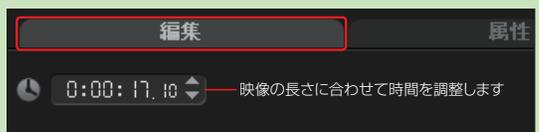


**5** クリップの長さを映像に合わせて調整します。フレームクリップをドラッグします。



**注意** Flashアニメーションの場合は、再生時間が決まっています。効果をかける時間を伸ばすには、同じFlashアニメーションをタイムラインに追加して調整します。

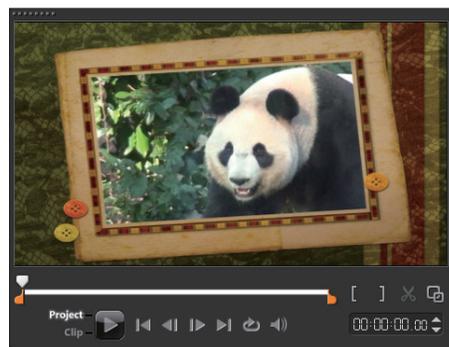
**TIPS** フレームクリップの再生時間は、「編集」タブの「長さ」で時間を直接入力して調整することもできます。



**6** 「属性」タブをクリックします。ここではクリップの動きや位置、ズーム比率、透明度などの表示方法を設定します。詳しい設定方法は96ページの**8**をお読み下さい。



**7** ビデオトラックの映像とオーバーレイトラックのFlashアニメーションやフレームクリップが合成されます。



**TIPS** PaintShop Pro X4を使用すると、アルファチャンネルを使って静止画の背景を透過させての合成が可能です。

## タイトルをオーバーレイトラックに配置

Step6で解説するタイトルクリップは、オーバーレイトラックにも配置できます。タイトルクリップをタイトルトラックに配置するとビデオクリップの上に表示されますが、タイトルクリップをオーバーレイトラックに配置すると、ビデオクリップの下に表示できます。

この機能を使うと、クロマキーで切り抜いた人物やものの後ろにタイトルを表示したり、タイトルをひとつのオブジェクトとして扱えます。たとえば地球の周りにタイトルが回るタイトルアニメーションなど、変化に富んだ映像が作成できます。

■タイトルを「タイトルトラック」に配置



■タイトルを「オーバーレイ」トラックに配置

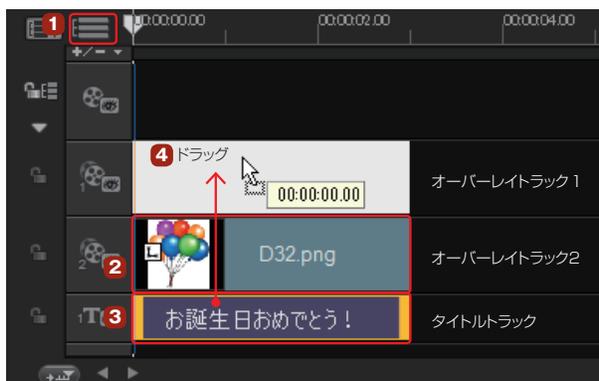


**1** タイトルをオーバーレイトラックに配置するには、97ページのTipsを参考にして「オーバーレイトラック#2」を追加します。オーバーレイトラックは「オーバーレイトラック1」の映像に「オーバーレイトラック2」の映像が重なるというように、番号の大きいトラックほど上に表示されます。また、タイトルの上に表示するクリップはクロマキーなどでオブジェクトを切り抜いておきます。

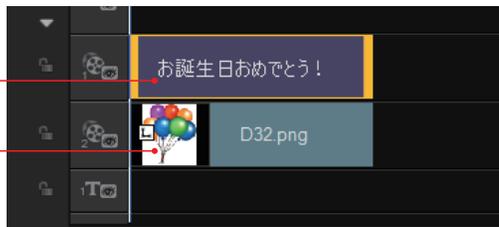
**2** タイトルの上に表示するビデオや写真クリップを「オーバーレイトラック2」に配置します。

**3** タイトルトラックをダブルクリックして、108ページを参考にタイトルを作成します。

**4** タイトルクリップを「オーバーレイトラック1」にドラッグします。



**5** タイトルクリップがオーバーレイトラックに移動します。これで「オーバーレイトラック1」のタイトルの上に「オーバーレイトラック2」の地球儀の映像が重なります。



STEP 6

# タイトル

このステップでは映像に文字を入れてタイトルやテロップをつくります。効果的なタイトルやテロップを挿入して、よりわかりやすい映像にしましょう。



## タイトルの挿入

**1** ビデオにタイトルを入れるには、ライブラリパネルの「タイトル」をクリックします。

**2** 「タイムライン」に切り替えます。

**3** タイトルを入れたい位置にジョグスライダーを移動します。この操作はプレビューウィンドウのジョグスライダーでも行えます。

**4** プレビューウィンドウをダブルクリックします。



**5** プレビューウィンドウにテキストを入力する枠の「タイトルセーフエリア」が表示され、文字を入力するカーソルが点滅します。

### ヒント

タイトルセーフエリアは、「設定」メニュー→「環境設定」で表示される、「環境設定」ダイアログボックスの「全般」タブにある「プレビューウィンドウにタイトルセーフエリアを表示」で、表示/非表示の設定ができます。



### TIPS

できあがったビデオをテレビなどで表示すると、ビデオのフチがかかる場合があります。セーフエリアはいろいろなモニターで表示してもビデオがかからない範囲です。セーフエリア内にテキストを入力しておくと、文字がかけて表示されることはありません。なるべくセーフエリア内にテキストを入力するようにしましょう。

**6** オプションパネルの「編集」タブをクリックします。「フォント」から入力する文字の種類を選びます。「▼」をクリックするとフォントの一覧が表示されます。フォントには日本語フォントと英語フォントがあるので、それぞれの言語に合わせて選びます。



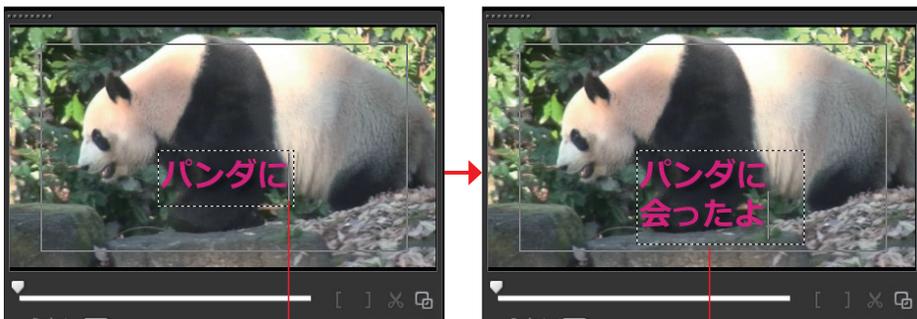
**注意** フォント名の前に「@」がついているフォントは、90度横を向いているフォントです。VideoStudioでは正常に表示されないで、意図的に横を向いた文字にしたいとき以外は使用しないでください。

**7** ワープロなどと同じように文字を入力します。テキストボックス以外をクリックして確定すると、プレビューウィンドウにタイトルが表示されます。



テキストが確定するとテキストがプレビューウィンドウに表示されます

**8** テキストを改行する場合は、キーボードから「Enter」キーを押し、続けて文字を入力します。



改行する位置で「Enter」キーを押します

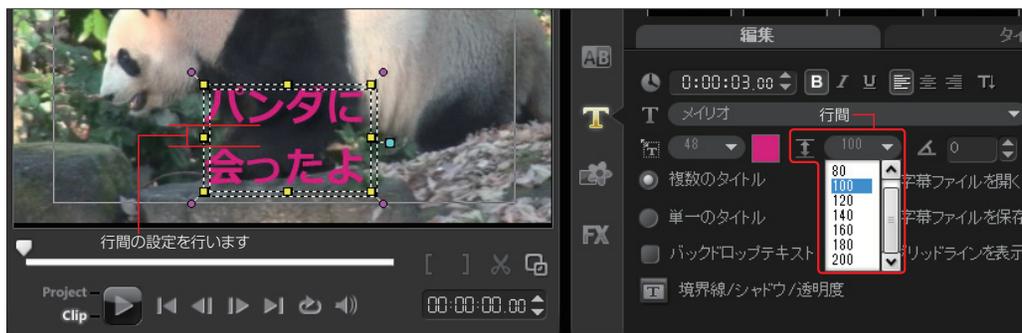
改行されたタイトルが表示されます

- 9** 文字のサイズを変更します。入力した文字をドラッグして選択するか、テキストボックスをクリックして選択し、フォントサイズの「▼」ボタンをクリックして変更します。



**TIPS** フォントサイズの数字をクリックし、直接数値を入力してサイズを変更することもできます。

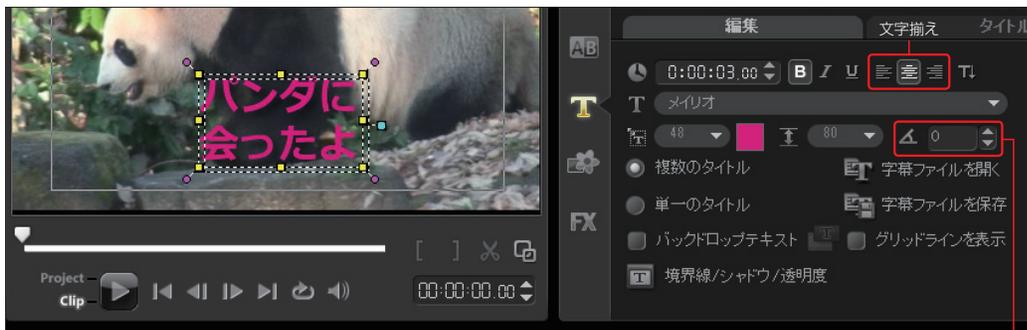
- 10** 行と行の間隔を調整します。入力した文字を選択し、行間の「▼」ボタンをクリックして行間を設定します。「100」が標準で、数字を大きくすると行間が広がり、小さくすると行間が詰まります。



- 11** 文字の飾りを設定します。「B」は文字を太く、「I」は文字を斜体に、「U」は文字に下線を引きます。入力した文字を選択して、それぞれのボタンをクリックすると適用されます。ここでは「太字」にしています。



- 12** 文字の配置を設定します。「左揃え」、「中央揃え」、「右揃え」にできます。入力した文字を選択して、それぞれのボタンをクリックすると適用されます。ここでは「中央揃え」にしています。



「回転する角度」を設定すると、文字を傾けることができます

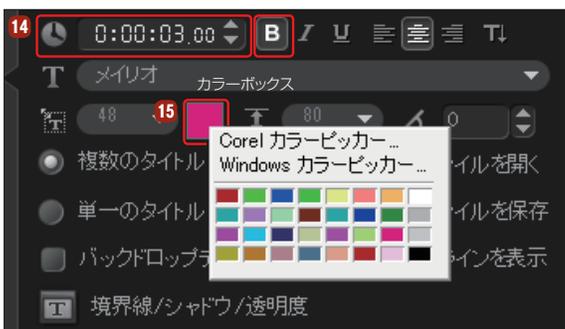
- 13** 「方向を縦にする」ボタンをクリックすると、入力した文字が縦書きになります。



上揃え 中央揃え 下揃え

**ヒント** 縦書きにした場合、文字の配置は「上揃え」、「中央揃え」、「下揃え」になります。

- 14** 「長さ」でタイトルを表示する時間を設定します。変更したい時間の単位をクリックして直接キーボードから数字を入力するか、「▲」「▼」ボタンをクリックして変更します。



- 15** 「カラーボックス」で文字の色を変更します。入力した文字を選択して、カラーボックスをクリックするとカラーパレットが表示されます。そこから色を選択します。

**TIPS** 「Corelカラーピッカー」や「Windowsカラーピッカー」をクリックすると、フルカラーから色を選択できます。

## 文字を飾る

入力したタイトルは、あらかじめ用意された24種類のプリセットを使って、文字の縁取りやシャドウなどを簡単につけることができます。

文字に装飾をつけるには、テキストをクリックして「タイトルスタイルのプリセット」の「▼」ボタンをクリックし、表示されるプリセットの一覧から選びます。



## 境界線とシャドウ、透明度

「境界線/シャドウ/透明度」では、文字にフチや影を付けたり、ぼかしたりすることができます。

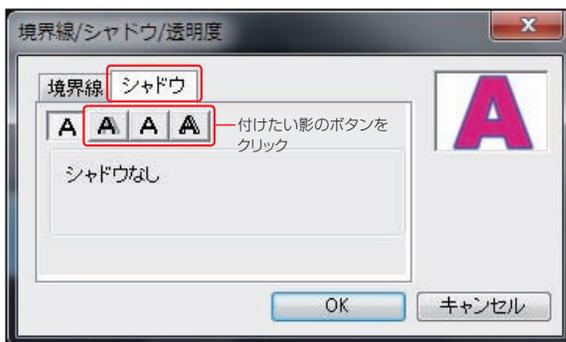
- 1 タイトルを選択して、「境界線/シャドウ/透明度」ボタンをクリックします。



- 2 「境界線/シャドウ/透明度」ダイアログボックスが表示されます。文字の周りにフチを付けるには、「境界線」タブをクリックします。各項目をプレビューウィンドウで確認しながら設定します。



- 3** 文字に影を付けるには、「シャドウ」タブをクリックします。シャドウの種類を選んで細かな設定をします。それぞれのシャドウの設定は、以下の通りです。



ドロップシャドウ：影をつけます

シャドウの位置

シャドウの色



グローシャドウ：文字の外側にフチをつけます

フチの強弱

フチの色



押し出しシャドウ：立体感のある影をつけます

シャドウの縦と横の深さ

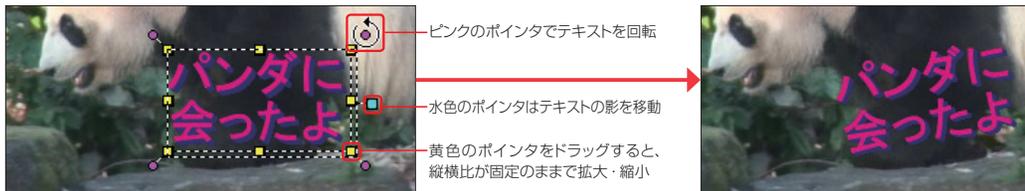
押し出しシャドウの色



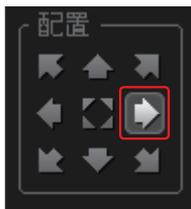
# タイトルのレイアウト

タイトルはテキストボックスを選択して、拡大・縮小、表示位置の変更ができます。

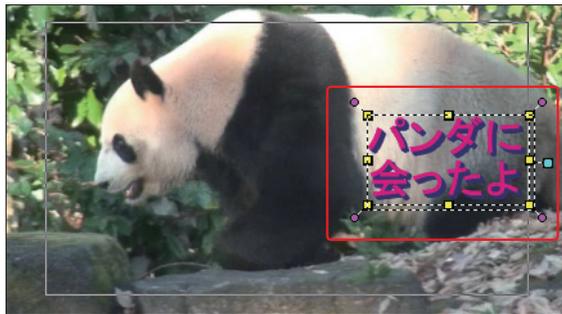
- 1** 入力したテキストをクリックすると、黄色のポインタで囲まれた選択状態になります。タイトルをドラッグしてレイアウトする位置を移動できます。黄色のポインタをドラッグすると拡大・縮小が、ピンクのポインタをドラッグすると回転できます。また、水色のポインタはテキストの影を移動します。



- 2** タイトルは自動で揃えることができます。「配置」からタイトルをレイアウトする場所のボタンをクリックすると、セーフエリアに沿ってレイアウトされます。



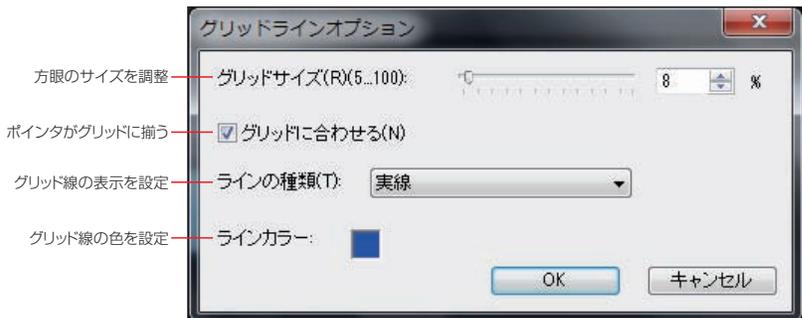
セーフエリア内のどこに配置するかを選びます



- 3** 「グリッドラインを表示」にチェックを入れると、プレビューウィンドウにグリッドが表示され、タイトルのレイアウトがしやすくなります。「グリッドラインオプション」ボタンをクリックして表示されるダイアログボックスで、グリッドの間隔や色、線の種類を設定できます。

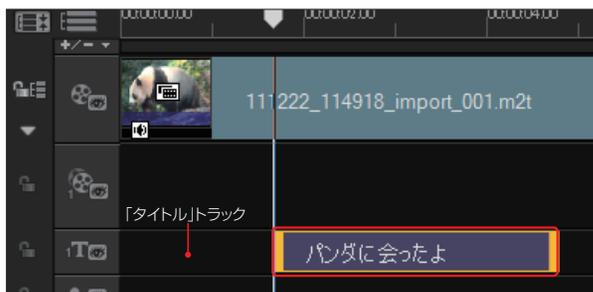


**4** 「グリッドラインオプション」ダイアログボックスが表示されます。「グリッドに合わせる」にチェックを入れると、黄色や緑色のポイントを移動する場合、グリッドに揃えられるので、移動や拡大・縮小がしやすくなります。

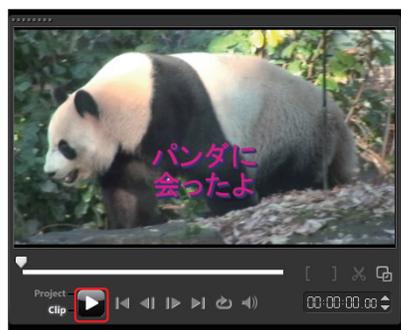


## タイトルの確定と確認

テキストボックス以外をクリックするとタイトルが確定して、タイトルトラックにタイトルクリップとして表示されます。タイトルの文字を修正するには、タイトルクリップをダブルクリックしてプレビューウィンドウにタイトルを表示します。タイトルのテキストボックスをクリックして、文字を直します。



**1** ナビゲーションパネルの「再生」ボタンをクリックして、タイトルの表示を確認します。



**TIPS** 「トラックマネージャー」ボタンをクリックして、表示されるダイアログの「タイトルトラック」の「▼」をクリックし、「2」を選択すると、タイトルトラックを2つにできます。タイトルが消えながら、別のタイトルが表示されるなど、2つのタイトルトラックを使うと、こったタイトルを作成できます。

**ヒント** タイトルはオーバーレイトラックに配置することもできます。複数のオーバーレイトラックに同じタイトルを配置して、タイトルが四方八方に飛び散る演出などができます。

## タイトルの追加

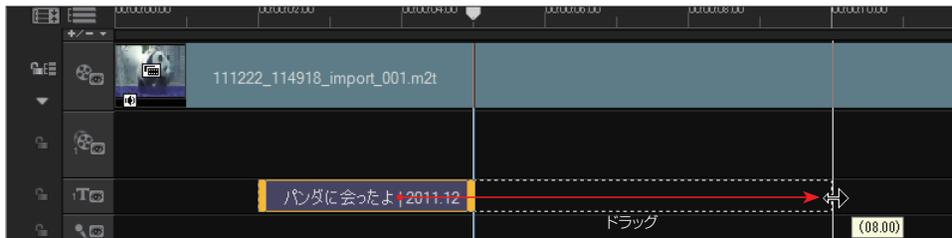
同じ画面にタイトルを追加するには、オプションパネルの「複数のタイトル」にチェックを入れます。プレビューウィンドウをダブルクリックして、テキストを入力します。



タイトルの追加／タイトルの修正

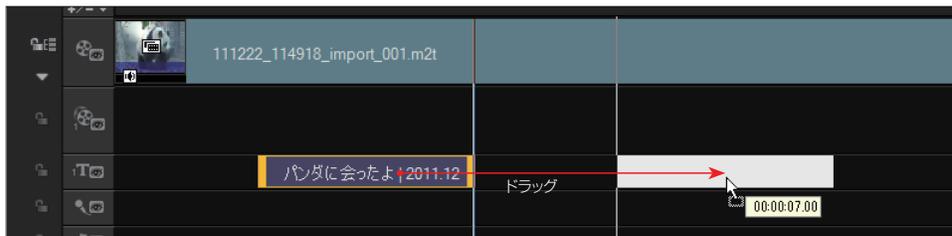
## タイトルの修正

タイトルを表示する時間を変更する場合は、タイトルクリップをクリックして前後にある黄色のラインをドラッグして伸ばします。



タイトルの表示時間を変更

また、タイトルを表示する位置を変更するには、タイトルクリップをドラッグします。



タイトルの表示位置を変更

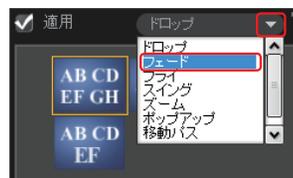
# タイトルのアニメーション

「タイトル設定」タブの「アニメーション」では、タイトルが徐々に表示されたり飛んできたりとタイトルの現れ方に変化をつけます。

**1** タイトルをアニメーションするにはプレビューウィンドウでタイトルをクリックして、「タイトル設定」タブの「アニメーション」と「適用」にチェックを入れます。



**2** ドロップダウンリストの「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューからアニメーション効果の種類を選択します。



**3** 各アニメーションは「カスタマイズ」ボタンをクリックして表示されるダイアログボックスで、アニメーション効果をカスタマイズできます。

**4** アニメーションのプリセットが一覧表示されるので、ここからアニメーションのプリセットを選択すると、簡単にアニメーションが設定できます。

以下に、各アニメーションタイプのダイアログボックスでの設定について解説します。

## フライ

**1** 「フライ」アニメーションは、移動するタイトルをつくることができます。

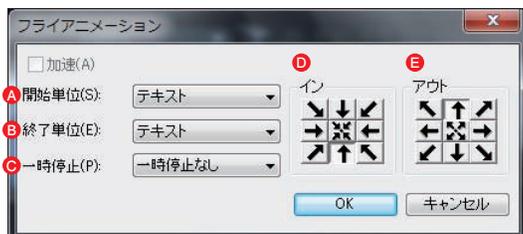
**A 開始単位(S):** はじめにタイトルが現われるときに「文字」、「単語」、「ライン(行)」、「テキスト」の単位で移動できます。

**B 終了単位(E):** タイトル表示が終わるときに「文字」、「単語」、「行」、「テキスト」の単位で移動できます。

**C 一時停止(P):** タイトルが移動してきて表示されたときにポーズをかける時間の設定ができます。

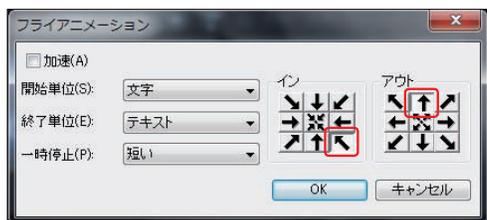
**D イン:** タイトルがどこから移動してくるかを設定します。

**E アウト:** タイトルがどこへ移動していくかを設定します。



「加速」にチェックを入れると、移動するスピードが速くなります。

**2** フライアニメーションを以下のように設定すると、右のムービーができます。



**1** 「イン」を「右下」に設定。画面の右下からタイトルが現われます。

**2** 「開始単位」を「文字」にしたので、「動物園に行ったよ」が1文字ずつ現われます。すべてのタイトルを同時に移動するには、「テキスト」を選びます。



**3** 「一時停止」を「短い」に設定。本来のタイトルが表示される位置で、少し止まる設定になります。

**4** 「終了単位」を「テキスト」に設定。タイトル全体が一緒に移動します。「アウト」を「中央上」に設定。タイトルがムービーの上に移動して消えます。



**TIPS**

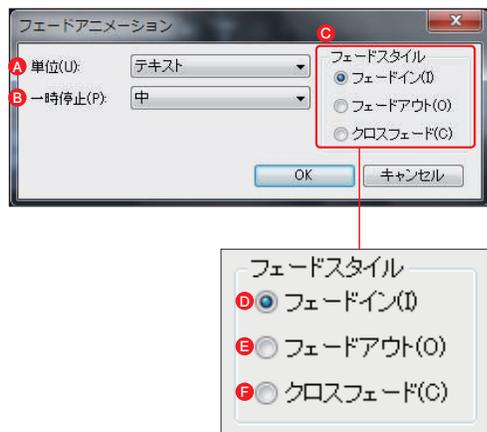
タイトルの停止時間はカスタマイズすることができます。各アニメーションの「カスタマイズ」ダイアログボックスで、「一時停止」から「ユーザー定義」を選択します。プレビューバーの水色の部分が一時停止時間を表しています。「一時停止の長さ」アイコンをドラッグして停止時間や停止する位置を設定します。



## フェード

「フェード」アニメーションは、テキストを徐々に表示したり、消えていく効果が表わせます。

アニメーションのタイプから「フェード」を選び、「カスタマイズ」ボタンをクリックします。



**A 単位**：フェードするタイトルの単位を選択します。

**B 一時停止**：クロスフェードを選んだときにテキストが現われてから消えはじめるまで静止している時間を設定します。

**C フェードスタイル**：フェードするタイトルのスタイルを設定します。「フェードイン」、「フェードアウト」、「クロスフェード」のどれかをチェックします。

**D フェードイン**：テキストが徐々に現われます。

**E フェードアウト**：テキストが徐々に消えていきます。

**F クロスフェード**：テキストが徐々に現われて消えていきます。



## ズーム

「ズーム」アニメーションは、タイトルが徐々に大きくなる効果をかけられます。アニメーションのタイプから「ズーム」を選び、「カスタマイズ」ボタンをクリックします。

**A 単位**：ズームしてくるタイトルの単位を選びます。

**B ズーム開始**：ズームするタイトルの開始時のサイズを設定します。「0」にすると、なにもないところからタイトルが現われます。

**C ズーム終了**：ズームするタイトルの最終的なサイズを設定します。

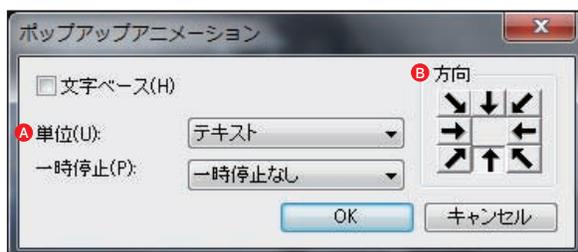


## ポップアップ

「ポップアップ」アニメーションは、タイトルが飛び出してくるような効果をかけられます。アニメーションのタイプから「ポップアップ」を選びます。

**A 単位**：ポップアップしてくるタイトルの単位を選びます。

**B 方向**：どの方向からタイトルが飛び出してくるかを設定します。



## 回転

「回転」アニメーションは、タイトルが映像上で宙返りするような効果をかけられます。アニメーションのタイプから「回転」を選びます。

**A イン**：タイトルをどの位置から表示するかを設定します。

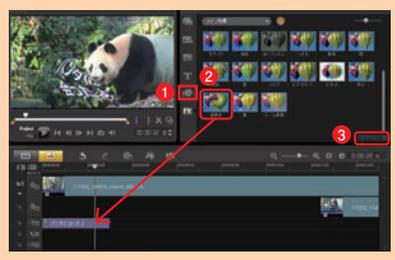
**B アウト**：タイトルの終わりをどの位置にするかを設定します。

**C 一時停止**：タイトルがセンターに表示されたときに、停止する時間を設定します。



ヒント

タイトルクリップには、フィルターを適用することもでき、新しいタイトルアニメーションを作成できます。ライブラリパネルから「フィルター」をクリックしてライブラリからフィルターを選択します。フィルターをタイトルクリップにドラッグします。適用したフィルターは、オプションパネルの「タイトル設定」タブでカスタマイズできます。また、フィルターは、ひとつのタイトルクリップに複数重ねることもできます。



## サンプルタイトルの使用

タイトルには、ライブラリに用意されているサンプルを使用できます。また、自分で作成したタイトルをこれらのライブラリに登録しておけば、いつでも使えるようになります。

### 「タイトル」ライブラリ

「タイトル」ライブラリには、タイトルのサンプルが収録されています。これらを使用すると、飾りのついたタイトルをムービーに挿入できます。また、アニメーションするタイトルも用意されています。

- 1 タイトルライブラリにあるプルダウンリストの「▼」をクリックして、「タイトル」を選択します。ライブラリに表示されるサンプルから使用するタイトルをクリックします。
- 2 プレビューウィンドウにタイトルが表示されます。
- 3 「再生」ボタンをクリックして、タイトルを確認します。
- 4 タイトルをタイトルトラックの挿入したい場所にドラッグします。
- 5 タイトルが挿入されます。



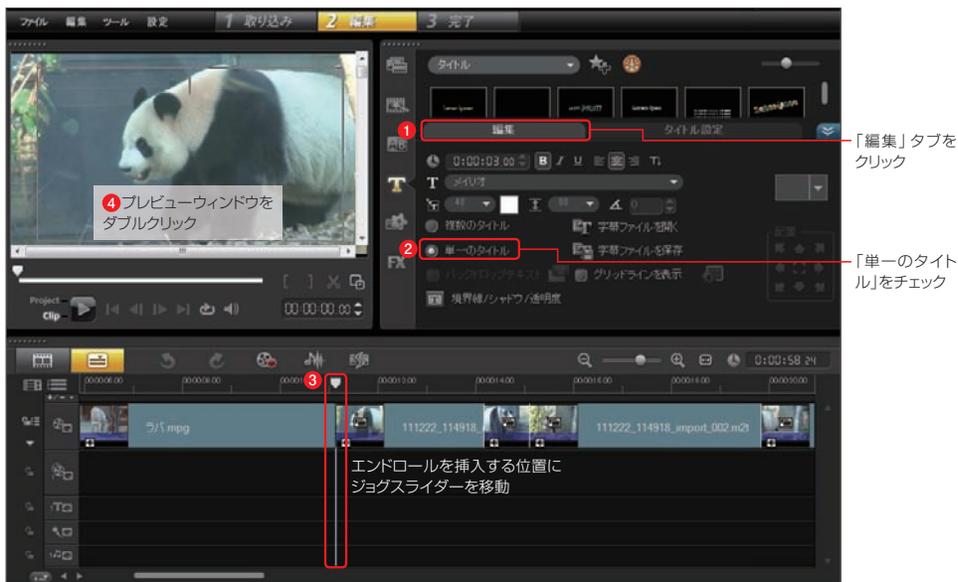
**TIPS** 挿入したサンプルのタイトルはタイトルクリップをダブルクリックすると、文字飾りなどの設定に変更が加えられます。また、プレビューウィンドウに表示されたタイトルをクリックして、テキストを修正できます。

**TIPS** 作成したタイトルをタイムラインからライブラリにドラッグするとオリジナルタイトルとして登録されます。

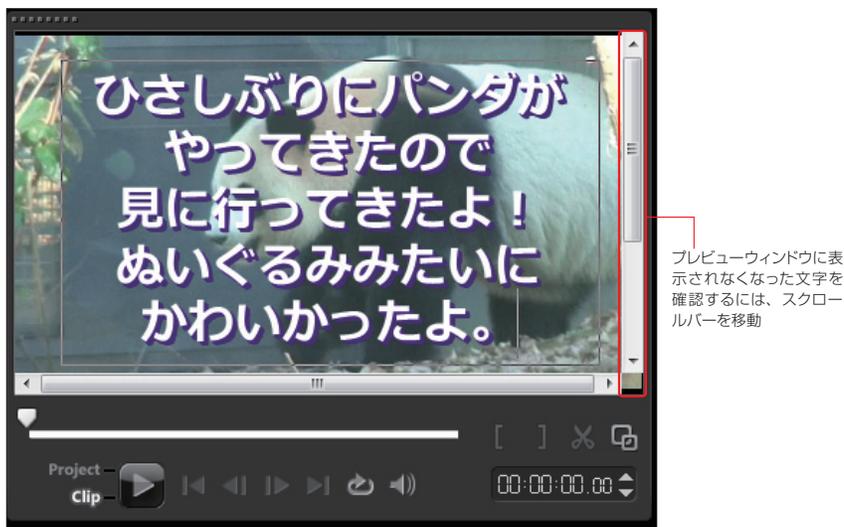
## ロール効果の例

タイトルを応用すると、映画やテレビなどのスタッフ名が流れるエンドロールなども作成できます。

- 1 「編集」タブをクリックして、「単一のタイトル」にチェックを入れます。タイトルを入れたい位置にジョグスライダーを移動し、プレビューウィンドウをダブルクリックします。



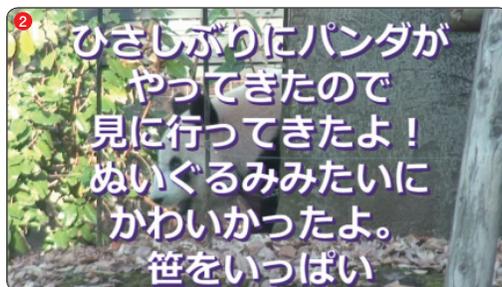
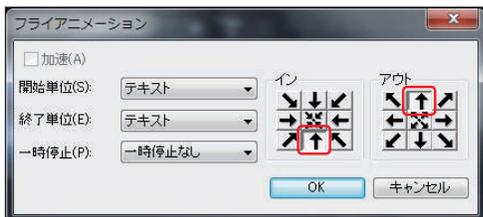
- 2 テキストのフォントやサイズ、飾りなどの設定を行い、文字カーソルの位置からテキストを入力します。改行を加えて入力すると次々に入力できます。



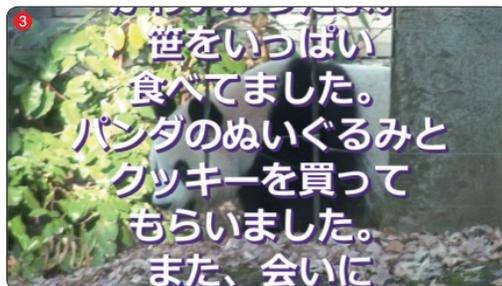
**3** 「タイトル設定」タブをクリックして、「アニメーション」と「適用」にチェックを入れます。タイプを「フライ」にして、フライアニメーションの一覧から左上のアニメーションを選択します。



**4** 「アニメーションの属性をカスタマイズ」ボタンをクリックすると、「開始単位」:「テキスト」、「イン」:「下」、「終了単位」:「テキスト」、「アウト」:「上」、「一時停止」:「一時停止しない」に設定されています。これでタイトルが画面下から現れ、上にスクロールしていきます。

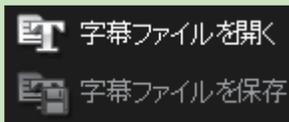


**5** 「再生」ボタンをクリックして確認します。タイトルが上に流れていくムービーができあがります。



**TIPS**

作成したタイトルや字幕、テキストを選択して、「編集」タブの「字幕ファイルを保存」ボタンをクリックすると、作成した文字を保存できます。保存したテキストは「字幕ファイルを開く」ボタンをクリックすると、読み込むことができます。また、「字幕ファイルを開く」では、「.srt」形式の字幕ファイルを読み込むことができます。



## バックドロップテキスト

タイトルに背景をつけた「バックドロップテキスト」をビデオに追加することができます。映像の再生中でもタイトルをより見やすくすることができます。背景は単色のほかにグラデーションをかけることができます。

**1** 背景をつけるタイトルを選択して、オプションパネルの「バックドロップテキスト」にチェックを入れます。

**2** タイトルのバックに色が付きます。「バックドロップテキストの属性をカスタマイズ」ボタンをクリックします。



「バックドロップテキストの属性をカスタマイズ」ボタン

**3** 「バックドロップテキスト」ダイアログボックスが表示されます。「単色の背景バー」にチェックを入れると、背景が一色で塗りつぶされた帯が表示されます。

「テキストでフィット」にチェックを入れると、タイトルを囲むように背景ボックスが表示されます。

**4** 塗りつぶす色を、カラーボックスをクリックして表示されるカラーピッカーから選択します。「単色」にチェックを入れると、一色で塗りつぶされます。

「グラデーション」にチェックを入れると、背景にグラデーションがかかります。掛け合わせる色を2つのカラーボックスで選択し、グラデーションをかける方向の矢印ボタンを選択して「OK」ボタンをクリックします。

タイトルに背景がレイアウトされます。



STEP 7

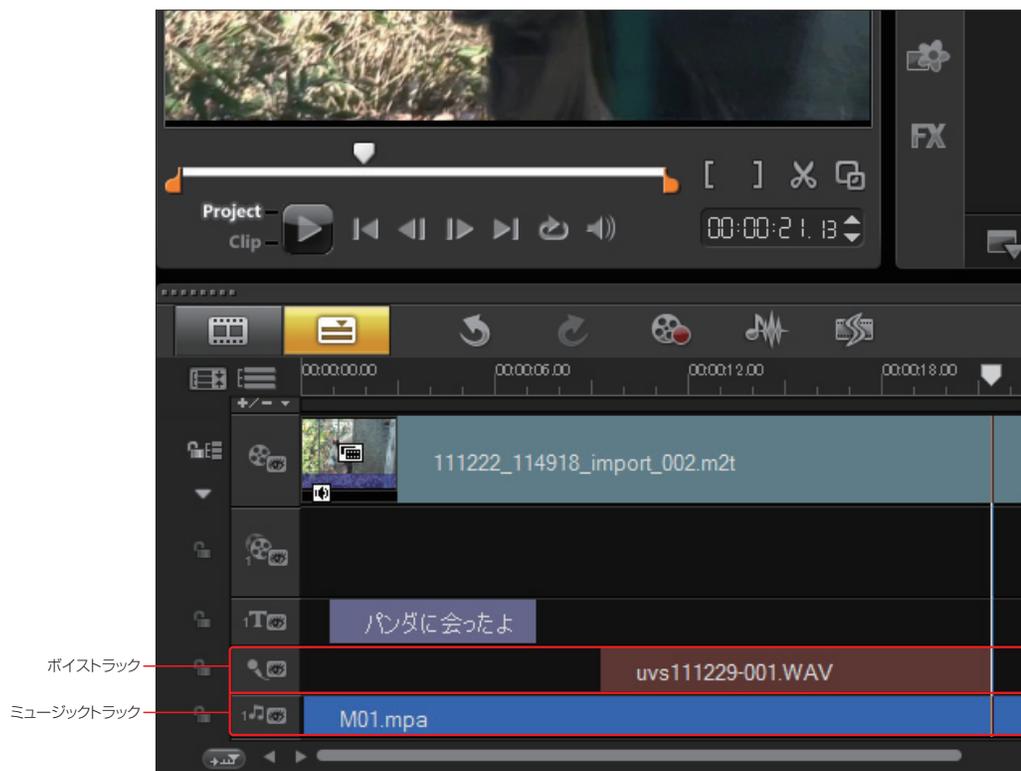
# オーディオ

このステップでは映像にナレーションやBGM、効果音などの「音」を加えます。音がつくと映像がより引き立ちます。



## ボイストラックとミュージックトラック

VideoStudioにはオーディオファイルを扱うトラックとして、ナレーションを配置する「ボイストラック」と、音楽CDなどの曲をBGMとして配置する「ミュージックトラック」があります。これらのトラックに音声を追加して編集すると、映像に音がつきます。



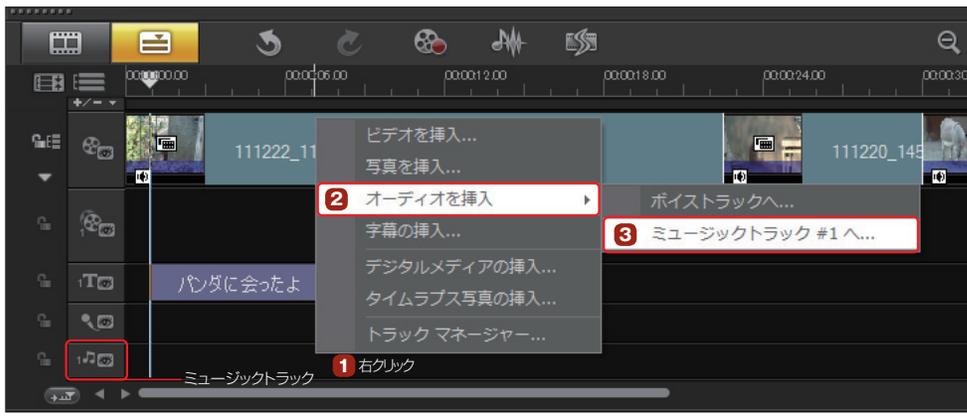
**TIPS** ボイストラックにオーディオファイルを挿入することもできます。

## オーディオファイルを取り込む

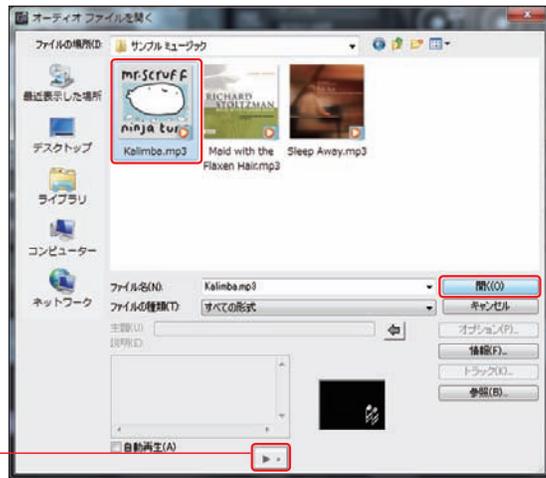
パソコンに保存してあるオーディオファイルを「ミュージックトラック」に挿入することができます。VideoStudioでは、WAVやMP3をはじめ、さまざまなオーディオファイルに対応しています。

**TIPS** VideoStudioで扱えるオーディオファイルには、以下の形式があります。  
Dolby Digital、MP3、MPA、QuickTime、WAV、Windows Media Format

**1** オーディオファイルを取り込むには、ミュージックトラックを右クリックして、表示されるメニューから「オーディオを挿入」→「ミュージックトラック #1 へ」をクリックします。

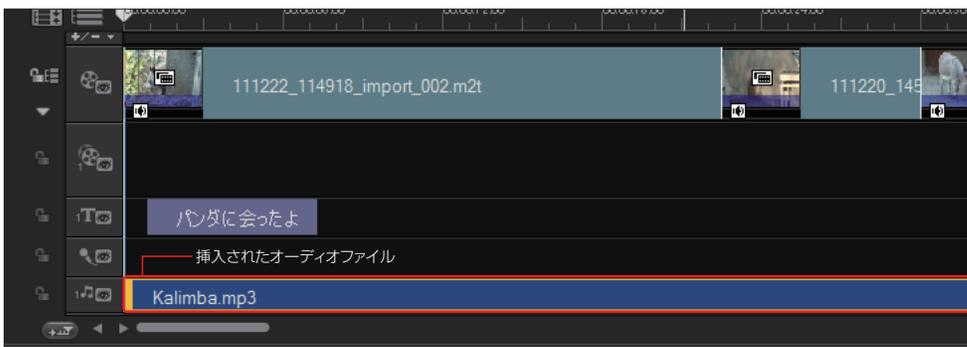


**2** 「オーディオファイルを開く」ダイアログボックスで、目的のオーディオファイルをクリックし、「開く」ボタンをクリックします。



「再生」ボタンをクリックすると、オーディオファイルを確認できます

**3** ミュージックトラックにオーディオファイルが挿入されます。

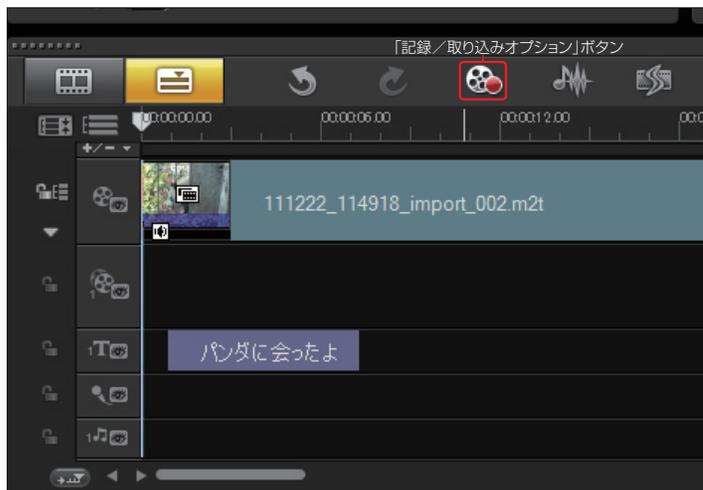


## 音楽CDから曲を取り込む

映像にお気に入りの音楽CDに収録されている曲を、BGMとして追加することができます。

**1** 曲を取り込む音楽CDを用意して、パソコンのDVD/CD-ROMドライブなどにセットします。

**2** 「記録／取り込みオプション」ボタンをクリックします。

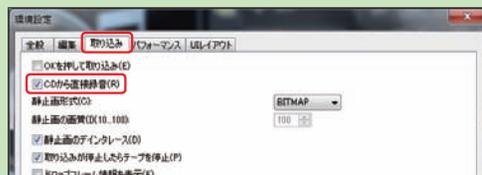


**3** 表示される「記録／取り込みオプション」ダイアログボックスで「音楽CDから取り込み」ボタンをクリックします。



### TIPS

「設定」メニューの「環境設定」をクリックして、表示される「環境設定」ダイアログボックスから「取り込み」タブをクリックします。「CDから直接録音」にチェックを入れると、CD品質のまま、音楽CDから直接曲を自動的に録音します。



## 注意

音楽CDをパソコンにセットするとWindows Media Playerなどが起動して、自動的に演奏が始まる場合があります。このときは、起動したプレーヤーなどを終了してください。

## 注意

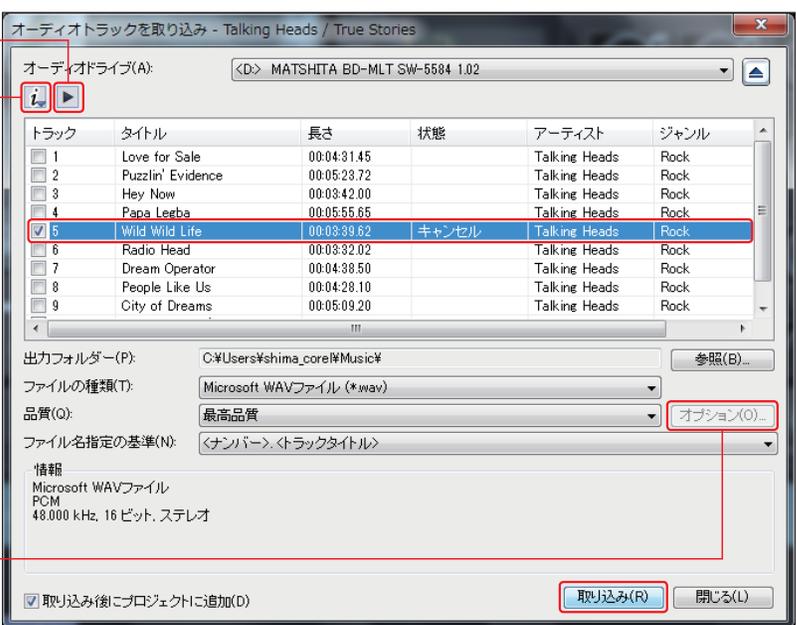
音楽CDから曲を取り込む場合、個人での使用に限って行なってください。有償・無償を問わず、公開や配布などを行なう場合は、必ず著作者・著作権者の許諾を得てから行ってください。

## 4

「オーディオトラックを取り込み」ダイアログボックスが表示されて、音楽CDの内容が一覧表示されます。取り込みたい曲にチェックを入れて「取り込み」ボタンをクリックすると、曲の取り込みが開始されます。全曲取り込むには、すべての曲にチェックを入れます。

「選択したファイルを再生」ボタンをクリックすると、曲を確認できます。

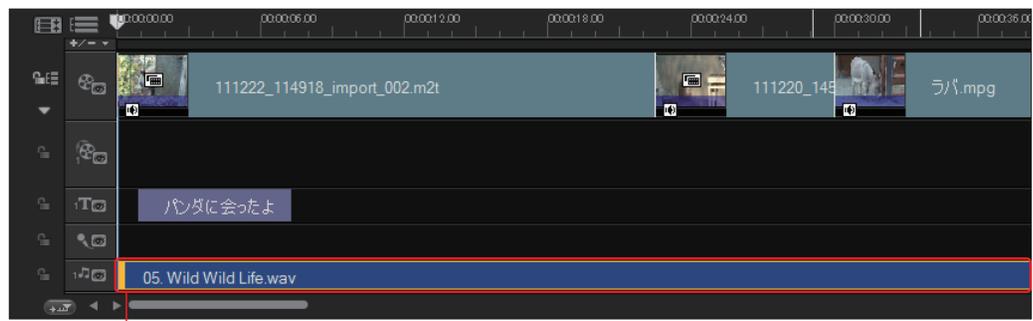
「i」ボタンをクリックすると、曲についての情報やタイトルが表示されます。



「品質」を「ユーザー定義」に設定すると「オプション」ボタンがアクティブになります。クリックして表示される「オーディオ保存オプション」ダイアログボックスでは、取り込むオーディオファイルの圧縮形式やクオリティを設定できます。

## 5

曲を取り込んだら、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。録音した曲はWAVファイルとなり、タイムラインのミュージックトラックに配置されます。



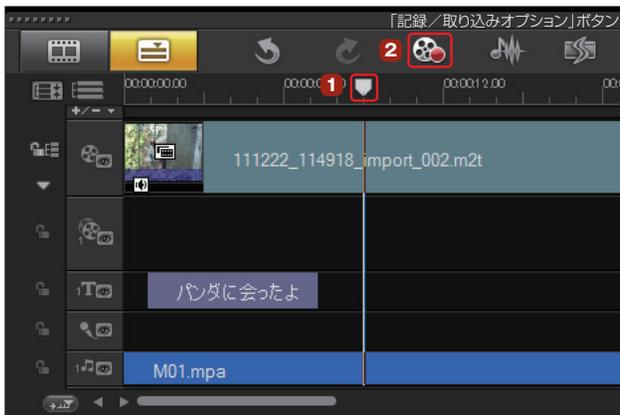
タイムラインのミュージックトラックに取り込まれたオーディオクリップ

## ナレーションを取り込む

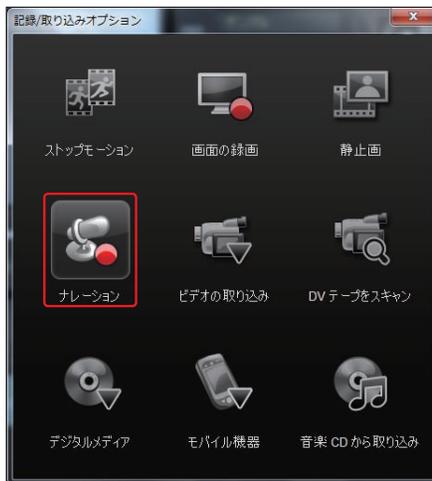
映像にナレーションを追加します。運動会のビデオで競技の実況解説を入れたり、撮影したビデオクリップにコメントを入れると効果的です。

**1** マイクをパソコンのマイク入力端子に接続します。ナレーションを入れる場所にジヨグスライダーを移動します。

**2** 「記録／取り込みオプション」ボタンをクリックします。



**3** 表示される「記録／取り込みオプション」ダイアログボックスで「ナレーション」ボタンをクリックします。



**4** 「音量を調整」ダイアログボックスが表示されます (Windows XPの場合は**6**に進みます)。



- 5** Windows 7やVistaでマイクからのボリュームを調整するには、タスクバーの「スピーカー」アイコンを右クリックして、表示されるメニューから「録音デバイス」をクリックします。表示される「サウンド」ダイアログボックスの「マイク」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックします。「マイクのプロパティ」ダイアログボックスの「レベル」タブをクリックします。マイクにしゃべりかけ、「音量を調整」ダイアログボックスの録音レベルを確認しながら「マイク」のスライダーをドラッグして調整します(10に進みます)。



- 6** Windows XPでマイクからのボリュームを調整するには、「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「ボリュームコントロール」を選択します。「ボリュームコントロール」ダイアログボックスの「オプション」メニューから「プロパティ」を選択します。



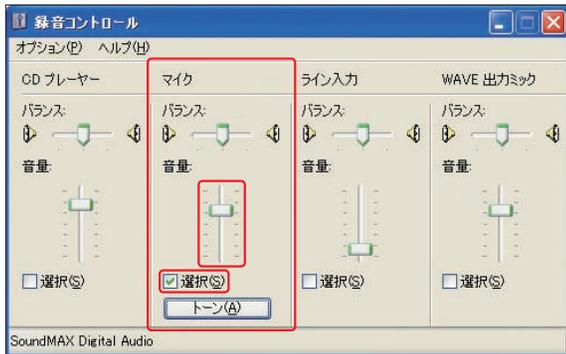
- 7** 表示される「プロパティ」ダイアログボックスの「音量の調整」で「録音」をチェックして、「表示するコントロール」で「マイク」をチェックし、「OK」ボタンをクリックします。

**注意**

「マイク」は、お使いのパソコンによっては「マイクボリューム」、「Microphone」などと違う表記になっている場合があります。



- 8** 「録音コントロール」ダイアログボックスにある「マイク」の「選択」にチェックを入れます。マイクにしゃべりかけ、「音量を調整」ダイアログボックスの録音レベルを確認しながら、マイクボリュームのスライダーを調整します。



- 9** 設定が終われば「録音コントロール」ダイアログボックスは、「X」ボタンをクリックして閉じます。

- 10** 「音量を調整」ダイアログボックスの「開始」ボタンをクリックします。プレビューウィンドウにはナレーションの開始位置からのビデオが再生されるので、映像に合わせてナレーションを吹き込みます。



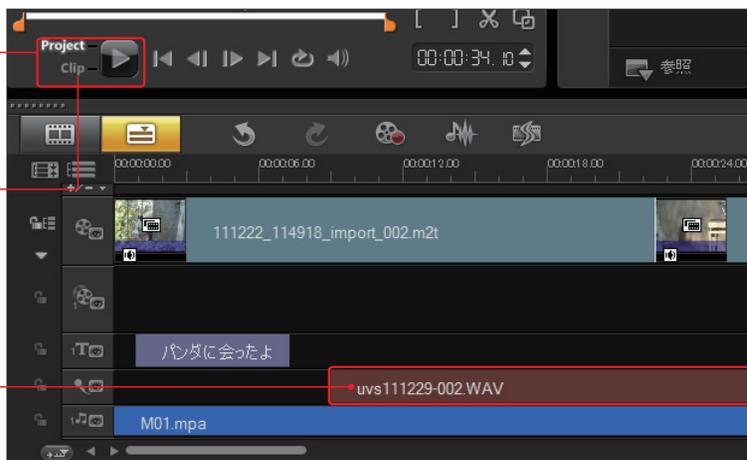
- 11** ナレーションの録音を終了するには、「Esc」キーか「Space」キーを押します。

- 12** ボイストラックにWAVファイルとしてナレーションが配置されます。ナレーションだけを聴くときは、ナレーションクリップをダブルクリックして「再生」ボタンをクリックします。映像と合わせて確認するには「Project」をクリックしてから「再生」ボタンをクリックします。

映像に合わせてナレーションを確認する場合は、「Project」をチェックして、「再生」ボタンをクリックします。

ナレーションだけを確認するときは「Clip」をチェックして「再生」ボタンをクリックします。

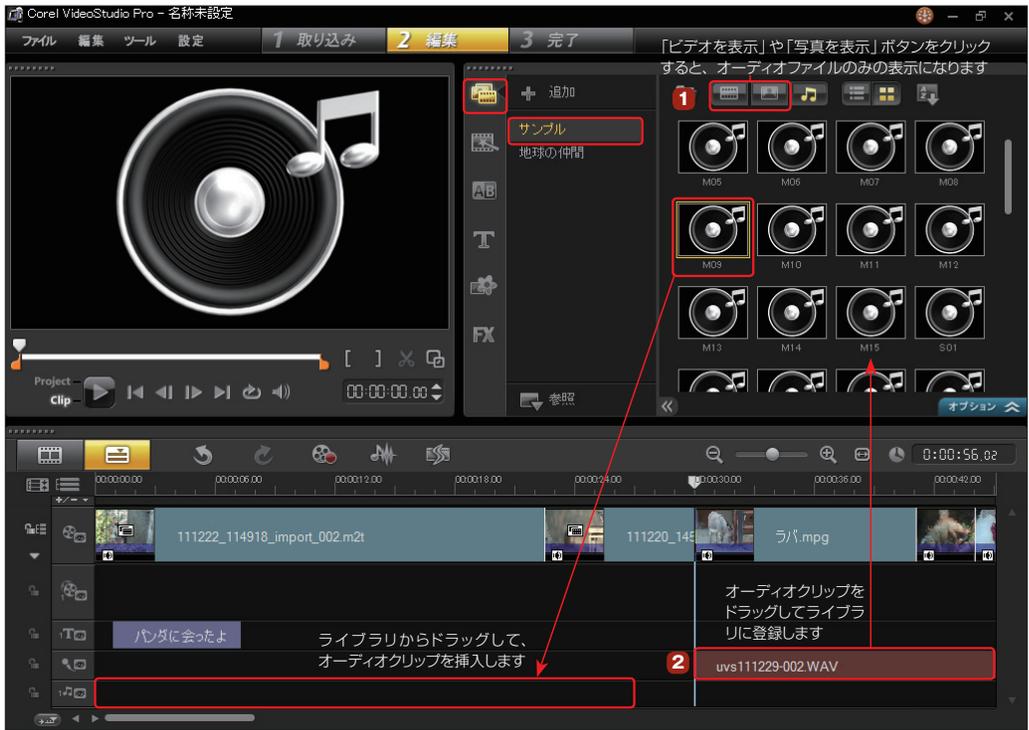
ボイストラックに取り込まれたナレーション



# オーディオライブラリ

**1** VideoStudioには、「メディア」ライブラリの「サンプル」フォルダーにたくさんのオーディオクリップが収録されています。これらのオーディオクリップをドラッグして、ボイストラックやミュージックトラックに挿入できます。

**2** 取り込んだナレーションクリップやオーディオクリップはオーディオライブラリに登録できます。登録したいオーディオクリップをオーディオライブラリにドラッグします。これで取り込んだナレーションクリップやオーディオクリップをいつでも使うことができます。



## TIPS

VideoStudioでは、ミュージックトラックを3本使用することができます。ミュージックトラックを増やすには、「トラックマネージャー」ボタンをクリックします。表示される「トラックマネージャー」ダイアログボックスで、「ミュージックトラック」の「▼」をクリックして、「2」か「3」を選択します。

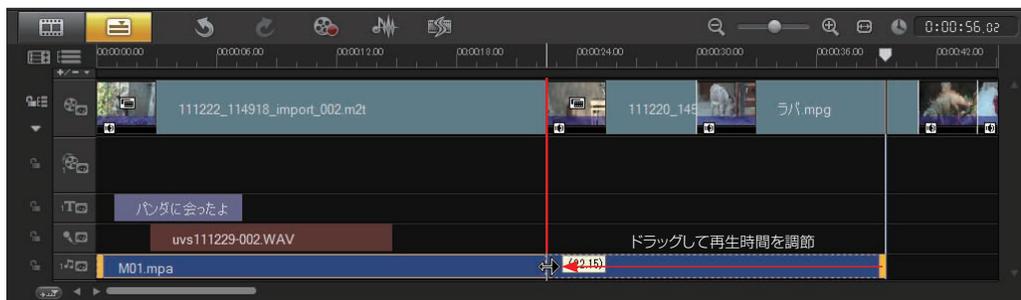
「トラックマネージャー」ボタン



## オーディオクリップのトリミング

取り込んだナレーションや曲のオーディオクリップのいらぬ部分を削除したり、クリップの再生時間を短くできます。

- 1 ビデオクリップの長さオーディオクリップを揃えるには、オーディオクリップをクリックします。オーディオクリップの終わりにマウスカーソルを移動して黄色いハンドルをクリックし、ビデオクリップの終わりまでドラッグします。



- 2 オーディオクリップのトリミングは、トリムバーでも調節できます。オーディオクリップを選択して、トリムバーのトリムマーカーをドラッグしてトリミングします。



## 再生速度の変更

オーディオクリップは、曲のテンポを速めたり遅くしたりと、再生速度を調節することができます。テンポを変更するオーディオクリップを選択して、オプションパネルの「オーディオ」タブにある「再生速度変更／タイムラプス」ボタンをクリックします。

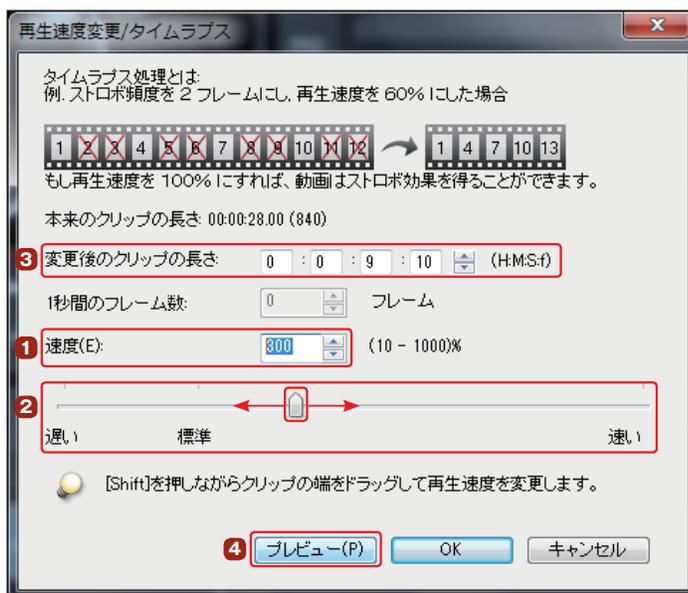


**1** 「再生速度変更/タイムラプス」ダイアログボックスが表示されます。「速度」は、「100」が標準のテンポで、数値を小さくするとスローに、数値を大きくするとアップテンポになります。

**2** スライドバーで調節するには、「標準」の位置からどちらかにドラッグします。

**3** 「変更後のクリップの長さ」では、オーディオクリップの再生時間を設定することで、再生速度を調節します。

**4** 「プレビュー」ボタンをクリックすると、調節したテンポで曲が試聴できます。



**5** オーディオクリップの再生速度はタイムライン上でも変更できます。調節するオーディオクリップを選択して、オーディオクリップの前後にある黄色のラインを「Shift」キーを押しながらドラッグします。オーディオクリップの内側に縮めるとアップテンポ、外側に伸ばすとスローテンポになります。



# Dolby Digital 5.1ch サラウンド

VideoStudioはDolby Digital 5.1ch サラウンドに対応していて、オーディオのサラウンド編集ができます。オーディオを5.1chに対応するには、「設定」メニューで「5.1ch サラウンドを有効にする」を選択し、「サウンドミキサー」ボタンをクリックして、サラウンド編集するオーディオクリップを選択します。



「サウンドミキサー」ボタン

**1** 「サラウンドサウンドミキサー」タブをクリックして、サウンドのボリュームを調節します。

**2** オーディオクリップのアイコンを音の鳴らしたい位置にドラッグします。右図の例では、音が左から右に移動しているように聞こえます。

※「サラウンドサウンドミキサー」を終了するには、もう一度「サウンドミキサー」ボタンをクリックします。



選択したオーディオクリップのトラックのアイコンがチェックされます

サブウーファーの音量  
センタースピーカーの音量  
オーディオクリップの音量

たとえば、曲や効果音の先頭でアイコンを2の位置にドラッグし、ジョグスライダーで曲や効果音の途中に移動してアイコンを3の位置にドラッグすると、音が左から右に流れます。

## オーディオクリップのオプション表示

「ボイストラック」や「ミュージックトラック」に配置されたオーディオクリップを選択すると、オプションパネルに情報が表示されます。ここでオーディオトラックの調節ができます。



ボリュームコントロール  
スライダーをドラッグして音量を調整します。一目盛で30～50%音量を上げます。

**1** **長さ**  
オーディオクリップの再生時間が表示されます。再生時間は「時：分：秒：コマ」で表示されます。各単位の数字をクリックして直接数値を入力するか、「▲」「▼」ボタンをクリックして再生時間を調節します。

**2** **クリップのボリューム**  
「▲」「▼」でボリュームを調整します。「100」が録音時の音量になります。「0」が無音で最大「500」までボリュームを設定できます。右にある「ボリュームコントロール(▼)」をクリックして調節することもできます。

### 3 フェードインとフェードアウト

曲や音声我突然流れるのではなく、自然に聞こえてくるように徐々に音量が大きくなるフェードインや、徐々に音が消えていくフェードアウトの設定ができます。効果をかけたいオーディオクリップをクリックして、「フェードイン」ボタンか「フェードアウト」ボタンをクリックします。フェードインやフェードアウトを取り消すには、もう一度各ボタンをクリックします。

#### TIPS

フェードインやフェードアウトの時間は、調節することができます。「設定」メニューから「環境設定」をクリックします。表示される「環境設定」ダイアログボックスで、「編集」タブをクリックします。「既定のオーディオフェードイン／アウトの長さ」で、「▲」「▼」ボタンをクリックして時間を変更します。数値をドラッグして直接入力することもできます。



## オーディオフィルター

1 「オーディオフィルター」はボイストラックとミュージックトラックのオーディオフィアイルにエフェクトをかけます。効果をかけるオーディオクリップを選択して、「オーディオフィルター」ボタンをクリックします。

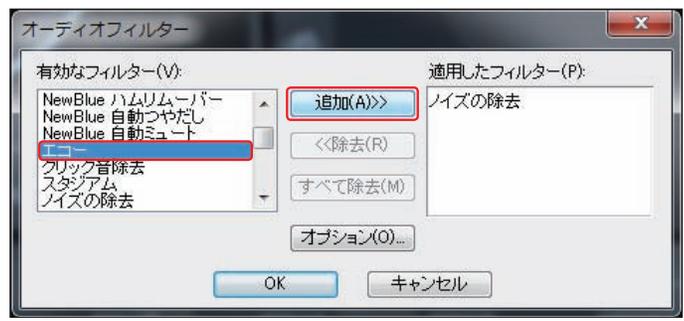


2 「オーディオフィルター」ダイアログボックスが表示されます。「有効なフィルター」からエフェクトを選び、「追加」ボタンをクリックします。適用したフィルターを取り止めるには、「削除」ボタンをクリックします。オーディオフィルターには以下のようなエフェクトがあります。

**【ノイズの除去】** パソコンに取り込んだアナログ音源のノイズを自動的に低減します。

**【最適化】** 音量レベルを一定化します。

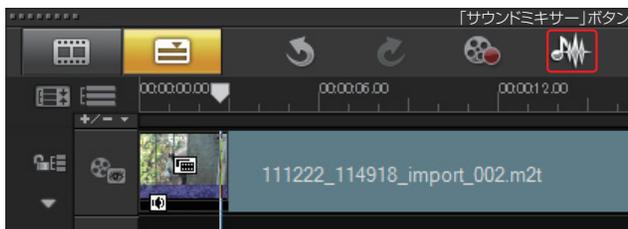
**【スタジオム】** スタジアムでの壮大な残響音効果がかかります。



# オーディオクリップの調節

オーディオトラックでは、ビデオクリップの音声とオーディオクリップの音声をミックスしたり、曲の途中で音量の調節を行うことができます。

- 1** オーディオクリップの音量を調節するには、ツールバーの「サウンドミキサー」ボタンをクリックします。



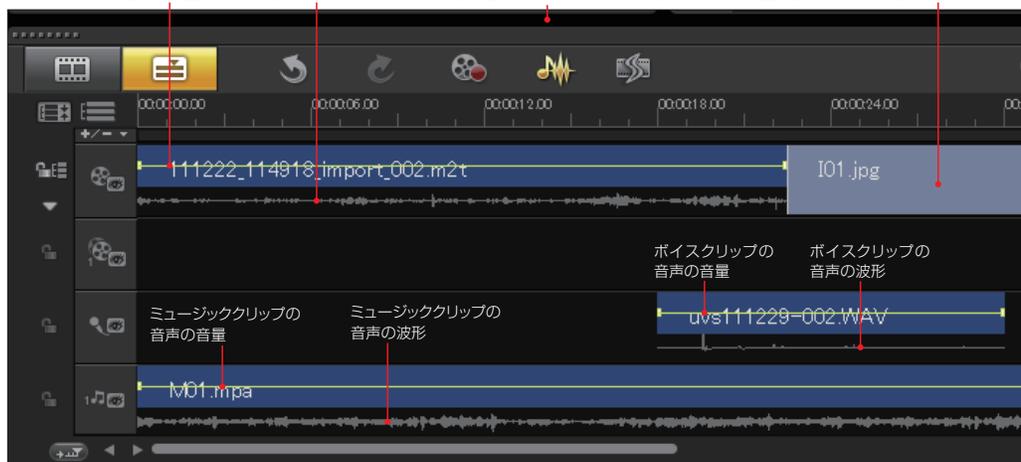
- 2** 各トラックの音声の音量がブルーのラインで表示されます。

ビデオクリップの  
音声の音量

ビデオクリップの  
音声の波形

ここを上ドラッグするとタイムラインが  
拡大されて、作業がしやすくなります。

音声のないビデオや写真クリップには音  
量や波形のラインは表示されません。



- 3** 音量を調節したい位置でラインをクリックすると、白いポイントが表示されます。音量を上げるには、これを上側にドラッグします。映像のクライマックスをBGMで盛り上げたいときなどに効果的です。

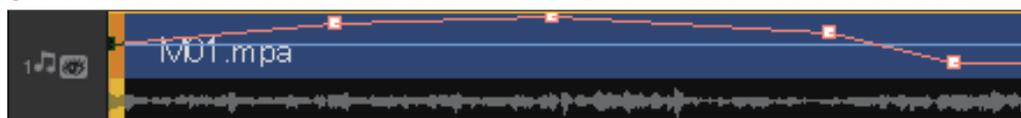
① 音量を上げる場合は、白いポイントを上にドラッグします。



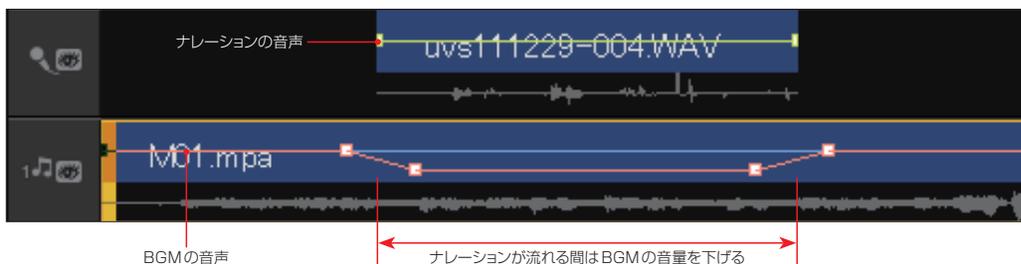
② 音声が調節されます。



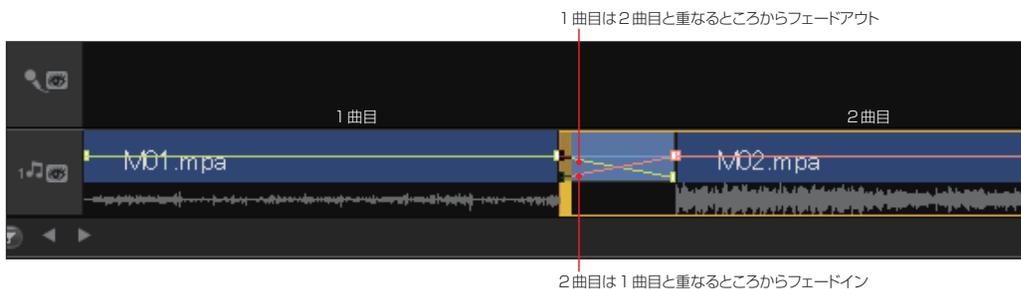
③ ポイントはひとつのオーディオクリップにいくつも設定できます。ポイントを削除するにはポイントを選択して、トラックの外にドラッグします。



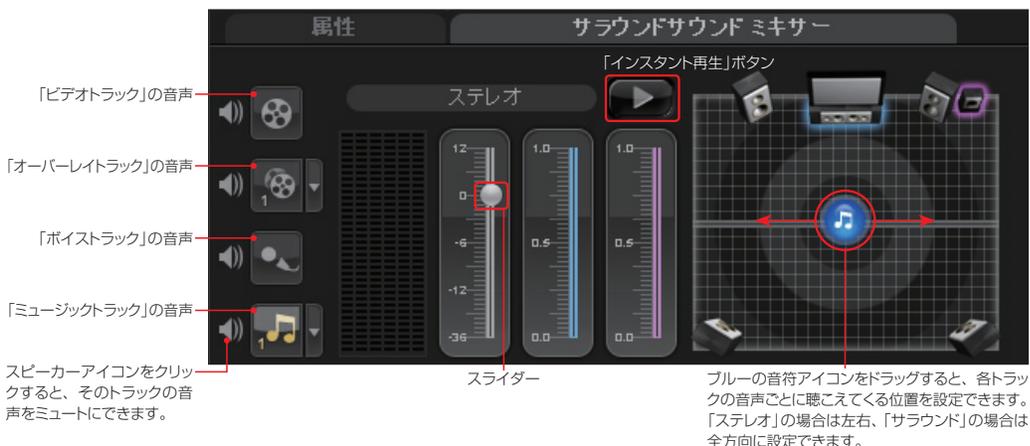
- 4** BGMがかかっているところにナレーションを流すときに、BGMの音量をそこだけ小さくして、ナレーションを聴きやすくすることができます。



- 5** 1曲目に重なるように2曲目をトラックに配置すると、重なった部分では1曲目のボリュームが小さくなっていきながら、2曲目のボリュームが大きくなって曲が切り替わる「クロスフェード」が作成できます。



- 6** 「サウンドサウンドミキサー」のオプションパネルでは、各クリップの音声をミックスするときの調節ができます。各トラックのアイコンをクリックして、スライダーで音量を調節します。「インスタント再生」ボタンをクリックすると、調節したミックス音声を確認できます。各トラックのアイコンをクリックして（色が付いている状態）、「インスタント再生」ボタンをクリックします。オーディオの再生中にスライダーを移動してボリューム調節を行います。



## オートミュージック

オートミュージックは、VideoStudioに用意された26種類198バリエーションのオーディオファイルを生ビデオクリップの再生時間に合わせて演奏時間を調節し、アレンジする機能です。オートミュージック機能を使うと、どんな長さの曲でもビデオクリップにぴったりのBGMとして挿入することができます。



- 1 オートミュージック機能を使用するには、「オートミュージック」ボタンをクリックします。
- 2 ビデオクリップのBGMを開始する位置にジョグスライダーを移動します。
- 3 「フィルター」の「▼」ボタンをクリックして、曲の検索条件を選択します。
- 4 「サブフィルター」の「▼」ボタンをクリックして、詳しい検索条件を選択します。
- 5 「ミュージック」の「▼」ボタンをクリックして、使用するオーディオファイルを選択します。
- 6 「バリエーション」の「▼」ボタンをクリックして、曲の雰囲気を選択します。
- 7 「選択したミュージックを再生」ボタンをクリックすると、オーディオファイルが再生され、曲を確認できます。再生を終了するには「停止」ボタンをクリックします。
- 8 「タイムラインに追加」ボタンをクリックすると、曲がミュージックトラックに配置されます。
- 9 「自動トリム」にチェックを入れると、オーディオファイルは、ビデオクリップの再生時間に合わせてアレンジされます。

### 注意

オートミュージックは「スコープ」で「すべて」を選択した場合、ハードディスクなどに保存してあるVideoStudio付属の曲以外に、インターネットで検索された曲も表示されます。これらの曲をミュージックトラックにドラッグすると「オプションパネル」に「購入」ボタンが表示されます。インターネットで検索された曲は購入することにより、使用することができます。購入は海外のサイトからクレジットカードで決済します。曲の購入は各自の責任において行ってください。  
お手持ちの曲やVideoStudioに付属のサンプル曲から選ぶには、「スコープ」を「所有タイトル」に設定します。

STEP 8

# 完了

このステップではビデオファイルを作成したり、DVDやBlu-rayの作成について解説します。



## 「完了」ステップ

「完了」ステップは、ビデオ編集の最終段階です。編集したビデオをさまざまなスタイルで保存します。

- 1** 編集したビデオを仕上げるには、「完了」ステップをクリックします。「HTML5 プロジェクト」を作成した場合は、148 ページをお読みください。

ファイル 編集 ツール 設定 **1 取り込み** **2 編集** **3 完了**

- 2** 編集したビデオは、さまざまな形式で保存することができます。ビデオファイルとして保存するには「ビデオファイルを作成」を、DVDやAVCHDディスクに録画して保存するには「ディスクを作成」を、DVやHDVテープに録画するには「DV録画」か「HDV録画」をクリックします。また、YouTubeなどのWebにアップロードするビデオとして保存するには、「オンラインアップロード」をクリックします。



## ビデオファイルの作成

「ビデオファイルを作成」では、できあがったビデオをビデオファイルにしてパソコンに保存します。

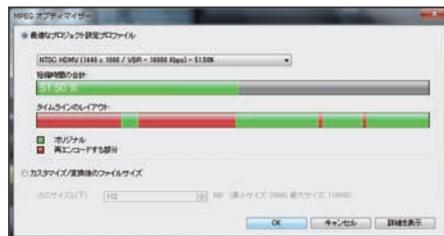
- 1** 「ビデオファイルを作成」ボタンをクリックすると、保存するビデオ形式のメニューが表示されます。ここでビデオを保存するファイル形式を選択します。「プロジェクト設定に合わせる」は、現在のプロジェクト設定でビデオファイルを保存します。



### ヒント

現在のプロジェクト設定を調べるには、「設定」メニューから「プロジェクトのプロパティ」を選び、表示される「プロジェクトのプロパティ」ダイアログボックスで確認します。

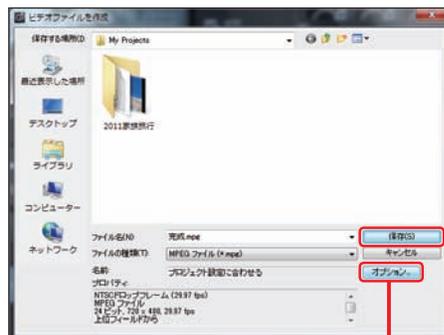
**2** 「MPEGオプティマイザ」を選択すると、「MPEGオプティマイザ」ダイアログボックスが表示されます。ここでスマートレンダリングが有効になるプロファイルに変更することができます。「タイムラインのレイアウト」で赤いグラフが再レンダリングされる部分です。「OK」ボタンをクリックします。「キャンセル」をクリックすると、選択しているテンプレートでレンダリングされます。



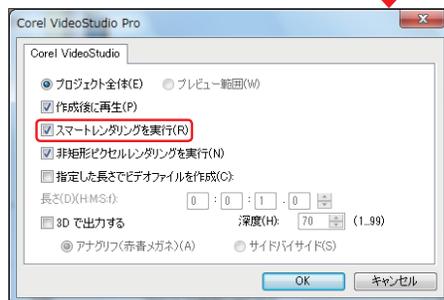
**3** 各ビデオ形式の項目から目的にあったサブメニューを選択します。各ビデオ形式は下記の通りです。「カスタム」を選択すると、ビデオの保存形式をカスタマイズすることができます。

ビデオ	説明
DV	DVテープに書き戻す場合などにAVIファイルとして保存するときに選択します。
HDV	ハイビジョン画質でHDVカメラに書き戻す場合などにMPEGファイルとして保存するときに選択します。
DVD	DVDディスクに録画するときに選択します。また、MPEG形式で保存する場合に選択します。
ブルーレイ	ハイビジョン画質でBlu-rayディスク用に保存します。画質をフルHD(1920)かハイビジョン(1440)から選択します。
AVCHD	ハイビジョン画質のAVCHD規格で保存します。AVCHD規格のデジタルビデオカメラで使用する8cmDVDに書き込む場合などに選択します。画質をフルHD(1920)かハイビジョン(1440)から選択します。
WMV	Windows標準のWindows Media Videoファイルとして保存する場合に選択します。ハイビジョン画質やインターネット配信、Pocket PC、Smartphone向けに最適なプリセットが用意されています。
MPEG-4	iPodやPSP、PDA、携帯電話で見るビデオを作成するときに選択します。それぞれのデバイスにMPEG-4とH.264形式が用意されています。

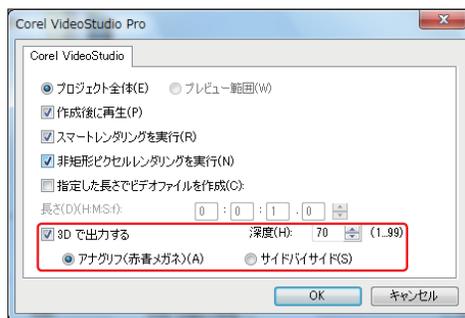
**4** ビデオファイルの形式を選択すると、「ビデオファイルを作成」ダイアログが表示されます。ビデオファイルを保存する場所を指定して、ファイル名を入力します。「保存」ボタンをクリックして、145ページの**12**に進みます。ビデオ形式をカスタマイズするには、「オプション」ボタンをクリックします。



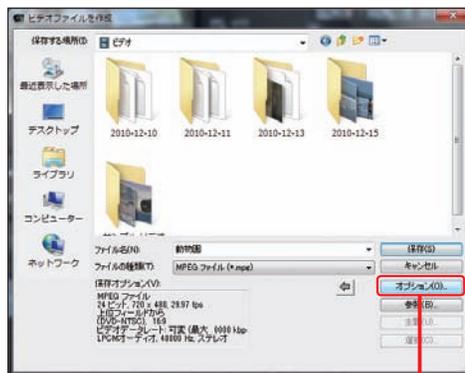
**5** 「オプション」ボタンをクリックして表示されるダイアログボックスで、「スマートレンダリングを実行」にチェックを入れると、ビデオに効果かけた部分だけがレンダリングされ、レンダリングの時間が短縮できます。



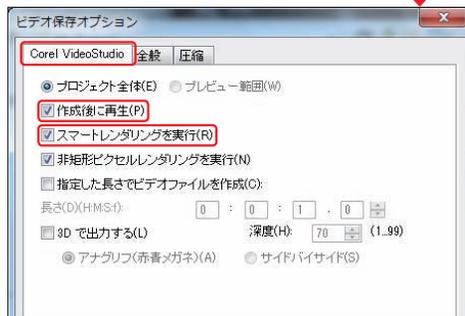
**6** 「3D」では、映像が飛び出して見える3Dビデオを作成できます。「3D」を選択して書き込むディスクの種類をクリックします。表示される「ビデオファイルを作成」ダイアログボックスの「オプション」ボタンをクリックして、表示されるダイアログボックスで「3Dで出力する」にチェックを入れます。3Dメガネで見る「アナグリフ」が偏光3Dメガネと偏光モニターで見る「サイドバイサイド」かにチェックを入れて作成します。



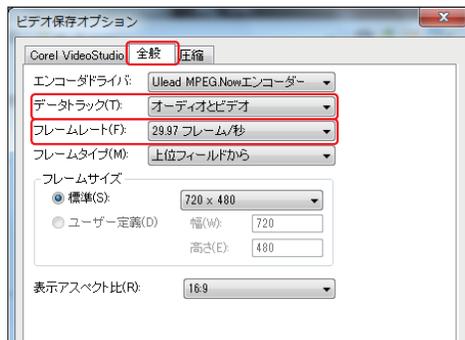
**7** 「ビデオファイルを作成」から「カスタム」を選択した場合は、「オプション」ボタン付きの「ビデオファイルを作成」ダイアログが表示されます。ビデオファイルの保存方法を設定するには、「オプション」ボタンをクリックします。



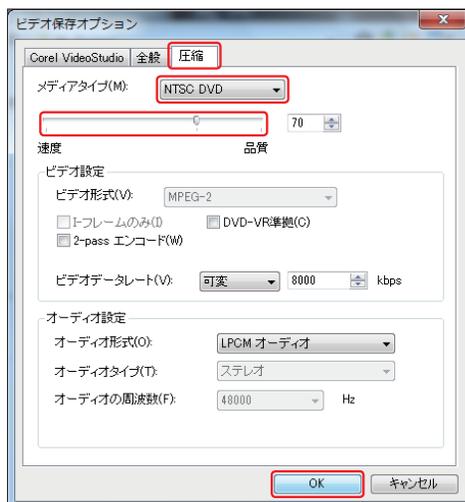
**8** 「ビデオ保存オプション」ダイアログボックスが表示されます。「Corel VideoStudio」タブでは、「作成後に再生」にチェックを入れると、ビデオのレンダリング後すぐにビデオファイルが再生され、内容を確認できます。「スマートレンダリングを実行」にチェックを入れると、ビデオに効果などをかけた部分だけがレンダリングされ、レンダリング時間が短縮できます。



**9** 「全般」タブでは、プロジェクトにオーディオトラックを使用している場合、「データトラック」の「オーディオとビデオ」を選択します。「フレームレート」はDVテープに書き戻したりDVDビデオを作成するのであれば「29.97フレーム/秒」を選択します。フレームレートが高いほど高画質ですが、ファイル容量が大きくなります。

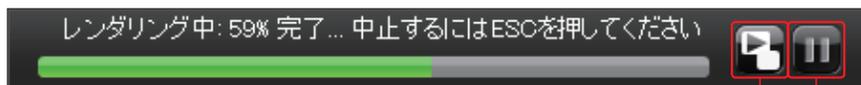


- 10** 「圧縮」タブではビデオ圧縮の設定を行います。作成するビデオファイル形式によって設定項目は変わります。「メディアタイプ」で保存するファイル形式を選び、ビデオの画質をスライダーで設定します。ビデオやオーディオの設定も行えます。各設定が終われば「OK」ボタンをクリックして、「ビデオファイルを作成」ダイアログボックスに戻ります。



- 11** ビデオファイルを保存する場所を指定し、ファイル名を入力して「保存」ボタンをクリックします。

- 12** レンダリングが開始されるので、そのまま待ちます。



「再生」ボタンをクリックしてチェックを入れると、プレビューウィンドウの映像が非表示になり、レンダリングのスピードが速くなります

「一時停止」ボタンをクリックすると、レンダリングを停止することができます

**注意**

保存するビデオファイルは、ビデオの再生時間により、レンダリングに長時間かかる場合があります。これはビデオに施されたいろいろな効果を処理したり設定されたファイル形式に変換するためです。コーヒープレイクにしたり、長時間の作品であれば夜寝る前にセットするのもいいでしょう。

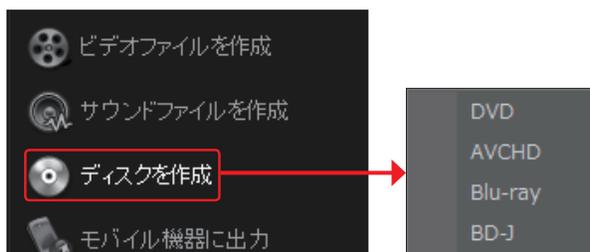
- 13** 作成されたビデオファイルは指定した保存場所とメディアライブラリに登録されて、サムネイルが表示されます。



## ディスクの作成

「ディスクを作成」では、できあがったビデオをDVDディスクに書き込んで保存します。市販のDVDビデオのようにメニュー付きのビデオを作成でき、パソコンや家庭用DVDプレーヤーで鑑賞することができます。

**1** ビデオをディスクに書き込むには、「ディスクを作成」ボタンをクリックします。表示されるメニューから書き込むディスクタイプを選択します。「AVCHD」を選択すると、ハイビジョン画質のAVCHD規格でDVDに書き込みます。



**2** 「ディスクを作成」画面が表示されます。ここではディスクに書き込むビデオを追加したり、チャプターやメニューを作成したりできます。その後、ディスクに書き込みます。この後の作業は「DVD / Blu-ray 作成編」(P.159)をお読みください。



「閉じる」ボタンをクリックすると、VideoStudioの編集画面に戻ります。

**3** ディスクに書き込んだ後、「ディスクを作成」画面の「閉じる」ボタンをクリックすると、Video Studioの画面に戻ります。

# プロジェクトの再生

VideoStudioでは「プロジェクトの再生」機能を使うと、19分以上の長さのビデオ作品をDV機器に書き戻すことができます。ただし、「プロジェクトの再生」でDV機器へ出力するには、ファイル形式の制限があります。あらかじめ「設定」メニューの「プロジェクトのプロパティ」を選択して、表示される「プロジェクトテンプレート」で「NTSC DV-AVI」を選択してからビデオ編集をはじめます。

また、DVD用のプロジェクトをDV機器に書き戻す場合は「設定」メニューから「プロジェクトのプロパティ」を選び、「プロジェクトのプロパティ」ダイアログボックスの「ファイル形式を編集」で「Microsoft AVI files」に変更します。次に「編集」ボタンをクリックして表示される「プロジェクトのオプション」ダイアログボックスで以下のように設定します。

## 「Corel VideoStudio」タブ

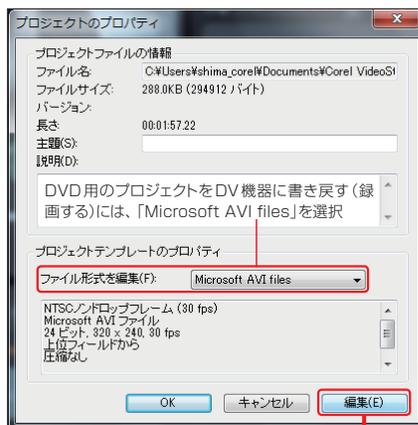
TV 規格：NTSC ドロップフレーム(29.97fps)

## 「全般」タブ

フレームタイプ：上位フィールド  
フレームサイズ：720 × 480  
フレームレート：29.97fps

## 「AVI」タブ

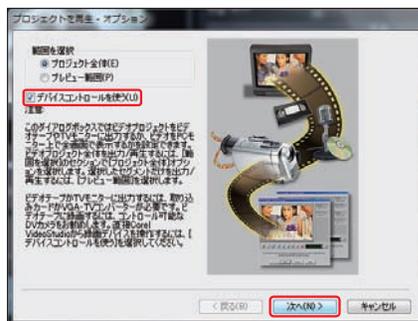
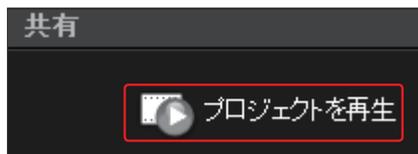
圧縮：DVビデオエンコーダ -- タイプ1  
データ形式：24ビットRGB  
オーディオ形式：DV Audio--NTSC(またはPCM)  
オーディオ属性：48.000kHz、16ビット、ステレオ



**1** DVカメラなどをパソコンに接続します。オプションパネルから「プロジェクトを再生」ボタンをクリックします。

**2** 「プロジェクト再生-オプション」ダイアログボックスで「デバイスコントロールを使う」にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。

**3** 「プロジェクトを再生-デバイスコントロール」ダイアログボックスでコントロールボタンを操作して、DVテープの録画開始位置の頭出しを行います。「録画」ボタンをクリックすると、レンダリングがはじまり、その後、録画が開始されます。「完了」ボタンをクリックします。

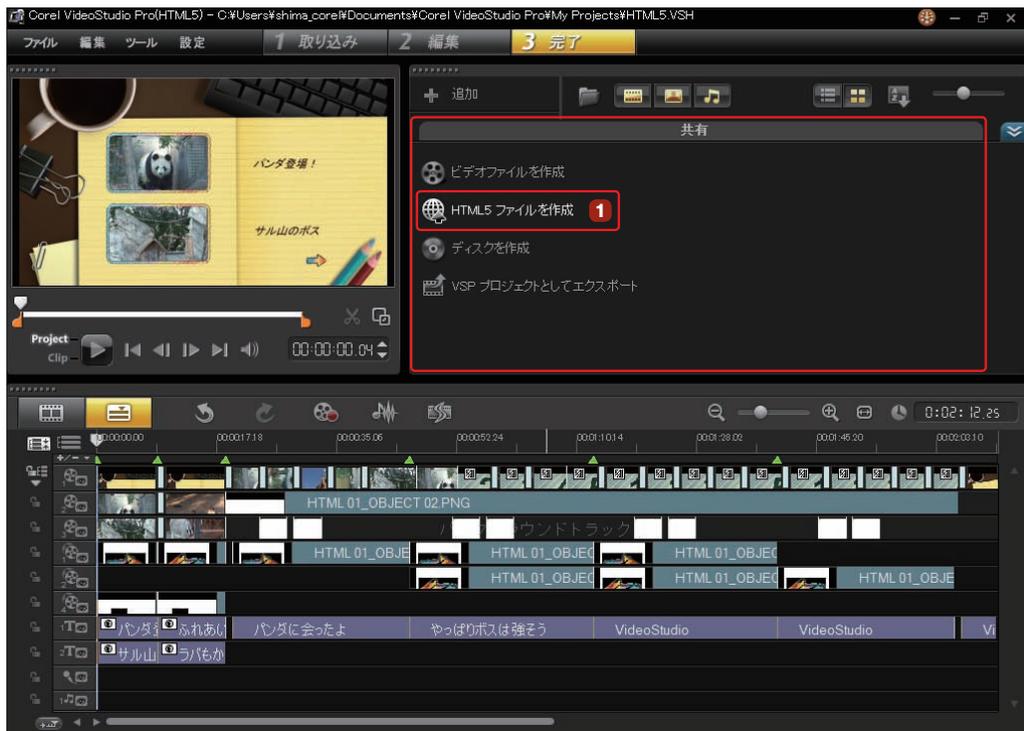


**3** 「プロジェクトを再生-デバイスコントロール」ダイアログボックスでコントロールボタンを操作して、DVテープの録画開始位置の頭出しを行います。「録画」ボタンをクリックすると、レンダリングがはじまり、その後、録画が開始されます。「完了」ボタンをクリックします。

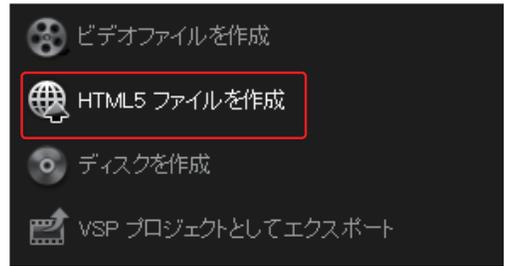


## HTML5 ファイルの作成

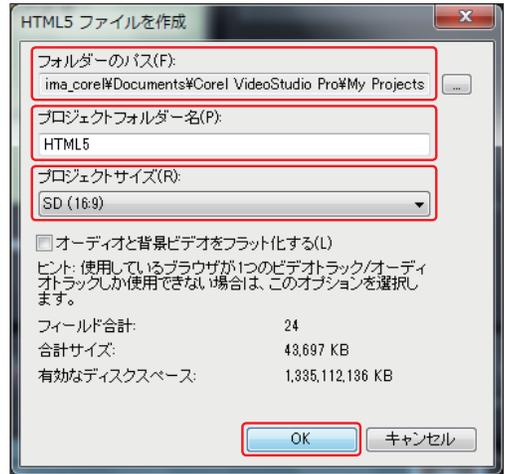
HTML5プロジェクトを作成すると、配置した写真から特定のURLにリンクさせたり、設定したチャプターポイントに飛ばす設定ができます。HTML5プロジェクトを作成した場合、「完了」タブをクリックすると「共有」タブが表示されます。ここから出力方法を選択します。「ビデオファイルを作成」は142ページを、「ディスクを作成」については146ページをお読みください。



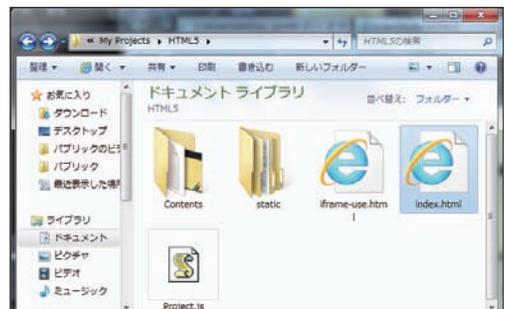
**1** 編集した内容をHTMLファイルにする場合は、「HTML5 ファイルの作成」ボタンをクリックします。



**2** 「HTML5 ファイルを作成」ダイアログボックスが表示されます。「フォルダーのパス」には保存するHTMLファイルを収納するフォルダの場所が表示されます。「プロジェクトフォルダ名」にフォルダ名を入力します。「プロジェクトサイズ」の「▼」をクリックして、クオリティを設定して「OK」ボタンをクリックすると、レンダリングが開始されます。



**3** フォルダにHTMLファイルとビデオファイル、素材が収納されます。



**4** 完成したHTMLファイルでは、ビデオの再生やボリューム、全画面表示切り替えなどの操作が行えます。また、ビデオの選択などができるメニューも作成可能です。

**TIPS** できあがったHTMLファイルは、ホームページ作成ソフトなどでHTMLを書き換えることができます。HTMLファイルとビデオファイルをマイホームページにアップロードすると、ビデオ配信ができます。



# DV録画

「DV録画」では、編集したビデオ作品をDVカメラやDV録画機器へ送信してDVテープに録画します。DVカメラで撮影した映像をVideoStudioに取り込み、編集してDVカメラに書き戻すことができます。

**注意** DVカメラの操作に関しては、DVカメラの取り扱い説明書をよくお読みください。

## DVカメラの準備

- 1 DVカメラとパソコンをDVケーブルで接続します。
- 2 DVカメラに録画するDVテープを入れます。
- 3 DVカメラのスイッチを入れて「再生」モードにします。

## 録画の準備

1 DVカメラに録画するファイルをメディアライブラリから選んでクリックします。

2 DVカメラに録画できるのはDV形式で保存されたAVIファイルです。MPEGファイルは選択できません。どのファイルがDV形式かを調べるには、ライブラリのファイルを右クリックしてプルダウンメニューから「プロパティ」をクリックします。表示される「プロパティ」ダイアログボックスで、ビデオの「圧縮」が「DVビデオエンコーダ-タイプ1」になっていれば使用できます。

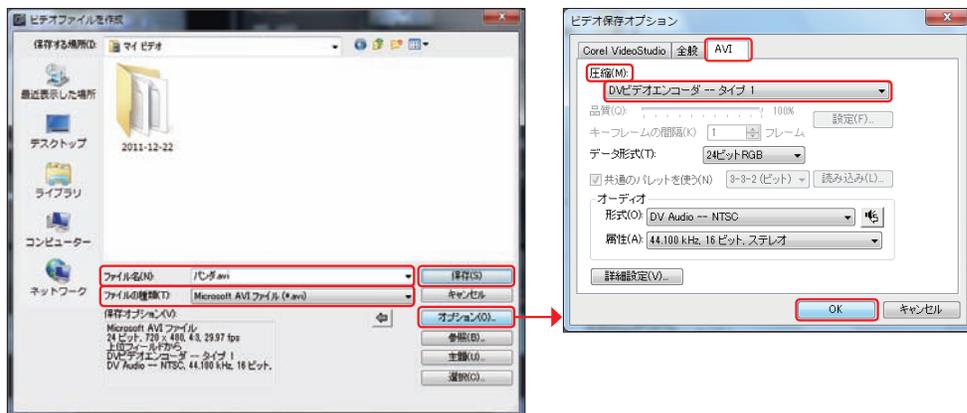


**ヒント** 「DVビデオエンコーダ-タイプ1」のビデオファイルを作成するには、「設定」メニュー→「プロジェクトのプロパティ」をクリックして、表示される「プロジェクトのオプション」ダイアログボックスの「編集」ボタンをクリックします。「AVI」タブをクリックして「圧縮」から「DVビデオエンコーダ-タイプ1」を選択します。

**3** タイムラインにある編集が終わったプロジェクトを録画するには、一度ビデオファイルにします。オプションパネルから「ビデオファイルを作成」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「カスタム」を選択します。

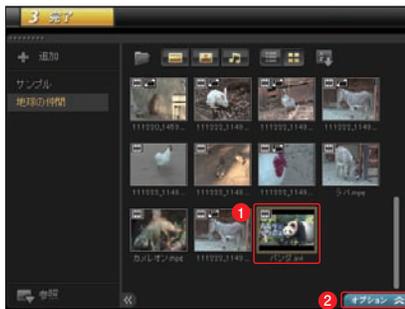


**4** 「ビデオファイルを作成」ダイアログボックスでファイル名を入力します。「ファイルの種類」は「Microsoft AVI ファイル」にします。「オプション」ボタンをクリックして、表示される「ビデオ保存オプション」ダイアログボックスで「AVI」タブの「圧縮」を「DVビデオエンコーダー - タイプ 1」に設定して「OK」をクリックします。「ビデオファイルを作成」ダイアログで「保存」ボタンをクリックするとレンダリングが開始され、ビデオファイルがメディアライブラリに保存されます。



## 録画開始

**1** メディアライブラリに保存されたビデオを選択して、「オプション」ボタンをクリックします。表示されるオプションパネルで、「DV録画」ボタンをクリックします。



**2** 「DV録画 - プレビューウィンドウ」が表示されます。ナビゲーションパネルの各ボタンを操作してビデオを再生し、録画するビデオファイルの内容をプレビューウィンドウで確認します。よければ「次へ」ボタンをクリックします。



**3** 「DV録画 - 録画ウィンドウ」では、DVカメラを操作できます。DVテープのどの位置に録画するか、ナビゲーションパネルの各ボタンを使ってDVテープを再生しながら決定します。

**4** 録画を始める位置で「停止」ボタンをクリックします。「録画」ボタンをクリックすると、DVテープに録画が開始されます。

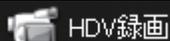
**5** 録画ウィンドウの「停止」ボタンをクリックすると、DVテープへの録画がストップします。「完了」ボタンをクリックします。



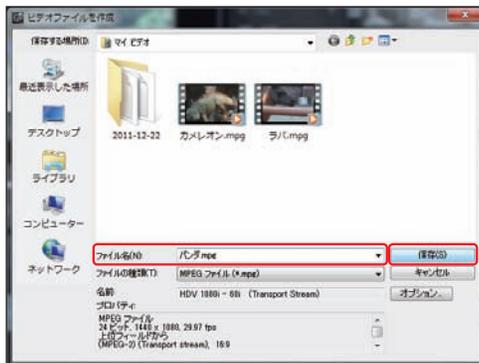
**注意** 「前のフレーム」および「次のフレーム」ボタンは、ビデオを「一時停止」ボタンでポーズの状態にしているときに有効になります。

# HDV録画

「HDV録画」では、HDVカメラから取り込んで編集したビデオ作品をHDVカメラへ送信してDVテープに録画します。



**1** HDVカメラとパソコンをDVケーブルで接続して、HDVカメラに録画するDVテープをセットします。HDVカメラのスイッチを入れて「再生」モードにします。オプションパネルの「HDV録画」ボタンをクリックすると「ビデオファイルを作成」ダイアログボックスが表示されるので、「ファイル名」を入力して、「保存」ボタンをクリックします。



**2** 「HDV録画 - プレビューウィンドウ」が表示されます。ナビゲーションパネルの各ボタンを操作してビデオを再生し、録画するビデオファイルの内容をプレビューウィンドウで確認します。よければ「次へ」ボタンをクリックします。



「トリムハンドル」をドラッグして、録画する映像をトリミングすることもできます。

**3** 「HDV録画 - 録画ウィンドウ」が表示されます。ナビゲーションパネルの各ボタンを使ってHDVカメラを操作し、DVテープを再生しながら録画する頭出しを行います。「録画」ボタンをクリックするとDVテープに録画が開始されます。「停止」ボタンをクリックすると、録画がストップします。「完了」ボタンをクリックします。



ナビゲーションパネル

上のボタンを使って録画開始点を指定して、録画ボタンをクリックしてください。

「停止」ボタン

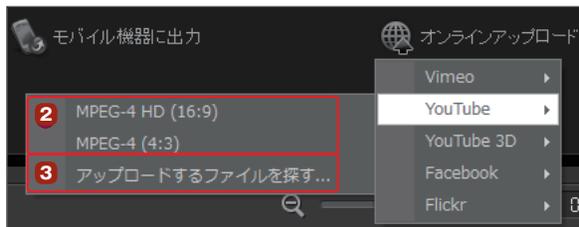
「録画」ボタン

# YouTube にアップロード

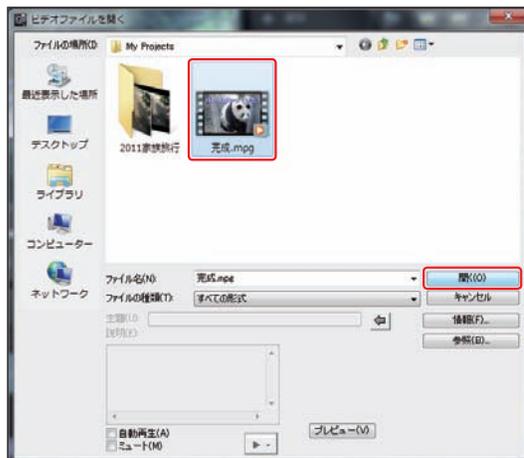
- 1** YouTubeに投稿するビデオを作成するには、「オンラインアップロード」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「YouTube」をクリックします。



- 2** 編集したビデオの場合は、表示されるメニューからビデオのサイズに合わせて「MPEG-4 HD」か「MPEG-4」を選択します。表示される「ビデオファイルを作成」ダイアログボックスで「ファイル名」を入力して「保存」ボタンをクリックします（**4**に進みます）。



- 3** すでに作成しているビデオの場合は、「アップロードするファイルを探す」を選びます。表示される「ビデオファイルを開く」ダイアログボックスからビデオファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。



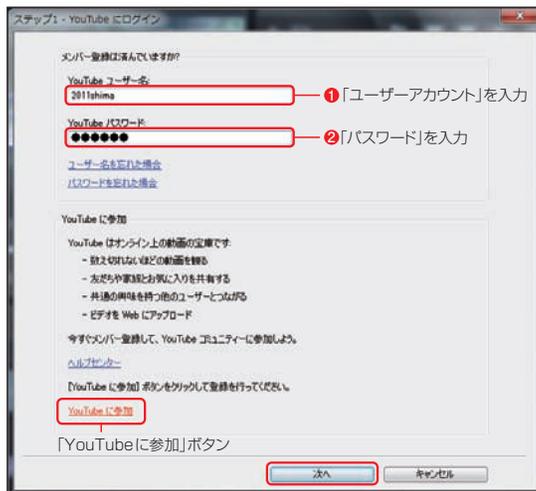
## ヒント

「オンラインアップロード」は、ビデオをVimeoやFacebook、Flickrにアップロードすることもできます。各投稿サイトにビデオをアップロードするには、YouTubeの手順と同様にVideoStudioから各投稿サイトにログインして行きます。

**4** 「YouTubeにログイン」ダイアログボックスが表示されます。すでにYouTubeに登録している方は、「YouTubeユーザー名」と「YouTubeパスワード」を入力して「次へ」ボタンをクリックします(7に進みます)。

YouTubeに未登録の方は、YouTubeに登録するために「YouTubeに参加」ボタンをクリックします。

**ヒント** 「YouTubeパスワード」には、Googleアカウントのパスワードを入力します。



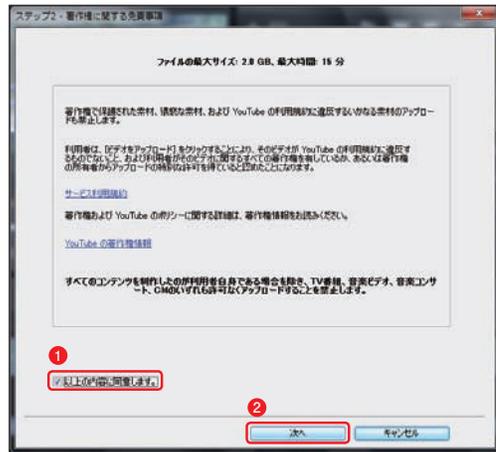
**5** インターネットに接続されている場合、インストールされているWebブラウザが起動して、「あたらしいGoogleアカウントを作成」ページが表示されます。ここで作成するGoogleアカウントが、YouTubeのログインアカウントになります。Googleアカウントに使用するユーザー名やパスワードなどの必要事項を入力して「次のステップ」ボタンをクリックします。



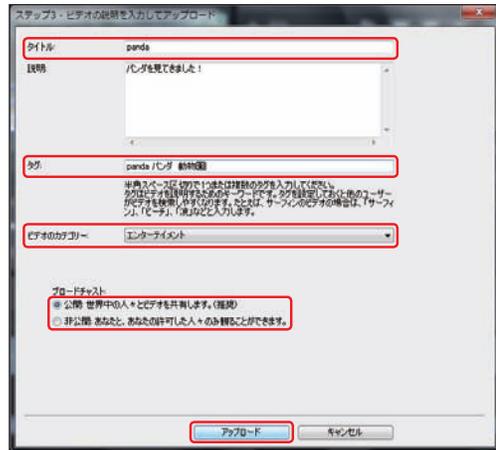
**6** 「プロフィールを作成」ページが表示されるので、「次のステップ」ボタンをクリックします。「完了」ページが表示されたら「YouTubeへ戻る」ボタンをクリックします。



**7** 「著作権に関する免責事項」画面が表示されます。内容を確認して、「以上の内容に同意します」にチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックします。



**8** 「ビデオの説明を入力してアップロード」画面が表示されます。「タイトル」や「タグ」を入力します。「ビデオのカテゴリ」を選択して、「ブロードキャスト」で「公開」か「非公開」にチェックを入れ、「アップロード」ボタンをクリックします。

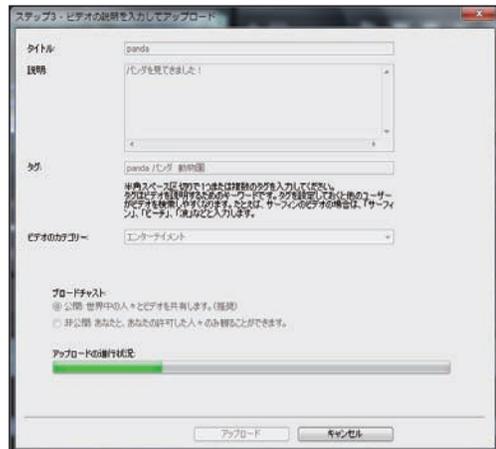


**ヒント** 「タグ」は、YouTubeでビデオを検索するときのキーワードになります。

**ヒント** 世界中の人に見てもらうには「タイトル」を英語かローマ字で入力するといいでしょ。

**注意** タイトルやタグ、説明に文字を入力しないと、次の画面に進めません。なにかしら入力してください。

**9** ビデオのアップロードが開始されます。アップロードするまでしばらく待ちます。



**10** ビデオのアップロードが終了したら「完了」ボタンが表示されるので、クリックします。



**11** YouTubeのWebページにビデオが登録されます。投稿したビデオを見るには、「アップロード動画」タブをクリックして、ビデオのサムネイルをクリックします。表示されたWebページで「再生」ボタンをクリックします。

ヒント

YouTubeのログインページが表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックします。



「再生」ボタン

## モバイル機器に出力

「モバイル機器に出力」では、できあがったビデオをMPEG4やH.264に対応した携帯プレーヤーやスマートフォン、携帯電話などで観賞できる形式に変換して各デバイスに保存します。

「モバイル機器に出力」ボタンをクリックして、表示されるメニューから保存形式を選択します。表示されるダイアログボックスで、保存する場所を選択します。「OK」ボタンをクリックすると、ビデオが保存されます。

※携帯プレーヤーやスマートフォン、携帯電話の機種によっては、ビデオを保存できない場合があります。

iPoneやiPodには一度ハードディスクに保存してから各機種に保存します。



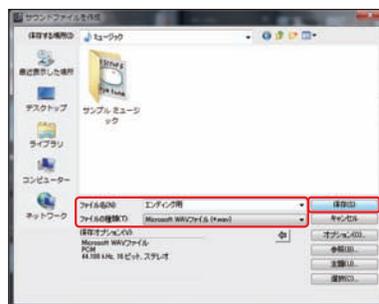
## サウンドファイルの作成

ビデオクリップから分離したオーディオクリップやオートミュージックでアレンジした曲を、オーディオファイルとして保存できます。

**1** 保存したいオーディオクリップをタイムラインに配置して、オプションパネルの「サウンドファイルを作成」をクリックします。



**2** 「サウンドファイルを作成」ダイアログボックスが表示されます。保存する場所を指定して、ファイル名を入力します。「ファイルの種類」の「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューからオーディオのファイル形式を選択します。



**3** 「保存」ボタンをクリックすると、オーディオファイルとして保存されます。また、メディアライブラリにも登録されます。



STEP

1

# ビデオの入力と メニューの作成

作成したビデオは、DVDやBlu-rayディスクに書き込むことができます。ここでは作成するディスクにメニューやチャプターを設定する方法について解説します。



## ディスクを作成

「ディスクを作成」では、プロジェクトをDVDやBlu-rayディスクに書き込む操作を行います。作成したプロジェクトにビデオを追加したり、すでに作成してある他のプロジェクト内容を追加したり、DVDディスクから映像を追加したりして、ディスクに書き込む素材を用意します。市販のDVDのようにオープニングに表示されるメニューの作成やビデオを飛ばして見るときのチャプターが作成でき、オリジナルのディスクをつくることができます。ここではDVDの作成を例に説明します。

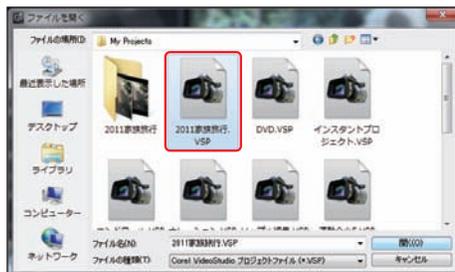


クリックして表示されるメニューから書き込むディスクタイプを選択します。



**1** ディスクに書き込むビデオファイルを追加する場合に選択します。「ビデオを追加」ボタンをクリックすると、「ビデオファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。追加するビデオファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。

**2** 「VideoStudio プロジェクトを追加」ボタンをクリックすると、VideoStudioで編集したプロジェクトファイルを読み込むことができます。すでに作成してあるプロジェクトを読み込むと、編集した内容がメディアリストに表示されます。



VideoStudioのプロジェクトファイルの拡張子は、「.vsp」です。

- 3** すでに作成したDVDからビデオを追加するには、「デジタルメディア」ボタンをクリックします。取り込み方法については39ページをお読みください。
- 4** MPEG4やH.264に対応した携帯プレーヤーや携帯電話に保存してあるビデオを取り込むには、「モバイル機器から取り込み」ボタンをクリックします。表示される「ハードディスク/外付けデバイスからメディアファイルを挿入」ダイアログボックスで、取り込むビデオのサムネイルをクリックして選択します。複数のビデオを取り込むには「Ctrl」キーを押しながら選択します。「OK」ボタンをクリックすると、ビデオをが取り込まれます。
- 5** DVDやBlu-rayレコーダーではビデオを飛ばして見たい位置にチャプターを設定して、リモコンなどを使って次のシーンにジャンプすることができます。VideoStudioには、このチャプター設定機能が備えられています。チャプターを設定するには、「チャプターの追加/編集」ボタンをクリックします(→P.164へ)。
- 6** 市販のDVDやBlu-rayでは、はじめに本編やメイキングなどを選ぶメニューが表示されます。VideoStudioでは、このメニューを作成することができます。作成するDVDにメニューを付けるには「詳細な編集」をクリックして、表示されるメニューから「メニューを作成」にチェックを入れます(→P.166へ)。
- 7** DVDディスクをドライブにセットすると、自動でオープニングムービーが流れるようになります。オープニングムービーにしたいビデオクリップをメディアリストの先頭に配置して、「イントロビデオを再生してからメニューを表示する」にチェックを入れます。

ここをチェック



オープニングムービーには、「1」マークがつかます

**注意** 「ディスクを作成」から「AVCHD」を選択した場合は、イントロビデオを設定することはできません。

**注意** オープニングムービーは、ディスクを入れたときだけに再生され、本編ではメニューに表示されません。オープニングムービーに設定したビデオを本編でも見たい場合は、同じビデオをメディアリストに再度取り込みます。

- 8** DVDに書き込むビデオが揃ったら、「次へ」ボタンをクリックします。このあとメニューを付けたり、チャプターを設定します。

## メニューとチャプターについて

ディスクに収録するビデオができあがると、メニューを作成します。VideoStudioでは、DVDやBlu-rayビデオの最初に表示される「メインメニュー」を作成できます。表示される背景やBGMをカスタマイズでき、見栄えのいいメニューを作ることができます。

また、タイトルを付けたりビデオのサムネイルを表示する位置やサイズをカスタマイズでき、凝ったオリジナルメニューに仕上げられます。

さらに、チャプターを設定したビデオでは、チャプターの位置にジャンプする「チャプターメニュー」やビデオの内容を説明する「ノートメニュー」も作成できます。

### ■メインメニュー

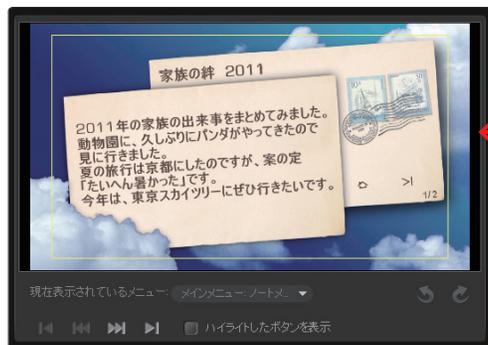


編集したビデオを書き込んだDVDディスクをパソコンやDVDレコーダー、DVDプレーヤーなどにセットして、再生を開始すると表示されるメインメニュー。市販のビデオDVDのように見たいビデオをリモコンやマウスで選んで再生します。

「ノートメニュー」は「メインメニュー」の「ノートメニュー」ボタンを選択すると表示されます。

### ■ノートメニュー

(メインメニューの内容や解説など)



メニューにはDVDの内容やコメントなどを表示する「ノートメニュー」を作成できます。DVDの映画タイトルで作品解説や出演者・スタッフの紹介ページのように使うことができます。

### ■チャプターメニュー

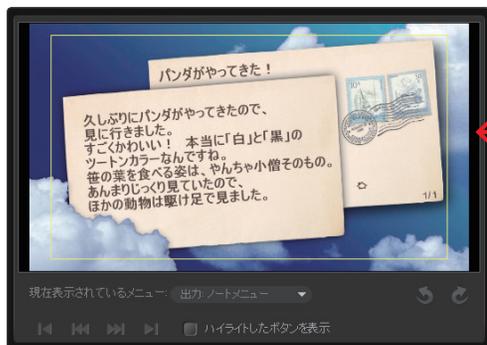


チャプターを設定したビデオクリップのチャプターの位置にジャンプするためのメニューができます。「メインメニュー」からビデオを選択すると、チャプターを設定している場合は「チャプターメニュー」が表示されます。そこからビデオの見たいシーンを選択します。

「ノートメニュー」は「チャプターメニュー」の「ノートメニュー」ボタンを選択すると表示されます。

### ■ノートメニュー

(チャプターメニューの内容や解説など)

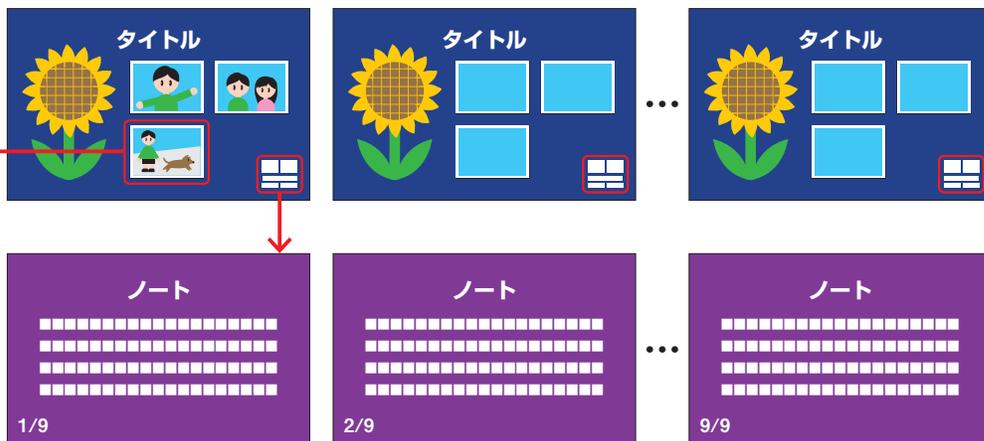


「ノートメニュー」はチャプターメニューの内容や解説を表示する場合にも作成できます。チャプターを設定したビデオの内容や解説を個別に表示する場合に使います。

## 3つのメニューの概要

### ■メインメニュー

「メインメニュー」は、編集したビデオクリップをメニュー状に並べて表示する画面です。DVDやBlu-rayプレーヤーで再生した場合には一番最初に表示されます。ここから再生したいビデオクリップを選択すると、そのビデオクリップが再生されます。また、ビデオクリップにチャプターを設定した場合には、チャプターメニューが表示されます。なお、1枚のメインメニューでは収まらない数のビデオクリップを書き込んだ場合には、複数のメインメニューが作成されます。

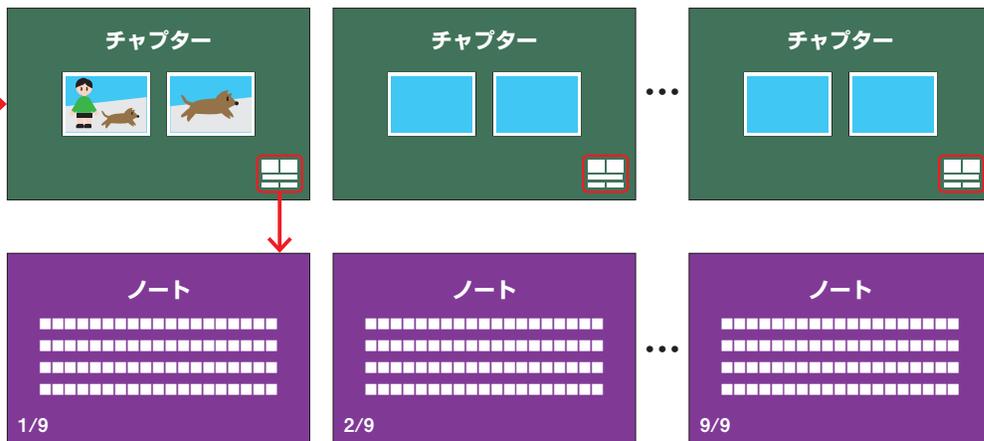


### ■ノートメニュー

「ノートメニュー」は、メインメニューやチャプターメニューに説明書きを加えたい場合に追加できるメニューです。他のメニューのようにビデオクリップを再生することはできませんが、他のメニューより多くの文章を画面に表示できることが特徴です。「メインメニュー」と「チャプターメニュー」にそれぞれ異なる内容のノートメニューを作成することができ、ノートメニューは最大9枚まで作成できます。

### ■チャプターメニュー

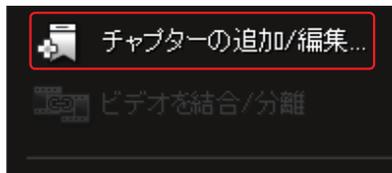
「チャプターメニュー」は、ビデオクリップにチャプターを設定した場合に表示されるメニューです。メインメニューでチャプターを設定したビデオクリップを選択すると、チャプターメニューが表示されます。チャプターメニューに表示された中から、再生したいビデオクリップを選択して再生します。なお、1枚のチャプターメニューでは収まらない数のチャプターを設定した場合には、複数のチャプターメニューが作成されます。



## チャプターを追加／編集

ビデオクリップにチャプターを追加して、ビデオを飛ばして見るときのジャンプ先のシーンを設定します。ひとつのビデオクリップにいくつものチャプターを指定できます(99シーンまで)。

- 1 ビデオクリップにチャプターを追加するには、チャプターを設定するビデオクリップを選択して、「チャプターの追加／編集」ボタンをクリックします。



- 2 「チャプターを追加／編集」ウィンドウが表示されます。ジョグスライダーやナビゲーションパネルの操作ボタンを使って、ジャンプ先の映像を選びます。

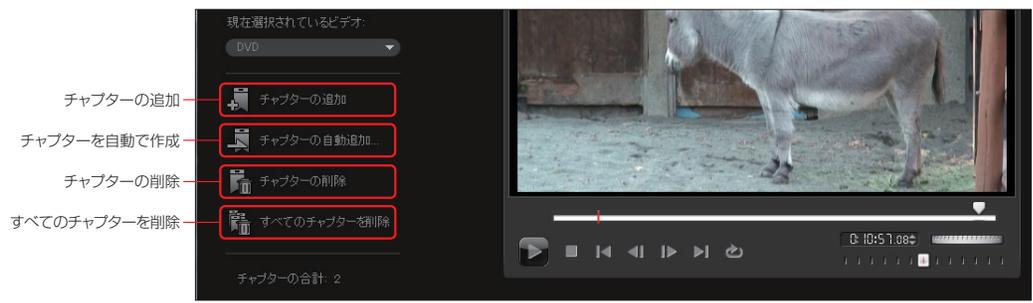


ジョグスライダーやナビゲーションパネルを使って、チャプターを設定したい映像の頭出しをします。

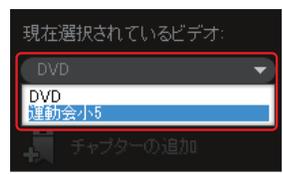
### ヒント

チャプターは、GOP単位で設定できます。ジョグスライダーや「次のフレーム」、「前のフレーム」でジャンプ先のシーンを選ぶことができます。ジャンプ先のシーンはその前後にある1フレーム(シーンフレーム)になります。

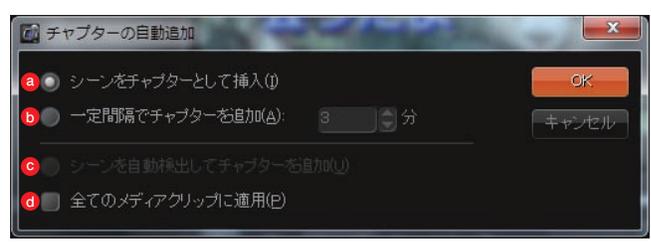
**3** ジャンプ先のシーンを選んだら「チャプターの追加」ボタンをクリックします。チャプターリストに追加されます。チャプターを取り消す場合は、チャプターリストから削除したいチャプターを選択して、「チャプターの削除」ボタンをクリックします。すべてを取り消す場合は、「すべてのチャプターを削除」ボタンをクリックします。



**4** 他のビデオクリップにチャプターを設定するには、「現在選択されているビデオ」の「▼」ボタンをクリックしてチャプターを設定したいビデオを選び、チャプターを設定します。



**5** チャプターは自動で設定することができます。「自動的にチャプターを追加」ボタンをクリックすると、「チャプターの自動追加」ダイアログボックスが表示されます。チャプターの設定方法を選択して「OK」ボタンをクリックすると、チャプターが設定されます。



- a** [シーン<sup>1</sup>をチャプター<sup>2</sup>として挿入<sup>3</sup>] ビデオのシーンを自動で判断して、そこにチャプターを設定します。
- b** [一定間隔<sup>1</sup>でチャプター<sup>2</sup>を追加<sup>3</sup>] 一定時間ごとにチャプターを設定します。たとえば「10」分に指定すると、10分ごとにチャプターが設定されます。
- c** [シーン<sup>1</sup>を自動検出<sup>2</sup>してチャプター<sup>3</sup>を追加<sup>4</sup>] ビデオの内容を自動で検知し、映像の切れ目を検出してチャプターを設定します。
- d** [全てのメディアクリップ<sup>1</sup>に適用<sup>2</sup>] 選択したチャプターの設定方法でメディアリストに配置したすべてのクリップにチャプターを設定する場合にチェックを入れます。

**6** チャプターを設定したら「チャプターを追加／編集」ダイアログボックスの「OK」ボタンをクリックして、元のウィンドウに戻ります。

# オリジナルメニューの作成

ディスクに収録するビデオができあがると、今度はディスクを再生した時に表示されるメニューを作成します。メニュー用のテンプレートが豊富に用意されていて、見栄えのいいメニューをつくることができます。また、表示するフォントやボタンをカスタマイズでき、こったオリジナルメニューに仕上げられます。

## メニューの選択

**1** メインメニューを作成するには「詳細な編集」をクリックして「メニューを作成」にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。



**2** 「メニューを作成」画面が表示されます。プレビューウィンドウには、メインメニューが表示されます。

**3** 「テンプレート」タブをクリックして、メニューテンプレートのプルダウンメニューからジャンルを選びます。



## 4 選択したジャンルのテンプレートがテンプレートリストに表示されます。メインメニューで使用 テンプレートを選んでダブルクリックすると、プレビューウィンドウに表示されます。

「▼」ボタンをクリックして、テンプレートのジャンルを選択

すべて  
スマートシーンメニュー  
サムネイルメニュー  
テキストメニュー  
お気に入り

メニューテンプレートのジャンルには、ビデオを表示して選ぶ「サムネイルメニュー」、ビデオの名前を表示して選ぶ「テキストメニュー」、ひとつのビデオを表示して残りをビデオ名から選ぶ「スマートシーンメニュー」があり、特殊効果が付加されているものもあります。

### ■テキストメニュー



ビデオクリップなどのファイル名だけが表示されます。

### ■テキストマスクメニューとダイジェストメニュー



テキストにアニメーション効果をつける「テキストマスクメニュー」やビデオのダイジェストを再生する「ダイジェストメニュー」が表示されるテンプレートもあります。

### ■リフレクションメニューと回転メニュー



ビデオのサムネイルを鏡に映したように反映して表示させる「リフレクションメニュー」や3D回転させる「回転メニュー」なども用意されています。

### 注意

作成するディスクによって使用できないテンプレートがあります。また、「スマートシーンメニュー」や「テキストメニュー」のメニューテンプレートは、カスタマイズ可能な機能が制限される場合があります。

### TIPS

テンプレートによってメニュー画面に表示されるビデオの数は異なります。また、メインメニューが数ページになる場合は、プレビューウィンドウの下に矢印ボタンが表示されます。このボタンをクリックして、次ページのメニューを確認することができます。



次のメニューに進む 実際のメニューには、メインメニューの総数と現在のページ数が表示されます



前のメニューに戻る

## タイトルの作成

**1** 作品にタイトルをつけます。「編集」タブをクリックして、プレビューウィンドウの「プロジェクト名(「マイタイトル」と書かれている場合もあります)」のテキストボックスをダブルクリックします。



プロジェクト名や「マイタイトル」という文字をダブルクリック

**2** テキストボックスに入力カーソルが表示されるので、タイトルを入力します。



タイトルをドラッグして、テキストを入力

**3** テキストはフォントの種類やスタイル、サイズ、色を変えることができます。テキストボックスを選択して、「編集」タブの「フォントの設定」ボタンをクリックします。表示される「フォント」ダイアログボックスで、好みのフォントに調整して、「OK」ボタンをクリックします。



「フォント名」や「スタイル」、「サイズ」、「文字飾り」を設定

カラーバーをクリックして、文字の色を選択



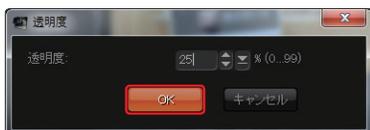
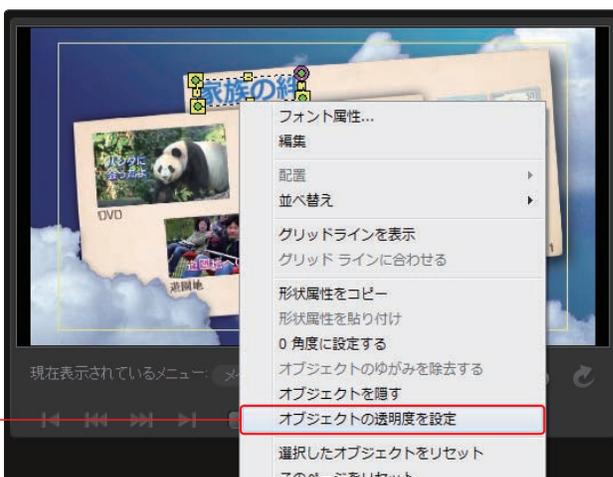
**TIPS**

「カラーバー」をクリックして表示されるパレットでは48色から選べますが、「Corelカラーピッカー」や「Windowsカラーピッカー」をクリックすると、フルカラーから色を選べます。

**4** テキストボックスにタイトルが表示されます。タイトルをクリックすると、コーナーにポインタが表示されます。タイトルは、ドラッグして表示位置を調整したり、黄色のポインタをドラッグして拡大縮小、右上のピンクのポインタをドラッグして回転することができます。



**5** タイトルを右クリックして、表示されるメニューから「オブジェクトの透明度を設定」をクリックすると、「透明度」ダイアログが開きます。ここではタイトル文字の透過を設定できます。数値を大きくすると、透明度が増します。数値を入力して、「OK」ボタンをクリックします。

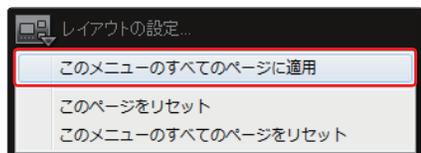


**6** 各ビデオクリップには、内容を説明するタイトルを付けることができます。保存してあるビデオクリップやプロジェクトの場合は、そのファイル名がタイトル欄に表示されます。タイトルを変更するには、各ビデオクリップのタイトル名をダブルクリックします。



ビデオの説明を入力するには、ファイル名をダブルクリック

**7** テキストボックスに入力カーソルが表示されるので、そこにタイトルを入力します。フォントは、種類やスタイル、サイズ、色を変えることができます。「フォントの設定」ボタンをクリックすると表示される「フォント」ダイアログボックスで、好みのフォントに調整して「OK」ボタンをクリックします。



「編集」タブの「レイアウトの設定」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「このメニューのすべてのページに適用」を選択すると、他のビデオクリップにもフォントやサイズ、色が適用されます。



**TIPS** タイトルを入力しない場合は、ビデオファイル名やプロジェクト名になります。

**8** 追加したビデオクリップのサムネイルは、先頭のフレームの映像が表示されます。DVDタイトルなどで表示するとき、ビデオクリップの内容がよくわかる別のフレームの映像に変更して表示することができます。



① ビデオクリップをダブルクリックします。



② 「開始位置」ダイアログボックスで、表示したいフレームをスライダーを移動して選びます。よければ「OK」ボタンをクリックします。設定したフレームが、ビデオクリップのサムネイルになります。

タイムカウンターに数値を入力して移動することも可能

スライダーを移動して、表示したいフレームに移動

「OK」ボタンをクリックして決定

**注意** 「モーションメニュー」(→P.173)にチェックを入れている場合は、サムネイルの変更は無効になります。

## TIPS

作成したメニューのビデオクリップのサムネイルやタイトルは、カスタマイズすることができます。サムネイルはドラッグして表示位置を変更できます。また、黄色のポイントをドラッグすると表示サイズの拡大・縮小が、右上のピンクのポイントをドラッグすると回転できます。また、メニュー画面を右クリックして、表示されるメニューから「グリッドラインを表示」をクリックするとメニュー画面にグリッドが表示され、レイアウトがしやすくなります。



## CHAPTERのメニューとハイライトボタン

- 1 チャプターを設定したビデオクリップには、各チャプターを選択して再生するチャプターメニューが用意されます。「現在表示されているメニュー」からファイル名を選べると、そのビデオクリップのメニューが表示されます。ここでもテンプレートを選択したり、タイトルを入力できます。



表示されるメニューからチャプターを設定したビデオクリップを選択

- 2 「ハイライトしたボタンを表示」にチェックを入れると、DVDの再生時にメニューから選択しているビデオがわかるようにマークが付いたり、ビデオの枠の色が変わるようになります。

## 注意

ビデオクリップを選択するとビデオクリップの枠が光ったり反転する効果などは、設定時にはプレビューできないものもあります。



ビデオの選択時にマークが付いたり枠がハイライトする

## プレビュー画面と次のステップへ

**1** 作成したビデオを確認するには、「プレビュー」ボタンをクリックします。DVDでどのように再生されるかを確認できます(→P.188)。



「プレビュー」ボタン

**2** 「編集」タブでメニューを作成したら、「次へ」ボタンをクリックします。できあがったビデオをDVDに書き込む「出力」ステップに進みます(→P.189)。



## 「編集」タブ

メニューをさらに作り込むには、「編集」タブをクリックします。ここではメニューが表示されているときに流すBGMやオリジナルの背景、メニューレイアウトのカスタマイズ、メニューの表示方法などの設定を行います。



## モーションメニュー

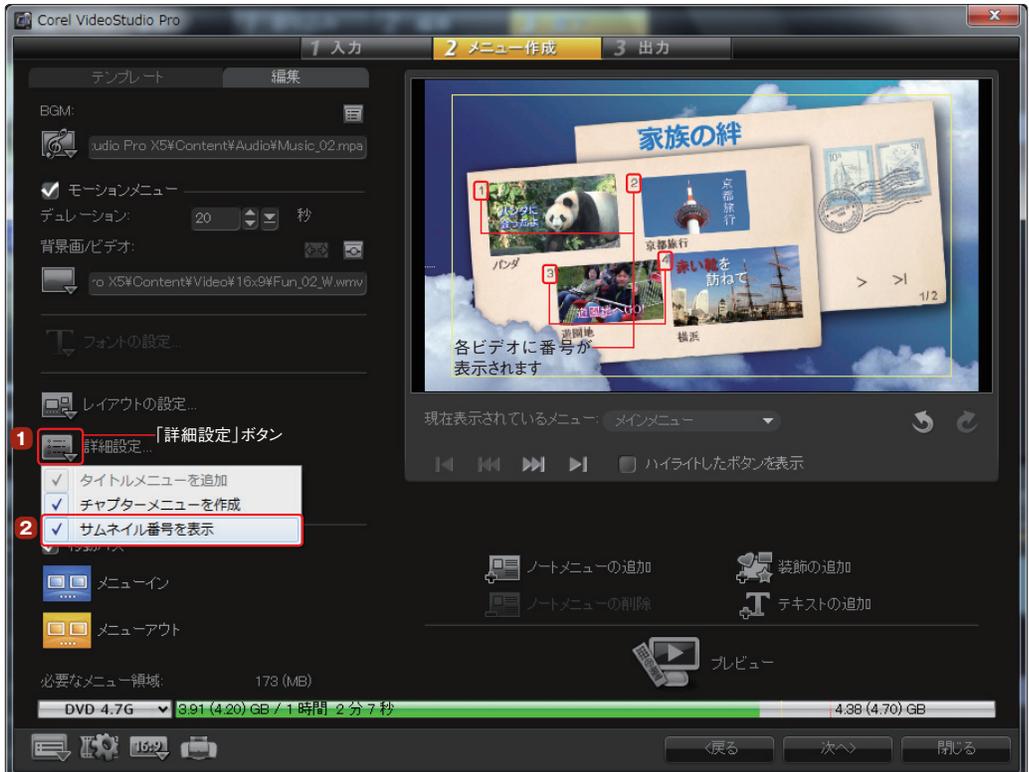
「モーションメニュー」にチェックを入れると、メニュー画面に表示される各ビデオクリップのサムネイルが自動で再生されます。これにより、ビデオの内容がすぐにわかります。「デュレーション」に秒数を設定すると、その秒数分だけビデオが繰り返し再生されます。



**注意** 「モーションメニュー」にチェックを入れている場合は、サムネイルの変更(→P.170)は無効になります。

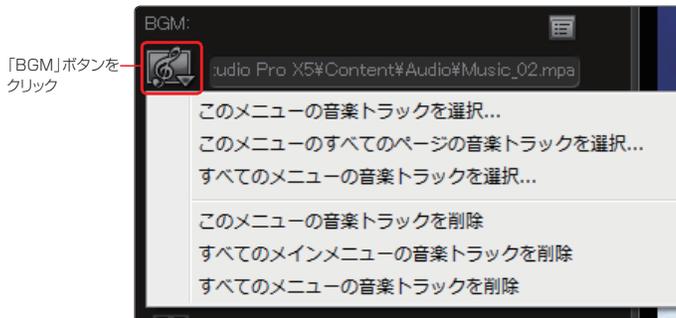
## サムネイルの選択番号

DVDビデオの作成の場合、「詳細設定」ボタンをクリックして表示されるメニューから「サムネイル番号を表示」を選択すると、各ビデオクリップに番号が振られます。完成したディスクをDVDプレーヤーなどで再生する場合、リモコンなどからこの番号を入力すると、直接そのビデオが再生されます。リモコンの矢印ボタンを操作してビデオを選ぶより便利です。



## BGMの追加

**1** メニューを表示しているときにオリジナルのBGMを流すことができます。BGMを付けるには、「編集」タブをクリックします。「BGM」ボタンをクリックして表示されるメニューから、どのメニューにBGMを付けるかを選びます。

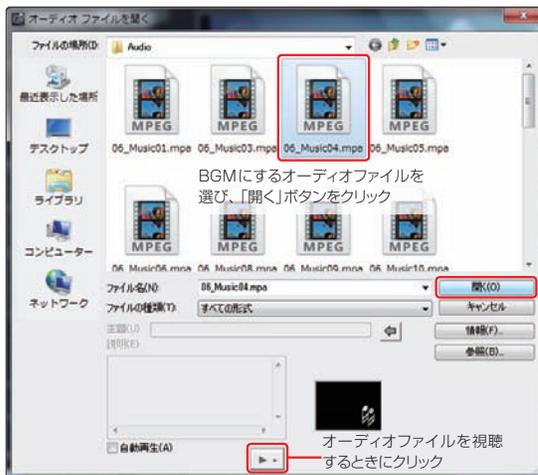


「このメニューの音楽トラックを選択」  
プレビューウィンドウに表示されているメニューにBGMを付けます。数ページあるメインメニューでもプレビューウィンドウに表示されているメニューだけにBGMが付きません。他のメニューはそのままです。

「このメニューのすべてのページの音楽トラックを選択」  
メインメニューを表示している場合は、すべてのメインメニューにBGMが付きません。

「すべてのメニューの音楽トラックを選択」  
作成しているビデオのメインメニューやチャプターメニューを含め、すべてのメニューにBGMが付きません。

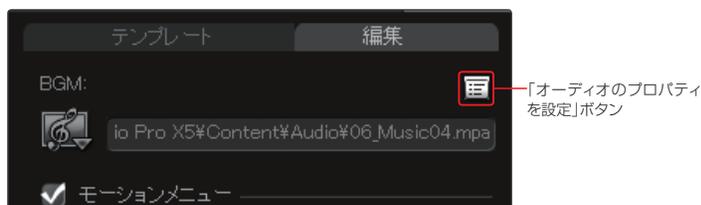
**2** 「オーディオファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。オーディオファイルの入っているフォルダーを選び、オーディオファイルをクリックして「開く」ボタンをクリックします。これでメニューを表示している間、選択したBGMが流れます。



### TIPS

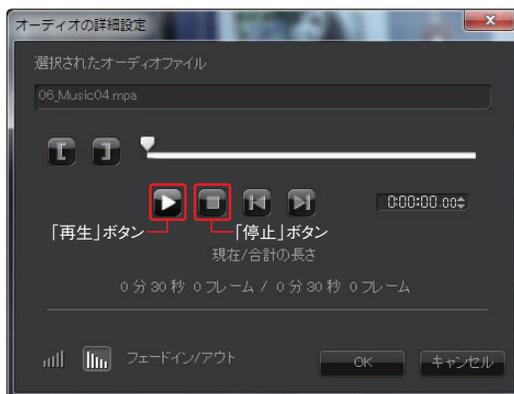
BGMに使用できるファイル形式はmpa、mp3、wav、cda、ogg、wmaです。

**3** BGMがメニューに追加されます。追加したBGMは曲の一部分だけをトリミングしたり、フェードイン・フェードアウトなどの効果を付けたりすることができます。BGMを編集するには、「オーディオのプロパティを設定」ボタンをクリックします。

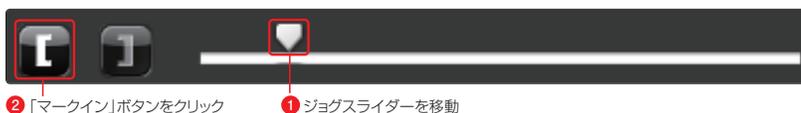


#### 4 「オーディオの詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。

BGMを確認するには、「再生」ボタンをクリックします。BGMを止めるには、「停止」ボタンをクリックします。



#### 5 曲の一部だけを使用するには、曲を流す最初の位置にジグスライダーを移動して、「マークイン」ボタンをクリックします。

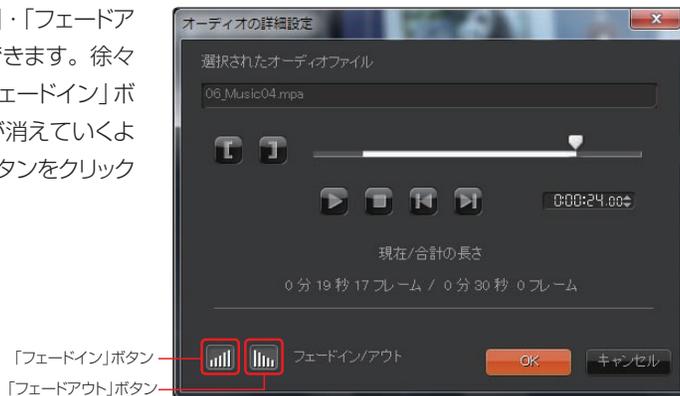


**ヒント** お気に入りの曲のさびの部分だけを流れるように設定すると効果的です。

#### 6 曲を流す終わりの位置にジグスライダーを移動して、「マークアウト」ボタンをクリックします。



7 BGMには、「フェードイン」・「フェードアウト」効果を加えることができます。徐々に曲の音量を大きくするには、「フェードイン」ボタンをクリックします。徐々に曲が消えていくようにするには、「フェードアウト」ボタンをクリックします。



**TIPS** 追加したBGMは、メニューが表示されている間はリピートします。

## オリジナル背景の作成

**1** メニューにはオリジナルの背景を付けることができます。デジタルカメラで撮った写真やお気に入りの画像をメニュー画面にします。また、メニューの背景には静止画だけでなく、動画を使用することもできます。動画を選択した場合は、モーショ背景になります。

「背景の設定」ボタンをクリックして、表示されるメニューからどの背景に画像やビデオを適用するかを選びます。



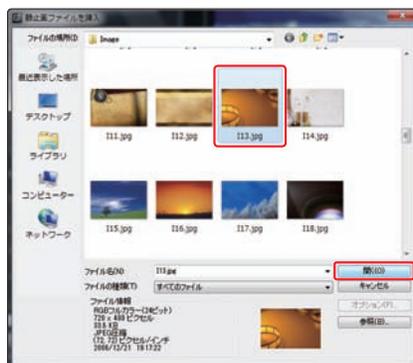
「このメニューの背景画を選択」プレビューウィンドウに表示されているメニューの背景を変更します。数ページあるメインメニューでもプレビューウィンドウに表示されているメインメニューの背景だけが変更されます。他のメインメニューはそのままです。

「このメニューのすべてのページの背景画を選択」メインメニューを表示している場合は、すべてのメインメニューの背景が変更されます。

「すべてのメニューの背景画を選択」作成しているビデオのすべてのメニューの背景を変更します。

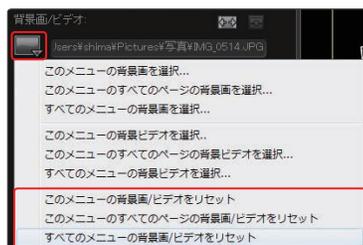
※「背景ビデオを選択」を選ぶと、メニューの背景がビデオ(動画)になります。

**2** 「イメージファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。画像や動画の入っているフォルダを選び、画像ファイルやビデオファイルをクリックして「開く」ボタンをクリックします。



**TIPS** 使用できる画像のファイル形式はBMP、JP2、JPC、JPG、TIF、PNG、TGAです。

**3** オリジナルの背景がメニューに適用されます。適用した背景を取り止めるには、「背景の設定」ボタンをクリックして、取り消すメニューにあった項目をクリックします。



- 4** 写真などの画像サイズをメニュー画面のサイズに合わせるには、「引き伸ばし」ボタンをクリックします。画像がメニュー画面全体に広がります。元に戻すには、もう一度「引き伸ばし」ボタンをクリックします。

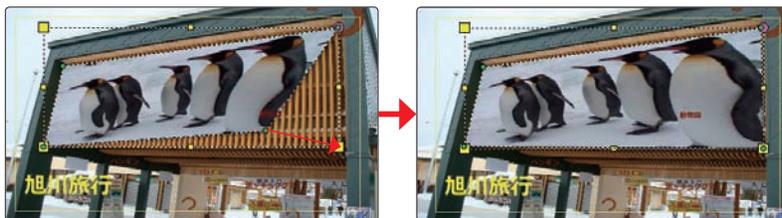
画像のサイズがメニュー画面のサイズに合っていないと、黒いフチが表示されます。



- 5** メニューの背景を動画にした場合、メニューが表示されたときに再生されるビデオの開始位置は、「開始位置」ボタンをクリックして、表示される「開始位置」ダイアログボックスで設定します。



- 6** オリジナルの写真の一部にビデオのサムネイルをはめ込むことができます。サムネイルをクリックすると、コーナーに緑のポインタが表示されます。これをドラッグすると、サムネイルを変形できます。



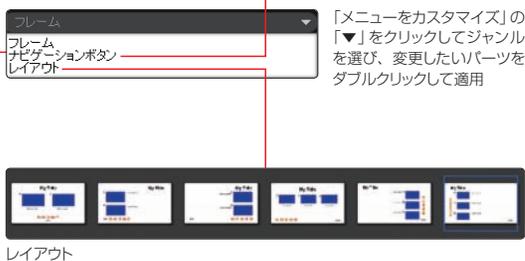
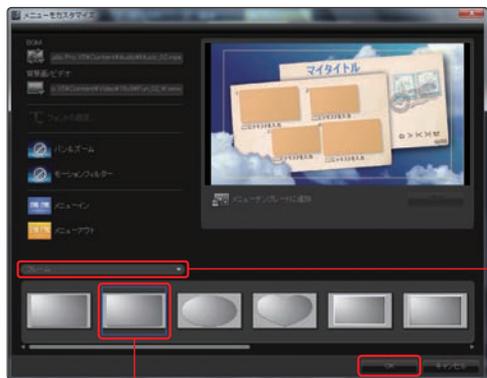
緑のポインタをドラッグしてサムネイルの形を変えます。

**TIPS**

変形に戻すにはサムネイルを右クリックして、表示されるメニューから「選択したオブジェクトをリセット」をクリックします。

## メニューのカスタマイズ

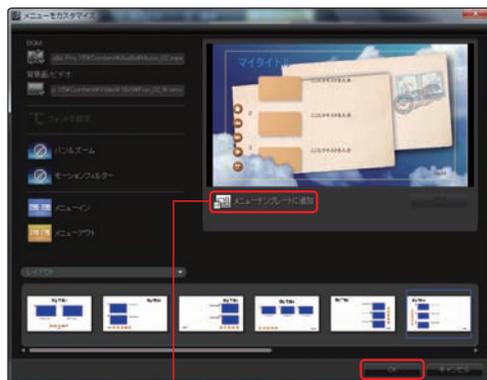
**1** メニュー画面のレイアウトは、カスタマイズすることができます。「カスタマイズ」ボタンをクリックすると、「メニューをカスタマイズ」画面が表示されます。ここでレイアウトやボタン、サムネイルのフレームを変更します。



フレーム

レイアウト

**2** カスタマイズしたメニューを登録しておく、次回から適用することができます。メニューをカスタマイズしたら、「メニューテンプレートに追加」ボタンをクリックします。カスタマイズされたメニューは、メニューテンプレートの「お気に入り」に登録されます。



カスタマイズした状態で、「メニューテンプレートに追加」ボタンをクリック

カスタマイズができあがると「OK」ボタンをクリックして、「メニューを作成」画面に戻ります



追加したメニューのテンプレートは、「お気に入り」に登録されます。カスタマイズしたテンプレートを削除するにはテンプレートを右クリック、表示されるメニューから「お気に入りテンプレートを削除」をクリックします

## メニューの表示効果 1

メニューの背景に使用した画像に効果を加えることができます。「メニューをカスタマイズ」画面の「パン＆ズーム」では背景画像に動きを追加します。「モーションフィルター」では、背景がスポットライトで照らされたりシャボン玉を飛ばしたりする効果を追加します。

- 1** メニューの背景に使用した画像に動きを加えるには、「メニューをカスタマイズ」画面の「パン＆ズーム」ボタンをクリックします。



- 2** 表示されるダイアログボックスの「▼」ボタンをクリックしてジャンルを選択し、効果を選びます。この例では、背景画像がズームインしてから右に移動したり左に移動したりします。



- 3** メニューに映像の特殊効果を加えるには、「モーションフィルター」ボタンをクリックします。



- 4** 表示される「モーションフィルター」から効果を選択します。この例では、メニューの画像に泡が表示されるような効果になります。



- 5** 「パン＆ズーム」や「モーションフィルター」効果を取り止めるには、それぞれのボタンをクリックして、表示されるリストの左上にある「なし」をクリックします。



## メニューの表示効果2

作成したディスクを再生するときのメニューが表示される効果や、ビデオを選択したときにメニューからビデオの再生に切り替わる効果を加えることができます。

**1** 作成したディスクを再生するときのメニューの表示方法に効果を加えるには、「編集」タブにある「メニューイン」ボタンをクリックします。



**2** 表示される「メニューフィルタ」から効果を選び、クリックします。この例では、ディスクが再生されると、落書きされたところからメニュー画面が現れます。



**3** ビデオを選択したときに、メニューからビデオの再生に切り替わる効果を加えるには、「メニューアウト」ボタンをクリックします。



**4** 表示される「メニュートランジション」から効果を選びます。この例では、メニューからビデオを選ぶと、メニューにモザイクがかかって消えてゆき、ビデオが再生されます。

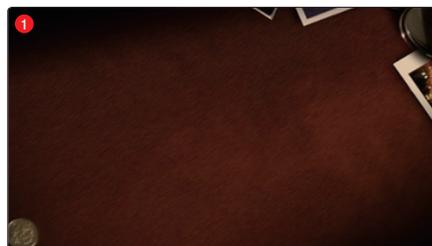


**5** 「メニューイン」や「メニューアウト」効果を取り止めるには、それぞれのボタンをクリックして、表示されるリストの左上にある「なし」をクリックします。



## 移動パス

「移動パス」にチェックを入れると、ディスクを挿入してメニュー画面が表示されるときに、まず、背景の画面だけが表示され、そこにタイトルやビデオのサムネイルが徐々に大きく表示されたり、飛んできたりなどのアニメーション効果が追加されます。



[移動パスの例]まず、机の映像が表示されます。



次にカメラが引いていき、カメラや小銭が表示されます。



映像クリップのサムネイルが回転しながら表示されます。



タイトルが上から、操作ボタンが下から現れます。



レイアウトした位置に表示されます。

### TIPS

タイトルやビデオのサムネイルのアニメーション効果は、各テンプレートやカスタマイズの「レイアウト」に設定されています。テンプレートによって効果が変わります。

### 注意

各テンプレートに設定された移動パスの効果は、カスタマイズすることはできません。

### 注意

移動パスは「モーションメニュー」(P.173)をオンにしている場合だけに設定することができます。モーションメニューにチェックを入れていないと、移動パスにチェックを入れることはできません。

## ノートメニューの作成

メニューにはDVDの内容やコメントなどを表示する「ノートメニュー」を作成できます。DVDの映画タイトルで作品解説や出演者・スタッフの紹介ページのように使うことができます。

**1** プレビューウィンドウにノートメニューを付けるメニューを表示して、「ノートメニューの追加」ボタンをクリックします。

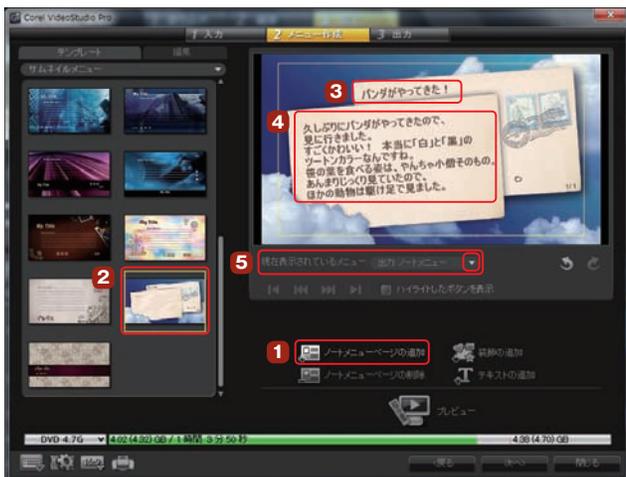


**2** 「テンプレート」タブにノートメニューのテンプレートが表示されるので、ここから使用するノートメニューのページレイアウトを選択します。

**3** ノートメニューがプレビューウィンドウに表示されます。タイトルのボックスを選択して、タイトルを入力します。

**4** テキストボックスにコメントを入力します。ノートメニューはメインメニューと同様に背景に写真を使用したり、BGMの追加やテキストの編集が行えます。「編集」タブをクリックして、各項目を選択します。

**5** メインメニューの編集に戻るには、「現在表示されているメニューの▼」をクリックして、表示されるメニューから「メインメニュー」をクリックします。



**6** 作成したノートメニューは、メニューの「ノートメニュー」ボタンをクリックすると、表示されます。



### TIPS

ノートメニューのテンプレートは、メインメニューの各テンプレートに合わせたデザインが用意されています。

### TIPS

「装飾の追加」では、メニューにビデオや静止画を配置することができます。「装飾の追加」ボタンをクリックして、表示されるダイアログボックスからレイアウトするファイルを選択します。



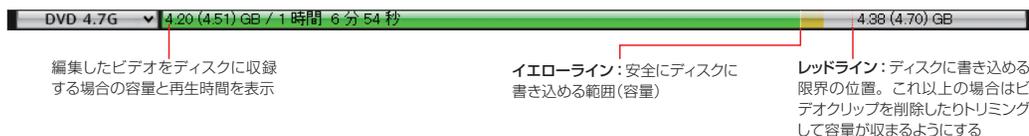
# ディスクに書き込もう

このステップでは、DVDやBlu-rayに書き込む設定を行い、各ディスクに書き込む方法を解説します。



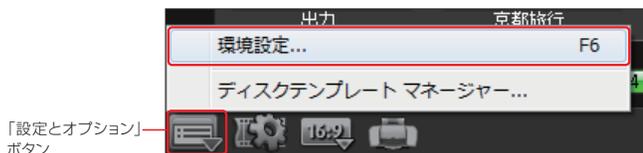
## ディスク容量の確認

画面の下側に現在の設定でどのぐらいのディスク容量になるかの目安が表示されます。ディスク容量がオーバーしている場合は、「戻る」ボタンでビデオの挿入画面に戻り、一部のビデオを削除するか、このあと解説する「ディスクプレートマネージャー」で、ビデオのクオリティ（ビットレートや音声形式）を調整するなどしてディスクに収まるようにします。

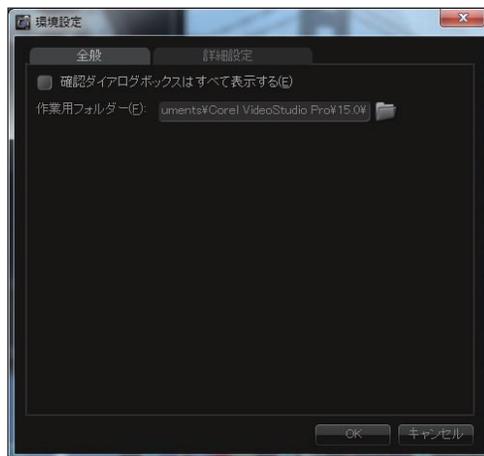


## 環境設定

環境を設定するには、画面左下にある「設定とオプション」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「環境設定」を選択します。



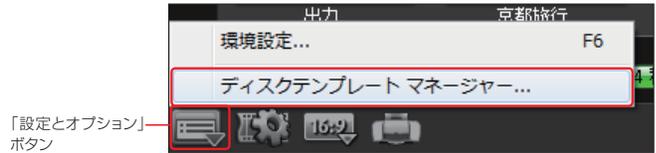
「環境設定」ダイアログボックスが表示されます。各タブで設定できる項目は以下の通りです。



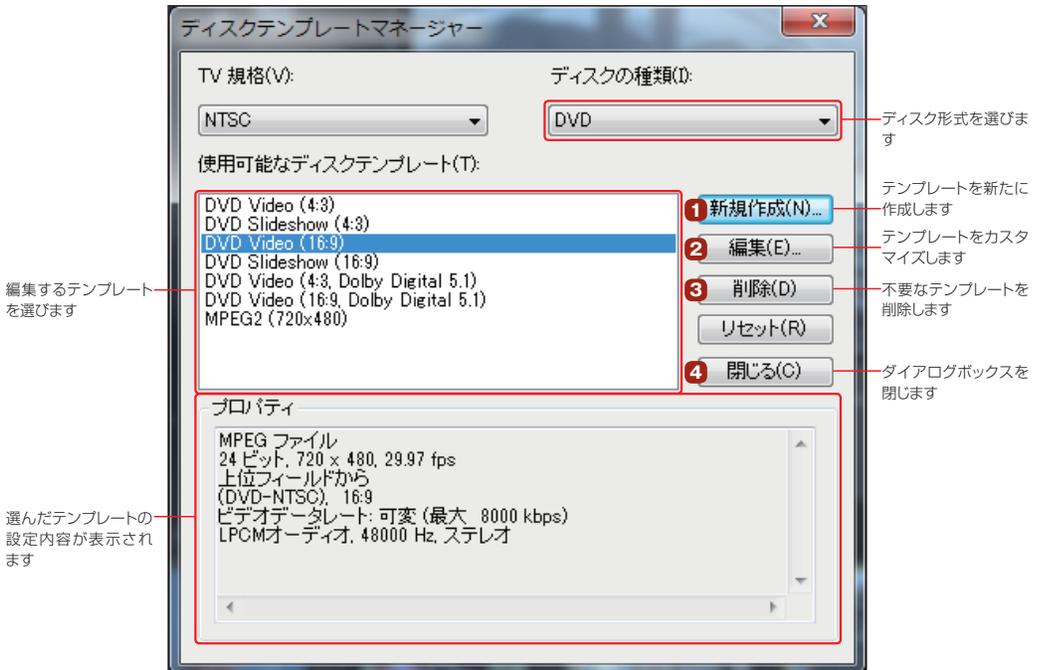
環境設定	説明
確認ダイアログボックスはすべて表示する	VideoStudio でなにかを決定する場合、必ず確認のダイアログボックスが表示されます。
DVD+VR 記録のためにメニュー最大容量を 30MB に設定する	メニュー容量の制限を設定します。
NTSC/PAL セーフカラー	ビデオ編集で使用できる色のみを表示します。

# ディスクテンプレートマネージャー

画面左下にある「設定とオプション」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「ディスクテンプレートマネージャー」をクリックすると、「ディスクテンプレートマネージャー」ダイアログボックスが表示されます。

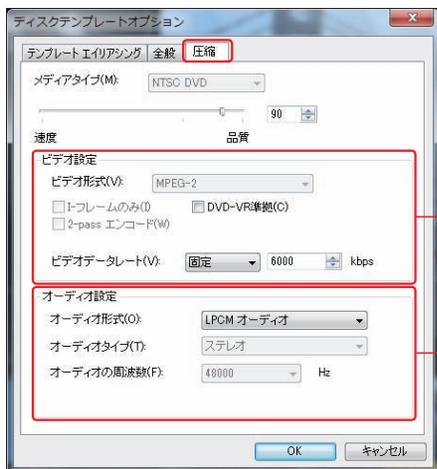
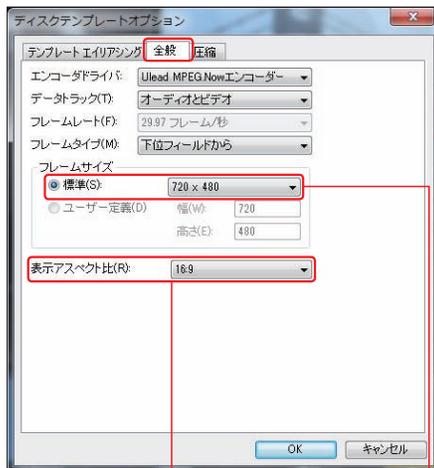
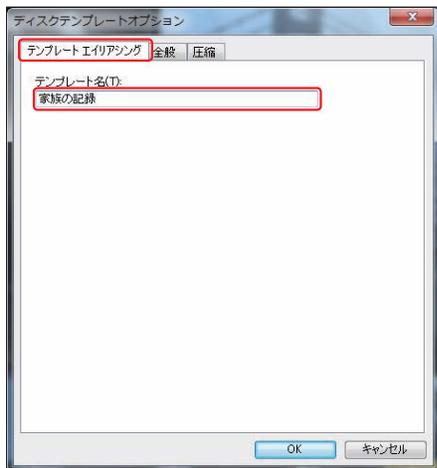


ここで、ディスク形式を選び、ビデオの表示サイズや転送レート、画質などがセットされたテンプレートを作成したり編集することができます。



**1** 「新規作成」ボタンをクリックすると、「ディスクテンプレートオプション」ダイアログボックスが表示されます。ここで新たにテンプレートを作成することができます。

「テンプレートエイリアシング」タブの「テンプレート名」に新規に作成するテンプレート名を入力します。「全般」タブをクリックしてフレームサイズを選び、「圧縮」タブで、ビデオデータレートやオーディオ形式を設定します。



「表示アスペクト比」縦横比 16:9 のワイドスクリーンに対応したビデオ形式にするには、「16:9」を選びます

フレームサイズの設定

ビデオデータレートなどを設定

オーディオ形式を設定

**2** 「編集」ボタンをクリックすると、「使用可能なディスクテンプレート」で選択したテンプレートをカスタマイズすることができます。設定方法は新規テンプレートの作成と同じです。

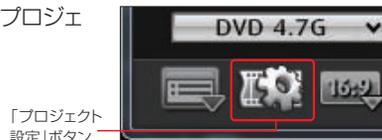
**3** 「削除」ボタンは、いらなくなったテンプレートを選んで削除します。

**4** 設定が終われば、「閉じる」ボタンをクリックします。

# 書き込むビデオの形式やクオリティの設定

キャプチャしたビデオや取り込んだビデオファイルは、すべて MPEG ファイルに変換して DVD ディスクに書き込みます。また、DVD に書き込むビデオのサイズやクオリティは変更することができます。

- 1 ビデオの形式やクオリティを変更するには、画面左下の「プロジェクト設定」ボタンをクリックします。

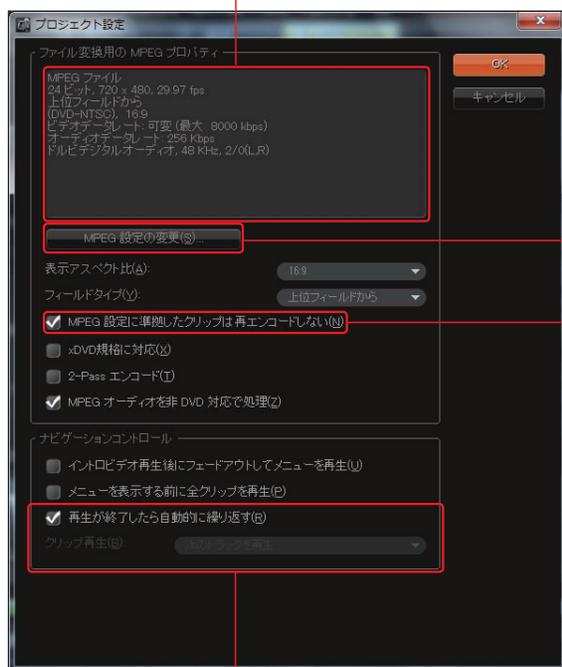


- 2 「プロジェクト設定」ダイアログボックスに DVD ディスクに書き込む MPEG 形式のプロパティが表示されます。設定を変更する場合は、「MPEG 設定を変更」ボタンをクリックします。

表示されるリストには MPEG 設定がいくつか用意されているので、そこから最適な設定を選びます。「カスタム」をクリックすると、表示サイズやビデオデータレート、オーディオの形式やクオリティの詳細などの設定ができます。

設定ができれば「OK」ボタンをクリックします。

現在のビデオの設定が表示されます



MPEG の設定を変更する場合にクリックします。

ここをチェックすると、DVD ビデオ規格に準拠したビデオは、再変換されることなく DVD ディスクに書き込まれます。DVD ディスクに書き込む前の再変換する時間がかからないので、DVD ディスクに書き込む時間を短縮できます。

各ビデオクリップの再生後の動作を設定します。

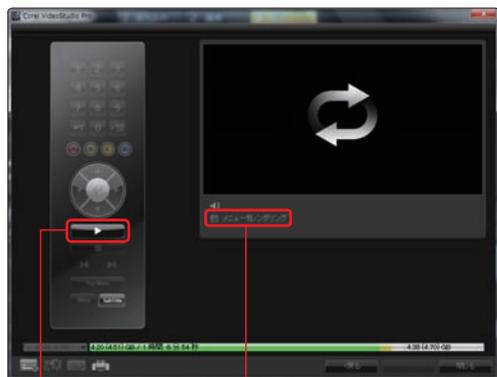
**再生が終了したら自動的に繰り返す**：ここをクリックすると、ビデオが終了した後も繰り返し再生します。

**クリップ再生**：「メニューへ戻る」は、ビデオの再生が終わるとトップ画面の「メインメニュー」を表示します。「次のトラックを再生」は、ビデオの再生が終わると次のビデオを再生します。

# プレビュー

プレビューウィンドウでは作成するビデオがDVDプレーヤーなどでどのように表示されるかを確認できます。プレビューして調整したい箇所があれば「戻る」ボタンで前のStepに戻って、再度調整します。

**1** リモコンを使ってビデオを操作します。「再生」ボタンをクリックすると、タイトルが表示されます。「イントロビデオを再生してから、メニューを表示する」(P.161)にチェックを入れた場合は、オープニングムービーが流れたあとに「メインメニュー」が表示されます。設定していない場合は、すぐに「メインメニュー」が表示されます。



「再生」ボタンをクリックしてプレビューを開始

ビデオクリップの表示を「モーションメニュー」に設定したり、「メニューイン/アウト」効果を設定したり、メニューの背景に動画を設定してプレビューすると、映像は簡易再生(荒い動画)されます。DVDプレーヤーなどで見るクオリティでプレビューするには、「メニューをレンダリング」にチェックを入れます。



「戻る」ボタンをクリックすると、「メニューを作成」画面に戻ります。

**2** 画面左のリモコンを操作すると、作成したビデオを見るときにメニューがどのように機能するかを確認できます。各ボタンをクリックして、実際の操作を確認します。リモコンのボタンの操作は、右図のとおりです。

**3** 内容を確認してよければ、「メニューを作成」画面で「次へ」ボタンをクリックします。「完了」ステップに進みます。



**注意** メニュー内にある「再生」ボタンを押した場合は、ディスクの最初から再生されます。

# 出力の設定

「出力」画面が表示されます。ここではディスクに書き込む設定を行います。  
「書き込み」ボタンを押すと、必要なファイルの変換や書き込み作業を開始します。



## 1 ディスクラベル

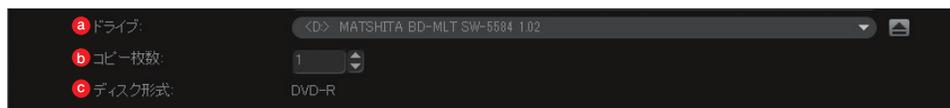
「ディスクラベル」には、作成するディスクのボリューム名を入力します。デフォルトは「PRJ\_年月日」です。



**TIPS** 名前は半角英数で32文字以内です(日本語は入力できません)。

## 2 書き込みドライブの設定

DVDやBlu-rayディスクを書き込むドライブを選択します。また、書き込みスピードなどを設定します。



### a [ドライブ]

書き込むディスクドライブを選択します。「▼」ボタンをクリックすると、パソコンに接続されているディスクドライブの一覧が表示されます。そこから書き込みに使用するディスクドライブを選びます。

### b [コピー枚数]

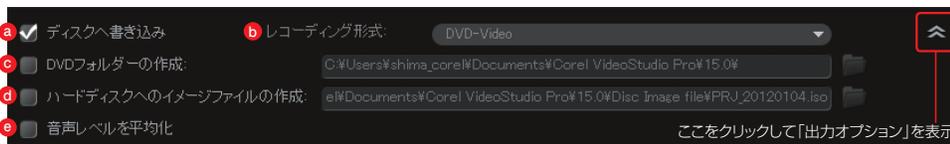
同じ内容のディスクを何枚作成するかを設定します。ここで複数枚の設定をすると「書き込み」ボタンをクリックしたときに、次々にディスクに書き込むことができます。「▲」「▼」ボタンをクリックし、必要な枚数に設定します。また、数値ボックスに直接必要枚数を入力できます。

### c [ディスク形式]

ディスクドライブにセットしたディスク名が表示されます。

## 3 出力設定

ここでは、書き込む場所や形式を設定します。各項目の内容は以下の通りです。



### a [ディスクへ書き込み]

ディスクに書き込む場合にチェックを入れます。DVDやBlu-ray書き込みドライブがパソコンに搭載されている場合のみ有効になります。

### b [レコーディング形式]

書き込むDVDディスクに合わせてレコーディング形式を選びます。

### c [DVDフォルダーの作成]

DVDを作成する場合、ディスクに書き込むファイルと同じデータをハードディスク上にも作成します。作成するビデオファイルがDVDビデオの場合のみ有効になります。作成されたファイルはDVDディスクへ書き込むことができます。

また、作成したファイルはDVDプレーヤーソフトを使って再生したり、別のDVDライティングソフトでDVDビデオとして書き込んだりすることができます。書き込みの後、ファイルをハードディスクに残したくない場合は、チェックを外してください。

#### d [ハードディスクへのイメージファイルの作成]

書き込みの後、ディスクイメージファイルをハードディスクに残したくない場合は、チェックを外してください。同じビデオファイルを複数書き込む場合は、このオプションを選択しておく便利です。

このオプションを選択すると、同じビデオファイルをディスクに書き込む際に、再度ファイルを作成する必要がなくなります。

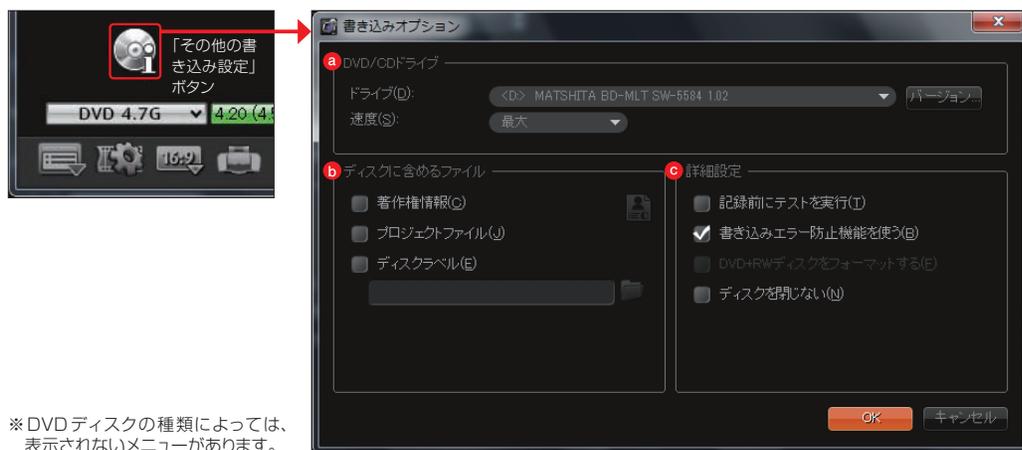
**注意** 「DVDフォルダーの作成」や「ハードディスクへのイメージファイルの作成」は、AVCHDでの書き込みの場合は使用できません。また、「レコーディング形式」がDVD+VR形式の場合は選択できません。

#### e [音声レベルを平均化]

いろいろなビデオ素材を取り込んだ場合、各ビデオの音量レベルは異なっています。これを解消するときにチェックします。音量レベルが均一になります。

## 4 書き込みオプションの設定

「その他の書き込み設定」ボタンをクリックすると、「書き込みオプション」ダイアログボックスが表示されます。ここでディスクへの書き込みの詳細な設定ができます。



※ DVDディスクの種類によっては、表示されないメニューがあります。

#### a [DVD/CDドライブ]

「速度」では、ディスクドライブの書き込み速度を選択します。「▼」ボタンをクリックして記録速度を選びます。

**注意** ここに表示される速度は、ディスクドライブによって異なります。

**b** [ディスクに含めるファイル]

著作権情報	ディスクに著作権情報を記入します。「著作権情報を編集」ボタンをクリックすると、「著作権情報」ダイアログボックスが表示されます。ここに著作権についての情報を入力して、「OK」ボタンをクリックします。
ディスクラベル	ディスクにプロジェクトで使用している素材が入ったフォルダーを書き込みます。「参照」ボタンをクリックして、書き込むフォルダーを指定します。

**注意** 著作権情報にチェックを入れても、著作権保護信号(CSSなど)は入りません。

**c** [詳細設定]

記録前にテストを実行	ビデオファイルを実際にDVDに書き込む前に、書き込みテストを実行する場合は、このオプションを選択してください。テストを実行すると、指定のレコーディング速度でDVDにデータを書き込んだ場合、システムがその速度に耐えられるかを確認することができます。書き込みテストの後、実際の書き込みが行われるので、書き込みを2度行う時間がかかります。書き込みテストを実行しない場合は、このオプションをチェックしないでください。
書き込みエラー防止機能を使う	ビデオファイルを書き込む際にこの機能を使用する場合は、チェックを入れてください。ここをチェックすると「バッファアンダーランエラー」を回避できます。この機能をご使用になるには、お使いのDVDレコーダーがこの機能に対応している必要があります。お使いのDVDレコーダーがこの機能に対応していても、このオプションが有効にされていない場合は使用できません。使用するには、必ずこのオプションを選択してください。
DVD+RW ディスクをフォーマットする	レコーディング前にDVD+RWのフォーマットを行う場合は選択してください。このオプションを選択すると、レコーディング工程に時間がかかりますが、より安定したレコーディングを実行することができます。
ディスクを閉じない	ディスクへの書き込みプロセスの後、DVD+RWを閉じない場合に使用します。別のDVD書き込みソフトウェアを使って、同じディスクに新しいファイルを追加することができます。
クイックイジェクト	この機能を使うと、DVD-RWドライブを使って短いDVDを作成する際の時間を大幅に削減することができます。ただし、このチェックをつけて作成したディスクは、一部のDVDプレーヤーで再生できない場合があります。その場合、このチェックをはずしてディスクを作成して下さい。

**TIPS** バッファアンダーランエラー：ディスクにデータを書き込む途中でデータ転送量が減少するなどして、ドライブのデータを蓄えておくバッファが空になると書き込みエラーが発生すること。BURN-Proof機能やJustLink機能を搭載したドライブではバッファが空になる前にディスクへの書き込みを一時停止して、バッファにデータが溜まってから書き込みを再開します。これでパソコンからドライブへのデータ転送が不安定でもエラーが発生することなく確実にデータが書き込まれます。

**注意** BURN-Proof機能やJustLink機能を搭載したドライブであっても「書き込みエラー防止機能を使う」をチェックしていないと、これらの機能は動作しません。ここをチェックしてはじめて機能が有効になります。

**注意** DVD+R/+RWディスクを使用する場合は、DVD+の規格内に書き込みテストの機能がないため、「記録前に書き込みテストを実行」のチェックボックスを使用することができません。

## 5 ディスクの作成

書き込みの設定ができれば、設定内容を確認します。



### a 「必要/有効なハードディスクスペース」

ディスクに書き込むときに一度ハードディスクにファイル変換をするなどの作業を行うのに必要なハードディスク容量と、使用可能なハードディスクの空き容量を表示します。

### b 「必要/有効なディスクスペース」

作成したビデオの容量とディスクの使用可能な空き容量を表示します。

### c 「消去」

DVD±RWなどのリライタブルディスクに含まれるすべての内容を消去します。

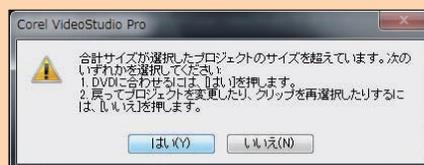
### d 「書き込み」

ボタンをクリックするとディスクに書き込みを開始します。



### ヒント

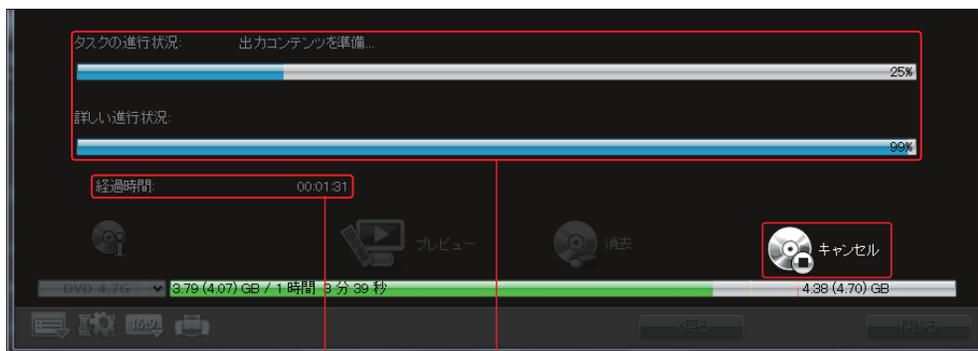
DVD-Video形式やDVD+VR形式、DVD-VR形式で書き込む際に、ディスクに録画するビデオが容量オーバーの場合(レッドラインを超えた容量)は、右のダイアログボックスが表示されます。「はい」をクリックすると、自動でディスク容量に収まるようにビデオのクオリティなどを調整します。



### 注意

プロジェクトに作成しようとしているディスクの形式に合わないファイル(DV形式のAVIファイルなど)を挿入している場合、「プロジェクトの設定」で設定した形式のMPEGファイルに変換する作業が行われます。その場合はディスクの作成に、より時間がかかります。

**1** ディスクへの書き込みがはじまると、進行状況を表すグラフが表示されます。ディスクへの書き込みを途中でやめる場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。



「経過時間」ディスク編成や消去、書き込みなどを行う際の作業時間(時:分:秒)が表示されます

「進行状況」レコーディング進捗度をグラフで表示します

**2** ディスクへの書き込みが終了すると、「完了」ダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。オリジナルDVDのできあがりです。「閉じる」ボタンをクリックして、「ディスクの作成」ダイアログボックスを閉じます。



### ■ VideoStudio で扱うことができるディスクと形式 ■

ディスクの種類	説明	書き込める内容
DVD-R	1回だけ書き込みができる。DVDプレーヤーとの互換性が非常に高い。	DVD-Video、AVCHD
DVD-R DL	DVD-Rの記録層を2層にした記録容量8.5GBのディスク。高画質で約4時間の映像を記録することが可能。	
DVD-RW	約1,000回の書き換えが可能。パイオニア製やシャープ製のDVDレコーダーで使用されている。	
DVD+R	1回だけ書き込みができる。DVDプレーヤーとの互換性が高い。書き込みが高速。	
DVD+R DL	DVD+Rの記録層を2層にした記録容量8.5GBのディスク。高画質で約4時間の映像を記録することが可能。	DVD-Video、DVD+VR
DVD+RW	約1,000回の書き換えが可能。DVD-RWよりDVDプレーヤーで読み込めることが多い。ソニー製DVDレコーダーで使用されている。	
DVD-RAM	約10万回の書き換えが可能。パナソニック製、東芝製、ビクター製のDVDレコーダーなどで使用されている。DVDプレーヤーとの互換性はほとんどない。	BDMV
Blu-ray	1層25GB、2層50GBの大容量の次世代DVD規格。ハイビジョン画質の映像を記録することが可能。1回だけ書き込みができるBD-Rと書き換え可能なBD-REがある。	

# クイックDVDウィザードで ビデオをDVDに書き込もう

クイックDVDウィザードは、2ステップでビデオをDVDに書き込むモードです。録りためたDVテープを保存版DVDにしましょう。



## 2ステップでビデオ編集

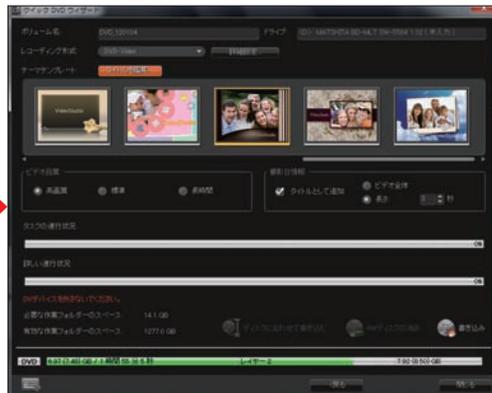
「クイックDVDウィザード」は、DVカメラの映像をパソコンに取り込んで、DVDディスクに書き込みます。わずか2ステップで行えるので、どなたでも録りためたDVテープをDVDに書き込んで整理することができます。

Step1：ビデオの取り込み



DVテープをセットしたDVカメラをパソコンに接続して、DVテープをスキャン。必要な映像を選択します。

Step2：DVDに録画

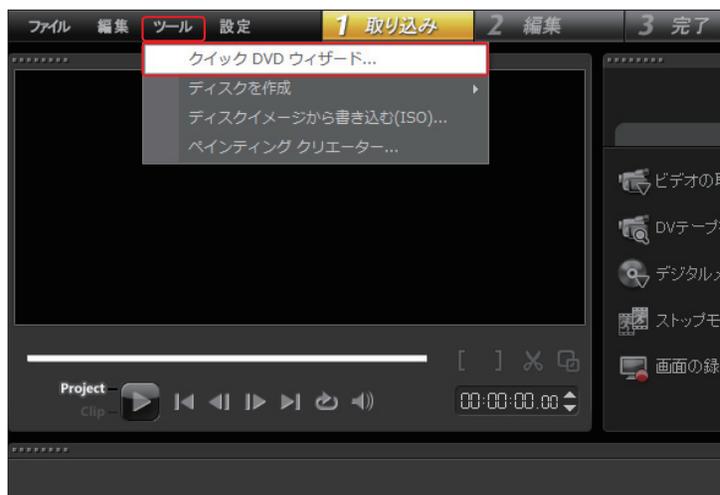


DVDに書き込むビデオには、メニューや音楽をつけられます。DVDに書き込む設定を行って、「書き込み」ボタンをクリック。オリジナルDVDの完成です。

## 「クイックDVDウィザード」の起動

DVカメラをDVケーブルやUSBケーブルでパソコンに接続して、「再生」モードにします。

VideoStudioを起動で、「ツール」メニューから「クイックDVDウィザード」をクリックします。



**注意** クイックDVDウィザードはアナログビデオ機器には対応しておりません。アナログビデオ機器から映像を取り込むには、「取り込み」機能をご利用ください。

# DVテープのスキヤン

## DVテープからの取り込み設定

「クイックDVDウィザード」画面が表示されます。ここでは、VideoStudioが取り込むDVテープの内容を一度スキヤンして、インデックスを作成します。そこから必要な映像をピックアップして、VideoStudioに取り込みます。

**1** 「スキヤン／取り込み設定」の「デバイス」には、接続したDVカメラのドライバが表示されます。変更する場合は、「▼」ボタンをクリックします。

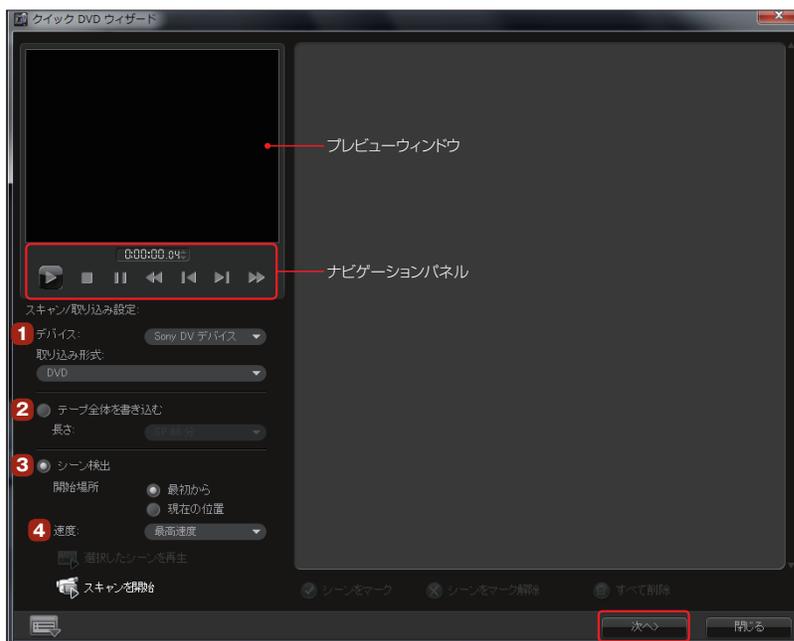
**2** 次にDVテープのどの位置から映像をスキヤンするかを設定します。DVテープをまるごと1本スキヤンしたりDVテープの先頭からスキヤンするには、「テープ全体を書き込む」にチェックを入れます。「長さ」からDVテープの録画時間を選び、「次へ」ボタンをクリックします(199ページへ)。

**3** DVテープの一部を取り込むには、「シーン検出」にチェックを入れます。これは一度DVテープの内容を表示して、必要な映像だけを取り込みます。DVテープのすべての映像を確認するには「最初から」に、途中からスキヤンするには、ナビゲーションパネルでDVカメラを制御し、スキヤンを開始する位置に移動して、「現在の位置」にチェックを入れます。

**4** DVテープは倍速でスキヤンできます。「速度」の「▼」ボタンをクリックして、表示されるメニューからスキヤン速度を選択します。

### 注意

クイックDVDウィザードではDV規格の映像のみ取り込み、HDV規格の映像は取り込みません。



### ヒント

スキヤン速度を上げると短時間でDVテープをスキヤンできますが、インデックスを作成する精度は落ちます。

## DVテープから必要な映像を選ぶ

**1** 「スキャンを開始」ボタンをクリックします。「最初から」にチェックを入れた場合は、自動でDVテープが巻き戻されてからスキャンがはじまります。「現在の位置」にチェックを入れた場合は、そこからスキャンがはじまります。「最初から」にチェックを入れた場合は、テープの最後までスキャンすると自動で停止します。「現在の位置」にチェックを入れてDVテープの途中でスキャンを終了するには、終了する位置で「スキャンを停止」ボタンをクリックします。

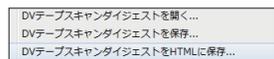


**2** スキャンされた内容はDVカメラのオン・オフの切れ目や撮影の日時などを検索して、「シーン」に分けられてストーリーボードのリストに表示されます。



**3** 各シーンの内容を確認するにはシーンをクリックして、「選択したシーンを再生」ボタンをクリックします。DVカメラが制御され、巻き戻しや早送りが行われて、そのシーンがプレビューウィンドウに表示されます。

「オプション」ボタンをクリックして表示されるメニューから「DVテープスキャンダイジェストを保存」をクリックすると、スキャンした内容を保存できます。また、「DVテープスキャンダイジェストをHTMLに保存」では、HTMLに書き出すことができます。



シーン	シーン名	開始時刻	終了時刻	シーンマークの有無
1	000011-000131	00:00:11	00:01:31	
2	000131-000254	00:01:31	00:02:54	
3	000254-000315	00:02:54	00:03:15	
4	000315-000440	00:03:15	00:04:40	
5	000440-000554	00:04:40	00:05:54	
6	000554-000635	00:05:54	00:06:35	
7	000635-000659	00:06:35	00:06:59	
8	000659-000803	00:06:59	00:08:03	
9	000803-000819	00:08:03	00:08:19	
10	000819-000833	00:08:19	00:08:33	
11	000833-000847	00:08:33	00:08:47	
12	000847-000859	00:08:47	00:08:59	
13	000859-000911	00:08:59	00:09:11	
14	000911-000924	00:09:11	00:09:24	
15	000924-000931	00:09:24	00:09:31	
16	000931-000942	00:09:31	00:09:42	
17	000942-000954	00:09:42	00:09:54	
18	000954-001002	00:09:54	00:10:02	
19	001002-001010	00:10:02	00:10:10	
20	001010-001018	00:10:10	00:10:18	
21	001018-001026	00:10:18	00:10:26	
22	001026-001034	00:10:26	00:10:34	
23	001034-001042	00:10:34	00:10:42	
24	001042-001050	00:10:42	00:10:50	
25	001050-001058	00:10:50	00:10:58	
26	001058-001106	00:10:58	00:11:06	
27	001106-001114	00:11:06	00:11:14	
28	001114-001122	00:11:14	00:11:22	
29	001122-001130	00:11:22	00:11:30	
30	001130-001138	00:11:30	00:11:38	
31	001138-001146	00:11:38	00:11:46	
32	001146-001154	00:11:46	00:11:54	
33	001154-001202	00:11:54	00:12:02	
34	001202-001210	00:12:02	00:12:10	
35	001210-001218	00:12:10	00:12:18	
36	001218-001226	00:12:18	00:12:26	
37	001226-001234	00:12:26	00:12:34	
38	001234-001242	00:12:34	00:12:42	
39	001242-001250	00:12:42	00:12:50	
40	001250-001258	00:12:50	00:12:58	
41	001258-001306	00:12:58	00:13:06	
42	001306-001314	00:13:06	00:13:14	
43	001314-001322	00:13:14	00:13:22	
44	001322-001330	00:13:22	00:13:30	
45	001330-001338	00:13:30	00:13:38	
46	001338-001346	00:13:38	00:13:46	
47	001346-001354	00:13:46	00:13:54	
48	001354-001402	00:13:54	00:14:02	
49	001402-001410	00:14:02	00:14:10	
50	001410-001418	00:14:10	00:14:18	
51	001418-001426	00:14:18	00:14:26	
52	001426-001434	00:14:26	00:14:34	
53	001434-001442	00:14:34	00:14:42	
54	001442-001450	00:14:42	00:14:50	
55	001450-001458	00:14:50	00:14:58	
56	001458-001506	00:14:58	00:15:06	
57	001506-001514	00:15:06	00:15:14	
58	001514-001522	00:15:14	00:15:22	
59	001522-001530	00:15:22	00:15:30	
60	001530-001538	00:15:30	00:15:38	
61	001538-001546	00:15:38	00:15:46	
62	001546-001554	00:15:46	00:15:54	
63	001554-001602	00:15:54	00:16:02	
64	001602-001610	00:16:02	00:16:10	
65	001610-001618	00:16:10	00:16:18	
66	001618-001626	00:16:18	00:16:26	
67	001626-001634	00:16:26	00:16:34	
68	001634-001642	00:16:34	00:16:42	
69	001642-001650	00:16:42	00:16:50	
70	001650-001658	00:16:50	00:16:58	
71	001658-001706	00:16:58	00:17:06	
72	001706-001714	00:17:06	00:17:14	
73	001714-001722	00:17:14	00:17:22	
74	001722-001730	00:17:22	00:17:30	
75	001730-001738	00:17:30	00:17:38	
76	001738-001746	00:17:38	00:17:46	
77	001746-001754	00:17:46	00:17:54	
78	001754-001802	00:17:54	00:18:02	
79	001802-001810	00:18:02	00:18:10	
80	001810-001818	00:18:10	00:18:18	
81	001818-001826	00:18:18	00:18:26	
82	001826-001834	00:18:26	00:18:34	
83	001834-001842	00:18:34	00:18:42	
84	001842-001850	00:18:42	00:18:50	
85	001850-001858	00:18:50	00:18:58	
86	001858-001906	00:18:58	00:19:06	
87	001906-001914	00:19:06	00:19:14	
88	001914-001922	00:19:14	00:19:22	
89	001922-001930	00:19:22	00:19:30	
90	001930-001938	00:19:30	00:19:38	
91	001938-001946	00:19:38	00:19:46	
92	001946-001954	00:19:46	00:19:54	
93	001954-002002	00:19:54	00:20:02	
94	002002-002010	00:20:02	00:20:10	
95	002010-002018	00:20:10	00:20:18	
96	002018-002026	00:20:18	00:20:26	
97	002026-002034	00:20:26	00:20:34	
98	002034-002042	00:20:34	00:20:42	
99	002042-002050	00:20:42	00:20:50	
100	002050-002058	00:20:50	00:20:58	

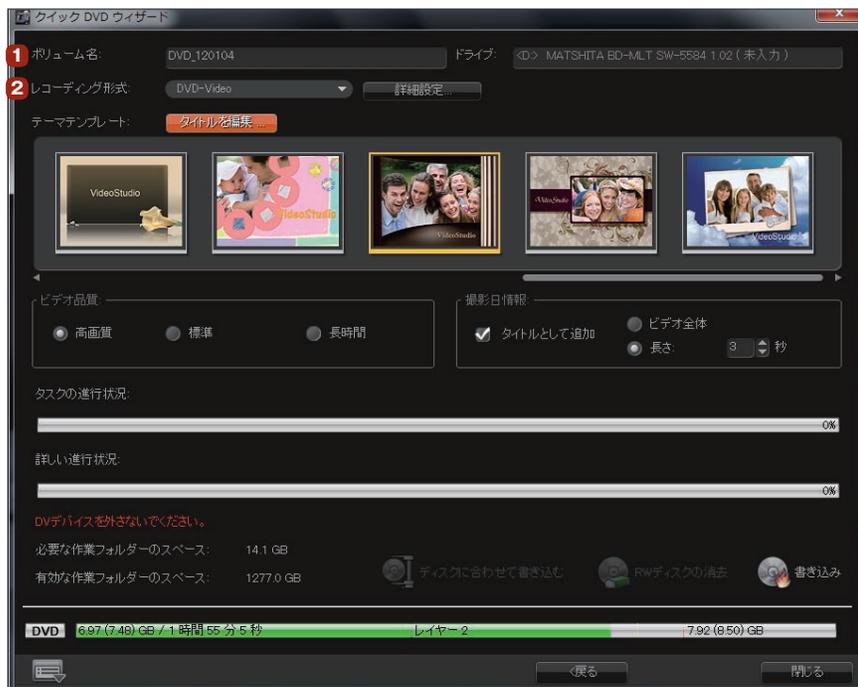
**4** 不要な映像を取り込まないようにするには、いらぬシーンをクリックして、「シーンをマーク解除」ボタンをクリックします。再び取り込みたい場合は、そのシーンをクリックして「シーンをマーク」ボタンをクリックします。すべて取り込まない場合は、「すべて削除」ボタンをクリックします。



**5** DVDへ書き込むシーンの選別ができあがったら、「次へ」ボタンをクリックします。

# DVDに書き込む

「書き込み設定」画面が表示されます。DVDディスクをパソコンにセットします。ここではDVDディスクの書き込み設定やテンプレートの選択、ビデオの品質を設定してDVDに書き込みます。

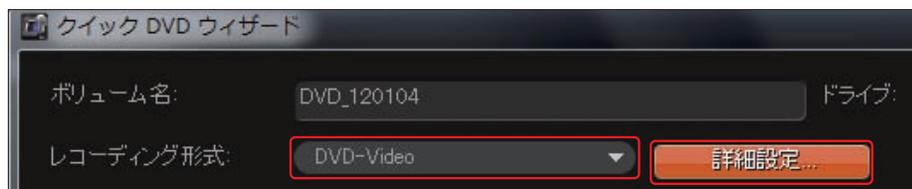


## DVDディスクの書き込み設定

- 1 「ボリューム名」には、作成するディスクの名前を入力します。デフォルトは、「DVD\_年月日」です。

**TIPS** 名前は半角英数で32文字以内です(日本語は入力できません)。

- 2 「レコーディング形式」では、DVDディスクに合わせて書き込む形式を選びます。「詳細設定」ボタンをクリックします。一般的なDVDビデオを作成する場合はそのまま構いません。



- 3** 「詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。各項目の設定を行い、「OK」ボタンをクリックします。

### 【出力ディスク形式】

#### 1 「書き込み後にテンポラリファイルを削除」

DVテープの映像をDVDに書き込む作業で作成される一時ファイルは、ハードディスクに保存されます。ここにチェックを入れると、DVD作成後にこれらのファイルを削除してくれます。

#### 2 「チャプターを自動的に追加」

チャプターとはDVDプレーヤーなどでDVDを見ると、リモコンを使って次のジャンプ先まで移動する地点のことです。ここにチェックを入れると、DVDに書き込まれるビデオに自動でチャプターを設定します。チャプターの設定を選んでチェックを入れます。

\*クイックDVDウィザードでは、任意の場所にチャプターを設定することはできません。

#### 3 「DVDフォルダーを作成」

クイックDVDウィザードでは、DVテープの映像をDVDに書き込むときに一度ビデオファイルや書き込み設定をDVDフォルダーに保存します。ここにチェックを入れると、DVDに書き込む内容をハードディスクにそのまま保存できます。後に同じ内容のDVDを作成する場合などに使用します。

#### 4 「表示アスペクト比」

「4:3」かワイド画面の「16:9」から表示するサイズを設定します。4:3で撮影したビデオもアスペクト比を維持したまま16:9画面で表示することができます。

#### 5 「テンプレートミュージックの音量」

「テーマプレート」(次ページを参照)を選んだ場合、ビデオにはBGMが流れます。ここではBGMの音量を調節できます。

### 【ライターの選択】

#### 6 「ドライブ」

DVD書き込みドライブを複数台接続している場合に、使用するドライブを設定します。

#### 7 「書き込み速度」

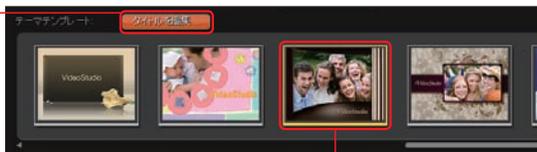
DVDに書き込む速度を選択します。書き込み速度を速くしてもDVD書き込みドライブが対応していなければ、その速度にはなりません。



## テーマプレート

「テーマプレート」を使用すると、作成するビデオにオープニングムービーとエンドムービーが付きます。ビデオの内容に合わせて「誕生日」や「結婚式」、「旅行」用のテーマプレートを選択すると、各テーマに沿ったビデオが完成します。テーマプレートの一覧から使用するプレートをクリックします。テーマプレートを使用しない場合は、左端の4つのモノクロプレートから選択します。

「タイトルを編集」ボタンをクリックすると、表示される「プレートのタイトルを編集」画面で、タイトルのテキストを入力することができます。



テーマプレートの一覧からプレートを選択



左端にあるモノクロのプレートは、オープニングやエンディングのないノンクレジット効果だけのプレートです。

## ビデオの品質と容量

「ビデオ品質」では、DVDに書き込むビデオのクオリティを選択します。「高画質」、「標準」、「長時間」から選び、チェックを入れます。ディスク収録容量が画面下にグラフで表示されるので、容量を確認しながら選択します。容量オーバーの場合は、「戻る」ボタンをクリックして前の画面に戻って「シーン」を減らすか、「ディスクに合わせて書き込む」ボタンをクリックして、容量ちょうどにビデオ品質を変更します。



容量オーバー時に「ディスクに合わせて書き込む」ボタンをクリックすると、ディスク容量に合わせてビデオ品質を調整してくれます。ただし、現在の品質より画質は劣化します。

赤いラインを超えるると書き込むことはできません。黄色のラインが安全に書き込める容量の目安です。

**注意** クイックDVDウィザードで作成したビデオは、保存することができません。

## 撮影日情報

「撮影日情報」ではビデオに撮影日時を表示することができます。「タイトルとして追加」にチェックを入れます。「ビデオ全体」ではビデオのすべてに、「長さ」では設定した秒数だけ表示されます。



## 書き込みの開始

**1** 各設定が終われば、書き込みを開始します。書き換えが可能なディスクにすでにデータがある場合は、「RWディスクの消去」ボタンをクリックしてディスクのデータを削除することができます。

**2** 「書き込み」ボタンをクリックすると、ディスクに書き込みが開始されます。



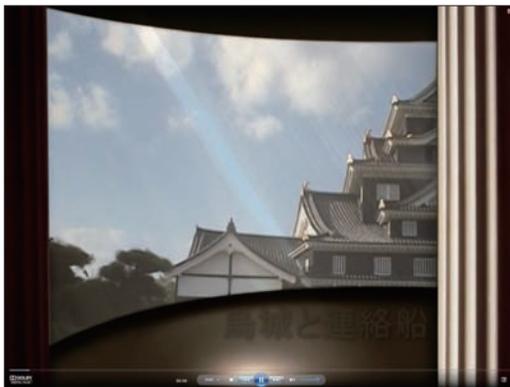
**ヒント** 途中でDVDの書き込みを中止するには、「キャンセル」ボタンをクリックします。



**3** まず、DVカメラが制御されて、ビデオが取り込まれます。その後にビデオの自動編集が行われます。「タスクの進行状況」では全体での作業、「詳しい進行状況」では各作業についての説明とグラフによる進行が表示されます。



**4** 「書き込み完了」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。これでDVDディスクの完成です。「閉じる」ボタンをクリックして、クイックDVDウィザードを終了します。作成したDVDは、パソコンや書き込んだビデオ形式に対応したDVDレコーダーで再生できます。



「テーマテンプレート」を選択してDVDを作成すると、オープニングやエンディングムービーが付いたビデオができあがります。

## [付録 1] わからないことがあったら？

VideoStudio をご使用になって、わからないことがありましたら、コーレルの Web サイトにある「サポート」ページをご覧ください。よくあるお問い合わせをまとめた「Q&A」やメールまたは電話でのお問い合わせ方法が掲載されています。

■コーレルの「サポート」ページ <http://www.corel.jp/support>

**1** コーレルの「サポート」ページにアクセスして、「ナレッジベース (Q&A)」ボタンをクリックします。



「よくあるお問い合わせ」を見てもわからない場合は、「無償電話サポート」や「無償メールサポート」をクリックして、お問い合わせ方法を確認します。

**2** 「よくあるお問い合わせ」ページが表示されます。「製品の種類」から「動画・静止画編集/再生」を、「製品名」から「VideoStudio」を、「バージョン」から「VideoStudio X5」を選択します。知りたい内容を「お問い合わせ種別」と「質問内容のサブカテゴリ」から選択して、「検索」ボタンをクリックすると、よくあるお問い合わせの一覧が表示されます。



「付録 1」わからないことがあったら？

## [付録2] Ultimate版ソフトの使い方 Ultimate版のみ

Ultimate版には、ボーナスCDが付属しています。ボーナスCDにはVideoStudioで使用できるタイトル作成ソフトやビデオフィルターなどのプラグインが用意されています。これらのソフトやプラグインを使用することにより、VideoStudioでの編集がより多彩になります。

**1** ボーナスCDをDVD/CD-ROMドライブに挿入します。自動的にインストール画面が表示されます。



**1** [NewBlueFX] モーション効果や背景画像に動きを追加するプラグインです。

**2** [Boris Graffiti] キーフレームを使ったタイトル作成ソフトです。

**3** [ProDAD Mercalli] 動画を自動的に解析して手ぶれを補正するフィルターです。

**4** [ProDAD Vitascene] ぼかしや色調整を行うフィルターです。

**5** [ProDAD RotoPen] 出発点から到着点までをアニメーションで表示するソフトです。

**2** 各ソフトやプラグインをインストールするには、インストール画面に表示されている「○○のインストール」をクリックします。インストールのウィザード画面が表示されるので、画面の指示に従ってインストールします。各ソフトやプラグインをインストールすると、VideoStudioの機能の一部として使用できます。

### [NewBlueFX]

「編集」ステップで、「フィルター」ライブラリをクリックして、ギャラリーの「▼」をクリックします。フィルターの一覧で「NewBlueビデオエッセシャルV」や「New Blue モーション効果」を選択します。

各プラグインの詳しい使い方は、「オプションパネル」の「フィルターをカスタマイズ」ボタンをクリックして、表示される各プラグインのウィンドウで「？」ボタンをクリックすると表示されるヘルプをお読みください。



## [Boris Graffiti]

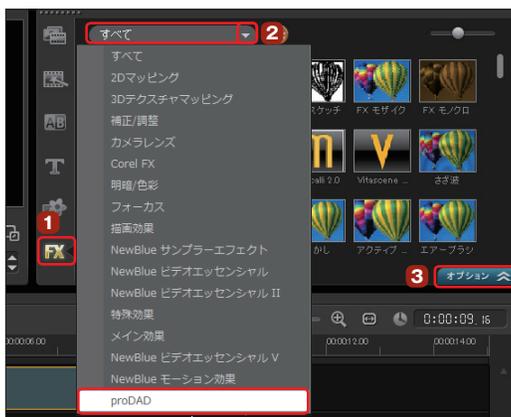
Boris Graffitiは「フィルター」ライブラリにあります。「フィルター」ライブラリをクリックするとギャラリーの「すべて」で一番上の左端に配置されています。これをタイトルクリップにドラッグします。詳しい使い方は74ページをお読みください。



## [ProDAD Mercalli] [ProDAD Vitascene]

**1** 「編集」ステップで、「フィルター」ライブラリをクリックします。ギャラリーの「▼」をクリックして、「proDAD」をクリックします。「proDAD」ギャラリーに[ProDAD Mercalli]と[ProDAD Vitascene]が配置されています。使用するフィルターをタイムラインのビデオクリップにドラッグします。

つぎに、「オプションパネル」ボタンをクリックします。



**2** 「属性」タブをクリックして、「フィルターをカスタマイズ」ボタンをクリックします。



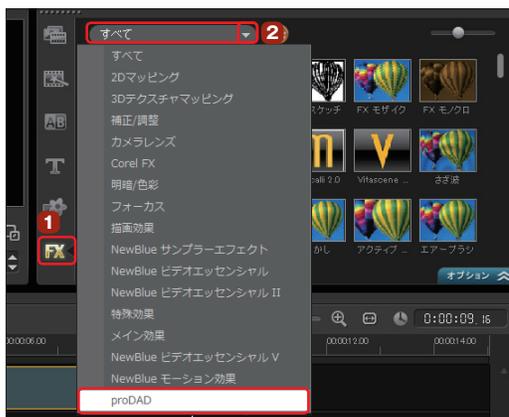
**3** フィルターの設定ウィンドウが表示されます。ここでフィルターの調整を行い、「OK」ボタンをクリックすると、ビデオクリップに適用されます。フィルターの詳しい使い方は、ウィンドウの右上にある「？」ボタンをクリックし、表示されるWebページをお読みください。



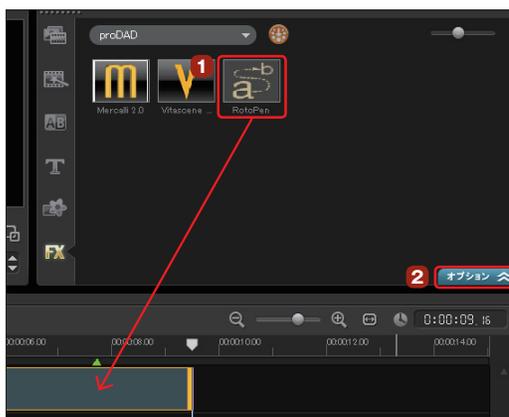
※「ProDAD Vitascene」は、グラフィックのドライバが古いと、「フィルターをカスタマイズ」ボタンをクリックしたときにエラーが出る場合があります。その際にはお使いのグラフィックドライバを最新バージョンにアップデートしてからお試しください。

## [ProDAD RotoPen]の使い方

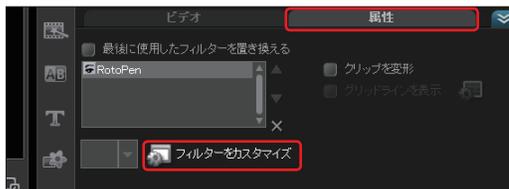
**1** 「編集」ステップで、「フィルター」ライブラリをクリックします。ギャラリーの「▼」をクリックして、「proDAD」をクリックします。



**2** 「proDAD」ギャラリーに表示される「Poto Pen」をタイムラインのビデオクリップや静止画クリップにドラッグします。つぎに、「オプションパネル」ボタンをクリックします。



**3** 「属性」タブをクリックして、「フィルターをカスタマイズ」ボタンをクリックします。



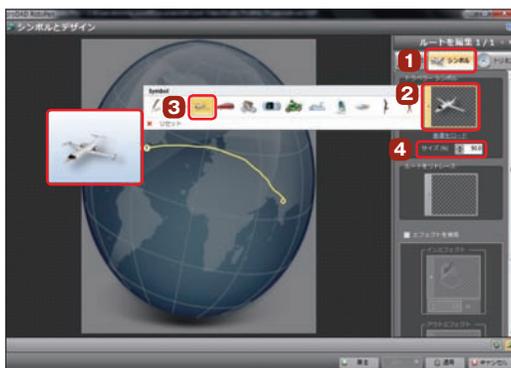
**4** 「ProDAD RotoPen」ウィンドウが表示されます。マウスをドラッグしてルートを描きます。ウィンドウの左下にプレビューが表示されます。やり直す場合は「戻る」ボタンをクリックします。つぎに「次へ」ボタンをクリックします。



**5** 「シンボルとデザイン」画面が表示されます。「パス」タブをクリックします。ここでルートを描くラインを選択します。「スタイル」のアイコンをクリックして、表示されるルートの一覧から使用するルートをクリックします。



**6** 「シンボル」タブをクリックします。ここでルート上を移動するイラストを選択します。「トラベラーシンボル」のアイコンをクリックして、表示されるシンボルの一覧から使用するイラストをクリックします。イラストにマウスポインタを移動すると、そのイラストが拡大表示され、アニメーションを確認できます。「サイズ」でイラストの表示サイズを調整します。



**7** 「ルートをリトレース」のアイコンをクリックすると、イラストが移動する方向の一覧が表示されます。方向にマウスポインタを移動すると、拡大表示され、アニメーションを確認できます。方向をクリックして選択し、「適用」ボタンをクリックします。クリップに効果が適用されます。



■ オープニングテンプレートの例：飛行機がニューヨークから飛び立ち、飛行ルートを描きながらニューデリーに到着します。



## 【付録3】ショートカットキー

VideoStudioの各機能には、ショートカットキーが割り当てられています。キーボードからショートカットキーを押すと、各機能が実行されます。[Ctrl]+[S]は、[Ctrl]キーを押しながら[S]キーを押します。ショートカットキーを覚えておくと、VideoStudioの操作がメニューなどから選択したりクリックすることなく、素早く実行できます。

### ■メニューコマンドのショートカット

[Ctrl] + N	プロジェクトの新規作成
[Ctrl] + O	プロジェクトを開く
[Ctrl] + S	プロジェクトを保存
[Alt] + [Enter]	プロジェクトのプロパティ
[F6]	環境設定
[Ctrl] + Z	元に戻す
[Ctrl] + Y	やり直し
[Ctrl] + C	コピー
[Ctrl] + V	貼り付け
[Delete]	削除
[F1]	ヘルプ

### ■ステップパネルのショートカット

[Alt] + C	取り込みステップへ
[Alt] + E	編集ステップへ
[Alt] + F	「フィルター」ライブラリを表示
[Alt] + O	「メディア」ライブラリを表示
[Alt] + T	「タイトル」ライブラリを表示
[Alt] + S	完了ステップへ
↑	前のステップへ
↓	次のステップへ

### ■ナビゲーションパネルのショートカット

[F3]	マークインを設定
[F4]	マークアウトを設定
[Ctrl] + P	再生 / 一時停止
[space]	再生 / 一時停止
[Shift] + [再生] ボタン	現在選択されているクリップを再生
[Home]	開始セグメントまたはキューに戻る
[Ctrl] + H	[Home]
[End]	最後のセグメントまたはキューに移動
[Ctrl] + E	[End]
[B]	前のフレーム
[F]	次のフレーム
[Ctrl] + R	繰り返し
[Ctrl] + L	ボリューム
[Ctrl] + I	ビデオを分割
[Tab]	トリムハンドルとジョグスライダを切り替えます。

Enter	左トリムハンドルがアクティブの場合、[Tab]キーまたは[Enter]キーを押すと右ハンドルに切り替わります。
←	[Tab]キーまたは[Enter]キーを押してトリムハンドルまたはジョグスライダーを有効にした場合、左矢印キーを使って前のフレームへ移動します。
→	[Tab]キーまたは[Enter]キーを押してトリムハンドルまたはジョグスライダーを有効にした場合、右矢印キーを使って次のフレームへ移動します。
Esc	[Tab]キーまたは[Enter]キーを押してトリムハンドルとジョグスライダーを有効にしたり切り替えた場合は、[Esc]キーを押してトリムハンドルとジョグスライダーを無効にすることができます。

## ■タイムラインのショートカット

Ctrl + A	タイムライン上のすべてのクリップを選択。タイトル作成時にすべての文字を選択
Ctrl + X	タイトル作成時に選択した文字を切り取り
Shift + クリック	同じトラックで複数のクリップを選択 (ライブラリ内で複数のクリップを選択するには、[Shift]キーを押しながらクリップをクリックするか、[Ctrl]を押しながらクリックします。)
←	タイムライン上の前のクリップを選択
→	タイムライン上の次のクリップを選択
+ / -	ズームイン / アウト
Ctrl + →	前へスクロール
Ctrl + ←	後ろへスクロール
Ctrl + ↑ / Page Up	上へスクロール
Ctrl + ↓ / Page Down	下へスクロール
Home	タイムラインの先頭に移動
End	タイムラインの最後に移動
Ctrl + H	前のセグメント
Ctrl + E	次のセグメント

## ■ビデオの複数カットのショートカット

Delete	削除
F3	マークインを設定
F4	マークアウトを設定
F5	クリップ内で前に戻る
F6	クリップ内で次に進む
Esc	キャンセル

## ■レイアウトの設定のショートカット

F7	デフォルトに戻す
Ctrl + 1	カスタム #1 に切り替え
Ctrl + 2	カスタム #2 に切り替え
Ctrl + 3	カスタム #3 に切り替え
Alt + 1	カスタム #1 に保存
Alt + 2	カスタム #2 に保存
Alt + 3	カスタム #3 に保存

## ■その他

Esc	キャプチャー、録画、レンダリングを停止するか、何も変更せずにダイアログボックスを閉じます。全画面プレビューに切り替えた場合、[Esc]キーを押すとVideoStudioのワークスペースに戻ります。
[トランジション] ライブラリのトランジションをダブルクリック	ライブラリでトランジションをダブルクリックすると、2つのクリップ間で最初に空いているトランジションスロットにトランジションが自動的に挿入されます。この手順を繰り返すと、次に空いているトランジションスロットにトランジションが挿入されます。



## Corel VideoStudio X5 ユーザーズガイド

2012年4月 初版第1刷

コーレル株式会社

〒104-0045

東京都中央区築地5-6-10

浜離宮パークサイドプレイス16階